

(令和6年度決算認定附属資料)

令和6年度
主要施策の成果に関する報告書

目 次

1. 一般会計に関する報告	… 9
一 般 会 計	… 10
2. 特別会計に関する報告	… 335
国民健康保険特別会計	… 336
後期高齢者医療特別会計	… 341
介護保険特別会計	… 343
温泉事業等特別会計	… 358
旅客船特別会計	… 361

所属別 目次

<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会事務局 議会運営事業 …… 12 ・ 総務課 地域振興費交付事業 …… 13 行政一般庶務事務 …… 14 職員福利厚生事務 …… 15 広報あいなん事業 …… 16 ホームページ運用管理事業 …… 17 町有管理地活用管理事業 …… 19 交通安全対策事業 …… 32 交通安全推進協議会補助事業 …… 33 南宇和交通安全協会補助事業 …… 34 カーブミラー等整備事業 …… 35 防犯灯設置等補助事業 …… 37 防犯関係団体各種補助事業 …… 38 防災行政無線管理運営事業 …… 49 コミュニティ助成事業 …… 51 情報電算システム等整備改修事業 …… 52 情報電算システム等運用管理事務 …… 53 コミュニティバス運営事業 …… 54 生活バス路線維持対策事業 …… 55 地域情報通信基盤整備事業 …… 56 地域情報通信基盤設備管理事業 …… 57 ・ 企画財政課 入札執行管理事務 …… 18 結婚活動支援事業 …… 20 結婚新生活支援事業 …… 21 地域支援事業 …… 23 大学生等生活応援ふるさと小包事業 …… 24 行政評価推進事業 …… 25 移住促進事業 …… 26 ・ 税務課 住民税賦課収納事務 …… 58 固定資産税賦課収納事務 …… 59 徴収管理事務 …… 60 国民健康保険税賦課収納事務 …… 339 ・ 町民課 個人番号カード交付事業 …… 61 コンビニ交付サービス事業 …… 62 更生保護事業 …… 67 ひとり親家庭医療給付事業 …… 112 子ども医療給付事業（乳幼児） …… 120 子ども医療給付事業（児童・高校生等） …… 121 特定健康診査事業 …… 340 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林課 農業委員研修事業 …… 154 農業支援センター運営事業 …… 155 農業次世代人材投資事業 …… 156 担い手協議会補助事業 …… 157 担い手総合支援事業 …… 158 野菜産地化推進補助事業 …… 159 J A えひめ南南宇和部会活動補助事業 …… 160 農作物鳥獣害防止対策推進事業 …… 161 中山間地域等直接支払推進事業 …… 162 鳥獣被害防止総合対策事業 …… 163 多面的機能支払交付金事業 …… 168 土地改良区助成事業 …… 169 水利組合助成事業 …… 170 農道維持補修事業（単独） …… 171 水路維持修繕事業（単独） …… 172 広域農道維持管理事業 …… 173 農地等工事材料費支給事業 …… 174 大久保山土地改良事業 …… 175 県営土地改良事業負担金 …… 176 林道維持管理事業 …… 177 林道整備事業 …… 178 有害鳥獣駆除補助事業 …… 179 森林整備担い手確保育成対策事業 …… 180 地域材利用木造住宅建築促進事業 …… 181 愛南町木育推進事業 …… 182 森林環境整備事業 …… 183 ・ 水産課 種子島周辺漁業対策事業 …… 184 水産業振興補助事業 …… 185 水産物販売促進事業 …… 186 ぎょしょく普及事業 …… 187 漁場環境保全事業 …… 188 水産業活性化推進事業 …… 189 海業推進事業 …… 190 魚病診断事業 …… 191 海洋資源開発センター施設管理運営事業 …… 192 優良アコヤガイ作出事業 …… 193 新養殖魚種導入支援事業 …… 194 水産業 I C T 利活用事業 …… 195 赤潮・漁場環境調査事業 …… 196 地域産業研究・普及センター施設維持管理事業 …… 197 漁港施設維持管理事業 …… 198 水産物供給基盤機能保全事業（国庫） …… 199 海岸メンテナンス事業 …… 200 魚神山漁港海岸保全施設整備事業 …… 201
---	--

所属別 目次

・商工観光課	
ふるさと寄附金事業	… 22
消費生活相談事業	… 202
商工会補助事業	… 203
2025春らんまんプレミアム商品券事業	… 204
特産品販売促進事業	… 205
夏祭り補助事業	… 206
営業戦略推進事業	… 207
企業立地・誘致活動事業	… 208
愛南町観光振興等イベント補助事業	… 210
愛南町観光協会活動事業	… 211
四国の道管理事業	… 212
愛南町観光振興推進事業	… 215
スポーツ合宿等補助事業	… 216
ご当地キャラクター活用事業	… 217
観光施設維持管理事業	… 219
山出憩いの里温泉維持管理事業	… 220
ゆらり内海維持管理事業	… 221
自然公園等維持管理事業	… 224
南予レクリエーション都市公園維持管理事業	… 246
・建設課	
交通安全施設整備事業	… 36
緊急避難道整備事業	… 48
地域コミュニティ活性化対策事業	… 50
高速道路整備促進事業	… 233
住宅新築・リフォーム補助事業	… 234
老朽危険空家等対策補助事業	… 235
道路台帳補正事業	… 236
道路維持整備事業（国庫）	… 237
道路維持整備事業（単独）	… 238
道路新設改良事業（国庫）	… 239
道路新設改良事業（単独）	… 240
橋梁新設改良事業（国庫）	… 241
橋梁新設改良事業（単独）	… 242
河川維持整備事業	… 243
砂防事業（県）	… 244
砂防事業（単独）	… 245
住宅改修事業（国庫）	… 247
住宅改修事業（単独）	… 248
公営住宅維持管理事業	… 249
特定公共賃貸住宅維持管理事業	… 250
・保健福祉課	
重層的支援体制整備事業	… 66
ボランティア連絡会活動補助事業	… 68
社会福祉協議会運営補助事業	… 69
遺族会活動補助事業	… 70
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	… 71
物価高騰重点支援給付金事業	… 72
おれんじくらぶ管理・運営事業	… 91
児童通所支援給付事業	… 92
障害者自立支援医療費給付事業	… 93
障害者自立支援介護等給付事業	… 94
障害者地域生活支援事業	… 95
障害者自立支援補装具給付事業	… 96
障がい者（児）タクシー利用助成事業	… 97
身体障害者福祉協議会補助事業	… 98
特別支援学校寄宿舎生徒送迎事業	… 99
母子寡婦福祉会助成事業	… 111
在宅当番・救急医療委託事業	… 122
医師確保関連事業	… 123
災害時保健対策事業	… 124
城辺保健福祉センター管理運営事業	… 125
愛なん食育推進事業	… 127
不妊治療費助成事業	… 128
妊婦健診・母子健康手帳交付事業	… 129
乳幼児健診事業	… 130
出産・子育て応援交付金事業	… 131
骨粗しょう症予防事業	… 132
健康診査事業	… 133
がん対策事業	… 134
子ども定期予防接種事業	… 135
高齢者定期予防接種事業	… 136
任意インフルエンザ予防接種事業	… 137
任意帯状疱疹予防接種事業	… 138
病院事業会計補助金	… 153
・子育て支援室	
出産子育て支援金交付事業	… 102
乳幼児用紙おむつ券交付事業	… 103
出産子育て応援事業	… 104
放課後児童クラブ事業	… 105
病児保育事業	… 106
放課後図書クラブ事業	… 107
地域子育て支援拠点事業	… 108
子ども・子育て支援事務	… 109
児童保育委託事業	… 110
御荘夢創造館管理運営事業	… 119
・各保育所	
柏保育所管理運営事業	… 113
家串保育所管理運営事業	… 114
御荘保育所管理運営事業	… 115
城辺保育所管理運営事業	… 116
緑保育所管理運営事業	… 117
一本松保育所管理運営事業	… 118

所 属 別 目 次

<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者支援課 高齢者総合相談事業相談事業（重層） …… 63 シルバー人材センター補助事業 …… 64 生活支援体制整備事業（重層） …… 65 中浦ふれあい交流館管理事業 …… 73 城辺高齢者共同住宅管理運営事業 …… 75 成年後見制度利用促進事業 …… 79 介護予防サービス計画作成事務 …… 80 敬老会助成事業 …… 81 老人クラブ活動助成事業 …… 82 緊急通報システム整備事業 …… 83 高齢者タクシー利用助成事業 …… 84 在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業 …… 85 鍼灸マッサージ等施術費助成事業 …… 86 独居高齢者見守り推進事業 …… 87 介護慰労金支給事業 …… 88 高齢者運転免許証自主返納支援事業 …… 89 介護タクシー助成事業 …… 90 介護認定審査会事務 …… 348 介護サービス給付費 …… 349 介護予防サービス給付費 …… 350 介護用品支給事業 …… 351 高齢者共同住宅生活支援事業 …… 352 認知症地域支援・ケア向上事業 …… 353 訪問介護相当サービス事業 …… 354 訪問介護基準緩和サービス事業 …… 355 通所介護相当サービス事業 …… 356 総合事業介護予防ケアマネジメント事業 …… 357 ・ 南楽荘 養護老人ホーム南楽荘管理運営事業 …… 78 ・ 環境衛生課 犬猫愛護事業 …… 139 生活環境施設等整備補助事業 …… 140 再生可能エネルギー推進事業 …… 141 新エネルギー等導入促進補助事業 …… 142 下水道事業会計補助金 …… 143 不法投棄解消事業 …… 146 塵芥処理管理事業 …… 147 し尿処理補助事業 …… 148 海岸漂着物等地域対策推進事業 …… 149 ・ 環境衛生センター 御荘霊苑管理運営事業 …… 145 機密書類等回収事業 …… 150 環境衛生センター管理運営事業 …… 151 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道課 上水道事業会計補助金 …… 152 ・ 内海支所 内海支所維持管理事業 …… 27 内海高齢者生活福祉センター管理運営事業 …… 76 須ノ川公園管理事業 …… 226 グリーンパークすのかわ管理運営事業 …… 227 ・ 御荘支所 御荘支所維持管理事業 …… 28 御荘老人福祉センター管理運営事業 …… 74 僧都川河川敷公園維持管理事業 …… 229 花と緑のピクニック公園維持管理事業 …… 230 御荘文化センター管理運営事業 …… 318 ・ 一本松支所 一本松支所維持管理事業 …… 29 旧一本松支所維持管理事業 …… 31 県境夏まつり「一本松」事業 …… 209 温泉事業等特別会計繰出金 …… 214 篠山森林公園管理運営事業 …… 225 一本松地区広場維持管理事業 …… 231 あけぼのリフレッシュゾーン維持管理事業 …… 232 あけぼの荘管理運営事業 …… 360 ・ 西海支所 西海支所維持管理事業 …… 30 西海高齢者生活福祉センター管理運営事業 …… 77 西海保健福祉センター管理運営事業 …… 126 西海地域公衆便所管理事業 …… 144 旅客船特別会計繰出金 …… 213 石垣の里管理運営事業 …… 218 鹿島観光施設運営事業 …… 222 鹿島・高茂岬自然公園維持管理事業 …… 223 西海ふれあい公園維持管理事業 …… 228 旅客船維持管理事業 …… 362 瀬ノ浜施設維持管理事業 …… 363 旅客船修繕事業 …… 364 ・ 学校教育課 教育委員会運営事務 …… 259 外国人英語指導助手設置事業 …… 260 学校 I C T 管理事業 …… 261 学校施設防災機能強化事業 …… 262 南宇和高等学校魅力化推進事業 …… 263 奨学金返済支援事業 …… 264 閉校施設等管理事業 …… 265 学校活動支援事業 …… 266 南宇和高等学校教育振興協議会補助事業 …… 267 心の教育推進事業 …… 268 教員住宅管理運営事業 …… 269 学校保健・体育会支援事業 …… 319
---	---

所属別 目次

<ul style="list-style-type: none"> ・ あいなん幼稚園 あいなん幼稚園管理運営事業 … 274 ・ 学校給食センター 学校給食センター管理運営事業 … 334 ・ 各小・中学校 小学校維持管理事業 … 270 小学校振興事業 … 271 中学校維持管理事業 … 272 中学校振興事業 … 273 ・ 生涯学習課 一本松交流促進センター管理運営事業 … 165 一本松プール管理運営事業 … 166 あけぼのグラウンド管理運営事業 … 167 花づくり推進事業 … 275 女性教育推進事業 … 276 わが里づくり事業補助金事業 … 277 文化協会活動支援事業 … 278 放課後子ども教室事業 … 279 子どもセンター運営事業 … 280 成人式開催事業 … 281 PTA連合会活動支援事業 … 282 中央公民館生涯学習事業 … 293 文化財保護啓発事業 … 315 御荘文化センター図書室運営事業 … 316 御荘文化センター自主開催事業 … 317 スポーツ少年団事業 … 320 スポーツ推進委員事業 … 321 スポーツ協会補助事業 … 322 スポーツ競技大会出場助成事業 … 323 スポーツ大会助成金事業 … 324 中学校社会体育等活動事業 … 325 <small>愛南町いやしの郷トライアスロン大会実行委員会補助事業</small> … 326 内海運動公園管理運営事業 … 327 一本松体育館管理運営事業 … 328 西海体育館管理運営事業 … 329 学校開放施設管理運営事業 … 330 ・ 人権啓発室 県人権対策協議会愛南支部補助事業 … 100 大森文化会館管理運営事業 … 101 人権啓発作品集作成事業 … 283 人権教育協議会補助事業 … 284 ・ 各公民館 菊川農村研修センター管理運営事業 … 164 須ノ川公園まつり事業 … 285 内海公民館生涯学習事業 … 286 平城公民館生涯学習事業 … 287 	<ul style="list-style-type: none"> 城辺公民館生涯学習事業 … 288 東海公民館生涯学習事業 … 289 深浦公民館生涯学習事業 … 290 一本松公民館生涯学習事業 … 291 福浦公民館生涯学習事業 … 292 内海公民館管理運営事業 … 294 家串公民館管理運営事業 … 295 魚神山公民館管理運営事業 … 296 菊川公民館管理運営事業 … 297 平城公民館管理運営事業 … 298 長月公民館管理運営事業 … 299 赤水公民館管理運営事業 … 300 中浦公民館管理運営事業 … 301 城辺公民館管理運営事業 … 302 僧都公民館管理運営事業 … 303 東海公民館管理運営事業 … 304 久良公民館管理運営事業 … 305 緑公民館管理運営事業 … 306 深浦公民館管理運営事業 … 307 一本松公民館管理運営事業 … 308 正木公民館管理運営事業 … 309 上大道公民館管理運営事業 … 310 西海公民館管理運営事業 … 311 福浦公民館管理運営事業 … 312 西浦公民館管理運営事業 … 313 トレッキング・ザ・空海開催事業 … 314 ・ 御荘B&G海洋センター 水泳・エアロビクス教室運営事業 … 331 B & G財団関連事業 … 332 御荘海洋センター管理運営事業 … 333 ・ 防災対策課 家庭の防災力強化補助事業 … 39 民間建築物耐震診断・改修補助事業 … 40 自主防災組織活動支援事業 … 41 防災士養成事業 … 42 災害時用配慮者支援事業 … 43 災害避難場所整備事業 … 44 防災教育推進事業 … 45 防災情報通信設備維持管理事業 … 46 災害時備蓄食糧・物資整備事業 … 47 ・ 消防本部 消防職員教育研修事業 … 251 通信指令システム運用管理事業 … 252 救急救命士等教育訓練事業 … 253 救急業務運用事業 … 254 消防団運営事業 … 255 消防団設備維持管理事業 … 256 消防施設整備事業 … 257 消防団設備整備事業 … 258
--	--

一 般 会 計

1 一般会計に関する報告

(1) 総括

決算収支は、歳入総額 17,950,383 千円、歳出総額 17,764,277 千円で、歳入歳出差引額は 186,106 千円となりました。

ふるさと寄附金事業等 19 事業、総額 643,828 千円を令和 7 年度へ繰越し、繰越事業に充当する一般財源 174,478 千円を控除した実質収支は、前年度比 582,211 千円減の 11,628 千円、財政調整基金への積立額 15,611 千円を考慮した実質単年度収支は、566,600 千円の赤字となりました。

地方債現在高は、前年度比 1,344,537 千円減の 12,666,036 千円、積立金現在高は、前年度比 451,517 千円増の 11,439,514 千円となっています。

(2) 歳入

決算額 17,950,383 千円の内訳は、次のとおりです。

一般会計（歳入）

(単位：千円、%)

	令和 5 年度決算額		令和 6 年度決算額(案)		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 町税	1,827,339	10.5%	1,812,257	10.1%	△ 15,082	△ 0.8
2 地方譲与税	149,693	0.9%	159,588	0.9%	9,895	6.6
3 利子割交付金	1,027	0.0%	1,576	0.0%	549	53.5
4 配当割交付金	10,719	0.1%	15,048	0.1%	4,329	40.4
5 株式等譲渡所得割交付金	12,949	0.1%	22,374	0.1%	9,425	72.8
6 法人事業税交付金	45,537	0.3%	43,891	0.2%	△ 1,646	△ 3.6
7 地方消費税交付金	462,357	2.6%	506,736	2.8%	44,379	9.6
8 自動車税環境性能割交付金	13,931	0.1%	15,277	0.1%	1,346	9.7
9 地方特例交付金	11,308	0.1%	75,138	0.4%	63,830	564.5
10 地方交付税	7,553,323	43.2%	7,490,295	41.7%	△ 63,028	△ 0.8
11 交通安全対策特別交付金	1,402	0.0%	1,349	0.0%	△ 53	△ 3.8
12 分担金及び負担金	110,511	0.6%	93,123	0.5%	△ 17,388	△ 15.7
13 使用料及び手数料	178,764	1.0%	172,594	1.0%	△ 6,170	△ 3.5
14 国庫支出金	1,647,332	9.4%	1,388,546	7.7%	△ 258,786	△ 15.7
15 県支出金	824,416	4.7%	840,265	4.7%	15,849	1.9
16 財産収入	144,776	0.8%	162,341	0.9%	17,565	12.1
17 寄附金	1,754,310	10.0%	2,756,580	15.4%	1,002,270	57.1
18 繰入金	841,215	4.8%	682,025	3.8%	△ 159,190	△ 18.9
19 繰越金	799,902	4.6%	651,137	3.6%	△ 148,765	△ 18.6
20 諸収入	246,763	1.4%	287,269	1.6%	40,506	16.4
21 町債	845,605	4.8%	772,974	4.3%	△ 72,631	△ 8.6
計	17,483,179	100.0%	17,950,383	100.0%	467,204	2.7

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

(3) 歳 出

決算額 17,764,277 千円の目的別及び性質別の内訳は、次のとおりです。

歳出（目的別）

(単位：千円、%)

	令和5年度決算額		令和6年度決算額(案)		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 議会費	87,726	0.5%	84,263	0.5%	△ 3,463	△ 3.9
2 総務費	3,946,859	23.4%	4,815,233	27.1%	868,374	22.0
3 民生費	4,018,993	23.9%	4,105,747	23.1%	86,754	2.2
4 衛生費	1,397,187	8.3%	1,517,589	8.5%	120,402	8.6
6 農林水産業費	1,132,850	6.7%	985,165	5.5%	△ 147,685	△ 13.0
7 商工費	451,221	2.7%	374,856	2.1%	△ 76,365	△ 16.9
8 土木費	815,081	4.8%	789,909	4.4%	△ 25,172	△ 3.1
9 消防費	577,836	3.4%	527,205	3.0%	△ 50,631	△ 8.8
10 教育費	1,370,311	8.1%	1,231,782	6.9%	△ 138,529	△ 10.1
11 災害復旧費	668	0.0%	35,424	0.2%	34,756	5203.0
12 公債費	2,367,389	14.1%	2,166,202	12.2%	△ 201,187	△ 8.5
13 諸支出金	665,921	4.0%	1,130,902	6.4%	464,981	69.8
計	16,832,042	100.0%	17,764,277	100.0%	932,235	5.5

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

歳出（性質別）

(単位：千円、%)

	令和5年度決算額		令和6年度決算額(案)		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 人件費	3,404,117	20.2%	3,756,491	21.1%	352,374	10.4
2 物件費	2,925,618	17.4%	3,065,421	17.3%	139,803	4.8
3 維持補修費	83,105	0.5%	57,483	0.3%	△ 25,622	△ 30.8
4 扶助費	1,866,755	11.1%	1,570,495	8.8%	△ 296,260	△ 15.9
5 補助費等	2,295,498	13.6%	2,810,471	15.8%	514,973	22.4
6 公債費	2,367,389	14.1%	2,166,202	12.2%	△ 201,187	△ 8.5
7 積立金	665,921	4.0%	1,130,899	6.4%	464,978	69.8
8 投資及び出資金	70,237	0.4%	165,357	0.9%	95,120	135.4
9 貸付金	502	0.0%	100	0.0%	△ 402	△ 80.1
10 繰出金	1,555,395	9.2%	1,368,187	7.7%	△ 187,208	△ 12.0
11 普通建設事業費	1,596,837	9.5%	1,637,747	9.2%	40,910	2.6
12 災害復旧事業費	668	0.0%	35,424	0.2%	34,756	5203.0
計	16,832,042	100.0%	17,764,277	100.0%	932,235	5.5

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

主要な施策の成果については、次のとおりです。

議会運営事業

議会事務局 議会事務局

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	01 議会費	決算書 ページ	69
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 議会費		
基本 事業	01 成果重視の行政経営の推進	目	01 議会費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

愛南町議会では、議会への関心を高めると共に町民の皆様の声を議会活動に反映させていくことを目的に「議会報告会・意見交換会」を車座会議方式で実施しました。令和6年度は初の試みとして、託児を行いより参加しやすい体制を整え、12団体25人の参加をいただきました。意見交換会で出された意見をもとに、議会として各関係省庁へ意見書を提出し、執行部へも情報提供を行いました。また、令和5年度から発行準備を行ってきた「あいなん議会だより」の創刊号を令和7年3月に発行しました。

【実績】
定例会、臨時会、各委員会等を延べ80日開催しました。
定例会10日、臨時会2日、議員全員協議会19日、議会運営委員会12日、総務文教委員会7日、産業厚生委員会6日、特別委員会8日、議員派遣13日、委員派遣3日

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 定例会、臨時会、各常任委員会等の活動日数(日)	73	86	80	
	活動				
	成果 議会運営・委員会運営に支障をきたす事務トラブル件数(件)	0	0	1	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	20,665	20,387	18,855
	カ 事業費(ア～オ合計)	20,665	20,387	18,855	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)3月定例会最終日に大きな雑音が入り、本会議を中断し、マイクを交換する事務トラブルが発生しました。 (原因)マイクの交換後も小さな雑音が入り、業者に動作確認を依頼しましたが原因は特定できませんでした。機器の充電不足等の会議の中断には至らない小さなトラブルが多くなっています。現在の機器は、平成28年度の庁舎建設時に導入され、8年が経過しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)本会議前の音響テスト、毎週機器点検等を行い、使用手順や操作を正確に行うことで機器トラブルの回避に努めています。成果向上余地は少ないと考えられます。

地域振興費交付事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	71
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	01 一般管理費		

手段 (R06年度の取り組み)
<p>地域づくりの主体となる行政区の活動の活性化と自立性の確保を支援することにより地域住民の連帯感の醸成並びに住み良い地域社会の実現を図り、町と地域との協働を推進するため、行政区ごとに、加入世帯数に6,000円を乗じた金額を交付しました。</p> <p>【実績】 ・内海地域：2,976千円 / 御荘地域：13,188千円 / 城辺地域：13,776千円 / 一本松地域：5,676千円 / 西海地域：4,866千円 / 合計：40,482千円</p>

特定財源情報
市町振興協会交付金 13,664千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 交付行政区数 (区)	126	126	126	
	活動 地域振興費交付額 (円)	41,787,002	41,151,414	40,482,309	
	成果 返還行政区割合 (%)	2.38	6.30	1.59	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	13,664
		オ 一般	41,787	41,151	26,818
		カ 事業費 (ア～オ合計)	41,787	41,151	40,482

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 令和6年度に地域振興費の一部を返還した行政区の割合は1.59%であり、令和5年度と比較して4.71ポイント減少しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた地区行事が徐々に再開されたことにより、ほとんどの行政区の事業額が地域振興費の交付額を上回ったことが大きな要因であると考えます。</p> <p>(余地) 現状の手段が最適と考えます。</p>
--------	--	---

行政一般庶務事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	71
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 一般管理費		

手段 (R06年度の取り組み)	
町政を推進するために必要な庶務事務用品、諸手数料及び使用料等を執行しました。	
【実績】	
・報酬	35千円
・旅費	1,089千円
・交際費	332千円
・需用費	8,781千円
・役務費	25,614千円
・委託料	7,524千円
・使用料及び賃借料	3,429千円
・備品購入費	10,012千円
・負担金	16千円
・賠償金	100千円

特定財源情報	
・デジタル田園都市国家構想交付金	4,590千円
・令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	1,595千円
・令和6年度えひめ人口減少対策総合交付金	797千円
・自衛官募集事務委託金	26千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動				
	活動				
	成果				
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	676	0	6,185
		イ 県	17	19	823
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	42,901	39,397	49,924
		カ 事業費(ア~オ合計)	43,594	39,416	56,932

成果 実績 評価	成果状況	(状況) デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)を活用して申請書作成支援システム9台を購入し、令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)及び令和6年度えひめ人口減少対策総合交付金を活用してデジタルコミュニティ利活用推進支援事業(町の情報発信サイトの開設)を実施し、DX事業の推進を図りました。 (原因) 担当課の要望に応じ、DX推進事業の一環としてシステムを導入しました。 (余地) 今後も各所属の要望をきき、交付金を活用してDXの推進に取り組みます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

職員福利厚生事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	73
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 一般管理費		

手段 (R06年度の取り組み)
<p>職員の健康保持・増進及び生活福祉の向上を図り、安心して業務に取り組むことが出来るよう、職員の健康管理や職場の労働安全に関する業務及び勤務能率の発揮・増進のために職場(内・外)研修に取り組み、職員の福利厚生の向上に努めました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員健診(ミニドック)の実施 6,666千円 ・職員研修(ハラスメント等)の実施 80千円 ・職員研修の旅費、出向職員の帰庁旅費等の支給 1,803千円 ・その他(弔慰金保険料支払、職員採用試験負担金、出向職員住宅借上料等)5,870千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・市町村職員共済組合補助金(がん検診補助等) 625千円 ・市町村職員中央研修所受講者助成金 48千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 研修事業等メニュー実施数(種)	8	10	8	
	活動				
	成果 研修事業等受講延べ人数(人)	621	512	258	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	854	868	673
		オ 一般	11,511	14,525	13,746
	カ 事業費(ア~オ合計)	12,365	15,393	14,419	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)職員の健康保持・増進を目的とした職員健診を4日間に分けて実施し、今年度の健診受診率は100%でした。また、業務に関する知識の増進と業務能率の向上を目的とした各種研修に、年間を通して多数の職員に参加してもらうことができませんでしたが、研修事業の一部を実施することができませんでした。</p> <p>(原因)健康保持・増進の重要性や、研修を受講することによるメリットなどを説明して、受診や受講を呼びかけることができました。研修事業は他業務との調整により一部実施が出来ませんでした。</p> <p>(余地)健診等は引き続き、積極的に呼びかけを行います。研修事業は必要性を見極め、効果のあるものを実施できるよう計画します。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

広報あいなん事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 広報の充実	目	02 文書広報費		

手段 (R06年度の取り組み)
<p>毎月1回、広報紙を発行(10,000冊、規格等:A4版、右綴じ・ステープラー2か所中綴じ、2穴、全頁4色フルカラー、頁数:32頁×12回)し、町内全世帯(地区加入世帯)、町内外関係機関等へ配布しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 34千円 ・印刷製本費 4,765千円 ・著作権使用料 129千円 ・負担金 15千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 広報紙発行部数(冊)	124,800	122,400	120,000	
	活動				
	成果 広報紙配布率(%)	88.0	88.3	88.70	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,947	4,690	4,943
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,947	4,690	4,943

成果 実績 評価	成果状況	(状況)町内全世帯(地区加入世帯)及び事業所等を含めた配布部数は、ほぼ横ばいとなっています。 (原因)世帯数は減少していますが、町の出来事を多く取り上げるなど、共感を得られる紙面づくりを心掛けたことで、地区加入世帯以外の方にも手に取っていただくことにより配布部数が横ばいになったと思われます。 (余地)掲載情報を整理して、読みやすい、伝わりやすい紙面づくりを行うことで、町の魅力や行事の周知することにより、配布数の向上が図れます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

ホームページ運用管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 広報の充実	目	02 文書広報費		

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町公式ホームページ運用ガイドラインに基づき、アクセシビリティに配慮された魅力あるページが作成されるよう、情報発信（ページ作成）を行う各所属への支援や、ホームページ全体の運用管理を行いました。また、情報セキュリティの確保に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や身体に障がいや不自由のある方でも容易に情報を入手できるホームページとなるよう適切な運用管理を行いました。 ・町民をはじめ、本町の情報を得ようとする方に対して周知すべき情報をホームページから積極的に発信するよう促しました。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 914千円 ・使用料 467千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 ホームページの新規情報発信件数 (件)	366	359	369	
	活動				
	成果 ホームページのアクセス件数 (年間) (件)	624,671	656,988	715,884	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,381	1,872	1,381
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,381	1,872	1,381	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) サイトへのアクセス数は前年度より8.9%増と向上しました。 (原因) 前年度に引き続き庁内各課にホームページでの情報発信を呼びかけることで、これまで掲載していなかった情報を発信するようになりました。 (余地) 新規情報等をより多く発信することで、サイトへのアクセス数を増加させることが期待できます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

入札執行管理事務

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 成果重視の行政経営の推進	目	03 財政管理費		

手段 (R06年度の取り組み)
町が発注する建設工事等(130万円を超える工事、80万円を超える物品、50万円を超える業務委託等)の適正な入札を執行しました。 【実績】 ・工事：94件 ・物品：49件 ・業務委託等：164件

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 入札執行件数 (件)	221	199	307	
	活動				
	成果 談合等、不適切な入札件数の発生割合 (%)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,112	3,111	3,343
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,112	3,111	3,343	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 談合等の不適切な入札は発生しておらず、適正に執行しています。 (原因) 独占禁止法及び官製談合防止法等の法令や、愛南町建設工事等入札参加資格停止措置要綱等により、談合等の不正行為に対しては厳しい措置が取られており、このことが不正行為の抑止に繋がっていると考えられます。 (余地) 今後もこの状態を維持できるよう、より良い制度づくりに取り組みます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

町有管理地活用管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	77
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	05 財産管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・公有財産（普通財産）について、近隣に迷惑がかからないように、随時、対象の土地を巡回し必要に応じ草刈り等を行い維持管理しました。 ・借受者が使用できるように、保守業者による施設設備の点検等を実施しました。 ・借受者が使用できるように、随時、施設の修繕等を実施しました。 	
【実績】	
・消耗品費	15千円
・燃料費	2千円
・光熱水費	951千円
・修繕料	468千円
・手数料	370千円
・委託料	1,791千円
・工事請負費	728千円

特定財源情報	
城辺商工会貸付共益費 653千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 施設の修繕件数 (件)	16	15	7	
	活動 保守点検、検査実施回数 (回)	4	4	4	
	成果 修繕が必要な個所が原因で施設利用に支障が発生した件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,758	24,580	653
		オ 一般	6,847	9,644	3,672
	カ 事業費 (ア～オ合計)	9,605	34,224	4,325	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は前年度と比較して8件減少しており、施設利用に支障はなく、順調に利用できています。 (原因) 老朽化施設の施設環境を整備したことが要因と考えます。 (余地) 今後も経年劣化等による修繕が予想されるため余地は小さいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

結婚活動支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	79
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 総務管理費		
基本事業	05 家族形成意識醸成の支援	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>独身男女へ出会いの場を提供しました。</p> <p>【実績】</p> <p>1 婚活イベント：1回 参加者15名 委託料 900千円 2 愛結び：12回 3月時点町内会員数8名 委託料263千円 3 新婚旅行支援事業補助金：申請者なし 4 宇和島圏域出会いの場創出事業（婚活イベント）：2回 負担金 100千円 開催場所 1回目 鬼北町（参加者21名）、2回目 宇和島市（参加者24名） 5 その他：消耗品費 44千円</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 町主催の婚活イベント開催数 (回)	1	1	1	
	活動				
	成果 婚活イベントでのカップル成立数 (組)	4	2	6	
	成果 婚活イベントの参加者数 (人)	15	10	15	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,484	1,704	1,307
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,484	1,704	1,307	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 町主催の婚活イベントを1回開催し、男性7名・女性8名が参加、6組のカップルが成立しました。定員を超える応募があり、参加者数・カップル成立数ともに前年度を上回りました。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因) 男性の募集対象を町内在住者限定から宇和島圏域（町内在住者を優先）へ拡大し、年齢条件を絞ったことで、参加者の確保につながりました。これらの点が、成果向上の一因と考えられます。 (余地) 引き続き、愛結びを含む結婚活動支援の周知を図るとともに、参加しやすいイベント内容の工夫を行うことで、参加者の確保につなげたいと考えます。

結婚新生活支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	79
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 家族形成意識醸成の支援	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
対象者に対し、婚姻に伴う費用の補助を行いました。	
【実績】	
夫婦ともに29歳以下かつ世帯所得500万円未満の世帯に対する住宅関連補助 21人 7,668千円	
夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得500万円未満の世帯に対する住宅関連補助 4人 1,044千円	
夫婦ともに29歳以下かつ世帯所得500万円以上660万円未満に対する住宅関連補助 申請者なし	
夫婦ともに29歳以下かつ世帯所得660万円未満の世帯に対する家電購入費補助 15人 2,332千円	
は と重複申請可(実交付人数28人)	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域少子化対策重点推進事業費補助金 4,530千円 ・えひめ人口減少対策補助金 2,124千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金交付人数(件)	7	19	28	
	活動				
	成果 交付見込人数に対する補助金交付率(%)	140	380	560	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	668	0	0
		イ 県	1,335	5,924	6,654
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	3,343	2,473
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,003	9,267	9,127

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 補助金交付人数は28人で前年度より9人増加し、交付率は100%を超えました。 (原因) えひめ人口減少対策総合交付金を活用した、補助対象要件・補助対象経費の拡充により、交付見込みを精査することが困難であったとはいえ、その制度拡充要件を広く周知できたことが交付率向上の原因と考えます。 (余地) 交付見込数の精査に努めることで、交付率は下がる見込みですが、引き続き制度の周知に努めることで、今後も高い交付率が見込まれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ふるさと寄附金事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	79
施策	04 観光 物産の振興	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>ふるさと納税の申込み受付事務を行い、年間5千円以上のふるさと寄附金をいただいた方へ、お礼の品として愛南町の特産品を贈呈し、愛南町の魅力をPRしました。なお、寄附金は「ふるさとづくり基金」に積立て、寄附者が指定した用途の事業に充当しました。</p> <p>【歳入実績】 R03年度 90,251件 692,500,700円 R04年度 128,868件 984,978,066円 R05年度 206,554件 1,721,602,391円 R06年度 244,214件 2,671,054,521円</p>	

特定財源情報	
ふるさと納税寄附金 1,584,212千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	お礼の特産品数 (品)	1,006	1,200
成果	成果	寄附金額 (千円)	984,978	1,721,602	2,671,054
成果	成果	寄附件数 (件)	128,868	206,554	244,214
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	598,264	1,121,535	1,584,212
		オ 一般	0	5	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	598,264	1,121,540	1,584,212

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 寄附実績は、前年度と比べ約949,452千円(前年比約1.55倍)増加しました。</p> <p>(原因) 返礼品の増加や積極的なPRに加え、市場の拡大及び実績の積み重ねに伴う愛南町への流入増によるものと考えられます。</p> <p>(余地) 地場産品返礼品の発掘に加え、体験型返礼品や既存返礼品のセット販売といった新規返礼品の開発や、リピーター確保のための方策、効果的なPR手法を行うことで寄附実績の向上を図ります。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

地域支援事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>「地域協力活動」を行いながら、町への定住を図るため、地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、新たに1名（R7年度4月より活動）の隊員を採用しました。 【令和6年度の隊員】 ・農業振興（2名）、水産振興（1名）、雇用対策（1名）、教育振興（4名）、スポーツ振興（1名）</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 地域おこし協力隊員数（人）	7	9	9	
	活動				
	成果 地域おこし協力隊員定住人数（累計）（人）	2	3	3	
	成果 地域おこし協力隊員起業件数（累計）（件）	1	1	2	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,965	10,988	13,201
	カ 事業費（ア～オ合計）	6,965	10,988	13,201	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>（状況）今年度は、活動指標になっている協力隊員数は、昨年度と同様に9名と なっています。 （余地）地域おこし協力隊員が取り組む地域資源を活かした活動等が円滑に行えるよ う、町及び受入地域や関係団体が継続的なサポート体制を充実することで 起業・定住に繋がると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

大学生等生活応援ふるさと小包事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	83
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	06 企画費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことを契機として、令和4年度から実施した支援事業を、引き続き物価高騰対策の支援として実施しました。</p> <p>【実績】 年2回の発送を行いました。 第1便 250件 第2便 254件</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 ふるさと小包発送件数 (件)	235	246	252	
	活動				
	成果				
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,300	410	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1	2,536	3,024
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,301	2,946	3,024	

成果 実績 評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響や、物価が高騰している中で、学生生活を送る学生等に対して、地元商品を届けることで生活支援やリフレッシュの一助となるよう応援しました。</p>
----------------	--	--

行政評価推進事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	83
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 成果重視の行政経営の推進	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>1 内部評価 (1) 事務事業評価 目的妥当性、有効性、効率性の観点から事務事業を評価し、PDCAサイクルによる事業展開を図りました。</p> <p>(2) 施策・基本事業評価 まちづくり住民アンケート並びに課独自アンケート及び業務取得した数値等を分析し、総合計画に掲げられた達成度を測る指標により施策・基本事業を評価しました。その評価結果を「まちづくり報告書/愛南町総合計画の進行管理」として公表しました。</p> <p>2 外部評価 評価依頼をした事務事業について、行政評価委員会が担当課へのヒアリング等を行い、客観的な検証を行いました。</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 内部評価実施の有無 (有1/無0)	1	1	1	
	活動 外部評価実施の有無 (有1/無0)	1	1	1	
	成果 事務事業の成果向上割合 (%)	20.9	20.1	19.4	
	成果 事務事業の見直し割合 (%)	13.5	10.7	12.3	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,093	4,019	4,888
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,093	4,019	4,888

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 第3次総合計画の3年目の成果指標です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) PDCAサイクルによる事業評価を確実に実行することにより、成果は向上すると考えます。

移住促進事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	83
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	06 シティプロモーションと移住定住の促進	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>移住定住促進を図るため、次の事務を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談対応 ・空き家情報バンク制度の運用 ・住宅改修支援事業補助金 ・お試し体験住宅の運営(一本松住宅及び体験住宅あかみず棟) ・大都市圏(東京・大阪)での移住フェア参加

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・移住者住宅改修支援事業補助金 3,336千円 ・建物貸付収入 279千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	移住相談件数(件)	74	112	149
	活動	移住者住宅改修の件数(件)	0	1	5
	成果	移住世帯数(世帯)	55	62	61
	成果	移住者数(人)	71	81	75
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	3,769	1,000	3,336
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	60	323	279
		オ 一般	6,204	4,798	6,890
		カ 事業費(ア~オ合計)	10,033	6,121	10,505

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度と比較すると、移住相談件数は37件増加し、移住世帯数は1世帯、移住者数は6人減少しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因)相談件数が増加したことについては、大都市圏で開催される移住フェアでの近隣市町との連携事業を開始したことが要因の一つだと思われます。 (余地)SNS等を利用した更なる広報や移住定住業務への地域おこし協力隊の採用などにより、移住者を増やすことは可能と考えます。

内海支所維持管理事業

内海支所 内海支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	85
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

庁舎内の各機器（消防設備、空調、エレベーター設備等）について、専門性を有する業者に保守点検業務を委託するとともに、施設機器等の修繕が必要になった場合は早急に修繕を行い、良好な環境を保ちました。

【実績】

光熱水費、各種保守点検委託料及び維持補修工事費等36,973千円を実施しました。

(主な事業)

- ・支所エレベーターリニューアル工事 18,700千円
- ・支所高圧コンデンサ取替工事 583千円

特定財源情報

- ・自動販売機設置使用料 18千円
- ・えひめ南農協内海支所電気料 128千円
- ・自動販売機電気料等 59千円
- ・愛媛CATV電気料 90千円
- ・国交省津島監督官詰所電気料 42千円
- ・公共施設マネジメント基金繰入金 18,700千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	12	16
成果	成果	内海支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	175	197	19,037
		オ 一般	13,625	18,205	17,936
		カ 事業費 (ア～オ合計)	13,800	18,402	36,973

成果 実績 評価	成果状況	(状況)内海支所は、内海公民館との合同庁舎となっており、施設内にはエントランスホール・児童コーナー・研修室・多目的ホール等あり、コミュニティーの場としても住民に広く活用されています。そのため、職員や利用者が安全に利用できるよう適切に維持管理していますが、施設の老朽化に伴う修繕が多くなっています。 (原因)経年劣化によるものと考えます。(平成6年5月竣工) (余地)良好な状態を維持するため、不具合が生じる前に適切な時期に必要な修繕を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大 中 小 なし	

御荘支所維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	87
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>支所事務所及び関連周辺建物等の維持管理及び修繕を行いました。 施設の維持管理に伴う光熱水費の支出のほか、公用車及び事務機械類の管理を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 526千円 ・役務費 464千円 ・使用料及び賃借料（コピー機、電話機リース料） 292千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	0	1	0	
	活動				
	成果 御荘支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,624	1,558	1,282
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,624	1,558	1,282	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 基本的な事業として、御荘支所の維持管理を継続して行っています。問題の発生に対しては随時対応しています。</p> <p>(原因) 住民サービスの質確保のため、現状を維持していく必要があります。</p> <p>(余地) 現状を維持していくことが主であるため、成果の向上の余地はありません。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松支所維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	87
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>施設の適正な維持管理に努めながら、施設機能の維持を行いました。 ・清掃、消防設備保守、植木管理、警備業務等の委託を実施。</p>

特定財源情報
自動販売機設置使用料 31千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	7	10	5	
	活動				
	成果 一本松支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	134	34	31
		オ 一般	12,578	6,501	4,352
		カ 事業費 (ア～オ合計)	12,712	6,535	4,383

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 大規模な修繕もなく、順調です。 (原因) 施設の適正管理によるものです。 (余地) 今後、支所庁舎のあり方について、各種の検討が必要な状況となっています。</p>
--------	--	---

西海支所維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>庁舎の維持管理のため、各種点検及び修繕工事等を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、光熱水費、各種点検業務及び大規模改修工事等、合計46,579千円を支出しました。

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機設置使用料 18千円 ・雑入 3,027千円 (西海郵便局電気料 302千円、南予水産研究センター光熱水費等 2,622千円、愛媛CATV電気料 75千円、自動販売機電気料 28千円) ・脱炭素化推進事業債 26,500千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	9	14	9	
	活動				
	成果 西海支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	26,500
		エ その他	2,751	2,871	3,045
		オ 一般	12,189	16,125	17,034
		カ 事業費 (ア～オ合計)	14,940	18,996	46,579

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し修繕が5件減となったものの、事業費は27,583千円増加しました。 (原因) 大規模改修工事を実施したことが主な要因と考えます。 (余地) 施設を良好な状態で保つため、適切な時期の修繕が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

旧一本松支所維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>旧支所庁舎に残る設備等の適正な維持管理に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気保安、消防設備保守、非常用発電機保守業務等の委託を実施。

特定財源情報
町有建物貸付収入 134千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)		0	0	
	活動				
	成果 旧一本松支所の維持管理上、周辺環境に支障をきたした件数 (件)		0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	134	134
		オ 一般	0	1,567	1,553
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	1,701	1,687

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 修繕等もなく、順調です。</p> <p>(原因) 施設の維持管理によるものです。</p> <p>(余地) 今後、取壊しの検討が必要な状況となっています。</p>
--------	--	--

交通安全対策事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
町交通安全指導員等による交通安全指導(497回)、自転車ヘルメット着用の推進(補助金：33件)、交通災害共済事業(加入者：2,202人)を実施しました。	
【実績】	
・事業謝礼	543千円
・実費弁償	35千円
・消耗品費	440千円
・印刷製本費	102千円
・電気料	38千円
・手数料	2千円
・自転車ヘルメット購入費補助金	92千円

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 交通安全街頭指導実施回数(回)	646	584	497	
	活動 交通災害加入者数(人)	2,538	2,352	2,202	
	成果 交通安全指導事業参加者数(人)	20	17	17	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,442	1,483	1,252
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,442	1,483	1,252

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和6年の町内の交通人身事故の発生件数は9件で、前年から2件増加しています。また、高齢者による交通事故の発生件数は、全体の半数以上を占め、依然として高い割合になっています。 (原因)高齢者ドライバーの増加、また、事故原因が前方不注視や対向はみ出しが多いことから交通安全意識低下が原因と考えられます。 (余地)対象を明確にし、継続した交通安全意識の啓発が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

交通安全推進協議会補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町交通安全推進協議会が実施する春、秋、年末の交通安全啓発活動に対し、補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 900千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (千円)	900	900	900	
	活動				
	成果 交通安全推進協議会事業参加者数 (人)	18	24	7	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	900	900	900
		カ 事業費 (ア～オ合計)	900	900	900

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和6年の町内の交通人身事故の発生件数は9件で、前年から2件増加しています。また、高齢者による交通事故の発生件数は、全体の半数以上を占め、依然として高い割合になっています。</p> <p>(原因) 高齢者ドライバーの増加、また、事故原因が前方不注視や対向はみ出しが多いことから交通安全意識低下が原因と考えられます。</p> <p>(余地) 対象を明確にし、継続した交通安全意識の啓発が必要です。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

南宇和交通安全協会補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>南宇和交通安全協会が実施する春、秋、年末をはじめ、交通死亡事故緊急事態宣言発令時等における交通事故防止を目的とした啓発活動、運転免許証自主返納に係る運転経歴証明書等の交付申請事務手数料等に対し補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 6,030千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (千円)	4,440	6,030	6,030	
	活動				
	成果 南宇和交通安全協会実施事業参加者数 (人)	97	137	111	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,440	6,030	6,030
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,440	6,030	6,030

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和6年の町内の交通人身事故の発生件数は9件で、前年から2件増加しています。また、高齢者による交通事故の発生件数は、全体の半数以上を占め、依然として高い割合になっています。</p> <p>(原因) 高齢者ドライバーの増加、また、事故原因が前方不注視や対向はみ出しが多いことから交通安全意識低下が原因と考えられます。</p> <p>(余地) 対象を明確にし、継続した交通安全意識の啓発が必要です。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

カーブミラー等整備事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 交通安全施設の整備	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>地区要望や一斉点検等により、見通しの悪い交差点や屈曲部へのカーブミラーの新設、老朽化や災害等により破損したカーブミラーの改修を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理手数料 28千円 ・施設整備工事費 6,749千円 ・交通安全材料費 216千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 整備数 (新設) (基)	27	11	10	
	活動				
	成果 交通安全施設の整備 改修箇所数 (総計開始時からの累計) (箇所)	317	353	418	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,536	2,099	6,993
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,536	2,099	6,993	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 経年劣化や災害による建替え等が増加してきています。 (原因) 設置からかなりの年数が経ち、ミラー部や支柱の腐食が進んだものと考えられます。 (余地) 破損する前に緊急性のあるものや需要の高いものから建替え等を行う必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

交通安全施設整備事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 交通安全施設の整備	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
町道等の安全・安心かつ円滑な交通確保のため維持管理及び修繕を行いました。	
【実績】 ・令和6年度 工事8件 4,853千円	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 交通安全施設設置数(単年度)(件)	9	11	8	
	活動		0		
	成果 交通安全施設設置数(総計開始時からの累計)(件)	71	82	90	
	成果 交通安全施設維持管理不具合が原因の交通事故件数(損害賠償件数)(件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,847	6,790	4,853
	カ 事業費(ア~オ合計)	4,847	6,790	4,853	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 地区要望等により通行に危険のある箇所を把握し、計画的に工事を行っているため現状を維持しています。 (原因) 経年劣化によるものと考えられます。 (余地) 関係各課及び地域と連携することで、通行に危険のある箇所が把握でき、必要に応じ新たに交通安全対策を講ずることができると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防犯灯設置等補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	03 防犯対策の推進	目	09 防犯対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>地区が行う防犯灯の設置及び修繕事業に対し、費用の3分の2以内(上限額5万円)で46地区に対して130件の補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯施設設置補助金 3,274千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 3,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助件数 (件)	193	190	130	
	活動 補助金額 (円)	4,501,900	4,463,300	3,274,300	
	成果 地区が設置した防犯灯設置基数 (累計) (件)	1,683	1,873	2,003	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	4,000	3,000
		オ 一般	4,502	463	274
	カ 事業費 (ア～オ合計)	4,502	4,463	3,274	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は近年増加傾向にありましたが、令和6年度は前年度と比較して60件減少しました。 (原因) 近年の修繕実施により、経年劣化した防犯灯が減少したものと推察されます。 (余地) LED照明への更新により、長寿命化と電気代の節減が図れます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防犯関係団体各種補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	03 防犯対策の推進	目	09 防犯対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南地区防犯協会、愛南警察署駐在所連絡協議会が実施する住民と一体となった防犯活動に対し、補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛南地区防犯協会補助金 5,000千円 ・愛南警察署駐在所連絡協議会補助金 350千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	5,350,000	5,350,000	5,350,000	
	活動				
	成果 防犯関係団体の実施事業数 (件)	2	2	2	
	成果 防犯カメラの設置数 (台)	5	1	1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,350	5,350	5,350
	カ 事業費 (ア～オ合計)	5,350	5,350	5,350	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年の町内の刑法犯は、認知件数・検挙人員・検挙件数ともに前年から大幅に増加しています。 (原因) 近年の物価高騰が一因ではないかと考えられます。 (余地) 現状の活動が適切です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

家庭の防災力強化補助事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 家庭の防災力の向上	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>緊急避難時持出用品セットを購入した方へ、1人1回限りで購入金額の2分の1かつ上限5,000円の補助を行いました。</p> <p>家具等の転倒を防止するための器具及び感震ブレーカーを購入された世帯に対して、単年度1世帯1回限りで補助対象経費以内で上限15,000円の補助を行いました。</p> <p>防災用品を購入した方へ、単年度1回に限りで購入金額の2分の1かつ上限10,000円の補助を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難時持出用品：76件 346千円 ・家具転倒防止用品：74件 792千円 ・防災用品：115件 835千円

特定財源情報
(県) 家具等固定加速化支援補助金 122千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額(持出用品セット)(千円)	197	197	346	
	活動 補助金額(家具転倒防止)(千円)	222	246	792	
	成果 補助により緊急避難時持出用品を整備した世帯数(補助開始からの累計)(件)	616	657	733	
	成果 補助により家具転倒防止器具を整備した世帯数(件)	24	52	126	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	122
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	391	730	1,851
	カ 事業費(ア～オ合計)	391	730	1,973	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 補助事業利用件数は、緊急避難時持出用品が76件、家具転倒防止用品が74件、防災用品が115件と大きく増加しています。 (原因) 昨今の頻発する地震に対する警戒及び補助制度拡充の成果と思われます。 (余地) 継続的な啓発活動が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

民間建築物耐震診断 改修補助事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災 減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 家庭の防災力の向上	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

住宅の所有者が建築士に依頼し耐震診断を行う補助方式、または町が業務委託を行う愛媛県建築士会から派遣された建築士が耐震診断を行う派遣方式により実施しました。

- ・耐震診断：（派遣）診断費用の全額（補助）耐震診断費用の3分の2かつ上限2万円
- ・耐震改修設計：補助対象経費以内の額で上限30万円（段階的耐震改修設計も同様）
- ・耐震改修工事：補助対象経費以内の額で上限130万円、監理費：上限4万円 など
- ・ブロック塀改修工事：補助対象経費の3分の2以内の額で上限30万円

【実績】

- ・耐震診断（派遣）：20件 1,196千円
- ・耐震改修設計：10件 2,960千円
- ・耐震改修工事：3件 4,100千円
- ・耐震改修工事監理：3件 120千円
- ・ブロック塀：9件 1,959千円

特定財源情報

- ・（国）住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金 3,076千円
- ・（県）木造住宅耐震化促進事業費補助金 2,479千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 啓発人数(戸別訪問件数 + 講座受講人数)(単年度) (人)	150	545	602	
	活動				
	成果 補助により耐震化された民間建築物数(累計) (戸)	16	18	21	
	成果 耐震診断申請件数(単年度) (件)	11	11	20	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,228	4,044	3,076
		イ 県	1,094	1,995	2,479
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,515	4,211	4,780
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,837	10,250	10,335

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)耐震診断の申請件数は20件、改修設計を10件、改修工事を3件行いました。また、ブロック塀安全対策事業を9件行いました。</p> <p>(原因)伊予灘地震の影響により、耐震診断の申請件数及び設計の申請件数が大幅に増加しました。来年度以降も改修設計、工事の申請件数が増加すると見込まれます。ブロック塀改修の申請件数は前年より減少したため、再度制度周知を行う必要があります。</p> <p>(余地)制度周知により、申請件数の増加につながると思われます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

自主防災組織活動支援事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 地域の防災力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

自主防災組織の育成、防災訓練の指導や防災活動のために各種防災資機材を整備しました。

- ・自主防災リーダー育成研修会等へ参加しました。
- ・各種訓練（地震津波避難・救護・消火・避難所運営）と防災講習会等を実施しました。
- ・防災資機材格納庫の整備は、地区からの要望により補正予算で対応しました。

【実績】

- ・自主防災組織活性化補助金 8件 773千円
- ・自主防災組織を対象とした「ぼうさい出前講座」の実施 71回
- ・防災資機材格納庫整備数 1件 477千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 防災訓練の実施回数 (回)	38	61	71	
	活動 防災資機材格納庫の設置数 (基)	1	1	1	
	成果 自主防災組織活動への参加者数 (人)	1,591	1,856	2,658	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	4,775	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,461	7,568	1,352
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,461	12,343	1,352	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和5年度に比べ、訓練実施回数は10回増えています。 (原因) 防災意識の高まりにより、活動を行う自主防災会が増えてきたことによるものです。 (余地) 全ての自主防災会での訓練等の活動ができていないため、今後も活発な自主防災会と連携し、自主防災組織同士の横のつながりを強化することで、成果が向上し地域の防災力が強化されます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防災士養成事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 地域の防災力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>防災士養成講座を受講の開催に当たり、自主防災組織等から推薦された受講者に対し、旅費、教本代、手数料を支出しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士新規登録者 36名 ・防災士数累計 328人(うち女性87人、女性割合26.52%) ・防災士が在籍する自主防災組織 76組織(割合88.37%)

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 800千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 防災士養成人数(人)	30	15	36	
	活動				
	成果 防災士のいない自主防災組織数(団体)	10	11	10	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	200	0	800
		オ 一般	322	267	44
		カ 事業費(ア～オ合計)	522	267	844

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)令和6年度は、36人が防災士の資格を取得し、町内防災士の数は328人となり、防災士のいない自主防災組織数は令和5年度11組織に対し、10組織となりました。</p> <p>(原因)防災士の新規登録者増加によるものです。</p> <p>(余地)今後も防災士のいない自主防災組織に受講者の推薦をしていただき防災士を増やしていく必要があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

災害時要配慮者支援事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 地域の防災力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>避難行動要支援者名簿を整備し、個別避難計画を作成することで災害時における避難支援の備えを進めました。また、避難行動要支援者支援システムの保守管理とデータ更新を業務委託により実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者台帳の登録者の確認を行うために、避難行動要支援者名簿対象者へ同意書等の通知を行いました。(御荘、城辺地域 530人、内同意 149人) ・職員作成のほか、居宅介護支援事業所等と委託契約を結び、福祉専門職等の協力を得ながら個別避難計画の作成を進めました。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6個別避難計画作成数 339件、合計作成数 602件、作成率 28.28% 	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 個別訪問件数 (件)	0	0	337	
	活動				
	成果 避難支援プラン個別計画作成件数 (件)	0	0	339	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	391	303	1,239
	カ 事業費 (ア～オ合計)	391	303	1,239	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 昨年と比べ個別避難計画作成数が増加しています。 (原因) 居宅介護支援事業所等と委託契約を結び、福祉専門職等の協力を得て、個別避難計画作成に取り組んだ結果です。昨年度は、愛南町の避難行動要支援者台帳対象者530人に同意確認文書を送付し、149人の同意確認が得られました。 (余地) 今後も、個別避難計画作成に向けて福祉専門職や関係課等と協力して、戸別訪問等を実施していく必要があります。

災害避難場所整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 地域の防災力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

災害発生時の夜間や停電を想定した防災灯の設置及び避難環境の整備を行いました。

【実績】

- ・指定避難所マンホールトイレ整備工事設計業務委託料 429千円
- ・津波避難ビル屋外階段設置工事監理業務委託料 517千円
- ・樹木伐採業務委託料 99千円
- ・看板製作業務委託料 1,990千円
- ・施設整備工事費（県補助） 14,988千円
- ・維持補修工事費（県補助） 55千円
- ・津波避難ビル屋外階段設置工事（町単独） 28,600千円
- ・津波一時避難場所防災倉庫資機材整備事業 3,595千円

特定財源情報

- ・緊急防災・減災事業債 27,300千円
- ・（県）夜間津波避難対策補助金 7,462千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 災害避難場所等の整備数（箇所）	0	0	18	
	活動	0			
	成果 避難の際のトラブル件数（件）	0	0	0	
	成果	0			
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	7,462
		ウ 地方債	0	0	27,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	880	15,511
	カ 事業費（ア～オ合計）	0	880	50,273	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）自主防災組織からの要望を受け、自主防災組織活動支援事業による補助金で対応しました。 （原因）津波避難訓練の際のトラブルはありませんでした。 （余地）災害時に安全に避難できるよう、今後も自主防災組織に対して避難場所等整備の要望調査を継続する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防災教育推進事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町・愛南町教育委員会・国立大学法人愛媛大学防災情報研究センター及び国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所の四者協定に基づき防災教育を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛南町防災教育連携協力協議会並びに協議会の目的を具現化するための愛南町防災教育推進懇談会を開催しました。 ・防災教育研究指定校に対して、防災教育活動費の支援を行いました。 ・四国防災八十八話及び愛南町の災害体験談を基に感想文コンクールを実施しました。

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 (協議会 懇談会開催回数 (回))	1	1	1	
	活動 補助金額 (円)	650,000	650,000	650,000	
	成果 防災教育事業計画 (実施) 案件数 (件)	4	4	4	
	成果 防災意識が向上したと感じた児童 生徒の割合 (%)	98	96	99	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	816	789	823
	カ 事業費 (ア～オ合計)	816	789	823	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 防災教育事業は計画どおり実施することができ、昨年度までと同様、児童生徒の防災意識は高い状況です。</p> <p>(原因) 防災教育連携協力協議会により、各機関が実施する事業が承認され、適切な事業運営が図られています。</p> <p>(余地) 現在行っている事業に工夫を加えることで、成果を向上させることができます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防災情報通信設備維持管理事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	04 災害対応力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>災害時における多様な通信手段を確保するため、災害時でもつながりやすい衛星携帯電話を本庁・支所（5台）、孤立する可能性がある地区等（31台）、防災対策課（1台）の計37台を配備しており、毎月の通信試験による操作・通信訓練、機器の維持管理を行いました。</p> <p>災害等の緊急情報を防災行政無線、音声告知端末を通じて住民へ伝達する全国瞬時警報システムの維持管理を行いました。</p> <p>愛媛県防災通信システム（地上系、衛星系）の維持管理に係る負担金及び回線通信料を支払いました。</p> <p>衛星携帯電話（ワイドスター2）の衛星が寿命のため、後継機への更新及びアンテナ設置工事を行いました。</p>

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 3,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 衛星携帯電話通信試験実施回数 + 全国瞬時警報システム保守点検回数 + 愛媛県防災通信システム点検回数 (回)	15	15	15	
	活動				
	成果 維持管理上の不具合により災害時に通信できなかった件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	3,000	3,000
		オ 一般	3,692	1,624	5,090
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,692	4,624	8,090

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 全国瞬時警報システム、衛星携帯電話、愛媛県防災通信システムの全てにおいて適切な維持管理を行っています。</p> <p>(原因) 全国瞬時警報システムは、委託業者による2回の保守点検及び衛星携帯電話は、毎月の通信試験を行ったこと、また、愛媛県防災通信システムは、適切な維持管理ができています。</p> <p>(余地) 継続的な維持管理を行い、不具合の発生を未然に防ぎます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

災害時備蓄食糧 物資整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災 減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	04 災害対応力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>備蓄計画に基づき食糧・物資を購入し、適切に保管・管理を行いました。</p> <p>【購入物品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ化米3,500食、乾パン3,600食、保存パン3,600食 缶詰3,888食、粉ミルク24缶、液体ミルク216缶、レトルトカレー2,000食 ・保存水1.5リットル2,400本、500ミリリットル3,600本 ・毛布800枚、乳児用おむつ492枚、大人用おむつ234袋、簡易トイレ10,000回分 トイレットペーパー2,700ロール、生理用品1,290枚、使い捨て哺乳瓶150個 ブルーシート60枚

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税寄附金 2,000千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 10,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 備蓄食糧(主食)の購入数(食)	10,700	10,700	10,700	
	活動 備蓄物資(毛布)の購入数(枚)	1,000	1,000	800	
	成果 食糧(主食)の備蓄計画の進捗状況(%)	51.4	63.1	46.4	
	成果 物資(毛布)の備蓄計画の進捗状況(%)	66.0	74.5	50.9	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	12,000	10,000	12,000
		オ 一般	113	271	1,342
	カ 事業費(ア～オ合計)	12,113	10,271	13,342	

成果 実績 評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況)食糧の進捗状況が16.7ポイント、物資の進捗状況が23.6ポイント低下しました。</p> <p>(原因)備蓄計画における避難所避難者数を5,927人から8,682人に増加したためです。</p> <p>(余地)計画に基づき必要数量を前年より増加させ、備蓄の整備を進めていきます。</p>
----------------	--	---

緊急避難道整備事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>大地震による津波から沿岸部住民の生命を守るため、整備箇所を把握し避難場所への避難道の整備（路面舗装及び手摺の設置等）を行いました。</p> <p>【実績】 ・令和6年度 工事10件 9,834千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 高台等への避難路の整備延長(単年度)(m)	146	76	1,130	
	活動				
	成果 高台等への避難路の整備延長(総計開始時からの累計)(m)	1,445	1,521	2,651	
	成果 高台への避難路整備全体計画進捗率(%)	100	100	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,047	2,991	9,834
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,047	2,991	9,834

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 地区要望により一時避難場所への避難路の整備を実施しています。 (原因) 南海トラフ地震の発生で大津波が予想されており、地域住民の避難路整備が必要です。 (余地) 防災対策課及び地域との連携を強化することで、効果的に避難路の整備を図ることができると考えます。

防災行政無線管理運営事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
確実な災害情報及び行政情報の伝達を行うため、防災行政無線設備の維持管理を実施しました。 【実績】 ・消耗品費 9千円 ・電気料 1,388千円 ・修繕料 396千円 ・防災行政無線保守点検委託料 5,390千円 ・使用料及び賃借料 269千円 ・維持補修工事費 984千円	

特定財源情報	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	4	3
成果	成果	不具合等の申出件数 (件)	4	3	1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	9,704	8,209	8,436
		カ 事業費 (ア~オ合計)	9,704	8,209	8,436

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)機器の故障等による修繕は、前年に比べると減少しましたが、近年増加傾向にあります。 (原因)平成29年度に防災行政無線設備を更改し、機器更新から時間が経過したためです。 (余地)緊急時に放送設備が機能しないことがないように、適切な維持管理が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

地域コミュニティ活性化対策事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	12 地域活性化対策費		

手段 (R06年度の取り組み)

愛南町集会所施設条例に基づき、管理委託先である地区から修繕、増改築及び新築等の要望があれば現場確認のうえ実施しました。
また、地区が集会所の活動に必要な備品の購入に対し、予算の範囲内で補助金を交付しました。

【実績】

- ・修繕16件 4,923千円
- ・改良改修6件 2,335千円
- ・維持補修2件 1,283千円
- ・解体工事1件 1,265千円
- ・補助金11件 1,339千円

特定財源情報

- ・集会所改修等分担金 984千円
- ・行政財産使用料 58千円
- ・地域活性化基金繰入金 1,339千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 集会所の修繕及び備品整備補助件数 (件)	35	30	29	
	活動 集会所の改修件数 (件)	5	4	6	
	成果 機能改善した箇所数 (箇所)	40	34	35	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,702	1,690	2,381
		オ 一般	4,833	3,699	8,766
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,535	5,389	11,147

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年度の機能改善した箇所数は、35箇所と前年度と横ばい状態でした。 (原因) 耐用年数が経過した施設が半数以上占めているため、今後増加していくと考えられます。 (余地) 耐用年数が経過した施設が半数以上占め、修繕と改修件数は増加傾向になります。今後、経年劣化が顕著な施設は耐震性が懸念されることから建替、統廃合が望ましいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

コミュニティ助成事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	12 地域活性化対策費		

手段 (R06年度の取り組み)

地域コミュニティ組織(行政区等)の活性化を支援するため、コミュニティ活動に必要な備品購入に対し、申請内容に応じて費用を助成します。

- 1 一般コミュニティ助成事業
1件当たり2,500千円を上限に自治総合センターが決定した団体に対して交付します。
- 2 町単独コミュニティ助成事業
1件当たり1,000千円を上限に審査会で決定した団体に対して交付します。

【実績】

- ・一般コミュニティ助成事業は、申請がありませんでした。
- ・町単独コミュニティ助成事業は、7組織から申請があり助成を行いました。3,610千円

特定財源情報

地域活性化基金 3,610千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	一般コミュニティ助成金額(円)	2,500,000	7,500,000	0
	活動	町単独コミュニティ助成金額(円)	990,000	4,080,000	3,610,000
	成果	一般コミュニティ助成件数(件)	1	3	0
	成果	町単独コミュニティ助成件数(件)	2	8	7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,490	11,580	3,610
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア～オ合計)	3,490	11,580	3,610	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)一般については、申請がなく令和6年度の実績はありませんでした。町単独については、7団体から申請があり、7件全て助成金を交付しましたが、少額の申請もあり当初予算額には届きませんでした。 (原因)7件の申請のうち申請額が少額のものが数件あったことが原因です。 (余地)地域事業を継続するにあたり、資機材等の経年劣化による修繕や更新が発生する可能性があり、一定の申請件数が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

情報電算システム等整備改修事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	14 電算管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>社会保障・税番号制度対応をはじめ、各種法制度改正等に対応するためのシステム改修やシステムの更新・整備を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童手当制度の改正に伴う人事給与システムの改修を行いました。 727千円 	

特定財源情報	
子ども・子育て支援事業費補助金 727千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 新規業務システム整備件数 (件)	0	0	0	
	活動 既存業務システム改修件数 (件)	2	1	1	
	成果 改修されず不具合・利便性が悪い業務システム数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,648	0	727
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	865	2,988	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,513	2,988	727

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 国が示すスケジュールに遅れることなくシステム改修を行うことができました。</p> <p>(原因) システム保守ベンダーや業務システム担当者と連携を図ったことが要因と考えられます。</p> <p>(余地) 国の制度設計・仕様提示等の遅れもあり、短期間での対応を余儀なくされている状況であり、今後も国の動向に注意する必要があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

情報電算システム等運用管理事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	14 電算管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>行政事務の情報化を推進し行政サービスの高度化、効率化、経費削減等を推進しました。</p> <p>各種業務システム及び各種情報機器の維持管理や効率的な運用を図り、正確で安定した住民サービス基盤を提供しました。</p> <p>情報資産を守るための情報セキュリティ対策を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム標準化・共通化対応委託業務 27,390千円 ・ネットワークシステム機器更改業務 9,042千円 ・メールシーラー圧着機更改 4,180千円 	

特定財源情報	
デジタル基盤改革支援補助金 27,390千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕 改修件数 (件)	58	50	50	
	活動 システムの稼働日数 (日)	365	365	365	
	成果 システム障害件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,729	6,782	27,390
		オ 一般	157,366	167,568	182,445
	カ 事業費 (ア～オ合計)	163,095	174,350	209,835	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) システム障害件数は0件となっています。</p> <p>(原因) システムの保守管理を適正に行うことができたためです。</p> <p>(余地) 今後、保守期限を迎える機器もあることから、計画的に機器更新を実施し、また、システムのバージョンアップ、設定手順の確認等、運用管理体制を強化し、システムの安定稼働に努めるとともに、機器の集約化等により運用コスト削減を図る必要があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

コミュニティバス運営事業

町長部局 総務課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書ページ	101
施策	03 公共交通の確保	項	01 総務管理費	計画年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度
基本事業	01 町による生活交通の確保	目	15 地域交通対策費		

手段 (R06年度の取り組み)	
公共交通空白地域において、コミュニティバス(7路線)を運行し、車両の適切な維持管理に努め、年間延べ60,779人の方の利用がありました。	
【実績】	
・消耗品費	148千円
・燃料費	10,955千円
・修繕料	6,381千円
・役務費	627千円
・コミュニティバス運転業務委託料	59,796千円
・自動車重量税	195千円

特定財源情報	
・コミュニティバス使用料 5,154千円	
・生活バス路線維持・確保対策事業費補助金(県補助金) 2,668千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 運行回数(回)	10,315	10,340	10,527	
	活動				
	成果 コミュニティバス年間利用者数(人)	59,296	61,145	60,779	
	成果 コミュニティバス運行上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0	
事業費(千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	2,532	2,635	2,668
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,995	5,193	5,154
		オ 一般	72,366	76,774	70,280
		カ 事業費(ア~オ合計)	79,893	84,602	78,102

成果実績評価	成果状況	(状況)令和6年度から一本松2路線を1つの路線に統合し、合計7路線で運行しました。利用者数は60,779人で、昨年度と比較し366人減少しました。 (原因)自家用車の保有率が高く公共交通への利用意識が低く、また、人口減少により潜在的な利用者は減少しています。 (余地)既存の公共交通の利用者数を増加させることは困難ですが、利用状況に応じた時刻表の改定、利用しやすい環境づくりにより利便性の向上を図り、路線の維持を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

生活バス路線維持対策事業

町長部局 総務課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書ページ	101
施策	03 公共交通の確保	項	01 総務管理費	計画年度	
基本事業	02 公共交通機関の利用促進	目	15 地域交通対策費		開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>町民の交通手段の確保・維持のため、路線維持対策費として乗合バス事業者へ補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> バス路線維持助成金 36,247千円 	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 補助対象路線数 (路線)	5	2	2	
	活動				
	成果 民間バス年間利用者数 (人)	192,544	204,318	210,567	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	47,632	30,585	36,247
		カ 事業費 (ア～オ合計)	47,632	30,585	36,247

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度の利用者は前年度に比べて増加しました。</p> <p>(原因) 自家用車の保有率が高く、公共交通の利用頻度が低い状況です。また、人口減少により潜在的な利用者も減少しています。コロナ禍の影響を大きく受けていましたが、新型コロナウイルス感染症が5類移行に伴い、利用が増えつつあります。</p> <p>(余地) 既存の公共交通の利用者数を増加させることは困難ですが、利用状況に応じた時刻表の改正、利用しやすい環境づくりにより利便性の向上を図れるよう情報共有を行います。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

地域情報通信基盤整備事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	103
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	23 地域情報通信基盤整備事業費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>工事申込みによる一般世帯及び事業所等への機器等設備の設置工事及び死亡や転出等により不要となった機器等設備の撤去工事等を実施しました。</p> <p>【実績】 ・施設整備工事費 33,425千円</p>

特定財源情報
情報通信基盤整備分担金 863千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 工事件数 (件)	134	73	85	
	活動				
	成果 光ファイバー利用世帯割合 (%)	92.0	92.6	92.7	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,788	1,302	863
		オ 一般	38,502	21,295	32,562
		カ 事業費 (ア～オ合計)	40,290	22,597	33,425

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)昨年度に比べ光ファイバー利用世帯割合が若干増加しました。 (原因)世帯数は減少していますが、光インターネットやケーブルテレビの加入者が増加したことが要因と考えられます。 (余地)引き続き工事申込受付を実施することで向上の余地はあると思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

地域情報通信基盤設備管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	103
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	23 地域情報通信基盤整備事業費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>安定した「告知サービス」「電話サービス」「インターネットサービス」「CATVサービス」が提供できるよう適正な情報通信基盤設備の運用・維持管理を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 30,355千円・手数料 2,079千円・委託料 50,957千円 ・使用料及び賃借料 67,666千円・維持補修工事 15,536千円

特定財源情報
情報通信設備貸付収入 82,616千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 設備故障対応件数 (件)	1,125	973	1,380	
	活動				
	成果 設備等の平均不具合期間 (日)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	83,456	82,928	82,616
		オ 一般	73,863	82,475	83,977
	カ 事業費 (ア～オ合計)	157,319	165,403	166,593	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)設備等の不具合発生時にも迅速に対応できています。 (原因)故障・不具合発生時に通信専門業者との保守・連携体制が構築・確立されています。 (余地)今後も保守体制を継続することにより、安定したサービスの提供に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

住民税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	105
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税費		
基本事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>・申告書等の課税資料を基に、住民税の賦課徴収事務を行いました。 (4月・5月・8月)未申告者への呼出しを行いました。 (5月中旬)特別徴収税額決定通知書を発送しました。以後、随時更正処理を行いました。 (6月中旬)普通徴収納税通知書(第1期)を発送しました。以後、随時更正処理を行いました。 (8月・10月・1月)期別納付書(第2期～第4期)を発送しました。 (1月～2月上旬)給与支払報告書を收受し、システム入力を行いました。 (2月～3月)住民税の申告受付を行いました。 (毎月)納期到来未納者へ督促状を発送しました。</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 納税通知書発送数(件)	4,268	4,245	4,309	
	活動 未納者への督促状発送数(件)	517	421	420	
	成果 行政に責のある住民税課税誤り件数(件)	0	0	0	
	成果 個人住民税収納率(現年度)(%)	99.40	99.06	99.45	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	7,130	9,866	7,657
		カ 事業費(ア～オ合計)	7,130	9,866	7,657

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)課税誤りの件数は、ここ数年0件で、個人住民税の収納率(現年度)は、昨年度と比較して0.39ポイント上昇の99.45%となっており、成果としては順調です。 (原因)収納率の上昇については、令和5年度の収納率が外国人労働者の賦課期日直後の出国や年度末の税務調査による大幅な増額により低くなっていたこと、また、令和6年度は新規滞納者の早期対応を行ったことが原因と考えられます。 (余地)引き続き滞納処分を含めた収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで、向上の余地はあると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

固定資産税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	105
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税費		
基本事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

・法務局からの登記異動通知書を收受し、異動処理を行いました。
 ・土地、家屋の現況調査及び新增築家屋の調査を行いました。
 ・賦課期日における土地所有者及び地目等を地籍情報システムに反映させる異動更新業務を行いました。
 ・償却資産の所有者に申告書を送付し、それを受領の上、課税客体を把握しました。
 以上の作業による算定基礎資料をもとに税額を決定し、納税通知書及び納付書を送付しました。また、未納者に対し、督促状を送付しました。
 ・国有資産等所在市町村交付金法に規定する国及び地方公共団体が所有する固定資産に係る交付金を請求し、収納しました。

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 納税通知書発送数 (件)	10,819	10,834	10,715	
	活動 未納者への督促状発送数 (件)	2,388	2,083	1,740	
	成果 行政に責のある固定資産税課税誤り件数 (件)	1	1	2	
	成果 固定資産税収納率 (現年度) (%)	98.95	98.93	98.95	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	21,587	6,172	6,252
	カ 事業費 (ア～オ合計)	21,587	6,172	6,252	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 収納率(現年度)は、98.95%となっており、前年度と比較して0.02ポイント上昇し、同水準を維持しています。また、課税誤り件数は2件となり、前年度と比べ1件増加しています。 (原因) 収納率の上昇要因については、対象者への丁寧な制度説明や未納者に対する滞納処分強化等が挙げられます。また、課税誤りについては、システムへの登録誤りによるものであり、事務処理におけるチェック不足に起因するものです。 (余地) 更なる事務処理チェックの強化及び滞納処分を含めた収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで向上の余地はあると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

徴収管理事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	105
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税費		
基本 事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>各税の徴収事務と滞納整理事務に係る事務経費です。</p> <p>徴収事務 口座振替、郵便払込、コンビニ収納に係る手数料です。</p> <p>滞納整理事務 滞納者の財産調査を適宜実施し、速やかに滞納処分を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・払込手数料 1,329千円 ・諸手数料 288千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 催告書発送数 (件)	679	781	639	
	活動 滞納処分実施数 (件)	42	13	136	
	成果 年度末時点滞納者数 (人)	319	373	350	
	成果 収納率 (%)	97.88	97.69	98.04	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,852	1,473	1,617
	カ 事業費 (ア～オ合計)	4,852	1,473	1,617	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 滞納者数は前年度実績に比べ23人減少し、収納率は0.35%向上しました。</p> <p>(原因) 財産調査を積極的に実施し、適性かつ確な滞納整理を実施したことが原因と考えられます。</p> <p>(余地) 引き続き滞納処分を含めた各収納対策等の実施や納税者の利便性を図ることで、向上の余地はあると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

個人番号カード交付事業

町長部局 町民課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	107
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	03 戸籍住民基本台帳費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	01 戸籍住民基本台帳費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>マイナンバーカードの新規申請者および有効期間満了に伴う更新申請者等に対し、交付申請時の写真撮影等のサポートを含む申請受付を行いました。希望者に対し、オンライン申請に対応したQRコード付き交付申請書の発行を行いました。マイナンバーカードの交付準備が整った方に対し、交付通知書（通知はがき）を速やかに送付しました。</p> <p>【実績】 年間で1,144件のマイナンバーカードを交付しました。 通常の窓口交付に加え、新制度の特急発行を利用した交付を28件行いました。 また、訪問申請サポート等については、広報紙や定時放送を通じて周知を行い、自宅等への個別訪問を12件、病院・施設等への出張訪問を2施設・25件実施しました。 休日交付・申請窓口開設を3回行いました。</p>

特定財源情報
個人番号カード交付事務費補助金 487千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 個人番号カード発行件数 (件)	7,889	749	1,144	
	活動				
	成果 個人番号カード取得率 (%)	78.66	82.4	86.2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	150,836	79	487
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	607	173	1,487
		カ 事業費 (ア～オ合計)	151,443	252	1,974

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)個人番号カード取得率が、昨年度比較で3.8ポイント向上しました。 (原因)マイナポイント第2弾や休日交付・申請窓口開設(3回)によるものと考えられます。 (余地)75歳以上、身体障がい者、要介護などで外出が困難な方への訪問申請サポートの実施により成果の向上が見込まれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

コンビニ交付サービス事業

町長部局 町民課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	107
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	03 戸籍住民基本台帳費	計画 年度	開始：令和06年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 戸籍住民基本台帳費		

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの掲載や広報誌、窓口等で住民への周知活動を行いました。 ・毎月月末にコンビニ交付証明書手数料を収納しました。 ・コンビニ交付の導入により、全国のコンビニエンスストアなどで役場開庁時間外のうち6：30～23：00（土日祝日含む）に住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できるようシステムベンダーと連絡調整しました。 <p>【実績】 コンビニ交付を利用した住民票の写し等の令和6年度の発行総数は164件で、そのうち土日、時間外における証明書発行件数は142件でした。仕事帰りや休日といった利便性の高い時間帯に集中しています。</p>

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル田園都市国家構想交付金 2,103千円 ・コンビニ交付証明書手数料 13千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動	コンビニ交付件数 (件)	0	164	
	活動		0		
	成果	コンビニ交付割合 (%)	0	6.8	
	成果		0		
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	2,103
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	13
		オ 一般	0	0	2,092
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	4,208

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和7年1月から3月末までに164件交付しました。 (原因) 当該証明書等のうちコンビニ交付の割合は6.8%でした。しかしながら、発行件数のうち、土日・時間外における証明書発行件数は142件と全体の約87%を占めました。 (余地) コンビニ交付の利用により場所や時間帯の制約による利便性の向上を継続して周知やアンケート等でのニーズ把握により利用者の増加が考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

高齢者総合相談事業 (重層)

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 安心と尊厳のある暮らしの保持	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和06年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、介護保険サービスにとどまらず、地域における適切な保健・医療・福祉サービス等の機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随時相談：本人・家族・地域等を通じた様々な相談を地域包括支援センター職員が受けました。 ・相談件数 実人数1,256人、延べ件数2,050件 ・こころの健康相談：認知症やうつ、精神障害などが疑われる人、及びその家族や支援者からの申出により、精神科医による個別相談を行いました。 ・実施回数22回、相談件数 実人数29人、延べ人数111人 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業国庫補助金 251千円 ・重層的支援体制整備事業県補助金 126千円 ・介護保険特別会計繰入金 150千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 総合相談件数 (件)	1,546	1,397	2,050	
	活動 こころの健康相談件数 (件)	125	116	111	
	成果 必要な医療機関やサービス機関へつながった割合 (%)	67.0	68.4	68.9	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	251
		イ 県	0	0	126
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	150
		オ 一般	0	0	125
	カ 事業費 (ア~オ合計)	0	0	652	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和6年度より、特別会計から一般会計となりました。令和5年度と比較し相談件数は653件増加、こころの健康相談の必要な医療機関やサービス機関につながった割合は0.5ポイント上昇しています。</p> <p>(原因) 新規相談件数は57件増加し、継続相談件数が8割以上となっており、相談者本人や家族、関係機関と連携し対応が行えているためと考えます。こころの健康相談については、実施回数が少なくなりましたが、相談者の状況に応じて関係機関と連携し適切な相談の場につなぎ、昨年度と同程度の相談件数となっています。</p> <p>(余地) 高齢者の総合相談窓口として認識され、本人や家族、地域住民、支援者等から随時相談が上がっているため成果向上余地は小さいと考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

シルバー人材センター補助事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>シルバー人材センターの適正な運営と事業の促進を目的として、運営費補助金を交付しました。シルバー人材センターでは、退職者（60才以上）など高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、相談、就業機会の提供を実施しました。</p> <p>【実績】 会員数 R6年4月1日現在65名、会費1人年2,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町から事業を支援するために運営費1,200千円を補助しました。 ・賛助会員会費、20千円の負担金を支出しました。 <p>R6事業費 1,220千円</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	活動				
	成果 60歳以上のシルバー人材センター会員加入率 (%)	0.6	0.7	0.7	
	成果 事業収入額 (円)	38,770,816	45,950,602	38,644,711	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,220	1,220	1,220
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,220	1,220	1,220

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 会員数は、令和6年度65名と令和5年度に比べ14名減少しています。 (原因) シルバー人材センターへの作業依頼は年々減少しています。 (余地) 会員募集をし会員を増やすことにより、さらに事業実績を上げることができ ます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
成果 実績 評価	成果向上余地	
	大	
	中	
	小 なし	

生活支援体制整備事業 (重層)

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	03 地域における支えあい連携の強化	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和06年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>町が「協議体」及び「生活支援コーディネーター」を設置し、生活支援サービスを担う事業主体や、地域活動の担い手等とのネットワークの構築や連携強化を図りました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体会議（町全体） 2回開催 出席委員人数延べ 21名、生活支援コーディネーター2名 ・第2層協議体会議（一本松地域、内海地域、御荘地域） 各地域2回開催 出席委員人数延べ 一本松13名、内海14名、御荘16名、生活支援コーディネーター各地域2名 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・重層の支援体制整備事業国庫補助金 1,633千円 ・重層の支援体制整備事業県補助金 816千円 ・介護保険特別会計繰入金 975千円 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	地区での会議開催回数 (回)	18	16
成果	成果	地区での担い手数 (町内全体) (人)	4	6	8
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	0	0	1,633
		イ 県	0	0	816
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	975
		オ 一般	0	0	818
	カ 事業費 (ア~オ合計)		0	0	4,242

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度より、特別会計から一般会計となりました。地区での担い手数は8名で、令和5年度から2名増加しました。</p> <p>(原因) 第2層協議体については、年度に1か所ずつ旧5か町村に設置していく計画であり、その協議体ごとに地区での担い手となる生活支援コーディネーターを2名互選しています。</p> <p>(余地) 現在3地域に第2層協議体を設置しており、今後、2地域に順次設置し、生活支援コーディネーターと連携しながら地域づくり活動に取り組んでいきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

重層的支援体制整備事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 総合相談窓口による支援	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>重層的支援体制を整備するにあたり次の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機関協働事業、アウトリーチを通じた継続的支援事業、参加支援事業 ・福祉事務所未設置町村による相談支援事業、生活困窮者支援等の地域づくり事業 <p>上記事業の一部を愛南町社会福祉協議会に委託して実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 23,161千円 重層的支援体制整備事業委託料（社協）23,148千円 需用費 13千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業補助金（国） 12,401千円 ・重層的支援体制整備事業補助金（県） 4,217千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	複合的な相談件数 (件)	3	3
活動	活動	地域での活動件数 (件)	93	223	249
成果	成果	終結した相談割合 (%)	33	0	0
成果	成果	地域づくり事業で整備された地域資源の件数 (件)	10	12	9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	11,743	12,906	12,401
		イ 県	0	0	4,217
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,566	4,880	6,543
		カ 事業費 (ア～オ合計)	15,309	17,786	23,161

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)福祉の総合相談窓口への相談が延156件の相談がありました。そのうち複雑化・複合化したケースは4件あり、関係機関と連携し継続して支援を行っています。</p> <p>(原因)既存の制度につなぐことで終結するケースが多く、複雑化・複合化したケースは相談者の意向等を確認しながら、伴走的に支援を行っています。</p> <p>(余地)相談に行くことができないケースや、相談・支援につながっていないケースを掘り起こすとともに、総合相談窓口の周知や庁内各課との多機関連携により迅速に支援につながる体制づくりに努めています。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

更生保護事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 地域福祉活動への参画推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・更生保護活動を行う団体に対して、負担金、助成金及び補助金を交付しました。 ・愛媛県人権擁護委員連合会負担金は令和7年度から、人権啓発室の人権啓発庶務事務事業で実施します。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県更生保護会事業費負担金 19千円 ・愛媛県人権擁護委員連合会負担金 135千円 ・南宇和地区更生保護司会更生保護事業助成金 900千円 ・南宇和地区更生保護女性会事業補助金 300千円 ・南宇和地区更生保護サポートセンター（旧東海小学校教室棟保健室）水道料 15千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 会議 研修会出席数(人)	317	469	478	
	活動 更生保護事業額(円)	2,140,328	1,373,448	1,368,998	
	成果 保護司会等活動参加人数(人)	526	445	417	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,140	1,373	1,369
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,140	1,373	1,369

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 保護司会等活動参加人数が、前年度比較で28人減少しましたが、会議研修会出席数は前年度比較で9人増加しました。</p> <p>(原因) 南宇和地区更生保護司会及び女性会で計画していた事業は、すべて実施できましたが、事業実施日に保護司の予定等が合わなかったことが考えられます。</p> <p>(余地) 引き続き更生保護活動のサポート及び活動拠点の整備を行い、犯罪をした者等が、地域社会の中で立ち直ることを支援する体制を継続します。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ボランティア連絡会活動補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 地域福祉活動への参画推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

愛南町ボランティア連絡会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行うとともに、地域交流センター「プラザじょうへん」を拠点としたボランティア連絡会の活動に対して補助金を交付しました。

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	1,800,000	1,800,000	1,800,000	
	活動 所属団体数 (件)	13	12	10	
	成果 ボランティア連絡会による事業数 (支援事業含む) (件)	17	18	15	
	成果 団体行事への参加者数 (人)	3,267	3,468	3,523	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,800	1,800	1,800
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,800	1,800	1,800

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 団体行事の参加者数は3,523人と高水準を維持しています。一方で、ボランティアグループは、2団体減少しています。</p> <p>(原因) R6年度は地域交流イベント「ほりだしもん市」や公開講座を開催することができました。加盟団体の減少の原因は、高齢化等で会を継承する人材の確保が難しくなったことです。</p> <p>(余地) 地域交流センターを軸とした、地域福祉交流事業を実施するとともに、ボランティア団体の支援や活動ネットワークの拡充を図ってきたことで、参加者数は高水準で維持しています。今後は、ボランティアグループの活性化による維持・継続が必要になってくると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

社会福祉協議会運営補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 地域福祉活動への参画推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
愛南町社会福祉協議会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行うとともに、地域社会の福祉活動に対して補助金を交付しました。

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	23,000,000	23,000,000	23,000,000	
	活動 補助対象事業数 (件)	14	14	14	
	成果 社会福祉協議会実施サービスの年間利用者数 (人)	8,547	9,522	9,580	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	23,000	23,000	23,000
		カ 事業費 (ア～オ合計)	23,000	23,000	23,000

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用者数は58人増加しています。 (原因) 地域福祉事業及び地域福祉活性化事業の利用者は、増加傾向であります。困窮者の支援、介護者の負担軽減を図る等、町民が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行ったことから、一定の成果を挙げています。 (余地) 多様化する地域の課題解決に向けて、住民・社会福祉協議会・行政が今後とも連携して共に考えていくことで利用者の増加が見込めると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

遺族会活動補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	03 社会福祉制度の円滑運営	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町遺族会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行うとともに、全国及び愛媛県戦没者追悼式、愛媛県遺族会主催大会への参加等の活動に対して補助金を交付しました。</p> <p>【実績】 ・遺族会に補助金を交付しました。</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
	活動 会員数 (人)	311	284	255	
	成果 催しへの参加者数 (人)	78	217	47	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,500	1,500	1,500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,500	1,500	1,500

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 催しへの参加者数が47人で、隔年開催の戦没者追悼式を実施したR5年度より170人減少しています。</p> <p>(原因) R6年度は町主催の戦没者追悼式は実施していません。</p> <p>(余地) 遺族会主催行事への参加者数の減少に歯止めをかけるため、次世代の孫や甥姪に参加を呼びかけるなど、今後の活動内容を検討することで歯止めをかけることができると考えられます。</p>
--------	--	--

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本 事業	03 社会福祉制度の円滑運営	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

国が実施する物価高騰対策として、令和6年度の住民税均等割非課税世帯へ給付金を支給しました。

・住民税均等割非課税世帯	3,590世帯 × 30千円	107,700千円
・子ども加算	190人 × 20千円	3,800千円
・事務費（消耗品費・印刷製本費等）		627千円

特定財源情報

物価高騰重点支援地方交付金 112,127千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	給付世帯数 (件)	4,370	7,957
活動	活動	給付額 (千円)	245,350	391,510	111,500
成果	成果				
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	247,175	392,817	112,127
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	100	996	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	247,275	393,813	112,127

成果 実績 評価	成果状況	・物価高騰重点支援給付金により対象世帯に対して手段欄に記載した給付金3万円を支給し、エネルギー・食料品等の物価高騰に対する緊急支援を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大 中 小 なし	

物価高騰重点支援給付金事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	03 社会福祉制度の円滑運営	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>国が実施する物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金で、令和6年度に新たに対象となった住民税均等割非課税世帯と住民税均等割のみ課税世帯及び定額減税しきれないと見込まれる方へ給付金を支給しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民税均等割のみ課税世帯・子ども加算・事務費（繰越） 5,953千円 ・新たな住民税均等割非課税世帯 259世帯×100千円 25,900千円 ・新たな住民税均等割のみ課税世帯 160世帯×100千円 16,000千円 ・子ども加算 75人×50千円 3,750千円 ・調整給付金 3,213人 131,320千円 ・事務費（消耗品費・印刷製本費等） 1,768千円 ・2025春らんまんプレミアム商品券事業（前払金） 76,000千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰重点支援地方給付金（R5繰越） 5,953千円 ・物価高騰重点支援地方交付金 254,738千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	給付人数(件)		564
活動	活動	給付額(千円)		74,250	174,720
成果	成果				
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	74,598	260,691
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	74,598	260,691

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>・物価高騰重点支援給付金により対象世帯に対して手段欄に記載した給付金10万円及び対象の子ども1人当たり5万円の給付金を支給し、物価やエネルギー価格の高騰に対する緊急支援を図りました。</p>
--------	--	--

中浦ふれあい交流館管理事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

高齢者のふれあいと地域の連帯意識の形成促進と、福祉の増進に資する事業です。
 <施設> 1. 竣工年月日 平成18年3月29日
 2. 指定管理 平成28年4月1日から5年契約、令和3年4月1日から5年契約
 <管理費用>
 1. 中浦地区負担 (1)光熱水費 (2)外溝及び浄化槽を除く1件10万円未満の経常的な補修 (3)経年劣化で事業に供せなくなった施設備品は町と協議
 2. 町負担 (1)浄化槽法定検査料、保守点検料及び汚泥引抜料と、消防設備保守点検料 (2)外溝、浄化槽及び建物で1件10万円を超える経常的な補修

【実績】
 ・地区の要望により、供給電源改修工事を実施しました。 314千円
 R6事業費 1,368千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持修繕件数 (件)	0	1	1	
	活動				
	成果 中浦ふれあい交流館の施設維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	1	1	0	
	成果 中浦ふれあい交流館年間利用者数 (人)	987	658	130	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	50	49	0
		オ 一般	239	290	1,368
	カ 事業費 (ア～オ合計)	289	339	1,368	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設利用人数は、減少しました。 (原因) 診療所の閉鎖に伴い、施設の利用者が528人減少しました。 (余地) 今後は、施設の活用方法を考えながら施設の維持管理をしていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘老人福祉センター管理運営事業

御荘支所 御荘支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>施設の管理及び使用に関する業務を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費・光熱水費の支出 ・各種保守点検の実施、清掃・樹木管理の委託 ・小修繕等 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費） 735千円 ・消火器取替修繕 99千円 ・ボイラー修繕 63千円 ・役務費（浄化槽法定検査手数料ほか） 206千円 ・委託料（施設清掃委託料ほか） 1,625千円 ・使用料及び賃借料 89千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	1	3	0	
	活動 保守点検回数 (回)	33	33	33	
	成果 御荘老人福祉センター施設 設備の不具合件数 (件)	0	1	1	
	成果 御荘老人福祉センター年間利用者数 (名)	1,049	1,130	1,064	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,681	2,937	2,817
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,681	2,937	2,817	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 以前は指定管理制度により愛南町社会福祉協議会に委託していましたが、令和元年度から、施設の維持管理及び施設の使用に関する業務を直接町が行っています。</p> <p>(原因) 施設が建設後30年以上経過しているため、施設の経年劣化により修繕が必要になってきています。</p> <p>(余地) 利用・管理に支障の発生しないように施設の状態の把握と事前の対応も必要となって来ると思われますが、現在の状況であれば随時の対処で足りると思われ</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺高齢者共同住宅管理運営事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>町の管理用務は、入退所、使用料と電気料の徴収、食費・共益費の管理、施設の維持管理です。支援員により入所者の食材の買い物・調理、住宅共有部分の清掃支援や入居者の健康及び悩みごと等の相談を行い、円滑に施設管理を行いました。 開設後20年が経過し、老朽化による施設備品等の修繕等を必要に応じて行いました。</p> <p>【実績】 修繕 8件 備品購入（事務室エアコン、居室ベッド）2件 R6事業費 2,378千円</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者共同住宅使用料 915千円 ・雑入（経常）4千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 保守点検 検査実施回数 (回)	12	12	12	
	活動 修繕件数 (件)	4	3	8	
	成果 入居者の相談件数 (件)	0	1	1	
	成果 城辺高齢者共同住宅稼働率 (%)	87.6	89.5	82.1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,236	1,202	919
		オ 一般	470	400	1,459
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,706	1,602	2,378

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和6年度の高齢者住宅の稼働率は82.1%でした。入居者は自立した生活のなかで、生活支援を受けながら生活ができました。 (原因) 南楽荘の順番が来て退所された方や入院が長くなり退居された方がいました。 (余地) 退居者が出た場合は、退居後の居室の修繕等を行い、速やかに公募により入居者を決定し、より多くの入居希望者に利用してもらうようにします。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

内海高齢者生活福祉センター管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 安心と尊厳のある暮らしの保持	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>・施設機器の保守業務を適正に実施し、円滑な維持管理を行います。また、施設設備等の修繕が必要となった場合は早急に修繕を行い、入居者が安心して生活が送れるよう良好な環境を保ちました。</p> <p>・休日・夜間も入居者が安心して過ごせるよう宿日直者を配置しました。</p> <p>【実績】 燃料費、各種保守点検委託料及び病院会計補助金等5,790千円を実施しました。</p>

特定財源情報
<p>・内海高齢者生活福祉センター使用料 106千円 ・施設入居者電気料 64千円</p>

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 保守点検、検査実施回数 (回)	30	30	30	
	活動 修繕件数 (件)	8	5	15	
	成果 内海高齢者生活福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果 内海高齢者生活福祉センター年間利用者数 (人)	503	572	654	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	166	153	170
		オ 一般	4,256	5,857	5,620
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,422	6,010	5,790

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 現在2名の入居者が自立した生活環境の中で豊かで安心できる生活をして いますが、施設老朽化に伴う修繕が多くなっています。 (原因) 経年劣化によるものと考えます。 (余地) 今後も施設及び設備を良好な状態で維持し利用しやすい施設の維持管理に 努めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海高齢者生活福祉センター管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>入居者の食事提供及び体調管理を業務委託しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委託料及び生活支援員委託料、合計15,333千円支出しました。

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・居室使用料 1,190千円 ・入居者負担金 3,598千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	保守点検、検査実施回数(回)	44	44	44
	活動	修繕件数(件)	6	4	5
	成果	西海高齢者生活福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0
	成果	西海高齢者生活福祉センター年間利用者数(人)	7,164	7,288	7,064
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,978	4,545	4,788
		オ 一般	11,240	11,995	10,545
		カ 事業費(ア～オ合計)	15,218	16,540	15,333

成果 実績 評価	成果状況	(状況)前年度と比較し年間利用者数が224人減少しています。 (原因)4室退去があったことが主な要因と考えます。 (余地)高齢者入居施設であるため、感染症対策を継続しながら管理運営を行う必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

養護老人ホーム南楽荘管理運営事業

町長部局 南楽荘

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	03 養護老人ホーム南楽荘費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

65歳以上の者であって環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難なものを入所させ、養護しました。
 入所者の処遇計画に基づき社会復帰の促進及び自立のために必要な指導及び訓練その他の援助を行いました。
 入所者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って処遇を行いました。
 施設は明るく家庭的な雰囲気や安らげる環境を作るとともに地域や家庭との結び付きを重視した運営や各種行事の開催、レクリエーション等を行いました。
 入所者の健康管理を行いました。
 教養娯楽設備の提供を行いました。
 施設の維持管理を行いました。

【実績】

・南楽荘費 68,724千円

特定財源情報

・入所者負担金 40,379千円
 ・雑入 516千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動	年間入所者数 (月初め入所者延べ人数) (人)	878	863	884
	活動				
	成果	養護老人ホーム南楽荘施設の稼働率 (年間入所者数 ÷ 年間定員数 × 100) (%)	91.5	89.9	92.1
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	39,198	37,507	40,895
		オ 一般	20,817	24,514	27,829
		カ 事業費 (ア～オ合計)	60,015	62,021	68,724

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度の施設稼働率は92.1%となり前年度より2.2ポイント上昇し、引き続き高い稼働率を維持しました。 (原因) 令和6年度は死亡等の退所者が19名に対し、新規入所者は18名でした。入所者の高齢化(平均年齢87.5歳)が進み、退所者数が前年度から大幅に増加したことが考えられます。(前年度より12名増) (余地) 今後も死亡等により南楽荘を退所となった場合においては、高齢者支援課と連絡・調整を行い、入所待機者の置かれている環境等にも配慮しながら速やかに入所に繋げていきます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

成年後見制度利用促進事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 安心と尊厳のある暮らしの保持	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>宇和島圏域（宇和島市、愛南町、鬼北町、松野町）の高齢者や障害のある方が、地域社会に参画しながら、その人らしい生活を継続できるよう権利擁護と意思決定を支援するために設置した成年後見制度利用促進に係る中核機関と協力し、住民や各関係機関等への広報活動（ポスター・チラシの配布、広報誌掲載等）、相談会等を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談 4回開催 ・法律の専門家による相談会 2回開催 ・地域連携ネットワーク愛南町会議 1回開催 ・地域連携ネットワーク協議会 1回開催 ・中核機関運営会議 1回開催

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援事業費等国庫補助金 673千円 ・地域生活支援事業費等県補助金 336千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 委託料 (円)	3,863,000	3,858,000	3,850,000	
	活動				
	成果 中核機関への相談件数 (件)	0	0	1	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	676	675	673
		イ 県	337	337	336
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,850	2,846	2,841
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,863	3,858	3,850	

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 権利擁護に関する相談について随時情報共有を行い、弁護士の方に直接相談ができる場を整えてもらうなど連携を図りながら対応しました。</p> <p>(原因) 巡回訪問や電話等で日頃から情報共有を図ることができており、相談しやすい関係を作ることができています。</p> <p>(余地) 中核機関への新規相談も増加しているため、引き続きピット通信の全戸配布や回覧等で周知・啓発を行うことで、正しい情報の普及とともに成年後見制度を必要としている方の利用につながると考えられます。</p>
--------	--	---

介護予防サービス計画作成事務

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 介護予防「健康づくり生きがいづくり」の推 進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

介護支援専門員更新研修などを定期的に受講し、質の向上を図りながら適切なケアマネジメント業務を行いました。町内4事業所及び町外1事業所に介護予防マネジメント業務を委託し、1件当たり4,420円、初回加算3,000円、委託連携加算3,000円を支払いました。委託の可否については、運営協議会の議を経て委託契約を行いました。町外事業所については、利用対象者が出た時点で委託契約を行いました。また、介護予防サービス計画作成するにあたり必要な研修を受講しました。

【実績】

- ・介護予防支援：実施件数 2,850件 初回加算 64件 委託連携加算 15件
(うち委託分 実施件数 812件 初回加算 17件 委託連携加算 15件)
- ・更新研修等受講：介護支援専門員更新研修 1名、介護支援専門員再研修 1名

特定財源情報

居宅支援サービス手数料 3,685千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 委託料(円)	3,812,760	3,790,860	3,685,000	
	活動				
	成果 作成された介護予防計画に対する目標達成率(%)	90.0	86.8	89.1	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,505	3,790	3,685
		オ 一般	0	236	1,167
	カ 事業費(ア～オ合計)	4,505	4,026	4,852	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 目標達成率は89.1%で昨年度から2.3ポイント上昇し、目標値を達成しました。事業所への委託件数は減少しており、地域包括支援センターの担当件数は増えています。 (原因) 高齢者の自立支援に向けたアセスメント等を行い、計画作成ができたためと思われます。 (余地) アセスメント等のケアマネジメントの質の向上のため、担当者の指導や教育を行うことにより、成果向上の余地は若干あると思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

敬老会助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>1. 行政区が実施する敬老会事業に対して、1人1,800円を限度に補助しました。事業実施計画書を提出してもらい、交付の適否を判断しました。実施後は事業実績報告書と領収書を提出してもらい、補助金を助成しました。 敬老会開催地区に対してはジュースを開催箇所ごとに2箱(6,500円以内)配布しました。</p> <p>弁当、記念品配布のみの地区は補助金のみ支出しました。</p> <p>2. 特養4か所と南楽荘、グループホームへジュースを配布しました。</p> <p>【実績】 敬老会事業実施 92地区 助成金額 11,789千円、ジュース配布 16地区、5施設、6グループホーム、食糧費 188千円 R6事業費11,977千円</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助対象人数(人)	6,708	6,695	6,645	
	活動 補助金額(千円)	9,901	11,712	11,789	
	成果 敬老会事業を行った地区数(地区)	91	92	92	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,000	11,000	0
		オ 一般	4,973	890	11,977
		カ 事業費(ア～オ合計)	9,973	11,890	11,977

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)町内全地区で、敬老会又は記念品配布が行われました。 (原因)行政協力員や地区の役員の活動として、各地区の実施方法で、できる範囲の実施に対し、補助金を出すという形が定着しています。 (余地)継続実施できるよう、引き続き補助を行い、地域の繋がりも深めてもらいます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

老人クラブ活動助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

51クラブ、会員2,587名の社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、スポーツ振興事業等の活動を通じて、地域社会の発展と福祉の増進を図ることを目的に、活動事業に要する費用のうち、運営費と事業費に対して助成しました。
町老連へ500千円、残りを各支部へ均等割額100,000円+クラブ数×20,000円、それぞれの会員数割で分配し、各支部から各単位クラブへ配分しました。
また1,000円を各支部ごとの活動実績に応じて分配しました。

【実績】 R6事業費 5,030千円

特定財源情報

老人クラブ育成事業県補助金 755千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 老人クラブ活動助成金(円)	5,000,000	5,000,000	5,030,000	
	活動				
	成果 老人クラブ加入率(高齢者の社会参加促進率)(%)	27.3	27.4	25.2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	815	804	755
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,205	4,300	4,275
		カ 事業費(ア~オ合計)	5,020	5,104	5,030

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)加入率は、ほぼ横ばいですが、休会する単位老人クラブもあります。 (原因)老人クラブ加入対象年齢になっても新規加入する人ばかりではない状況です。また、役員の担い手がいないことから休会になる単位クラブがあります。 (余地)新規加入を増やすために、入っていて楽しい、やりがいのある会となるよう支援する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

緊急通報システム整備事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置を貸与し、緊急事態発生時における迅速かつ正確な救援体制をとることにより、独居高齢者等の日常生活の不安の解消を図ることを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛総合警備保障と令和5年4月1日～8年3月31日までの長期継続契約締結しています。 ・緊急通報時に警備員が自宅へ連絡又は現場へ駆けつけ、状況処理や救急車の出動要請等を行いました。 <p>【実績】 新規設置数11基（令和6年度末設置者数46名） ・申請により見守りの必要な高齢者宅に設置しました。 R6事業費 1,616千円</p>

特定財源情報
過疎対策事業債 1,400千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 新規緊急通報システム設置数 (基)	12	4	11	
	活動				
	成果 緊急情報システムで見守られている高齢者数 (人)	65	50	46	
	成果 緊急情報システムを活用した高齢者ご自身による通報件数 (件)	34	33	19	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	1,900	1,700	1,400
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	189	175	216
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,089	1,875	1,616

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 緊急通報システムで見守られている高齢者は46名で昨年度より減少しました。 (原因) 新規設置者が11名ありましたが、施設入所や入院等により解約をした方が15名あったため減少しました。 (余地) 緊急事態に対応できることで、日常生活の不安解消を図ることができるため、申請は継続的に出てくると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

高齢者タクシー利用助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

対象者にタクシー補助券を交付しました。1回当たりのタクシー料金が補助券の額面と同額又は超える場合に補助券を使用でき、額面を超えるタクシー料金は利用者が負担しました。

<申請・交付>
申請書受理・審査後、補助券を最大50枚交付しました。(申請月により限度枚数の設定有)

<券の種類>
1,500円券(脇本・中玉)、1,000円券(猿鳴)、800円券(左右水・大浜・長月第4)、500円券(その他地区)

【実績】
500円券1,404人 800円券17人 1,000円券6人 1,500円券2人 R6事業費 20,413千円

特定財源情報

- ・過疎対策事業債 20,900千円
- ・ふるさとづくり基金繰入金 2,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 タクシー券交付者数(人)	519	1,281	1,429	
	活動				
	成果 タクシー券使用率(%)	66.9	72	74.6	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	8,000	20,000	20,900
		エ その他	0	0	2,000
		オ 一般	1,288	1,214	1,113
		カ 事業費(ア~オ合計)	9,288	21,214	24,013

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)昨年度と比べると利用実績は増加しています。 (原因)R5年度から80歳以上の距離要件を撤廃したことにより、利用対象者が増えたことが要因と考えます。 (余地)今後も交通の不便な地域の高齢者の移動支援として継続的に申請者は増加すると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

申請書を提出してもらい、審査をして決定（却下）通知を交付しました。
決定者を業者へ報告し、業者が受注し配布しました。
業者から毎月の実績を報告してもらい、支払いをしました。

利用者の希望する紙おむつ（フラット、尿とりパッド、簡単テープ止め、はくパンツ）を月3,000円以内で現物支給しました。

【実績】R6申請者114人 支給件数1月平均約67件 R6事業費2,293千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 紙おむつ支給申請者数（人）	138	120	114	
	活動				
	成果 年間紙おむつ支給件数（件）	952	859	815	
	成果				
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,782	2,330	2,293
	カ 事業費（ア～オ合計）	2,782	2,330	2,293	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）支給件数は少しずつ減少傾向です。 （原因）要介護4、要介護5になった方の介護用品支給事業への変更と施設入所や死亡により不支給になる方がいるためです。 （余地）ケアマネージャーへ制度の周知と協力を依頼していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

鍼灸マッサージ等施術費助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>町民の健康保持増進と福祉の向上のため、はり、きゅう、マッサージなどの施術を受ける場合において、その費用の一部を助成しました。</p> <p>・対象者が規則で定める施術機関（愛南町、宇和島市、宿毛市）において、はり、きゅう、マッサージ等の施術を受けた場合に、1回につき、利用費用の一部1千円を助成しました。ただし、1人につき1日1回とし、1箇月に2回を超えないものとなりました。</p> <p>【実績】</p> <p>・申請により、はり、きゅう、マッサージ券を交付しました。施術後、請求により1回1千円の助成金を支払いました。</p> <p>・R6事業費 1,958千円</p>

特定財源情報
後期高齢者医療制度特別対策補助金 380千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 はり きゅう マッサージ券の交付者数 (人)	278	299	319	
	活動				
	成果 はり きゅう マッサージ券の使用率 (%)	45.6	45	45	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	331	343	380
		オ 一般	1,407	1,642	1,578
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,738	1,985	1,958

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)申請者は、昨年度と比べると20人増加し319人となりました。 (原因)高齢者の健康保持増進への関心は高く、自己管理のため本事業を活用しているものと思われます。 (余地)今後も広報等で制度を周知していくことで、申請者の増加が見込まれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

独居高齢者見守り推進事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>愛南町、協力事業所及び見守り協力が連携し、高齢者のみの世帯を訪問又は見守りし、徘徊、安否確認、不測の事態の早期発見及び孤独感の不安の解消を図ることを目的とします。</p> <p>・高齢者地域見守りネットワークへ登録届のあった者及び緊急通報システムを設置している高齢者世帯等への見守りを、民生委員及び老人クラブ会員へ依頼しました。</p> <p>【実績】</p> <p>・見守り協力員（民生委員、老人クラブ）と連携し、高齢者が安心して生活できるよう見守りを行いました。</p> <p>・この事業活動に対し、1人1か月1,000円(限度額)の謝礼を支払いました。</p> <p>R6事業費 730千円</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 見守り対象高齢者宅数 (件)	95	90	66	
	活動				
	成果 独居高齢者見守り訪問地区数 (地区)	49	50	44	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	827	809	730
	カ 事業費 (ア～オ合計)	827	809	730	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)見守り高齢者宅数、訪問地区数ともに減少しています。</p> <p>(原因)体調の急変による長期入院や施設入所に伴い緊急通報装置の解約が増えている状況です。</p> <p>(余地)ケアマネや広報紙等を通じて、対象高齢者の申請を促します。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

介護慰労金支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>ねたきり老人及び認知症の老人等と要介護老人を抱える介護者の労をねぎらうとともに、積極的に支援することを目的として支給しました。 在宅で3か月以上継続して介護をしている同居者で、生計を同じくする者の申請により、申請月の翌月から支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慰労金 月額7,500円（住民税非課税世帯で、介護サービス利用なし） 月額5,000円（住民税非課税世帯で、介護保険適用の通所介護及び訪問介護等の利用者） 月額3,000円（住民税課税世帯） ・申請により実態調査を行い可否を決定し、介護者に介護慰労金を支払いました。 <p>【実績】 ・受給者数35人（内新規申請者数16人）に介護慰労金を支払いました。 R6事業費 1,453千円</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 申請者数 (件)	42	42	35	
	活動				
	成果 (代替)受給者数 (件)	42	42	35	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,401	1,313	1,453
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,401	1,313	1,453	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 令和6年度の新規申請16件で、受給者数は35件でした。非課税世帯22件、課税世帯13件に支給しました。 (原因) 生計を同じくする者という支給条件なので、世帯分離している世帯は非該当となります。 (余地) 担当ケアマネや、町の広報等で周知し、該当者の申請を促します。

高齢者運転免許証自主返納支援事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>高齢者の運転による交通事故の防止を図るために、高齢者の運転免許証の自主返納を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転経歴証明書の写し又は、せん孔処理した運転免許証の写しを添えて申請します。 ・補助券は交付した日の属する年度から3か年申請できます。 ・申請により、タクシー利用補助券を対象者1人につき500円券50枚を限度として交付しました。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助券交付件数 329件 R6事業費 5,657千円 	

特定財源情報	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	補助券交付件数 (50枚1綴) (件)	262	309
成果	成果	タクシー補助券使用率 (%)	71	75	68
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,742	5,703	5,657
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,742	5,703	5,657

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度は329件の交付を行いました。補助券使用率は低下しました。</p> <p>(原因) 高齢者自身の免許返納の意識が高まっている状況です。申請者数は増加しましたが高齢者タクシーと併用できるため、使用率は低下しています。</p> <p>(余地) 申請できる期間は3年間です。今後も継続的に申請があると考えられます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

介護タクシー助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成30年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>公共交通機関を利用することが困難な高齢者又は身体障がい者が、通院又は入退院若しくは転院の為に利用する介護タクシーに要する料金の一部を助成する事により、経済的な負担の軽減及び健康状態の安定に寄与することを目的とします。</p> <p>申請・交付 ・申請書(常時車いす使用又は寝たきり等これらと同等の状態であることが確認できる書類の写し添付)を受理・審査後、対象者に介護タクシー助成券を交付しました。 ・愛南町内の医療機関の通院又は入退院をする場合、48枚綴タクシー券が利用できます。 ・愛媛県、高知県内の医療機関への利用についても、利用制限を設け請求により助成金を支払いました。</p> <p>【実績】 ・助成券交付者数138人、町外の利用者は21人(38回)でした。 R6事業費 2,143千円</p>	

特定財源情報	
過疎対策事業債 1,900千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 介護タクシー助成券交付者数(人)	114	118	138	
	活動 うち、町外医療機関利用者数(人)	9	16	21	
	成果 介護タクシー助成券利用率(%)	75	94	68	
	成果 延利用件数(枚数)(件)	1,056	1,021	972	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	1,200	1,700	1,900
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	244	165	243
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,444	1,865	2,143	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和6年度は、138件の助成券交付がありました。 (原因)令和3年度から利用制限を設け町外医療機関への利用を拡充、町内月4回の利用制限を撤廃したことから、交付者と利用者が増加しました。 (余地)介護タクシー料金の一部を助成する事で、経済的な負担の軽減と健康状態の安定を図りました。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

おれんじくらぶ管理・運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 児童発達支援の充実	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>療育が必要な乳幼児・児童・生徒に対して日常生活における基本的動作を習得し集団生活に適應することができるように当該障がい児の身体及び精神の状況や環境に応じて、適切な指導や訓練等を提供しました。</p> <p>・事業所の名称：通園（デイサービス）事業おれんじくらぶ ・実施主体：愛南町 ・業務委託先：（社）御荘福祉施設協会 ・開所日：週5日（午前9時～午後5時） ・利用定員：各10名 ・職員数：常勤数4名 ・利用料：応能負担</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童デイサービス事業負担金 7,677千円 ・児童デイサービス利用者負担金 312千円 ・福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金 24千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	開所日数(年間)(日)	248	243
活動	活動	利用申請受付件数(年間)(件)	59	56	60
成果	成果	おれんじくらぶ利用者数(年間実人員)(人)	59	56	60
成果	成果	おれんじくらぶの施設年間稼働率(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	141	0	24
		イ 県	0	45	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	11,784	9,879	7,989
		オ 一般	7,216	9,838	14,097
		カ 事業費(ア～オ合計)	19,141	19,762	22,110

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)利用者数は前年度に比べ、4人増加しています。 (原因)小学校や中学校への入学、高校卒業に伴い利用を中止した人数よりも新規で利用する人数が多かったことによります。 (余地)療育の必要性を保護者に理解してもらうことで利用の継続につながると考えています。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

児童通所支援給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 児童発達支援の充実	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>利用希望者から相談・申請を受けて、必要なサービス費等を支給しました。 障がい児の日常生活の自立を促すために、障害児通所支援給付（児童発達支援、放課後等 デイサービス）を実施しました。 障がい児の自立した生活を支え、障がい児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向 けて、障害児相談支援給付を実施しました。・利用料：応能負担</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児施設措置費（給付費等）国庫負担金 38,430千円 ・ 障害児施設措置費（給付費等）県負担金 18,836千円 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	申請件数(件)		93	94
活動	給付金額(円)		72,636,918	76,876,937	76,111,206
成果	児童通所支援施設年間延べ利用者数(人)		1,142	1,152	1,068
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	36,091	40,400	38,430
		イ 県	18,159	19,219	18,836
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	18,387	17,258	18,845
		カ 事業費(ア～オ合計)	72,637	76,877	76,111

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 申請件数は3件、年間延べ利用者数は84人減少しています。 (原因) 要支援者の早期発見のための支援体制の確立や相談支援体制の充実により 新規の利用希望者は増加傾向にありますが、家庭の事情や進学による学校活動の都 合により利用を終了する方が増えてきています。 (余地) 利用者数を増加させる方策としては、事業所の利用定員を増やすなど受け 入れ態勢を強化することが考えられますが、各事業所における資金調達や人材確保 等の課題があります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

障害者自立支援医療費給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

身体に障がいをもたらしている一定の症状（放置すればその身体障がいの状態が永続する）への医学的処置を行うことによって、日常生活活動を回復又は向上する可能性の認められたものに対し、医療費の一部を公費で負担しました。

利用者負担：原則として応能負担（最大で医療費の1割）

対象となる医療：人工透析、心臓バイパス術、人工関節置換術、肝臓移植など

障害者自立支援事業費負担金 国1/2 県1/4

【実績】

・ 役務費 70千円

・ 扶助費 44,174千円

特定財源情報

・ 自立支援医療国庫負担金 17,097千円

・ 自立支援医療県負担金 11,043千円

・ 委回事務交付金(県) 141千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 申請者数(件)	114	101	96	
	活動 給付金額(円)	21,553,027	31,550,276	44,173,780	
	成果 適格者で障害者自立支援医療費給付を受けている割合(%)	100	100	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	9,288	16,857	17,097
		イ 県	5,388	8,023	11,184
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,964	6,735	15,963
		カ 事業費(ア～オ合計)	21,640	31,615	44,244

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和6年度の決定件数は96件で、対象者全てに医療給付することができました。医療費の給付により、症状の除去又は軽減につながり日常生活を安易にすることができました。</p> <p>(原因) 身体障害者手帳の申請に併せて制度の周知や案内を行うことにより、対象者への給付が確実にできたと考えます。</p> <p>(余地) 対象となる医療給付は限定されていますので、年度毎に増減があります。引き続き、制度の周知及び適切な事務処理を行います。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

障害者自立支援介護等給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>利用希望者から相談・申請を受けて、必要なサービス費を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の負担の軽減、自立した日常生活等を送れるように介護給付費及び訓練等給付費を支給しました。 ・障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて計画相談支援給付費を支給しました。 <p>・財源：障害者自立支援給付費負担金 ... 国1/2、県1/4 ・利用料：応能負担</p> <p>【実績】 審査支払手数料1,389千円、システム改修1,525千円 システムリース料634千円、サービス給付費720,711千円 消耗品99千円</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援給付費国庫負担金(サービス給付費分) 357,195千円 ・障害者自立支援給付費県負担金(サービス給付費分) 180,136千円 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	申請件数(件)	447	455
活動	活動	給付金額(円)	686,579,181	682,287,505	720,547,06
成果	成果	障害者自立支援介護等給付利用のべ人数(人)	4,659	4,612	4,606
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	344,761	341,091	357,195
		イ 県	170,778	171,207	180,136
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	171,040	173,381	187,027
		カ 事業費(ア~オ合計)	686,579	685,679	724,358

成果 実績 評価	成果状況	(状況)申請件数は昨年度と比較して53人、年間延べ利用者数は6人減少して います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)利用者の高齢化による介護保険サービスへの移行や利用者の死亡、転出等 が大きな要因となっています。
	成果向上余地	(余地)相談支援制度の普及により事業の認知度は高まっているため、今後も必要 なサービス提供に努めます。
	大 中 小 なし	

障害者地域生活支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

障がいのある人が地域で安心して生活できるよう必須の7事業と任意の5事業を実施しました。

<必須事業> 成年後見制度利用支援事業・意思疎通支援事業・日常生活用具給付事業・手話奉仕員養成研修事業・移動支援事業・地域生活支援センター機能強化事業
相談支援事業(愛南の風、いろり、愛南社協、ままと、南愛媛療育センター、柿の木)

<任意事業> 日中一時支援事業・重度障害者自動車改造費用助成・障害者自動車運転免許取得助成・訪問入浴サービス(愛南社協訪問入浴事業所)

<地域生活支援促進事業> 発達障がい児者及び家族支援事業(指定特定障害児者相談支援事業所ままと)・成年後見制度普及啓発事業(宇和島市社協)

【実績】

- 報酬 672千円 ・ 需用費 99千円 ・ 役務費 274千円 ・ 委託料 30,459千円
- 使用料及び賃借料 35千円 ・ 負担金補助及び交付金 5,559千円

特定財源情報

- ・ 障害者自立支援事業費補助金(国費) 4,073千円
- ・ 障害者自立支援事業費補助金(県費) 1,650千円
- ・ 重層的支援体制整備事業補助金(国庫) 2,149千円
- ・ 重層的支援体制整備事業補助金(県費) 1,701千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 事業委託料 補助金額 (円)	35,095,382	34,063,149	37,098,131	
	活動 申請者数 (人)	317	387	340	
	成果 障害者地域生活支援事業年間利用回数 (回)	2,913	3,672	3,641	
	成果 障害者地域生活支援事業利用実人数 (人)	317	387	340	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,556	4,997	6,222
		イ 県	2,956	2,497	3,351
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	11	9	0
		オ 一般	25,572	26,560	27,525
	カ 事業費(ア~オ合計)	35,095	34,063	37,098	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 昨年度と比較して利用回数は横ばいですが、利用者実人数は減少しました。 (原因) 一般相談と日常生活用具の利用者実人数が減少しています。 (余地) 新規で障害者手帳を取得する方や、相談支援専門員へ事業の周知を行うことで、利用者が増加すると思います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

障害者自立支援補装具給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>身体上の障がいを補うため補装具の交付、修理に係る費用を支給しました。</p> <p>【補装具の主な種類】 視覚障がい・・・盲人安全杖、義眼、眼鏡 聴覚障がい・・・補聴器 肢体不自由・・・義肢、装具、車いすなど</p> <p>【自己負担】原則1割負担（非課税世帯は負担なし）</p> <p>【実績】25件 購入12件：車いす2件、義肢1件、補聴器4件、歩行補助杖4件、歩行器1件 修理13件 電動車いす3件、車いす7件、座位保持装置1件、義肢1件、人工内耳1件</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者自立支援給付費国庫負担金 1,005千円 ・ 障害者自立支援事業県負担金 503千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	申請者数 (件)		21	21
活動	補装具購入・修理件数 (件)		21	21	25
成果	適格者で障害者自立支援補装具給付を受けている割合 (%)		100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,427	1,773	1,005
		イ 県	680	886	503
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	617	888	1,103
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,724	3,547	2,611

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 給付及び修理件数は、4件増加しています。</p> <p>(原因) 補装具は、障がいの状態により給付されるものです。また、修理に関しても耐久年数が設定されているため、年度により給付及び修理件数に増減があります。</p> <p>(余地) 補装具制作者及び県の判定機関と連携を密にして、受給者の不利益とならないよう、迅速な事務処理に努めます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

障がい者(児)タクシー利用助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

次の ~ のいずれかに該当する者に対してタクシー料金の一部を助成しました。
 身体障害者手帳1級又は2級の手帳を所持している者。ただし、体幹機能、下肢、呼吸機能については個別等級3級も対象とする。
 療育手帳A又はBの手帳を所持している者
 精神障害者保健福祉手帳1級又は2級の手帳を所持している者
 その他町長が特に必要と認める者

【実績】・年間50枚を限度としてタクシーチケットを交付しました。
 ・交付件数125件
 ・チケット交付率64% (交付枚数5,618枚/利用枚数3,585)

特定財源情報

過疎対策事業債 1,700千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 タクシー券交付者数(人)		98	125	
	活動				
	成果 タクシー券使用率(%)		64	64	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	1,300	1,700
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	83	93
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	1,383	1,793

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)対象者に対して適切にタクシー券を交付できており、障がい者(児)の社会参加促進と在宅福祉の増進が図れています。 (原因)ホームページや町の広報誌等を活用することで周知を行い、関係機関と連携をとれたことが要因です。 (余地)今後も更なる周知を行うことで利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

身体障害者福祉協議会補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	03 社会参加の促進と就労支援	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>運動方針に基づく活動に対して補助金を交付しました。 主な活動：障がい者スポーツ大会への参加、福祉イベントへの参加、交流事業、地域見守り相談員事業、研修会等の開催及び参加</p> <p>【実績】補助金：637,000円 ・県スポーツ関連事業の実施及び参加 ・県障がい者団体が開催する研修会等への参加 ・町協議会開催事業 児童クラブとのポッチャ交流会等、町協議会研修会、防災学習会、地区役員会、理事会</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	0	637,000	637,000	
	活動 活動回数 (回)	15	22	19	
	成果 身体障害者福祉協議会会員数 (人)	151	133	132	
	成果 身体障害者福祉協議会事業参加者数 (人)	124	150	115	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	637	637
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	637	637

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)会員数は令和6年度で132名となっており、毎年減少しています。活動内容の見直しを行うことで魅力ある事業の立案及び実施を目指していますが、新規会員を増加させることは難しい状況です。 (原因)会員の高齢化や身体の状況等により、積極的な活動を行う意欲が減退してきているため、事業運営が事務局や一部会員に集中しています。また、諸事情で脱会する会員も増えてきています。 (余地)見直しを行った活動内容を維持・継続することで、協議会の魅力と社会貢献度が向上し、補助金のより適正な執行が図られます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

特別支援学校寄宿舎生徒送迎事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	129
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>町の登録運転手が宇和特別支援学校寄宿舎利用児童・生徒の送迎を行いました。また、体調面等の配慮が必要になる生徒もいるため、保護者会等が付添として同乗しました。送迎は公用車を使用して、休日及び祝日後の登校時及び休日及び祝日前の下校時に実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用生徒実人数 3人(延190人) ・送迎回数 75回 ・事業費 864千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 利用生徒数(人)	5	3	3	
	活動				
	成果 身体的、精神的負担が軽減された保護者の割合(%)	100	100	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,764	880	864
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,764	880	864

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)寄宿舎に入舎する3名の生徒が利用しており、保護者の身体及び精神的な負担の軽減を図ることができました。 (原因)保護者等に送迎事業に関する周知が行われていることが要因として考えられます。 (余地)年度毎に保護者への周知を行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

県人権対策協議会愛南支部補助事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 人権・同和教育の推進	目	08 人権・同和对策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>同和問題をはじめとする、あらゆる人権課題解決のため、愛媛県人権対策協議会愛南支部の活動を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県人権対策協議会愛南支部事業の開催（総会等） ・愛媛県人権対策協議会事業への参加（講演会、研修会、研究大会等） <p>【実績】 愛南支部総会、役員会・部会、全国女性集会、人権啓発土曜講座、南予地域啓発講演会、南予ブロック研修会、女性対策部一泊研修会等</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	450,000	1,190,000	1,190,000	
	活動				
	成果 県人権対策協議会愛南支部各種行事及び大会等への参加者数 (人)	24	44	55	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	450	1,190	1,190
		カ 事業費 (ア～オ合計)	450	1,190	1,190

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 参加者は前年度比で11人増加しています。 (原因) 役員会や研修会の開催数が増えたためです。 (余地) 開催場所の変更等、事業の実施方法を会員の参加が容易となる形態とすることで参加者の増加が見込めます。

大森文化会館管理運営事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 人権・同和教育の推進	目	09 隣保館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>地域に密着したコミュニティーセンターとして、人権・同和問題を解決する隣保館としての役割りを果たすための管理運営を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業.....生活上の相談、人権に関する相談、職業相談等 ・啓発・広報活動...人権に関する理解を深めるための広報・啓発活動 ・各種研修会、研究大会への参加 ・施設の維持管理 <p>【実績】 会館事業256人、生花教室58人、相談事業5人、会議室利用86人</p>

特定財源情報
隣保館運営費補助金 1,575千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	1	1	2	
	活動 開館日数 (日)	246	247	248	
	成果 大森文化会館年間利用者数 (人)	251	349	405	
	成果 大森文化会館年間事業参加者数 (人)	263	219	256	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	13,006	1,553	1,575
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	514	56	63
	カ 事業費 (ア～オ合計)	13,520	1,609	1,638	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較すると、利用者数は56人増加、事業参加者数は37人増加しています。 (原因) 会館を利用した会議の開催数が増えたためです。 (余地) 館だよりによる周知や事業の充実を図ることにより、利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

出産子育て支援金交付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>出生後1年間愛南町に住所がある見込みの交付対象予定者に対し、乳児健診時に申請書等を配付し、申請内容を審査後、支援金の交付を行いました。</p> <p>【実績】</p> <p>第1子 100千円 16件 第2子 200千円 24件 第3子以降 300千円 11件</p>	

特定財源情報	
過疎対策事業債 9,300千円(地方債)	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	交付金額(千円)	12,900	11,300
成果	成果	交付率(%)	100	98.4	96.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	12,900	10,500	9,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	800	400
		カ 事業費(ア~オ合計)	12,900	11,300	9,700

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 対象件数53件に対して51件に交付し、交付率は96.2%でした。なお、残り2件についてはR07年度に交付の見込みです。</p> <p>(原因) 制度について十分周知されていること、申請がない場合は、再度申請期限前での再通知を実施したことが考えられます。</p> <p>(余地) 今後も制度の周知の徹底に努めます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

乳幼児用紙おむつ券交付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>申請により、町内店舗で利用できる紙おむつ券を対象となる保護者へ交付しました。利用があった町内の登録店舗に対し、実績に基づき支払いを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児用紙おむつ券1,000円券×50枚綴り ・第2子以降利用分について県1/2補助 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙おむつ券の交付数 第1子 18件 第2子以降 31件 ・町内登録店舗支払額 第1子分 915千円 第2子以降分 1,876千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・愛顔の子育て応援事業補助金 1,032千円(県) ・過疎対策事業債 1,400千円(地方債) 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 紙おむつ券交付人数(人)	68	60	49	
	活動				
	成果 町内登録店舗への支払額(千円)	3,785	3,023	2,791	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,237	977	1,032
		ウ 地方債	2,000	1,600	1,400
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	626	531	441
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,863	3,108	2,873

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 交付人数及び登録店舗への支払額は、当初見込みより減少しました。 (原因) 出生数の減少によります。 (余地) R06年度交付分については、次年度も使用期限内にあるため引き続き利用が見込まれます。引続き県と連携した当事業のPRを行い、更なる子育て支援につなげます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

出産子育て応援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 次世代につなぐ子ども 子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 子どもの健やかな成長	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>妊娠・出産を望む人がその希望を叶えられ、安心して子育てができる環境づくりを進めるため、えひめ人口減少対策総合交付金を活用して、支援を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年出産世帯応援事業 16件 (3,061千円) ・若年出産世帯奨学金返還支援事業 6件 (1,035千円) ・多子世帯リフォーム等支援事業 6件 (1,500千円) 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・えひめ人口減少対策総合交付金 (若年出産世帯応援交付金) 1,530千円 (県) ・えひめ人口減少対策総合交付金 (若年出産世帯奨学金返還支援交付金) 518千円 (県) ・えひめ人口減少対策総合交付金 (多子世帯リフォーム等支援交付金) 750千円 (県) 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 申請件数 (件)		11	28	
	活動				
	成果 年度末の0歳児の数 (人)		53	45	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	1,097	2,798
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	1,096	2,798
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	2,193	5,596

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) R05年度に比べ、申請件数が17件増加しました。 (原因) R05年度に比べ、周知を図ることができたと考えられます。 (余地) R06年度に出産した方については、1歳到達日の前日まで申請できることから、引き続き事業を周知し、更なる子育て支援につなげます。またR07年度からは対象が広がった為、更に申請件数が増えたと見込まれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

放課後児童クラブ事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>平城小学校、城辺小学校、一本松小学校のそれぞれの学校の余裕教室1室を放課後児童クラブの教室として使用し、支援員を配置して事業を実施しました。</p> <p>【利用児童数】R07年3月末時点 平城小学校38名、城辺小学校30名、一本松小学校25名</p> <p>【支援員数】R07年3月末時点 平城小学校5名、城辺小学校4名、一本松小学校4名</p> <p>年度途中に定員を超える入所申請がありましたが、弾力的な受け入れを行ったため、待機児童なく放課後児童クラブ事業が実施できました。</p>

特定財源情報
<p>保護者負担金と事業費との差額及び下記補助金は会計年度任用職員等管理運営事業に充当</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業費補助金 9,991千円(国) 10,226千円(県) 放課後児童クラブ保護者負担金 5,317千円(その他)

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 放課後児童クラブの設置数(箇所)	3	3	3	
	活動				
	成果 放課後児童クラブ待機者数(人)	0	0	0	
	成果 放課後児童クラブ入会決定児童数(人)	105	98	104	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,553	2,542	2,733
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,553	2,542	2,733	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 年度当初からの待機児童は発生していません。</p> <p>(原因) 年度当初の申込者は前年度に比べ8名増加し101名、年度途中の申込者は4名の実績でした(1名辞退あり)。平城小学校児童クラブで定員を超える申込がありましたが、安全に配慮し、弾力的に受入をしたため待機児童は出ていません。</p> <p>(余地) 待機児童が出ないように、引き続き保護者ニーズの把握に努めるとともに、必要に応じて関係各課と連携を図りながら、より良い事業運営を検討していきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

病児保育事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	135
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>病院に病児保育を委託して事業を実施しました。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施施設 岡沢クリニック テレサルーム (H29年5月1日事業開始) ・対象児童 生後3ヶ月から小学6年生までの病気の急性期でない児童 ・実施日 月～土曜日 (第1・3土曜日、日祝日、お盆、年末年始は休み) ・時間 8:30～17:30 ・利用料金 一日 2,000円 半日 1,000円 (生活保護世帯は無料、非課税世帯は半額) 	

特定財源情報	
子ども・子育て支援交付金 4,510千円 (国) 4,497千円 (県)	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	病児保育実施日数 (日)	266	266
成果	活動	委託料 (千円)	12,131	12,097	13,493
	成果	病児保育利用登録人数 (人)	221	211	243
事業費 (千円)	成果	病児保育利用延べ人数 (人)	295	687	625
	財源内訳	ア 国	4,040	4,030	4,510
		イ 県	3,344	4,031	4,497
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,751	4,040	4,486
	カ 事業費 (ア～オ合計)	12,135	12,101	13,493	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 登録人数が32名増加し、利用延べ人数が62名減少しておりますが、順調であると考えます。</p> <p>(原因) 登録人数が増えていることから、本事業の周知が適切にできていると考えられます。また、利用延べ人数が減っているのは感染症等の流行が少なかったと考えられます。</p> <p>(余地) 病気の流行等により、利用延べ人数の増減があります。児童数の減少により登録人数が減少していきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

放課後図書クラブ事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	135
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和06年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>平城小学校の図書室に放課後図書クラブを設置し、支援員を配置して保育を行いました。</p> <p>【開所時間】 学校登校日の放課後から17：00まで</p> <p>【利用児童数】 R07年3月末現在 4名</p> <p>【指導員数】 R07年3月末現在 5名</p>

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・地域子ども見守り事業の補助対象事業 428千円（県） ・放課後図書クラブ保護者負担金 63千円（その他）

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開所日数 (日)	187	190	188	
	活動				
	成果 放課後図書クラブ待機者数 (人)	0	0	0	
	成果 放課後図書クラブ入会決定児童数 (人)	2	5	4	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	500	448	428
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	33	77	63
		オ 一般	499	451	433
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,032	976	924	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 定員は10名ですが、利用児童は4名となっています。 (原因) 平城児童クラブの入会申込児童が減り、希望通りに入会できる状態にあることが原因と考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) R07年度に放課後児童クラブを拡充することに伴い、R06年度末をもって本事業を終了します。

地域子育て支援拠点事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	135
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	03 地域における子育て支援	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>保育所、任意団体に委託し、下記事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施等 <p>【委託事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまゆう乳幼児保育所（月～金曜日の8:00～17:00 祝日、年末年始は休み） ・こぶたたんぼポケットとんぼ（月～金曜日10:00～16:00、第1土曜日の10:00～12:00 祝日、お盆、年末年始は休み） <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 20,612千円（1施設につき10,306千円） 	

特定財源情報	
重層的支援体制整備事業費補助金 6,870千円（国） 6,870千円（県）	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 地域子育て支援事業実施箇所数（箇所）	2	2	2	
	活動 地域子育て支援拠点事業実施日数（日）	213	240	238	
	成果 登録親子数（人）	229	271	225	
	成果 地域子育て支援拠点事業利用延べ人数（人）	3,827	4,773	4,487	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	5,598	5,758	6,870
		イ 県	5,598	5,758	6,870
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,600	5,762	6,872
	カ 事業費（ア～オ合計）	16,796	17,278	20,612	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>（状況）登録親子数が46人、利用延べ人数が286人減少し、R05年度と比べると不調となっています。</p> <p>（原因）子どもの減少や子育ての多様化などが原因と考えられます。</p> <p>（余地）事業の周知方法や事業内容等を工夫しながら、今後も継続して、取り組んでいきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

子ども・子育て支援事務

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	135
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議をR06年12月11日、R07年2月6日に開催し、子ども・子育て支援事業の見直し、評価を行いました。 ・第2期愛南町子ども・子育て支援事業計画が計画期間満了に伴い、新たに愛南町こども計画を策定しました。 ・通学用力パン無償配付事業を実施し、R07年度小学校入学児童77名に通学用力パンを配付しました。 ・中学校通学用力パン等補助事業を実施し、R07年度中学校入学児童の保護者113名に、通学用力パン等の購入に係る費用の補助を行いました。 ・保育施設利用保護者に対するアンケートをR06年12月からR07年2月に実施しました。 ・愛媛県子どもの愛顔応援県民会議へ負担金を支払いました。 	
【実績】	
・こども計画策定事務（委託料） 4,070千円 ・その他子育て支援事務 2,155千円	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 880千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 会議開催件数 (件)	1	1	2	
	活動				
	成果 計画成果目標に対する単年度達成率 (%)	96.5	96.2	96.5	
	成果 計画策定進捗率 (%)	-	-	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	880
		オ 一般	65	63	5,345
	カ 事業費 (ア～オ合計)	65	63	6,225	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) ニーズ調査の実施や現場の意見聴取から、今後の地域ニーズの見通し等を適切に把握することができています。 (原因) 実施事業については、サービスの質の向上に努めることにより評価を得ています。 (余地) カバーできていない部分については、現事業の拡充や他の類似事業の活用検討など柔軟な対応が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

児童保育委託事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	137
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	02 児童措置費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>保育委託をした私立保育所に対し、公定価格（保育単価）及び入所人数に基づいた委託料を支払いました。 。船越保育園に対し3歳以上の完全給食を実施するための主食（米）代及び副食代を支払いました。 保育の広域利用（里帰り出産など）で町外保育施設の利用に対して、他市町村や施設と協議のうえ費用の精算を行いました。</p> <p>【実績】 はまゆう乳幼児保育所 園児数45人 船越保育園 園児数14人 完全給食委託（船越） 延べ1,914人 副食費無償化（船越） 対象6人 広域保育（町外） 公立2人、私立1人</p>

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・子どものための教育・保育給付交付金 67,321千円（国） 24,161千円（県） ・保育所保護者負担金 7,831千円（その他）

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 委託児童数（人）	62	60	59	
	活動 委託金額（円）	117,524,796	116,859,221	130,092,706	
	成果 保育サービス満足度（%）	91.04	89.60	89.24	
	成果 苦情件数（件）	0	0	0	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	56,424	61,166	67,321
		イ 県	21,121	23,156	24,161
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	6,486	6,317	7,831
		オ 一般	33,494	27,966	30,780
		カ 事業費（ア～オ合計）	117,525	118,605	130,093

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	（状況）入所者アンケート満足度は前年度89.60%から0.36ポイント低下し、89.24%となりましたが、依然高い満足度を維持しています。 （原因）質の高い保育サービスが提供され満足度に現れたと考えられます。 （余地）毎年の指導監査等により改善を行い、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
----------------	--	--

母子寡婦福祉会助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	137
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	03 地域における子育て支援	目	03 母子父子福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
母子寡婦福祉会の運営についての助言、指導、補助金の交付をしました。
主な活動内容 定期理事会の開催 町内の美化活動 ボランティア活動の実施 料理教室の実施 制服バンク事業

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	500,000	500,000	500,000	
	活動 会員数 (人)	51	55	50	
	成果 母子寡婦福祉会の催しへの参加者数 (人)	313	362	246	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	500	500	500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	500	500	500

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 会員が高齢化し、活動の機会や参加者が減少しています。また、上部団体である県母子寡婦福祉連合会がR5年度末をもって解散したため、今後は更なる自主的活動の必要性が高くなっています。 (原因) 若年母子家庭向けのイベントが少ないことや、活動内容の周知不足と若い世代との接点や機会が少ないことが原因と考えられます。 (余地) 事業の周知による認知度の向上及び若年層との接点を見出し、会員を増やすことが必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ひとり親家庭医療給付事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	137
施策	04 健康・医療体制の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	06 福祉医療費助成制度の充実	目	03 母子父子福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>保険適用医療費の自己負担分を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者からの申請に基づき、ひとり親家庭医療費受給者証を交付しました。 ・通院及び入院の保険適用医療費の自己負担分を、現物支給又は窓口での申請による償還払いで助成しました。 ・6月に更新案内通知を受給者に送付し、手続き後、新しい受給者証を交付しました。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 11千円 ・審査支払手数料 153千円 ・扶助費(4,056件) 11,878千円

特定財源情報
ひとり親家庭医療費補助金 6,164千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 受給者数(人)	353	332	307	
	活動 医療費助成額(千円)	12,173	12,590	11,878	
	成果 受給者1人当たり助成額(円)	34,484	37,921	38,691	
	成果	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	6,278	6,420	6,164
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,070	6,341	5,878
		カ 事業費(ア～オ合計)	12,348	12,761	12,042

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 受給者1人当たり助成額は、前年度比較で770円増加しています。</p> <p>(原因) 受給者数、医療費助成額とも減少傾向にありますが、医療の高度・高額化が原因と考えられます。</p> <p>(余地) 制度を維持・継続し、公平・公正な経済的医療アクセスを担保します。</p>
--------	--	---

柏保育所管理運営事業

町長部局 柏保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	139
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>子ども・子育て支援制度に基づき、保護者の就労状況に応じた保育サービスを行いました。年齢別カリキュラムに沿った保育と児童の発達に応じた保育を実施しました。施設の維持管理や園児の安全確保に必要な事務を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R06年度は児童16人を預かり、保育サービス及び施設管理に必要な業務を実施しました。

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所費受託事業収入金額 561千円（その他） ・保育料 558千円（その他） ・ふるさとづくり基金繰入金 5,245千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	開園日数(日)	293	293	293
	活動	利用延べ児童数(人)	4,981	4,981	4,688
	成果	柏保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	88.10	69.38	77.53
	成果	施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	76	9	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	983	4,909	6,364
		オ 一般	4,013	2,055	2,177
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,072	6,973	8,541

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 保護者アンケートの保育サービス満足度は、8.15ポイント上昇しているため、順調です。</p> <p>(原因) 家串保育所の統合先であることから、交流保育の実施など、園児と保護者へ寄り添った保育を行ったことが評価されたと考えます。</p> <p>(余地) 保護者との意見交換や保育の様子を積極的に発信することにより、保護者の保育に対する安心感の向上を目指して取り組んでいきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

家串保育所管理運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	141
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和06年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>子ども・子育て支援制度に基づき、保護者の就労状況に応じた保育サービスを行いました。年齢別カリキュラムに沿った保育と児童の発達に応じた保育を実施しました。施設の維持管理や園児の安全確保に必要な事務を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R06年度は児童6人を預かり、保育サービス及び施設管理に必要な業務を実施しました。 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所費受託事業収入金額 373千円（その他） ・保育料 204千円（その他） ・ふるさとづくり基金繰入金 2,856千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
	活動	活動	開園日数(日)	293	293	293
活動	活動	利用延べ児童数(人)	3,809	2,344	1,758	
成果	成果	家串保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	85.81	84.48	88.33	
成果	成果	施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	86	16	0
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	331	2,794	3,433
			オ 一般	3,497	1,869	0
			カ 事業費(ア～オ合計)	3,914	4,679	3,433

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 保護者アンケートの保育サービス満足度は、R05年度から3.85ポイント上昇し、順調です。</p> <p>(原因) R06年度末の休園を踏まえ、統合先の保育所との交流を行うなど、園児と保護者へ寄り添った保育を実施したことが評価されたと考えます。</p> <p>(余地) R07年度からの事業実施はありません。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

御荘保育所管理運営事業

町長部局 御荘保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	143
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>子ども・子育て支援制度に基づき、保護者の就労状況に応じた保育サービスを行いました。年齢別カリキュラムに沿った保育と児童の発達に応じた保育を実施しました。施設の維持管理や園児の安全確保に必要な事務を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R06年度は児童97人を預かり、保育サービス及び施設管理に必要な業務を実施しました。 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所費受託事業収入金額 1,000千円（その他） ・保育料 1,508千円（その他） ・ふるさとづくり基金繰入金 20,717千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開園日数(日)	293	293	293	
	活動 利用述延べ児童数(人)	27,835	34,574	28,421	
	成果 御荘保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	84.62	84.65	83.19	
	成果 御荘保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	25	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,453	24,284	23,225
		オ 一般	16,818	1,277	0
	カ 事業費(ア～オ合計)	22,271	25,586	23,225	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 保護者アンケートの保育サービス満足度はR05年度から1.46ポイント低下していますが、順調であると考えます。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。 (余地) 毎年の指導監査等により改善を行いながら、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺保育所管理運営事業

町長部局 城辺保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	143
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>子ども・子育て支援制度に基づき、保護者の就労状況に応じた保育サービスを行いました。年齢別カリキュラムに沿った保育と児童の発達に応じた保育を実施しました。施設の維持管理や園児の安全確保に必要な事務を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R06年度は児童91人を預かり、保育サービス及び施設管理に必要な業務を実施しました。 ・空調設備機器・照明機器LED化更新工事 44,880千円 ・空調設備機器・照明機器LED化更新工事監理委託業務 715千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎対策事業債 45,000千円（地方債） ・保育所費受託事業収入金額 215千円（その他） ・保育料 2,845千円（その他） ・ふるさとづくり基金繰入金 19,380千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開園日数（日）	293	293	293	
	活動 利用延べ児童数（人）	28,714	27,542	26,663	
	成果 城辺保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度（%）	86.50	88.19	84.37	
	成果 城辺保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数（件）	0	0	0	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	161	24	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	45,000
		エ その他	4,829	18,160	22,440
		オ 一般	17,240	6,667	0
		カ 事業費（ア～オ合計）	22,230	24,851	67,440

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>（状況）保護者アンケートの保育サービス満足度はR05年度から3.82ポイント低下していますが、順調であると考えます。</p> <p>（原因）保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。</p> <p>（余地）毎年の指導監査等により改善を行いながら、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

緑保育所管理運営事業

町長部局 緑保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	145
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>子ども・子育て支援制度に基づき、保護者の就労状況に応じた保育サービスを行いました。年齢別カリキュラムに沿った保育と児童の発達に応じた保育を実施しました。施設の維持管理や園児の安全確保に必要な事務を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R06年度は児童10人を預かり、保育サービス及び施設管理に必要な業務を実施しました。

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所費受託事業収入金額 1,107千円（その他） ・保育料 365千円（その他） ・ふるさとづくり基金繰入金 3,773千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開園日数(日)	293	293	293	
	活動 利用延べ児童数(人)	4,981	5,274	2,930	
	成果 緑保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	84.09	86.08	95.63	
	成果 緑保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	136	11	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	855	6,046	5,245
		オ 一般	5,629	2,020	259
		カ 事業費(ア～オ合計)	6,620	8,077	5,504

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 保護者アンケートの保育サービス満足度は、9.55%上昇しているため、順調です。</p> <p>(原因) 緑保育所の今後についての話し合いにて保護者の意見を尊重したこと、子育て支援拠点を移設することで園児の交流の機会の拡大を図ったことなどが評価されたと考えます。</p> <p>(余地) 毎年の指導監査等により改善を行いながら、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松保育所管理運営事業

町長部局 一本松保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	147
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>子ども・子育て支援制度に基づき、保護者の就労状況に応じた保育サービスを行いました。年齢別カリキュラムに沿った保育と児童の発達に応じた保育を実施しました。施設の維持管理や園児の安全確保に必要な事務を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R06年度は児童50人を預かり、保育サービス及び施設管理に必要な業務を実施しました。

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・保育料 1,461千円 (その他) ・ふるさとづくり基金繰入金 10,455千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開園日数 (日)	293	293	293	
	活動 利用延べ児童数 (人)	17,580	16,408	14,650	
	成果 一本松保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	84.49	85.42	87.98	
	成果 一本松保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,471	42	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,067	10,647	11,916
		オ 一般	11,051	2,710	1,487
		カ 事業費 (ア～オ合計)	15,589	13,399	13,403

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 保護者アンケートの保育サービス満足度はR05年度から2.56ポイント上昇しているため、順調です。</p> <p>(原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。</p> <p>(余地) 毎年の指導監査等により改善を行いながら、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
--------	--	--

御荘夢創造館管理運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	149
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	03 地域における子育て支援	目	05 児童館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>開館時間：9時～17時 休館日：毎週火曜日、祝日、12月29日～1月3日 (改修工事に伴う臨時休館 4日) ・小学生対象の活動教室として、パソコン・将棋・油絵・工作・百人一首・ハンドメイド等の教室を行いました。保護者を対象としてヨガ教室を行いました。また、毎月の行事としておはなし会・作って遊ぼうを行いました。季節のイベント等として、夏休み子ども集会・卓球大会・グラウンドゴルフ大会・クリスマス会・春のおたのしみ会を行いました。内装・外装等改修工事を行いました。</p> <p>(主な事業費) ・内装・外装等改修工事 43,921千円 ・内装・外装等改修工事監理委託 902千円</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成支援対策施設整備交付金 13,714千円 過疎対策事業債 25,900千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	利用人数(人)	4,769	5,385
活動	活動	参加人数(人)	2,161	2,994	3,175
成果	成果	御荘夢創造館年間延べ利用者数(人)	6,930	8,379	7,935
成果	成果	御荘夢創造館施設管理上の不具合で利用に支障をきたした件数(件)	0	2	4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	13,714
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	25,900
		エ その他	0	2,000	0
		オ 一般	4,164	3,054	8,098
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,164	5,054	47,712

成果実績評価	成果状況	(状況)年間延べ利用人数は7,935人とR05年度と比べ、444人減少しています。 (原因)改修工事に伴い、休館や一部使用できない部屋等があったことが主な要因と考えられます。 (余地)利用者の増加・満足度向上のために、活動内容の充実、施設設備の充実、環境美化及び安全管理の実施が必要だと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

子ども医療給付事業（乳幼児）

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	06 福祉医療費助成制度の充実	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段（R06年度の取り組み）	
<p>保険適用医療費の自己負担分を助成しました。 ・保護者からの申請に基づき、子ども医療費受給資格証を交付しました。 ・通院及び入院の保険適用医療費の自己負担分を、現物給付又は窓口での申請による償還払いで助成しました。</p> <p>【実績】 ・審査支払手数料 298千円 ・扶助費（8,192件） 17,577千円</p>	

特定財源情報	
乳幼児医療費補助金 7,151千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 受給者数（人）	500	472	420	
	活動 医療費助成額（千円）	17,788	20,403	17,577	
	成果 受給者1人当たり助成額（円）	35,576	43,226	41,850	
	成果	0	0	0	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	7,224	8,281	7,151
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	10,856	12,460	10,724
		カ 事業費（ア～オ合計）	18,080	20,741	17,875

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）受給者1人当たり助成額は前年度比較で1,376円減少していますが、増加傾向にあります。 （原因）受給者数、医療費助成額とも減少傾向にありますが、医療の高度・高額化が原因と考えられます。 （余地）制度を維持・継続し、公平・公正な経済的医療アクセスを担保します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

子ども医療給付事業（児童・高校生等）

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	06 福祉医療費助成制度の充実	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段（R06年度の取り組み）	
<p>保険適用医療費の自己負担分を助成しました。 ・保護者からの申請に基づき、子ども医療費受給資格証を交付しました。 ・通院及び入院の保険適用医療費の自己負担分を、現物給付又は窓口での申請による償還払いで助成しました。</p> <p>【実績】 ・審査支払手数料 557千円 ・扶助費（15,690件） 39,359千円</p>	

特定財源情報	
過疎対策事業債（ソフト） 35,300千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 受給者数（人）	1,304	1,236	1,206	
	活動 医療費助成額（千円）	34,956	41,334	39,359	
	成果 受給者1人当たり助成額（円）	26,806	33,441	32,636	
	成果	0	0	0	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	34,200	30,600	35,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,232	11,292	4,616
		カ 事業費（ア～オ合計）	35,432	41,892	39,916

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）受給者1人当たり助成額は前年度比で805円減少していますが、増加傾向にあります。 （原因）医療の高度・高額化が原因と考えられます。 （余地）制度を維持・継続し、公平・公正な経済的医療アクセスを担保します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[245]

在宅当番・救急医療委託事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	07 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>町民のニーズに応えるため、日曜、祝祭日に当番医による診療業務を委託しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に内科系診療（外科については県立南宇和病院） ・委託医療機関数9カ所 ・年間合計71日間 ・診療時間9：00～16：00 ・1日60,000円の報償費 ・事務費等 ・委託料 5,200千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 5,200千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 委託料(円)	5,200,000	5,200,000	5,200,000	
	活動				
	成果 開設日数(日)	70	71	71	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,000	5,000	5,200
		オ 一般	1,200	200	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,200	5,200	5,200

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 開設日数は横ばいです。 (原因) 日・祝祭日に診療を行える体制が整っていることが考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 日・祝祭日においても安心して医療を受けられる体制を常に整えておくことが必要だと考えます。

医師確保関連事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	07 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

医療体制の維持を目的に医師の確保・定着に係る事業を実施しました。

愛媛大学医学部関連

- 愛媛大学医学部の学生とのつながりを深めるための取組を行いました。
内容：愛南町の医療にふれる会の開催(1回) 753千円
愛媛大学医学部の社会医学実習の受け入れ(1回)
県立南宇和病院での地域医療学講座学生の受け入れ支援(22回)
- 医師確保・医療提供体制整備
- 赴任した医師の定着を図るための取組を行いました。
内容：赴任医師応援事業 通算3年未満(5人) 1,100千円
- 医師確保奨学金事業
- R6年度の新規申請はありませんでした。

特定財源情報

ふるさとづくり基金繰入金 1,100千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 事業の実施回数(回)	30	24	24	
	活動 看護師等就職支援補助金交付額(円)	0	0	0	
	成果 看護師等就職支援補助金を利用した人の数(人)	154	117	0	
	成果 研修先、勤務先として町内医療機関を選択した医師の数(人)	16	12	7	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,500	1,003	1,100
		オ 一般	143	519	753
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,643	1,522	1,853	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)事業に参加した学生は106名で横ばいです。研修先、勤務先として町内医療機関を選択した医師の数は7名で減少しています。 (原因)医学生や看護学生の実習を継続して受け入れできていることによるものと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	研修先や勤務先として町内医療機関を選択した医師の減少は、県立中央病院プログラムに参加した研修医の減少が要因となっています。 (余地)医療にふれる会については、早い時期から医学生、看護学生だけでなく、高校生にも周知し、地域医療への関心を高めます。

災害時保健対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	153
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 保健衛生費		
基本事業	04 災害対応力の強化	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>災害時のための医薬品の備蓄及び管理を町内の協力薬局(9か所)に委託しました。防疫対策に必要な感染防止対策物品の備蓄を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時医薬品備蓄事業 180千円 ・災害時防疫対策事業 370千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 備蓄協力薬局数(箇所)	10	10	9	
	活動 災害時の衛生指導件数(回)	0	0	0	
	成果 廃棄医薬品の金額(円)	0	0	0	
	成果 避難所の感染症発症率(%)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,078	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	234	951	550
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,312	951	550	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 町内9か所に災害時医薬品の備蓄をしています。廃棄医薬品もなく事業の成果は順調です。また、感染防止対策物品の備蓄を行うことで、感染症予防及び拡大防止を図りました。</p> <p>(原因) 町内全薬局の協力を得ることができており、医薬品の期限やメーカー変更を適切に行うことができたことや、感染防止対策を備蓄しておくことで、感染症発生の初期対策がスムーズに行えたことが要因と考えられます。</p> <p>(余地) 医薬備蓄品及び感染防止対策物品の確認の必要があると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺保健福祉センター管理運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	153
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町保健福祉センター条例に基づき、町民に対して健康相談、保健指導及び健康診査その他、地域保健に関する必要な事業を行うことを目的として、利用者が快適に利用できるように、施設の管理を行い、38件の設備保守点検及び10件の施設修繕を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設における消耗品費、燃料費、光熱水費の支出。 ・施設を維持するための、清掃、電気保安業務、消防設備点検、浄化槽点検、ボイラー点検、植木管理、警備等の業務を委託し、施設及び設備・備品等の小破修理、修繕及び保守点検を実施しました。

特定財源情報
南宇和郡医師会電気料 100千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修理・修繕件数 (件)	6	13	10	
	活動 保守点検件数 (件)	36	38	38	
	成果 城辺保健福祉センター管理運営上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果 城辺保健福祉センター年間利用者数 (人)	15,066	14,463	13,236	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,500	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	121	104	100
		オ 一般	9,291	15,583	13,610
	カ 事業費 (ア～オ合計)	14,912	15,687	13,710	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)施設の利用者数は13,236人と前年度に比べ1,227人減少しています。施設に係る修繕は10件と前年度に比べ3件減少しています。不具合による支障は0件でした。業務に支障をきたすことなく施設を管理できたことから、成果としては維持・横ばいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因)地区担当職員が本庁勤務となったため、打ち合わせや会議等が減少し、施設利用者が減少しました。施設経年のため、不測の修繕料が必要となりコストが増加しました。 (余地)今後は施設設備が老朽化していくことを考えて、コストがかかりますが事前に補修を検討すべきと考えます。

西海保健福祉センター管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>施設の維持管理のため、各種点検及び修繕工事等を実施しました。</p> <p>【実績】 ・消耗品、光熱水費、各種点検業務、修繕及び大規模改修工事等、合計56,280千円を支出しました。</p>

特定財源情報
<p>・雑入（社会福祉協議会光熱水費） 720千円 ・脱炭素化推進事業債 29,000千円</p>

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	8	9	7	
	活動		0		
	成果 西海保健福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果 西海保健福祉センター年間利用者数 (人)	4,252	4,079	3,955	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	29,000
		エ その他	647	660	720
		オ 一般	10,922	12,923	26,560
	カ 事業費 (ア～オ合計)	11,569	13,583	56,280	

成果 実績 評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 前年度と比較し利用者数が124名減少しました。 (原因) デイサービス利用者の高齢化に伴い、ショートステイや他施設への入所が進んだことが、利用者減少の主な要因と考ます。 (余地) トレーニングルームは高齢者入居施設と併設しており、感染対策の観点から引き続き使用中止とすることが適切と考ます。</p>
----------------	--	---

愛なん食育推進事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛なん食育プランに基づき、町民の「食育」への意識を高めるため、各関係機関が連携して、食育推進大会をはじめ、各種事業を推進しました。</p> <p>(内容)・愛南町食育推進大会を中央と町内の食育推進指定校の地域で隔年で実施。 ・食育推進活動の情報共有や評価、第4次食育推進計画策定を行うため愛南町食育推進協議会(年3回)、食育協働部会(年4回)を開催し、計画の実施強化を図りました。</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 食育推進事業の回数(回)	1	1	1	
	活動				
	成果 食育推進大会において、「食育」への関心(意識)が高まった人の割合(%)	100	96.2	98.9	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	335	2,171	1,628
	カ 事業費(ア~オ合計)	335	2,171	1,628	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)食育推進大会において、「食」への関心(意識)が高まった人の割合は横ばいです。 (原因)町内出身の講師であったことや、学校の取組に関する内容であったことによると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)関係機関でテーマを共有し、参加者が関心を持つ内容にすることで、食育への意識が高まると考えられます。

不妊治療費助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>・医師が認めた、不妊治療および不育症治療(検査を含む)に要した費用に対して、一般不妊治療10万円、特定不妊治療20万円、不育症5万円を限度に助成しました。 <交付要件>夫婦のいずれかが愛南町に住所を有している夫婦(事実婚を含む)であること。医療保険に加入していること。治療開始時の妻の年齢が43歳未満 <助成回数>(一般不妊治療)年度内1回、通算2回(特定不妊治療)1子ごとに6回まで(ただし、初回治療が40~43歳未満の場合は3回まで)(不育症治療)1年度に1回 ・愛南町に住所を有する者に対し、不妊治療の通院に要した交通費の一部を助成しました。</p>

特定財源情報
えひめ人口減少対策総合交付金 524千円(不妊治療の通院にかかる交通費)

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 交付申請件数(件)	9	23	22	
	活動				
	成果 不妊治療により妊娠した人(人)	1	5	5	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	261	524
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,049	3,755	3,061
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,049	4,016	3,585	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)不妊治療費助成の申請は1件減少しています。不妊治療により妊娠した人は5人で横ばいとなっています。 (原因)不妊治療が保険適用になっていることで治療が受けやすく、申請者数を維持していると考えられます。 (余地)引き続き、不妊治療費助成について周知を行い、経済的負担を軽減していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

妊婦健診・母子健康手帳交付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

・母子健康手帳の交付、妊産婦健康診査委託事業 6,484千円
妊娠届出時に母子健康手帳と妊産婦健康診査受診票を発行し、委託医療機関で健診を行いました。【種類】妊婦一般健康診査(14回)、妊婦歯科健診(1回)、産婦健康診査(2回)委託外医療機関で受診した場合は、償還払いを行いました(歯科健診を除く)。妊産婦健診及び出産時の交通費の一部助成を行いました。(受診券を使用した健診回数+出産時1回。補助額は圏域で設定)

・産後ケア事業 122千円
産後4か月未満の母親や乳児の心身のケアや育児サポートのため、宿泊型や日帰りの産後ケア事業を委託医療機関で行いました。【回数】[宿泊型][日帰り型]それぞれ7回まで

特定財源情報

・母子保健衛生費国庫補助 565千円
・えひめ人口減少対策総合交付金 547千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 妊婦健診受診者数(回)	657	686	597	
	活動 母子健康手帳交付数(件)	59	52	44	
	成果 妊婦健診受診率(%)	77.3	87.8	91.7	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	555	552	565
		イ 県	0	452	547
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	7,724	5,985	5,494
	カ 事業費(ア~オ合計)	8,279	6,989	6,606	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)母子健康手帳交付数は8件減少しています。また受診率は3.9ポイント向上しています。 (原因)年度集計のため受診票交付者と受診者が異なることが受診率の変動の原因と考えられます。妊婦健診の受診状況をみると、適切な時期に受診ができています。 (余地)医療機関と連携し、適切な時期に健診が受けられるよう支援していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

乳幼児健診事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>・新生児聴覚検査 210千円 妊娠届出時に新生児聴覚検査受診票を交付し、出生後に委託医療機関で聴覚検査を実施しました。(対象)1か月未満の乳児(回数)初回検査1回、確認検査1回(経過観察児のみ)</p> <p>乳児一般健康診査 617千円 赤ちゃん訪問時に乳児一般健康診査受診票を交付し、乳児期に2回委託医療機関で健診を実施しました。</p> <p>・乳幼児健康診査 1,886千円 乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診、5歳児健診を集団健診で年4回実施しました。(内容)問診、身体計測、内科診察、歯科診察、歯科指導、心理相談、生活・栄養相談 3歳児視聴覚精密者については、健診後受診票を発行しました。 5歳児健診でむし歯が0本児には歯科表彰を行いました。 健診後のフォロー体制について乳幼児事後検討会を行いました。</p>	

特定財源情報	
母子保健衛生費国庫補助金 150千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
	活動	活動	集団健診受診者数(人)	298	261	234
成果	活動	乳幼児健康診査受診票交付数(件)	128	113	105	
	成果	集団健診平均受診率(%)	98.3	98.4	96.7	
	成果	適切にフォローされた子どもの割合(%)	82.0	92.3	93.6	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	715	58	150
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	0	0	0
			オ 一般	3,538	2,648	2,563
			カ 事業費(ア~オ合計)	4,253	2,706	2,713

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)集団健診平均受診率は1.7ポイント低下しています。適切にフォローされた子どもの割合は横ばいです。 (原因)体調不良等により適正な時期に受診できなかった子どもの割合が増加したことが考えられます。 (余地)適切な時期に健診を受診できるよう受診勧奨します。医療機関とも連携し、要フォロー児に対して早期に対応できるよう支援していきます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

出産・子育て応援交付金事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>妊娠届出時に妊婦への面談を行い、出産応援交付金を支給しました。 妊娠8か月頃にアンケートを郵送し、希望者に面談を行いました。 出産後、赤ちゃん訪問を行い、面談を行った保護者に子育て応援交付金を支給しました。 [補助率] 出産・子育て応援交付金：国2/3、県1/6、町1/6 伴走型相談支援：国1/2、県1/4、町1/4 (交付額) 出産応援交付金：5万円 子育て応援交付金：5万円</p>

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産・子育て応援交付金 2,933千円 ・ 愛媛県出産・子育て応援事業補助金 766千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	申請件数(出産・子育て)(件)		158	105
成果	助成額(千円)		7,900	5,250	4,600
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,542	3,520	2,933
		イ 県	1,318	883	766
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	52	884	940
		カ 事業費(ア～オ合計)	7,912	5,287	4,639

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 申請件数は13件減少しています。 (原因) 妊娠届出数が減少したことが原因と考えられます。 (余地) 引き続き、妊娠届出時と出産後に面談を行い、申請者に交付金を支給します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

骨粗しょう症予防事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	02 早期発見・早期治療の推進	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>骨粗しょう症の早期発見・早期治療のため、骨粗しょう症検診・健康教育を実施しました。 2,931千円 会場：公民館、集会所、城辺保健福祉センター等 内容：骨粗しょう症検診は年27回実施 骨粗しょう症予防の普及・啓発を実施 周知方法：広報、生活カレンダー（新聞折込広告）、ケーブルテレビ、ホームページ、SNSで周知</p>

特定財源情報
健康増進事業費県補助金 452千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	実施回数(回)	25	25	27
	活動				
	成果	骨粗しょう症検診受診率(%)	16.7	18.1	19.5
	成果	骨粗しょう症と診断された数(人)	57	40	21
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	267	311	452
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,367	2,538	2,479
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,634	2,849	2,931

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)骨粗しょう症検診受診率がやや向上しています。 (原因)Web予約やコールセンター予約を開始したことにより、検診を受けやすくなったためと考えられます。 (余地)検診の周知を強化することにより、受診率がさらに向上すると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

健康診査事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 早期発見・早期治療の推進	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>・疾病疑いのある者や危険因子を持つ者の早期発見と早期治療のため、健康診査を実施しました。 1,117千円 会場：公民館・集会所・城辺保健福祉センター等 回数：集団は年41回実施 内容：身体計測、問診、血圧測定、尿検査、血液検査、眼底検査、心電図、医師による診察 周知方法：広報、生活カレンダー（新聞折込）、ケーブルテレビ、ホームページ、SNS</p>

特定財源情報
健康増進事業費県補助金 146千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	実施回数(回)	46	43
成果	成果	健康診査受診者数(人)	89	105	92
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	203	263	146
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	784	2,225	972
		カ 事業費(ア～オ合計)	987	2,488	1,118

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)受診者数が減少しています。生活保護受給者の受診者数は横ばいですが、30代の受診者数が減少しています。 (原因)生活保護受給者に関しては、県地域福祉課の被保護者健康管理事業と連携した保健指導の実施により、受診者数が維持できていると考えられます。30代に関しては、人口減少の影響や、職場健診を受診する人も多いことから、受診者が減少していると考えられます。 (余地)若い世代が受診しやすい環境を整えることや、県地域福祉課との連携を継続することで、受診者数が増加すると考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

がん対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 早期発見・早期治療の推進	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

がんを予防・早期発見するために、検診や普及啓発活動を実施しました。

- ・がん検診 42,016千円
内容：胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸
会場：公民館・集会所・保健センター等
- ・健康教育 11千円
がん検診の普及啓発のため、成人式でチラシを配布しました。
- ・若年がん患者在宅療養支援事業
対象サービス：訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、福祉用具購入
助成の上限額：一人当たり54,000円/月
今年度は申請がありませんでした。

特定財源情報

ふるさとづくり基金繰入金 13,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 がん検診実施回数 (回)	230	222	218	
	活動 若年がん患者在宅療養支援事業申請件数 (件)	0	0	0	
	成果 がん検診受診率 (%)	17.0	23.2	27.4	
	成果 がん発見数 (人)	12	15	12	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	30,270	40,000	13,000
		オ 一般	6,497	1,017	29,026
	カ 事業費 (ア～オ合計)	36,767	41,017	42,026	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)がん検診受診率は向上しています。 (原因)Web予約やコールセンター予約を開始したことにより、検診を受けやすくなったためと考えられます。 (余地)検診の周知を強化することによりさらに受診率が向上すると考えます。また、若年がん患者在宅療養支援事業の申請がないため、がん患者補整具購入費助成事業とあわせて幅広く周知していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

子ども定期予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

出生時または転入時に予防接種手帳を発行しました。
 児童・生徒の定期予防接種は個別通知を行いました。
 県内委託医療機関において、個別で予約をし接種を受けました。
 里帰りや療養等で委託外医療機関で接種した場合は、償還払いを行いました。
 実施期間：通年
 種類：BCG、B型肝炎、Hib感染症、肺炎球菌感染症、ジフテリア、破傷風
 ポリオ、百日咳、麻疹、風疹、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、ロタウイルス

特定財源情報

- ・感染症予防事業費等補助金 73千円
- ・ふるさとづくり基金繰入金 14,500千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 接種者数(人)	2,334	1,854	1,773	
	活動				
	成果 麻疹風疹予防接種(1期)接種率(%)	100	88.0	100	
	成果 麻疹風疹予防接種(2期)接種率(%)	89.7	98.9	90.8	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	73
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	20,000	14,500
		オ 一般	24,836	1,178	12,034
		カ 事業費(ア～オ合計)	24,836	21,178	26,607

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)麻疹・風疹予防接種の接種率は1期が100%と向上、2期が90.8%と低下しています。 (原因)麻疹・風疹予防接種の2期は年長児を対象としています。対象者には、5月、11月、2月と年に数回接種勧奨通知を行っていますが、7人の未接種者がいる状況です。 (余地)乳幼児健診の際の接種勧奨と、未接種者への接種勧奨通知を継続することで、接種率の維持向上に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

高齢者定期予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>対象者に接種券及び予診票を発行し、県内委託医療機関において、高齢者インフルエンザ及び、高齢者の肺炎球菌感染症、新型コロナワクチンの予防接種を個別に実施しました。療養等の理由で委託外医療機関で接種した場合は、償還払いを行いました。</p> <p>自己負担：インフルエンザ 無料 肺炎球菌 4千円 コロナ 3千円 実施期間：インフルエンザ 10/1～1/31 肺炎球菌 通年 コロナ 10/1～3/31</p> <p>【実績】 ・新型コロナウイルスワクチン接種 1,766人 接種率 19.5%</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 14,658千円 ・過疎対策事業債 27,700千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
	活動	活動	高齢者インフルエンザ予防接種接種者数(人)	6,317	5,875	5,395
活動	活動	高齢者の肺炎球菌感染症予防接種接種者数(人)	54	117	126	
成果	成果	高齢者インフルエンザ予防接種接種率(%)	69.9	65.6	60.7	
成果	成果	高齢者の肺炎球菌感染症予防接種接種率(%)	4.1	8.3	21.5	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	0	14,658
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	31,300	29,700	27,700
			エ その他	0	0	0
			オ 一般	1,247	1,416	8,634
			カ 事業費(ア～オ合計)	32,547	31,116	50,992

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)インフルエンザの接種率は4.9ポイント低下しています。高齢者肺炎球菌の接種率は21.5%と向上しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因)新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことが、インフルエンザ予防接種の接種率低下の一因となっていると考えられます。高齢者肺炎球菌の対象者が65歳の者のみに限られたことと、個別通知を行ったことにより接種率が向上したと考えられます。 (余地)疾病の流行及び重症化の予防のため、継続した周知を行っていきます。

任意インフルエンザ予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>・子どもインフルエンザ予防接種費用無償化事業 町が指定する予診票を本人、学校、町内委託医療機関等に配布 町内に住所を有する者がやむを得ず委託外医療機関で接種した場合は償還払 実施期間：10月1日～1月31日 委託金額：4,100円（償還払：上限は委託料に準ずる） 接種回数：6か月～12歳 2回 13歳～18歳 1回</p> <p>・インフルエンザ予防接種補助事業 対象：19歳～64歳、定期接種に該当しなかった者 補助金額：1回 1,000円（6か月～12歳は2回補助）</p> <p>【実績】 ・子どもインフルエンザ予防接種費用無償化事業 5,152千円 ・インフルエンザ予防接種補助事業 716千円</p>	

特定財源情報	
過疎対策事業債 4,900千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 無償化接種者数(実人数)(人)	911	825	760	
	活動 1,000円補助金額(円)	824,000	793,000	716,000	
	成果 無償化接種率(%)	46.8	44.8	46.3	
	成果 集団感染件数(件)	0	4	4	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	5,900	5,300	4,900
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,148	1,055	968
		カ 事業費(ア～オ合計)	7,048	6,355	5,868

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) こどもの接種率は、1.5ポイント向上しています。集団感染件数は、4件です。 (原因) こどもインフルエンザ予防接種が習慣となっていることで、接種率が維持できていると考えられます。町内でインフルエンザが流行したことが集団感染の一因だと考えられます。 (余地) 個別通知と保育所や学校を通じた周知に加え、広報等でインフルエンザ感染症についての周知を行い、感染予防を目指します。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

任意帯状疱疹予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>対象者に接種券を発行し、町内医療機関等で帯状疱疹の予防接種を実施しました。療養等の理由で委託外医療機関で接種した場合は、償還払いを行いました。</p> <p>水痘ワクチン 助成回数：1回 助成金額：4,000円</p> <p>帯状疱疹ワクチン 助成回数：2回 助成金額：10,000円 帯状疱疹ワクチン2回目の助成は、1回目から2～6か月の間隔で接種した場合のみ</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 助成件数 (件)		446	251	
	活動				
	成果 助成額 (千円)		4,304	2,504	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	4,306	2,504
	カ 事業費 (ア～オ合計)	0	4,306	2,504	

成果 実績 評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 助成件数は、251件と195件減少しています。</p> <p>(原因) 接種希望者の多くが、昨年度に接種したことが一因だと考えます。</p> <p>(余地) 帯状疱疹の予防と重症化予防のため、医療機関と連携して継続した周知を行っていきます。</p>
----------------	--	--

犬猫愛護事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>狂犬病予防法に基づく犬の登録・予防注射の実施により、狂犬病の発生を防止し、公共の福祉の増進を図りました。動物の愛護と適正な飼養に関し、啓発を行いました。また、猫繁殖制限措置推進事業により、野良猫の増加を抑制し、人と動物が共存する快適な生活環境の維持に努めました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品 35千円 ・印刷製本費 39千円 ・狂犬病予防業務委託料 33千円 ・地域猫対策支援事業負担金 10千円 ・猫繁殖制限措置推進事業補助金 593千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・犬ねこの引取り業務に関する市町交付金 11千円 ・畜犬登録手数料 91千円 ・狂犬病予防注射手数料 18千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 590千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 広報、かんきょう版を通じて住民に啓発した回数 (回)	5	6	6	
	活動 予防接種件数 (件)	693	647	678	
	成果 狂犬病予防接種率 (%)	62.4	62.3	65.5	
	成果 狂犬病発症件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	80	9	11
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	419	663	699
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)	499	672	710	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度の狂犬病予防接種率は65.5%で令和5年度の62.3%から3.2ポイント増でした。</p> <p>(原因) 飼い主が犬の死亡手続きを行わず、飼犬管理台帳に情報が残り続けていると思われる案件について、確認作業により台帳整理を進めたこと、かんきょうかわら版や町広報誌等を用いて、狂犬病予防接種の義務に関する周知・啓発を行ったことが増加の要因として考えられます。</p> <p>(余地) 引き続き、ホームページやかんきょうかわら版等を活用して、集団注射後も狂犬病予防注射接種の周知・啓発を行い、接種率の向上を図ります。また、飼い主に対して死亡届などの手続きの必要性を周知徹底し、台帳の整理を行います。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

生活環境施設等整備補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費	計画年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度
基本事業	01 生活環境の保全	目	06 環境衛生総務費		

手段 (R06年度の取り組み)			
町内各地区より提出された補助金交付申請書により、補助対象となる設備に対し補助率1/2、限度額(2万円~7万円)の範囲内で補助金を交付しました。対象となる設備は、ごみ集積箱・ストックハウス・啓発用看板・衛生用ホース・草刈機・チェンソー・ヘッジトリマ等です。申請 受付 補助金交付額決定 補助対象設備購入(修繕) 請求 地区口座への支払いの順で手続きを進めました。			
【実績】			
28件	907千円		
ごみ集積箱購入	6件	ごみ集積箱修繕	12件
草刈機	1件	チェンソー	2件
啓発用看板	3件	衛生車両ホース	3件
その他(プロワ)	1件		

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金	900千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 補助申請件数(件)	53	36	28	
	活動				
	成果 ごみ集積箱、ストックハウスを設置、運営している自治会割合(%)	100	100	100	
	成果 苦情件数(件)	6	7	6	
事業費(千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,200	800	900
		オ 一般	214	171	7
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,414	971	907

成果実績評価	成果状況	(状況)令和6年度の補助申請件数は28件で、令和5年度と比較して8件減少しました。 (原因)各地域でごみ集積箱の購入や修繕が一定程度進んだ結果、集積所の環境整備が進んだものと推察されます。これにより、ごみ集積箱の修繕申請件数は減少したものと考えられます。また、地区予算との兼ね合いから、施設の導入・修繕が集中する年度とそうでない年度があり、申請数に波があります。 (余地)行政協力員に対し、適宜補助制度の周知を図り、生活環境設備の設置・導入を促します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

再生可能エネルギー推進事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 再生可能エネルギーの推進	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

環境意識の啓発活動として、再生可能エネルギー発電に関する学習会を開催しました。また、地域脱炭素に向けた取組として、公共施設等への太陽光発電設備等の導入を検討しました。太陽光発電事業に関する不許可処分による損害賠償請求事件については、事業関係者と和解が成立しました。風力発電裁判においては、当年度中に弁論準備手続及び口頭弁論が計5回行われ、令和7年1月21日に結審しました。

【R6実績】4,528千円
 ・普通旅費 6千円
 ・実費弁償 467千円
 ・訴訟事務委託料 755千円
 ・損害賠償金 3,300千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 再生可能エネルギー発電施設整備に関する問い合わせ件数 (件)	18	5	1	
	活動				
	成果 再生可能エネルギー発電事業届出件数 (件)	4	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	7,425	0
		オ 一般	585	2,557	4,528
	カ 事業費 (ア～オ合計)	585	9,982	4,528	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)届出件数はR5年度と同様0件で、横ばいです。 (原因)売電価格の下落、固定価格買取制度の改正により自家消費型の地域活用要件が課されたことが申請件数減少の大きな要因となっています。 (余地)今後も固定価格買取制度での新規申請はほぼ無いものと思われる一方で、事業所や店舗においては自家消費型発電設備の導入、PPA事業による再生可能エネルギー由来の電力購入が徐々に増えてくるものと思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

新エネルギー等導入促進補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 再生可能エネルギーの推進	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>「愛南町新エネルギー等導入促進補助金交付要綱」に基づき、新エネルギー等導入促進補助対象機器設置に係る申請のあった住民に対して補助金を交付しました。 交付申請書(書類審査) 交付決定通知書(通知後) 設置工事開始 設置工事完了 実績報告書 書類審査、補助金交付</p> <p>【R6実績】補助金交付済み額 6,160千円 ・太陽光発電システム 19件(2,760千円) ・リチウムイオン蓄電池 16件(1,600千円) ・クリーンエネルギー自動車 7件(1,000千円) ・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス 4件(800千円)</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県新エネルギー関連設備等導入促進支援事業費補助金 800千円 ・愛媛県電気自動車普及拡大支援事業費補助金 300千円 ・過疎対策事業債 3,500千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助件数(件)	33	32	46	
	活動 補助金額(円)	5,351,000	4,601,000	6,160,000	
	成果 新エネルギー等導入住宅数(補助事業開始からの累計)(件)	191	223	269	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	849	799	1,100
		ウ 地方債	4,500	3,800	3,500
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2	2	1,560
	カ 事業費(ア~オ合計)	5,351	4,601	6,160	

成果 実績 評価	成果状況	(状況)補助件数は46件で、前年度に比べ14件増加しました。 (原因)化石燃料の価格高騰、電気料金の上昇が続いていることから、太陽光発電設備、蓄電池を導入し、自家消費する世帯が着実に増加しています。一方で、EV車は新型車の投入が少なかったこともあり、導入台数の増加に繋がっていません。 (余地)電気料金の上昇が続く中、今後も再生可能エネルギー由来の発電設備の導入が進むと考えられます。また、電力創出・省エネルギーが期待できるネット・ゼロ・エネルギー・ハウスを選択する世帯も増えているほか、価格の面でPHEV車を中心にクリーンエネルギー自動車の導入増加が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

下水道事業会計補助金

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	03 生活排水の適正処理	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：令和06年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため、国が定める公営企業に対する繰出基準に基づき、児童手当や減価償却費、企業債支払利息等（分流式下水道等に要する経費等）の一部について、繰出（補助金）を行ったほか、収益的収支の不足補てん額としても繰出を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰出基準に基づく繰出金 26,025千円 繰出基準外の繰出金 93,375千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 26,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (千円)			119,400	
	活動				
	成果 下水道事業の総収益における繰出金割合 (%)			46.4	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	26,000
		オ 一般	0	0	93,400
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	119,400

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 繰出金は、119,400千円であり、総収益における繰出金割合は、46.4%でした。</p> <p>(原因) 令和6年4月地方公営企業法を適用したことにより、減価償却費、資産減耗費等の費用が新規発生し、収益的支出が増加したことが主な要因です。</p> <p>(余地) 将来的なサービスの持続を確保するため、料金改定を検討しています。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海地域公衆便所管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	165
施策	04 観光 物産の振興	項	01 保健衛生費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>公衆トイレ（小成川、福浦、武者泊及び中泊）の適切な維持管理を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕及び浄化槽保守点検等、合計1,372千円を支出しました。

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	3	10	6	
	活動 浄化槽法定点検件数・浄化槽保守点検委託件数 浄化槽清掃件数 (件)	12	9	10	
	成果 西海地域公衆トイレの維持管理上の不具合により業務に支障をきたした 件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	799	1,983	1,372
	カ 事業費 (ア～オ合計)	799	1,983	1,372	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 前年度と比較し修繕が4件、事業費も611千円減少しています。 (原因) 改修工事がなかったことが主な要因と考えます。 (余地) 公衆トイレの管理を引続き地区及び渡船組合が行うは、適切な管理に 繋がると考えます。

御荘霊苑管理運営事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書ページ	165
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費	計画年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本事業	99 施策の総合推進	目	07 環境衛生施設費		

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>火葬業務・施設清掃・火葬設備の保守管理等を業務委託することで、良好な状態で施設を維持し、不具合があるときは、業務に支障をきたすことがないように速やかに修繕を実施しました。</p> <p>火葬業務等委託者・葬儀業者等と連携し、適切な施設管理運営を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 6,765千円 (7件) ・施設清掃 779千円 (1回/月) ・各設備保守点検 2,352千円 ・火葬業務等委託料 13,728千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機設置等使用料 71千円 ・施設使用料 18,554千円 ・自動販売機電気使用料等 43千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 維持修繕件数 (件)	5	6	7	
	活動				
	成果 御荘霊苑の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	20,972	17,768	18,668
		オ 一般	11,602	15,028	13,135
		カ 事業費 (ア~オ合計)	32,574	32,796	31,803

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 令和6年度の修繕件数は7件で、業務に支障をきたした件数は0件と順調です。</p> <p>(原因) 火葬炉設備保守点検委託・施設管理委託等を実施し、常に施設の状況を把握することにより突発的な故障が防げたためと考えます。</p> <p>(余地) 定期的に点検等を実施し、可能な限り維持管理費の縮減や予防保全の対策を行うことにより、計画的に施設の長寿命化を図ります。</p>
--------	--	--

不法投棄解消事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	167
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	04 4Rの推進	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>町が所有又は管理する場所へ不法投棄された廃棄物の回収処分を行いました。不法投棄巡視員2名がそれぞれ月5回、町内を巡視し不法投棄の防止に努め、月末に日誌と現況写真で報告を受け、状況確認を行いました。個人所有の土地に不法投棄があった場合は、土地所有者の責任において処分していただくよう指導しました。</p> <p>【実績】 不法投棄巡視員謝礼 1,080千円 消耗品 80千円 修繕料 83千円 諸手数料 744千円 不法投棄ごみ処理委託料 399千円 備品購入費 31千円</p>	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 2,400千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	巡視パトロール回数 (回)	120	100
成果	活動	不法投棄を撤去した現場数 (箇所)	2	10	13
	成果	パトロールによる新規の不法投棄現場の発見数 (箇所)	12	13	12
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,800	1,400	2,400
		オ 一般	263	55	17
		カ 事業費 (ア~オ合計)	2,063	1,455	2,417

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和6年度のパトロールによる新規の不法投棄現場の発見数は12箇所、令和5年度の13箇所と比べ、1箇所減少しています。 (原因) 防災行政無線やかんきょうかわら版等を用いた啓発活動、不法投棄巡視員及び監視員の監視活動により、減少したと考えられますが、依然として、巡視員による巡視活動で新規の不法投棄が発見されていることから、不法投棄に対する意識やモラルの低さによるものが原因だと思われます。 (余地) 防災行政無線やかんきょうかわら版等で町民に啓発するほか、監視カメラによる監視体制の強化を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

塵芥処理管理事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	167
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	04 4Rの推進	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

各家庭から町が指定するごみステーションに排出された一般廃棄物を分別状況の確認を行いながら収集し、宇和島広域事務組合環境センターまでの運搬を行いました。

【実績】

- ・ごみ収集運搬等委託料 99,000千円
年間収集運搬回数：2,190回
(可燃ごみ 1,770回、びん・缶 168回、ペットボトル 168回、不燃ごみ 84回)
- ・年間収集運搬日数：309日
- ・小型家電リサイクル委託料 159千円

特定財源情報

- ・一般廃棄物処理業許可手数料 44千円
- ・ふるさとづくり基金繰入金 99,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 年間ごみ収集日数(日)	310	309	309	
	活動				
	成果 年間ごみ収集量(t)	4,501	4,284	4,105	
	成果 ごみ収集ができなかった日数(日)	0	0	1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	93,464	99,036	99,044
		オ 一般	5,735	8,121	115
		カ 事業費(ア～オ合計)	99,199	107,157	99,159

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和6年度の年間ごみ収集日は309日、年間ごみ収集量は4,105tで、ごみ収集量は令和5年度と比較して179t減少しています。ごみ収集ができなかった日が1日あります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因)人口減少に伴い年々減少傾向ではありますが、マイバックやマイボトルの利用等に見られる住民の意識変化による減少も考えられます。また、台風10号の影響により、ごみの収集を中止しました。 (余地)更なるごみ減量化、再資源化、再使用の推進により、循環型ライフスタイルへの展開が図られます。

し尿処理補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	167
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
町内のし尿及び浄化槽汚泥については、平成27年8月より宇和島地区広域事務組合汚泥再生処理センターにて処理しており、宇和島市までの運搬に係る経費について事業者に対して補助を行いました。	
【実績】	
・運搬・事務費補助額 30,332千円、施設搬入料補助額 3,223千円 合計：33,555千円	
・年間搬入日数：310日	
・年間搬入台数：1,519台	
・年間し尿搬入量 8,783 t、年間汚泥搬入量 5,702 t 合計：14,485 t	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 33,000千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 し尿及び浄化槽汚泥収集運搬回数 (回)	1,601	1,556	1,519	
	活動 補助金額 (円)	33,558,181	31,271,570	33,555,335	
	成果 浄化槽汚泥及びし尿の汲み取り単価 (税抜・18リットル当たり) (円)	150	160	160	
	成果 し尿及び浄化槽汚泥収集運搬量 (t)	15,127	14,654	14,485	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	30,000	30,300	33,000
		オ 一般	3,558	972	555
		カ 事業費 (ア～オ合計)	33,558	31,272	33,555

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年度の収集運搬量は、14,485 tであり、令和5年度と比較して、169 t減少しており、補助金額は38千円減少しています。 (原因) 人口減少に伴い運搬量・運搬回数が減少したことが考えられます。 (余地) 今後は、ほぼ横ばい状態が続きますが、施設や設備の経年劣化、耐用年数等により貯留槽設備改修時に補助金が増加すると考えられます。なお、令和7年度及び8年度は運搬車輛購入のため、補助金の増加が見込まれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

海岸漂着物等地域対策推進事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	167
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：令和2年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
沿岸地域住民や漁業関係者によって回収された海洋ごみの収集運搬、処理を行いました。早急な対応が必要な場合は、直接業者へ収集処理を依頼しました。このほか、少量の海洋ごみについては、直営で回収し松島に一時仮置きした後、業者に処理依頼しました。 【実績】 ・消耗品費 226千円 ・廃棄物処理手数料 2,377千円 ・廃棄物処理委託料 3,899千円 ・車借上料 657千円 ・重機借上料 256千円

特定財源情報
・海岸漂着物等地域対策推進事業補助金 5,976千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 600千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 海洋ごみ回収回数 (回数)	45	43	60	
	活動				
	成果 海洋ごみ収集量 (t)	170.0	164.6	122.2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	7,244	7,440	5,976
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,600	600
		オ 一般	4,265	37	839
		カ 事業費 (ア～オ合計)	11,509	9,077	7,415

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年度の年間処理量実績は122.2tで、令和5年度と比較して42.4t減少しています。 (原因) 昨年度と比較して、台風や大雨といった気象状況による影響が少なかったことが原因と考えられます。 (余地) 昨年度と比較して混合ごみの処理量が減少した一方、流木の処理量が増加しているなど、気象状況の影響が大きいことや、町外からのごみの漂着もあることから現状が暫くの間は続くと思われま。海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用していくことで少しずつ減少傾向に転じていくと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

機密書類等回収事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	169
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	02 塵芥処理費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>町内の役場関係事業所及び民間事業所から排出される個人情報を含む機密書類等を適切に溶解処理し個人情報漏えい防止と、リサイクルの推進を図りました。 有害物質が混在する廃乾電池や廃蛍光管の適正な処理をするとともに併せて新聞・雑誌・段ボール等をリサイクルし環境保全に努めました。</p> <p>【実績】 ・機密書類溶解等処理委託料 396千円（2回） ・廃乾電池・蛍光管運搬処理委託料 1,262千円（2回）</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 機密書類搬出数量 (t)	20	20	21	
	活動 乾電池、蛍光管、再生紙等予定回収日数 (日)	120	120	120	
	成果 機密書類漏えい事故件数 (件)	0	0	0	
	成果 乾電池、蛍光管、新聞、雑誌等回収 (t)	223	218	202	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	847	1,576	1,658
	カ 事業費 (ア～オ合計)	847	1,576	1,658	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 令和6年度の廃乾電池・廃蛍光管・新聞雑誌運搬処理は合計202tであり、令和5年度より16t減少しました。 (原因) 人口減少により新聞雑誌等の回収量が減少傾向にあると考えられます。 (余地) 廃蛍光管運搬処理及び機密書類運搬処理での事故の無いように事業所と契約しているため、現状が適切だと考えられます。</p>
--------	--	---

環境衛生センター管理運営事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	169
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	02 塵芥処理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>環境衛生センターの健全な運営及び維持管理を図るため、施設の修繕をはじめ、各設備の保守点検、広域搬出ごみ処理手数料や各施設維持管理委託を実施することにより、町民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図りました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 11,397千円 (40件) ・広域搬出ごみ処理手数料 4,267千円 (688台) ・浸出水処理施設維持管理業務委託料 9,900千円 ・一般廃棄物最終処分場整備業務委託料 286千円 など 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・広域焼却灰処理手数料 16,363千円 ・廃棄物収集・処理手数料 1,502千円 ・資源ごみ売払収入 991千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 9,000千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 水質検査地点 (地点)	3	3	3	
	活動 運搬ごみ量 (t)	429	432	427	
	成果 法定基準を超えた項目数 (全75項目) (項目)	0	0	0	
	成果 施設運搬車両の不具合件数 (件)	0	0	2	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	22,858	40,056	27,856
		オ 一般	26,488	10,883	20,515
		カ 事業費 (ア～オ合計)	49,346	50,939	48,371

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和6年度の運搬ごみ量は427tであり、令和5年度より5t減少し、ほぼ横ばい状態となっています。</p> <p>(原因) 空家片付け等、粗大ごみ持込量が増加傾向の状態となっていますが、事業系一般廃棄物持込量が減少している事によるものと考えられます。</p> <p>(余地) リサイクル法による、ごみ減量化の啓発や推進活動を積極的に取り組んでいく必要があります。令和4年度作成のごみ分別詳細パンフレットを全戸に配布が完了したことにより、リサイクル化が推進されると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

上水道事業会計補助金

町長部局 水道課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	171
施策	04 安定的な水道水の供給	項	03 上水道費		
基本事業	02 経営の安定化	目	01 上水道費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

「地方公営企業繰出金」の基本的な考え方（繰出基準）に沿った繰出のほか、収益的収支不足補填財源としても繰出を行いました。また、内海地域（柏、柏崎地区を除く）住民の水道料金と愛南町上水道事業水道料金の差額に対し「愛南町水道料金差額助成金」を支給しました。

【実績】

- ・ R6上水道事業会計に対する繰出基準内の繰出金 12,862千円
消火栓に対する経費5,120千円、統合前簡易水道事業の建設改良費に係る企業債償還利息6,642千円、児童手当に要する経費1,100千円を繰出しました。
- ・ R6上水道事業会計に対する繰出基準外の繰出金 177,656千円
上水道事業会計に係る収益的収支不足の補填として177,656千円を繰出しました。
- ・ R6愛南町水道料金差額助成金 4,826千円
愛南町水道料金差額助成金として4,826千円を支出しました。

特定財源情報

ふるさとづくり基金繰入金 8,000千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	補助金額(千円)		236,913	193,503
成果	上水道事業の総収益における基準外繰出金割合(%)		29.4	24.3	26.3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,686	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,000	21,933	8,000
		オ 一般	221,227	171,570	187,344
		カ 事業費(ア～オ合計)	236,913	193,503	195,344

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 基準外繰出金割合は26.3%であり、前年度24.3%に比べ、2.0ポイント低下しました。</p> <p>(原因) 管路及び水道施設に係る修繕費の減少等で、営業損失は前年度と比較して3,082千円、1.6ポイントの改善となりましたが、今後の建設改良費及び企業債償還金に係る資本的支出の財源に充てるため基準外繰入額を増加したことが原因です。</p> <p>(余地) 公営企業の持続的な経営の確保のため、原則として5年に1度、料金改定を実施することとしています。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

病院事業会計補助金

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	171
施策	04 健康・医療体制の充実	項	04 病院費		
基本事業	07 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 病院費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>病院事業会計への事業運営（収益的収支）・建設改良費（資本的収支）に要する経費にかかる繰出金を支出しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一本松病院 246,000千円 ・内海診療所 43,500千円 合計 289,500千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 8,700千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 補助金額(千円)	245,000	276,543	289,500	
	活動				
	成果 病院事業会計事業収益対事業費用率(%)	100.3	99.8	101.2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	20,000	40,000	8,700
		オ 一般	225,000	236,543	280,800
		カ 事業費(ア～オ合計)	245,000	276,543	289,500

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)病院事業会計に対する繰出金額は289,500千円となり、昨年度と比較して12,957千円増加しました。</p> <p>(原因)物価高騰による材料費等の増加や、人事院勧告に基づく給与改定に伴う給与費の増加等により、事業費が収益と比べ大きく増加したことが要因です。</p> <p>(余地)病床利用率の向上に努めることによって、医業収益の増収が見込まれます。(R6年度病床利用率69.9%、1日平均入院患者数41.9人)</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

農業委員研修事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	171
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	02 農地の継承	目	01 農業委員会費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>令和6年度は、毎月の定例会の他、11月28、29日に先進地視察研修を行いました。また、農業委員・農地利用最適化推移審委員全員を対象に開催されるブロック別研修会(9月5日)に参加しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6事業費 782千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 研修参加回数(回)	1	2	2	
	活動				
	成果 委員の研修参加率(%)	61.8	53.62	38.57	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	269	895	782
		カ 事業費(ア～オ合計)	269	895	782

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)先進地視察研修は全委員35名中10名が参加、ブロック別委員研修会は全委員35名中17名の参加、研修参加率は38.57%で前年に比べて15.05ポイント低下しました。 (原因)先進地視察研修は宿泊を伴うため、参加できない委員もあり、参加率の減少となりました。 (余地)ブロック別委員研修会への参加は、仕事の関係にもよりますが、日程が上手く合えば、若干の参加率向上の余地はあると思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

農業支援センター運営事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	06 農業地域資源を活用した農作物の高付加価値化	目	02 農業総務費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>・持続可能な本町農業の維持発展のため、経営資金や農業簿記等の相談会及び講習会、産地化に向けた栽培技術等の研修会、農家所得の向上を目指した販路の確保等、農業者に対する総合的な支援を行うため、農業支援センター運営に係る負担金を支出しました。</p> <p>【実績】 農業支援センター負担金 21,500千円 (支出内訳) 委託搾汁事業 13,577千円、国内外市場開発事業 7,923千円 ほか</p>	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 10,000千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 愛南ゴールド等サンプル提供数 (回)	39	35	32	
	活動 資金相談件数 (件)	15	15	11	
	成果 愛南ゴールド等販売額 (農業支援センター仲介) (円)	5,563,026	8,275,747	9,949,622	
	成果 新規就農者数 (人)	3	2	1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,411	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	7,000	16,000	10,000
		オ 一般	4,939	0	11,500
	カ 事業費 (ア~オ合計)	13,350	16,000	21,500	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 河内晩柑生果に加えて果汁も販促用アイテムとして保有して認知度向上・消費拡大活動を展開したところ、相乗効果で生果及び果汁ともに売上げが前年対比で増加しました。 (原因) 河内晩柑の認知度向上や消費拡大を目的として、積極的にサンプル配布を行ったことや県外各地での販促活動が奏功し、少しずつ成果として表れていると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 愛南ゴールドという柑橘を知らなかったという声をいまだに耳にするため販促イベント等を積極的かつ地道に行い、認知度を向上させることで販売量拡大に繋げる余地は大いにあると考えます。

農業次世代人材投資事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
新規就農者に対し、就農初期の定着化を図るため支援を行いました。	
【実績】	
・農業次世代人材投資資金補助金	3,900千円(3名)
・経営開始資金	9,000千円(6名)
【繰越】	
・世代交代・初期投資促進事業助成金	9,558千円(2名)

特定財源情報	
愛媛県新規就農総合支援事業費補助金 12,900千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	補助件数(件)		7	10
活動	補助金額(円)		12,357,000	20,688,000	12,900,000
成果	補助を受け営農している青年就農者数(単年度)(人)		7	10	9
成果	補助後も就農している割合(%)		88	88	88
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	12,357	20,688	12,900
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	12,357	20,688	12,900

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) R6年度は2名の新規採択者がいました。これまで44名(うち夫婦2件)が交付金を受けており、4名が離農しましたが、順調に成果を維持しています。</p> <p>(原因) H29年度に事業名が青年就農給付金事業から農業次世代人材投資事業に、R4年度には新規就農者育成総合対策に変更となり、事業要件も年々厳しくなっています。そのため、新規就農の本格化を保留している者も数名あり、新規採択者の増加が限定的でした。</p> <p>(余地) 継続的に新規就農を促すとともに、R元年度からJAえひめ南による研修制度が実施されたため計画的な新規採択者の増加が期待できます。また、高齢化による遊休、リタイア農地の継承にも貢献できます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

担い手協議会補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
町農業における経営改善及び生産技術の向上並びに女性の経営参画を推進するため、関係する各組織の取り組みに対して補助金を交付しました。 【実績】 補助金額 940千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果状 況	活動 組織数 (組織)	4	4	3	
	活動				
	成果 各組織の会員数 (人)	137	123	112	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	700	1,000	940
		カ 事業費 (ア～オ合計)	700	1,000	940

成果実 績評 価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) R6年度は、生産技術や経営スキルの向上に向けた研修のほか、食育活動や商品開発などの活動を実施できました。一方で愛・レディネットが会員数の減少により、本会から脱会しました。 (原因) 会員の高齢化による活動機会が失われていたことから会員数の減少が進み、中には縮小せざるを得なかった事業もあります。 (余地) 各関係団体が密に連携することにより愛南農業の維持発展のため、他産地での先進事例なども共有し、担い手の確保、育成に向けた取組を主体的に実施していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

担い手総合支援事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

多様な担い手を確保・育成していく方策として、支援事業を研修、経営定着・発展、経営継承に区別化した上で、事業の一元化を図り、取組を支援しました。

【実績】

- ・就農候補者研修支援事業 648千円（県1/3、町1/3以内）
- ・認定農業者機械施設整備事業 2,206千円（県1/3、町1/3以内）

特定財源情報

- ・担い手総合支援事業費補助金（支援事業） 324千円
- ・担い手総合支援事業費補助金（機械施設整備事業） 1,103千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 就農予定者（研修生）数（人）	3	3	1	
	活動 補助件数（件）	1	3	1	
	成果 研修後の就農率（％）	100	100	100	
	成果 補助対象農家等の経営規模拡大面積（累計）(a)	221	285	357	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,698	5,906	1,427
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,698	5,906	1,427
		カ 事業費（ア～オ合計）	3,396	11,812	2,854

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）支援事業に関しては、就農候補者1名（新規1名）を受け入れ、就農候補者技術研修や定着実践研修を行いました。また、機械施設整備事業に関しては、認定農業者1名が農業用機械を導入しました。 （原因）農業次世代人材投資事業との連携により研修への支援体制が確立していること及び認定農業者等へ機械等の導入意向の調査を行ったことが要因として挙げられます。 （余地）募集体制の構築を始め、研修後の就農に不可欠な圃地情報のリスト化など研修から就農まで一貫した支援ができるよう、更なる研修体制の充実化が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

野菜産地化推進補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	03 経営安定と産地化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>野菜の産地化を推進するため、JAえひめ南が振興している5品目（ブロッコリー、ナス、スイートコーン、サトイモ、オクラ）の出荷を前提として、町内在住農家（町内農地に限る）が購入した種苗代に対し助成を行い、野菜の産地化を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成要件 原則農協で購入した種苗であること。 農協等に出荷をしていること。 ・補助率 1/2以内 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜産地化推進事業補助金 6,238千円 	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 6,000千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助件数 (件)	85	84	73	
	活動 補助金額 (千円)	7,934	7,629	6,238	
	成果 振興作物作付面積 (a)	4,135	4,541	3,148	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	7,500	7,000	6,000
		オ 一般	434	629	238
		カ 事業費 (ア～オ合計)	7,934	7,629	6,238

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 振興作物の作付面積は前年度から1,393a減少しました。 (原因) 補助件数、金額とも減少しており、特にブロッコリー(春・秋冬)の作付けを減らしたことが主な原因です。 (余地) 引き続き当事業の周知をえひめ南農協と協働で行い、振興作物の作付面積拡大に努めたいと考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

JAえひめ南南宇和部会活動補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費	計画 年度	
基本 事業	03 経営安定と産地化の推進	目	03 農業振興費		開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

稲作部会、野菜部会 果樹部会、肉用牛部会に補助金を交付しました。

【実績】

- ・稲作部会補助金額 200千円
- ・野菜部会補助金額 320千円
- ・果樹部会補助金額 230千円
- ・肉用牛部会補助金額 120千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	870,000	870,000	870,000	
	活動				
	成果 水稻 振興作物の作付面積、柑橘栽培面積 (ha)	878	898	873	
	成果 飼養頭数 (頭)	153	163	146	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	870	870	870
		カ 事業費 (ア～オ合計)	870	870	870

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) R6年度は水稻、野菜、果樹、肉用牛の各部会で研修や講習等を開催して、栽培技術の向上や生産販売の拡大など産地強化に向けた取組ができました。 (原因) 研修や講習等の部会活動を活発に実施できたことが要因と思われます。 (余地) 温暖化などの気象条件の変化に対応するため、新品種や新規技術等の実証にも取り組み、振興品目等の産地競争力を強化し、部会活動の発展に貢献します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

農作物鳥獣害防止対策推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費		

手段 (R06年度の取り組み)

野生鳥獣による農作物被害防止施設(電気柵、ワイヤーメッシュ柵等)の整備に補助を行いました。上限50,000円、1/2以内補助(町単独事業)また、自治会等が実施する鳥獣害に強い地域づくり事業に要する経費に対して補助金を交付しました。
 追い払い用具整備補助金：上限10,000円、1/2以内補助(町単独事業)
 環境整備補助金：上限25,000円、1/2以内補助(町単独事業)
 サルによる農業被害、人的被害及び生活環境被害を防ぐため設置した大型囲いわなの管理を南宇和猟友会に委託しました。また、大型囲いわなの移設を専門業者と実施しました。

【実績】

- ・電気柵7件 補助額241千円 ・侵入防止柵9件 補助額318千円
- ・鳥獣追い払い用具1件 補助額1千円
- ・大型囲いわな監理委託料 528千円 ・大型囲いわな移設施工指導業務 198千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助件数(件)	17	6	17	
	活動 補助金額(千円)	528	172	560	
	成果 被害面積(ha)	10.43	10.17	10.29	
	成果 被害金額(千円)	17,106	16,628	17,674	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,077	700	1,286
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,077	700	1,286

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)今年度の被害面積は10.29haで昨年度から0.12ha増加、被害金額は17,674千円で昨年度から1,046千円増加しており、昨年比の成果状況はやや低下となっております。 (原因)継続的に事業を行うことによる防止効果はあるが、年ごとの野生鳥獣出没状況等の増減による影響があると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)有害鳥獣捕獲数が増加傾向にあるため、本事業を積極的に活用するよう周知します。

中山間地域等直接支払推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>生産条件が不利な中山間地域の集落に対し、協定を結び交付金を交付することにより、中山間地域の有する水源かん養機能等の多面的機能の発揮の維持・促進を図りました。</p> <p>協定集落 40集落 (10割：27集落、8割：13集落、急傾斜加算：6集落)</p> <p>対象面積 田：1,080,732㎡畑：2,273,113㎡合計3,353,845㎡加算面積：346,054㎡</p> <p>補助率 本体交付金 (国1/2、県1/4、町1/4)、推進交付金 (国100/100以内)</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体交付金 48,069千円 ・事務費 241千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払交付金 36,052千円 (国24,035千円、県12,017千円) ・愛媛県中山間地域等直接支払推進交付金 115千円 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	集落数 (集落)	40	40
活動	活動	交付金額 (千円)	48,019	48,070	48,069
成果	成果	農業生産活動等の実施面積 (㎡)	3,349,413	3,353,845	3,353,845
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	36,200	36,268	36,167
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	106	0	0
		オ 一般	12,033	12,042	12,143
		カ 事業費 (ア～オ合計)	48,339	48,310	48,310

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 農業生産活動等の実施面積に増減はありませんでした。 (原因) 交付対象農用地に転用等の影響がなかったためです。 (余地) 協定参加者を増加させる、農地の集積を行うことなどで、対象農地を増やすことが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

鳥獣被害防止総合対策事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

農作物被害の軽減を図るため、愛南町鳥獣被害防止対策協議会に対して補助金を交付しました。また、同協議会において野生鳥獣類の侵入防止柵の資材を購入し、地元施工による設置、南宇和猟友会及び愛南わなの会による有害鳥獣の駆除を行いました。

【実績】

- ・鳥獣被害防止総合対策事業補助金（侵入防止柵整備事業） 12,383千円
- ・鳥獣被害防止総合対策事業補助金（緊急捕獲活動支援事業） 16,652千円
- ・有害鳥獣捕獲隊等育成事業補助金 507千円
- ・ICT大型捕獲檻システム通信費 125千円

特定財源情報

- ・鳥獣被害防止総合対策事業費補助金 21,744千円
- ・有害鳥獣捕獲隊等育成事業補助金 319千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	補助金額 (千円)		43,916	24,845
活動					
成果	農作物被害面積 (ha)		10.43	10.17	10.29
成果	農作物被害金額 (千円)		17,106	16,628	17,674
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	40,467	18,951	22,063
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,449	6,019	7,604
		カ 事業費 (ア～オ合計)	43,916	24,970	29,667

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)今年度の被害面積は10.29haで昨年度から0.12ha増加、被害金額は17,674千円で昨年度から1,046千円増加しており、昨年比の成果状況はやや低下となっております。</p> <p>(原因)継続的に事業を行うことによる防止効果はあるが、年ごとの野生鳥獣出没状況等の増減による影響があると考えられます。</p> <p>(余地)有害鳥獣捕獲数が増加傾向にあるため、本事業を積極的に活用するよう周知します。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

菊川農村研修センター管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
管理	防火対象物点検業務、消防用設備保守点検業務、浄化槽法定検査業務、浄化槽保守点検業務、浄化槽清掃業務、施設清掃業務を行いました。
【実績】	・R6事業費 1,081千円

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 菊川公民館管理運営関係者数 (人)	10	10	10	
	活動 菊川公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 菊川農村研修センター管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 菊川農村研修センター運営上の満足度 (%)	98	100	96	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	938	983	1,081
	カ 事業費 (ア～オ合計)	938	983	1,081	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設管理上のトラブルもなく運営できています。満足度は96%で4ポイント低下しました。 (原因) 定められた頻度での保守点検及び業者による清掃と普段からの管理が適切であったと思われます。 (余地) 住民が安全で快適に利用できるよう、長期的観点での維持管理が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松交流促進センター管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>施設を利用する一本松中学校生徒及び一般利用者の利便性向上や安全性確保のために適切な維持管理を行いました。 開館時間：8時30分から22時まで 休館日：なし 予約：一本松公民館</p> <p>【実績】 ・年間利用人数3,307人 ・修繕4件（トイレボールタップ、埋設給水管漏水、照明、小便器）</p>	

特定財源情報	
・行政財産使用料 5千円 ・夜間照明使用料 142千円 ・雑入 63千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
	活動	活動	修繕件数 (件)	4	0	4
成果	成果	一本松交流促進センター年間利用者数 (人)	2,240	2,908	3,307	
	成果	一本松交流促進センターの維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	2	0	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	0	0
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	5,283	30,113	210
			オ 一般	10,835	19,624	4,921
			カ 事業費 (ア～オ合計)	16,118	49,737	5,131

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較して年間利用者数が13.7%増加しています。 (原因) 適正な管理により大きな不具合もなかったため、施設の利用が増加したことが要因だと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 今後の利用については、施設の適正管理の継続により、通常通りに施設が使用できれば更なる利用者の増加が見込めます。

一本松プール管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
一本松小学校児童の利用時における安全性を確保するため適切な管理を行いました。
【実績】
・開放期間：6月から8月
・開放内容：授業（水泳）及び夏休み小学校児童クラブプール開放
・委託業者によるプールの過機の保守点検を実施しました。
・点検時に不備のあった箇所の修繕を実施しました。
修繕1件（プールの過機修繕341千円）

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	1	2	1	
	活動 一本松プール年間利用者数(全児童数) (人)	153	110	109	
	成果 一本松プールの維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,033	1,069	1,342
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,033	1,069	1,342	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用者からの不具合やトラブルの申し出がなく、事業の成果としては順調でした。 (原因) 適切な施設管理及び点検、修繕等を実施していることが要因であると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 現在学校利用のみとなっており、開放日を増やしたとしても成果向上の余地は少ないと考えます。

あけぼのグラウンド管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>必要な改修と適正な管理を行い、利用者の利便性向上と安全性確保に努めました。スポーツ合宿等町外者の利用を推進するため、誘致活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間 7時から22時 ・休業日 なし ・予約 生涯学習課 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人数10,365人 ・人工芝の改修（リース8年）を実施しました。 改修（撤去・下地）工事費21,285千円 リース月額1,046千円 ・修繕3件（テントフレーム、スポーツトラクター、観客席屋根テント）

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとづくり基金繰入金（企業版ふるさと納税分）20,100千円 ・行政財産使用料 36千円 ・体育施設使用料 304千円 ・雑入 64千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	8	0	3	
	活動			0	
	成果 あけぼのグラウンド年間利用者数 (人)	10,877	11,012	10,365	
	成果 あけぼのグラウンドの維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	26,900	0
		エ その他	330	16,451	20,504
		オ 一般	3,843	8,362	10,354
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,173	51,713	30,858

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)人工芝改修時に利用中止となったため前年度から年間利用者数が5.9%減少しました。</p> <p>(原因)人工芝改修工事期間において夜間の利用が出来なかったことが要因であると考えます。</p> <p>(余地)今後のグラウンド利用については、大会等の開催により利用者の増加が見込めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

多面的機能支払交付金事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
多面的機能支払交付金事業を実施する活動組織及び推進組織へ農村環境保全向上活動支援事業補助金を交付し、組織による活動を支援しました。	
【実績】	
・農地維持支払	9,804千円
・資質向上支払（共同活動）	3,630千円
・資源向上支払（長寿命化）	10,415千円
・推進組織推進事業	668千円
・市町推進事業	339千円
・精算返還金	7千円

特定財源情報	
農村環境保全向上活動支援事業補助金 18,496千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	交付金額(千円)	23,202	23,067
成果	成果	多面的機能を維持管理している面積(a)	38,649	38,649	38,645
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	18,059	17,936	18,496
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	9
		オ 一般	6,228	6,142	6,358
		カ 事業費(ア～オ合計)	24,287	24,078	24,863

成果 実績 評価	成果状況	(状況) R6年度は前年度と比べ対象農用地面積は4a減少しました。 (原因) 活動組織内における転用等の影響です。 (余地) 補助金制度の周知や事務説明等を行うことにより、対象農用地の拡大を検討する組織の増加が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

土地改良区助成事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>各土地改良区の健全な運営等のため、運営経費に関する補助金を交付し、組織による施設の維持管理活動等を支援しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一本松土地改良区助成 347千円 ・緑僧都土地改良区助成 260千円 ・城辺土地改良区助成 23千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 助成金額 (千円)	529	581	630	
	活動				
	成果 土地改良区施設の機能不全件数 (件)	6	1	2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	529	581	630
		カ 事業費 (ア～オ合計)	529	581	630

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 令和6年の機能不全件数は2件で、概ね適正な維持管理ができています。 (原因) 定期的な点検及び経年劣化等による修繕の実施により、トラブル件数の発生抑制に寄与したためと考えられます。 (余地) 今後も組合員が積極的に、こまめに点検等を実施することが、修繕箇所 の減少につながると考えられます。

水利組合助成事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>農業用揚水ポンプを管理している水利組合等へ揚水機・可動堰の年間電気料の1/2以内等の助成金を支出しました。</p> <p>【実績】 ・水利組合補助金 19件 2,866千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 助成金額 (千円)	2,717	2,031	2,866	
	活動				
	成果 水利組合管理施設の機能不全件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,717	2,031	2,866
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,717	2,031	2,866	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 令和6年度は前年度同様、0件を維持しており順調となっています。</p> <p>(原因) 各水利組合が適正に施設の維持管理を実施していると考えられます。</p> <p>(余地) 現況の維持管理状態の取り組みを継続することが考えられます。</p>
--------	--	---

農道維持補修事業(単独)

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>農道の健全な利用促進のため、地区からの要望により農道新設、路側改修、農道舗装等が必要な箇所に対して、測量設計や工事の実施、併せて土地の買収を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域農道南宇和線橋梁等点検委託業務 7,755千円 ・広域農道南宇和線トンネル点検委託業務 2,185千円 ・町単独工事 (地区要望対応9件) 9,537千円

特定財源情報
道路占用料 13千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持補修件数 (件)	20	15	9	
	活動				
	成果 農道施設における維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	20	15	9	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	12	14	13
		オ 一般	33,516	4,708	19,464
	カ 事業費 (ア～オ合計)	33,528	4,722	19,477	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年度は前年度に対し、維持補修件数は減少しました。 (原因) 定期的な見回りや地区要望により、維持補修等が必要な箇所の対応ができたためと考えられます。 (余地) 今後も施設の老朽化(舗装、路側)をはじめ、支障木等の突発的な案件が生じると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

水路維持修繕事業(単独)

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>老朽化等が原因による水利施設の機能を維持・改善するため、地区要望等で維持補修が必要な水路等の施設について、測量設計や修繕・補修工事等を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町単独工事（地区要望対応31件）23,348千円 ・修繕料 260千円 ・測量設計委託料（1件）4,978千円 ・県単独工事 増田地区（平畑工区）水路改修工事 9,796千円 ・事業計画書作成業務委託料 396千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・県単独土地改良事業補助金 3,918千円 ・柏地区農業用水管移設工事補償金 7,260千円 ・公共物使用料 4千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	維持修繕の件数(件)	43	32
成果	成果	農業排水路における維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	43	32	28
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	2,175	3,918
		ウ 地方債	11,000	5,400	0
		エ その他	1	2	7,264
		オ 一般	35,897	49,801	27,596
		カ 事業費(ア～オ合計)	46,898	57,378	38,778

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度は前年度に対し、概ね横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) 定期的な見回りや地区要望により、維持補修等が必要な箇所への対応ができたためと考えられます。</p> <p>(余地) 今後も施設の老朽化による修繕等、突発的な案件が生じると考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

広域農道維持管理事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>広域農道にある道路照明灯、平城トンネル照明灯の電気料について支出しました。平城トンネル照明灯の点灯不良箇所の修繕を実施しました。広域農道の草刈等（御荘～城辺地域）（城辺～一本松地域）を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気料 247千円 ・修繕料 1,012千円 ・農道維持管理委託料（2件）3,021千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	1	1	1	
	活動 作業回数 (回)	4	4	4	
	成果 広域農道利用者からの要望・苦情件数 (年間) (件)	0	0	0	
	成果 広域農道での事故件数 (年間) (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,052	4,045	4,280
	カ 事業費 (ア～オ合計)	4,052	4,045	4,280	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 令和6年度は前年度に比べ、ほぼ横ばい状態です。</p> <p>(原因) 適切な維持管理の実施により、利用者の安全性・利便性が確保できたものと考えられます。</p> <p>(余地) こまめな道路排水路等の維持管理や法面の立木の枝打ち、また、今後、既存照明灯の廃盤による平城トンネルにおけるLED化等が考えられます。</p>
--------	--	--

農地等工事材料費支給事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>原材料支給の地区要望等があった農業用施設について、砕石や、生コン、防草シート等の工事材料を支給しました。支給を受けた工事材料は、地元受益者の自主施工により実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料支給（6件）3,129千円 	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 支払金額 (千円)	3,881	3,304	3,129	
	活動				
	成果 農家による環境整備件数 (件)	14	12	6	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,881	3,304	3,129
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,881	3,304	3,129

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和6年度は前年度と比べ、要望件数は減少しましたが、事業費についてはほぼ横ばいとなっております。</p> <p>(原因) 継続的な事業実施により、施設の改善が図られてきていると考えられます。</p> <p>(余地) 多面的事業の新規活動組織の検討や認定及び今後の対応完了による要望件数の減少等により、原材料支給の減額が考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

大久保山土地改良事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>大久保山土地改良区の健全な運営等のため、運営費や償還金に関する負担金及び補助金を交付し、組織による施設の維持管理活動を支援しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費負担金 1,684千円 ・償還金負担金 1,299千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 負担金額 (千円)	2,324	3,371	2,983	
	活動				
	成果 施設維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	4	4	2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,324	3,371	2,983
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,324	3,371	2,983

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年度は前年度と比べトラブル対応件数は2件に減少しました。 (原因) 定期的な見回り等により補修等が必要な箇所の対応ができたためと考えられます。 (余地) 適切な維持管理や、小水力発電事業収益の維持管理費への充当などによる経費の削減により、補助金の抑制が図られると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

県営土地改良事業負担金

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
地域の特性に応じた農業振興を推進するために、基盤整備事業を実施する愛媛県に対して負担金を支出しました。 【実績】 ・県営事業負担金（水利施設等保全高度化事業） 17,500千円 ・県営事業負担金（農村地域防災減災事業）16,280千円（新規及び事業費変更による追加計上）	

特定財源情報	
過疎対策事業債 13,000千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	負担金額(千円)	72,975	25,475
成果	成果	事業進捗率(%)	19.0	14.4	26.7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	4,000	4,100	13,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	68,975	21,375	20,780
		カ 事業費(ア～オ合計)	72,975	25,475	33,780

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和6年度については、前年度と同様に近年の財政の厳しい中、事業完了に向けて順調に進んでいます。 (原因)地方財政法第27条及び土地改良法第91条第6項の規定により納入しています。 (余地)事業負担金の支出のみならず、県と地元の地域間調整を行うことにより、事業が円滑に施行でき、事業の進捗率が向上します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

林道維持管理事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	01 林業総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>既存林道の機能維持、向上を図るため、安全に利用できるよう清掃作業や修繕及び原材料支給を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道小屋谷線橋梁補修設計委託業務 2,566千円 ・愛南町林道橋定期点検委託業務 550千円 ・僧都二本松地区水路改修工事 1,320千円 ・林道西高西線舗装補修工事 534千円 ・林道維持管理委託料(2路線) 838千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村地域整備交付金林道事業補助金 1,590千円 ・森林環境譲与税基金繰入金 4,195千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 作業回数(回)	5	10	6	
	活動				
	成果 林道維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	5	10	6	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	1,590
		ウ 地方債	27,500	0	0
		エ その他	0	0	4,195
		オ 一般	982	2,597	23
	カ 事業費(ア～オ合計)	28,482	2,597	5,808	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)地区要望等に対応し、清掃作業箇所2路線、修繕、維持補修工事について、適切に維持管理を実施しました。 (原因)地区要望や職員の見回り及び利用者の情報提供により、林道の状況把握に努めます。 (余地)南宇和森林組合等の林道使用者と積極的に協力しながら維持管理を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

林道整備事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	01 林業総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
愛媛県森林土木工事関係規程に基づき、森林整備を効率的に実施することを目的に林道工事を実施しました。
【実績】 ・林道松尾光野線道路舗装工事 令和5年度からの繰越事業費 8,950千円 舗装工 L=550m 令和6年度の事業費 5,000千円 舗装工 L=640m

特定財源情報
・農山漁村地域整備交付金林道事業補助金 7,672千円 ・過疎対策事業債 6,200千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開設、改修における林道延長 (m)	900	495	550	
	活動				
	成果 間伐実施面積 (ha)	5	3	5	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	16,422	7,672	7,672
		ウ 地方債	12,400	3,700	6,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,628	2,578	78
		カ 事業費 (ア～オ合計)	31,450	13,950	13,950

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)長期計画に基づいて適正に工事を実施しています。 (原因)事業完了途中につき、現在のところ森林整備面積の向上には繋がっておりません。 (余地)工事を延伸し事業が完了することにより、森林整備の成果向上に繋がるものと考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

有害鳥獣駆除補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>南宇和猟友会、愛南わなの会による有害駆除事業に対して奨励金を交付しました。</p> <p>イノシシ 猟期外、猟期10,000円/頭 シカ 猟期外15,000円/頭、猟期10,000円/頭 サル 猟期外、猟期15,000円/頭 うち、県補助金で基準額10,000円/頭×1/2以内で支出しました。</p> <p>【実績】 ・有害鳥獣駆除事業費補助金 32,437千円</p>

特定財源情報
有害鳥獣駆除対策事業費県補助金 9,094千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果状 況	活動 補助金額 (千円)	32,469	34,474	32,437	
	活動				
	成果 被害面積 (ha)	10.43	10.17	10.29	
	成果 被害金額 (千円)	17,106	16,628	17,674	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	11,228	9,911	9,094
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10	7	0
		オ 一般	21,231	24,556	23,343
		カ 事業費 (ア～オ合計)	32,469	34,474	32,437

成果実 績評 価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 今年度の被害面積は10.29haで昨年度から0.12ha増加、被害金額は17,674千円で昨年度から1,046千円増加しており、昨年比の成果状況はやや低下となっております。</p> <p>(原因) 猟友会、わなの会による継続的な捕獲活動による被害防止効果はあるが、年ごとの野生鳥獣出没状況等の増減による影響があると考えられます。</p> <p>(余地) 有害鳥獣捕獲数が増加傾向にあるため、猟友会、わなの会と連携し更なる成果向上を目指します。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

森林整備担い手確保育成対策事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>林業従事者の労働安全衛生の充実・技術及び技能の向上・福利厚生の実施等を図るとともに労働安全の確保と事業の効率化を図りました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境整備事業費補助金 森林担い手育成・確保・雇用環境整備事業 1,105千円

特定財源情報
森林環境譲与税基金繰入金 1,105千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額(千円)	1,811	1,847	1,105	
	活動				
	成果 労働災害数(件)	0	0	0	
	成果 林業従事者数(人)	30	27	17	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	555	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	701	1,847	1,105
		オ 一般	555	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,811	1,847	1,105

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 森林組合への補助により労働安全の確保と事業の効率化を図ることができました。</p> <p>(原因) 本事業により労働安全衛生の充実・技術及び技能の向上・福利厚生の実施等を図ることができたためと思われます。</p> <p>(余地) 森林組合が行っている事業に対し、補助金を交付しています。森林組合と連携を図ることで迅速に事業を進めることができると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

地域材利用木造住宅建築促進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

定住及び木造住宅の建築を促進し南予地域材の需要を喚起するとともに、関連する木材産業、建築産業等の振興、林業の活性化及び森の健全化を図りました。
 本人申請 審査 交付決定 事業実施 実績報告 請求書提出 補助金支払
 補助対象：地域材を主要部材の60%以上使用かつ住宅部分の床面積が66㎡以上の住宅で、町内に事務所を有する工務店により建築された住宅
 補助内容：使用地域材の体積1立法メートル当たり25,000円を乗じた額(上限500,000円)

【実績】令和5年度繰越分 1件 437千円
令和6年度 4件 1,828千円

【繰越】令和6年度繰越分 3件 1,499千円

特定財源情報

森林環境譲与税基金繰入金 888千円(うちR5繰越分437千円)

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 補助件数(件)	9	7	4	
	活動				
	成果 建築件数(件)	9	7	4	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,695	4,583	888
		オ 一般	1,500	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,195	4,583	888

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)補助件数は4件となり、昨年度と比較し3件減少しました。年度によって増減はありますが地域材消費促進に繋がっています。 (原因)住宅の建築件数の増減は、住宅需要や景気の影響による経済状況等複数の要因に左右されると思われます。 (余地)事業についての周知を行い補助申請者の増加を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

愛南町木育推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
町が実施する乳児健康診査を受診した者に対し、県内等の地域材により製作した木製玩具を誕生祝品として贈呈しました。
【実績】
・木製玩具(積み木)購入費 714千円
・乳幼児49名に配布

特定財源情報
森林環境譲与税基金繰入金 714千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 木製玩具贈呈回数(回)	4	4	4	
	活動 木製玩具贈呈人数(人)	72	57	49	
	成果 贈呈した玩具を活用している1歳6か月乳幼児割合(%)	95	90	89	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	528	701	714
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	528	701	714

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和6年度の成果は89%が活用しているとのアンケート回答となりました。木製玩具(積み木)を対象乳児49名に贈呈しました。 (原因)対象となる乳児の発育段階に適切で安全な木製玩具を贈呈できていることが要因と考えられます。 (余地)より木製玩具に親しめるように、木製玩具を使用した方の意見等を参考にします。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

森林環境整備事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>森林環境譲与税を原資として以下の事業を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道維持補修工事（4路線） 731千円 ・森林環境整備事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 素材生産支援（林業機械） 12,205千円 素材生産支援（木材運搬） 4,248千円

特定財源情報
森林環境譲与税基金繰入金 17,183千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	契約面積 (ha)	130	130	130
	活動				
	成果	間伐実施割合 (%)	75	80	80
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	19,181	19,137	17,183
		オ 一般	0	0	1
	カ 事業費 (ア～オ合計)	19,181	19,137	17,184	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)南宇和森林組合へ高性能林業機械の導入支援等を森林環境譲与税を活用して支援しました。</p> <p>(原因)経営管理集積計画に基づいて計画的に実施しています。</p> <p>(余地)今後も林業経営に適さない森林を中心に集積計画を立案して、森林整備を実施してしていきたいと考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

種子島周辺漁業対策事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
JAXAが行う種子島でのロケット打上げに伴う操業規制により、漁獲が制限されています。その漁業補償として、施設整備などに対する補助(補助率70%)を行いました。
【実績】 久良漁業協同組合が養殖魚の直販事業の拡大及び高齢漁業者向けに、氷の運搬販売事業を円滑に推進していくためのトラックを購入する費用に対して補助を行いました。総事業費10,000千円から県補助金を差引いた残額3,236千円の1/2以内で町が補助を行いました(愛南町補助金等交付要領が定める水産業振興事業の補助率に基づきます)。

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 事業区分数(設計・監理・工事)(件)	3	0	3	
	活動				
	成果 事業進捗率(%)	100	0	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	26,110	0	0
		ウ 地方債	3,000	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	730	0	1,236
		カ 事業費(ア~オ合計)	29,840	0	1,236

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)トラック購入に対して見積、発注、納車まで支援を行いました。 (原因)久良漁協と連絡調整ができたためと考えられます。 (余地)漁協からの要望に対して連絡調整を行い、水産業の発展のための支援が必要と考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

水産業振興補助事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	02 漁業の安定経営	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>【実績】 愛南漁業協同組合及び久良漁業協同組合が実施する水産業の振興を目的とした事業に対して、愛南町補助金交付規則により、事業費を補助し水産業の振興を支援しました。</p> <p>水産業振興事業費補助金 愛南漁協 5,000千円 久良漁協 1,500千円 新規漁業就業者育成強化事業費補助金 愛南漁協 846千円 久良漁協 1,400千円</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> 新規漁業就業者育成強化支援事業補助金 1,123千円 ふるさとづくり基金繰入金 5,000千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (千円)	19,914	9,557	8,746	
	活動				
	成果 愛南 久良漁協の漁獲量 (t)	9,896	16,569	12,265	
	成果 愛南 久良漁協の生産額 (千円)	1,526,542	2,806,397	2,160,383	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,300	1,575	1,123
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	7,500	5,000
		オ 一般	18,614	482	2,623
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,914	9,557	8,746

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 漁獲量は、前年度より約26%減少し、生産額も約23%減少しました。新規漁業就業者育成強化事業では、3名への支援を行いました。 (原因) かつおの一本釣漁業による漁獲は向上したものの、まき網漁業の漁獲が減少したため全体の漁獲量及び生産額が減少したことが考えられます。 (余地) 販売促進及び新規漁業者確保の取り組みを行うことで漁獲量、生産額の向上が考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

水産物販売促進事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	03 ぎょしょく教育と消費拡大	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

愛南町の水産物の知名度向上を図りながら販売促進を推進するため、首都圏やその他主要都市のホテル・スーパーマーケット等での営業活動を委託し実施しました。

【実績】

- ・第26回ジャパンインターナショナルシーフードショーへの出展及び商談を行いました。
- ・首都圏百貨店等で水産物と農産物を併せた愛南町フェアを調整・開催しました。
- ・営業ツールや海外向け販促ツールを制作しました。
- ・愛南漁協とマレーシアにて販売促進や商談を行いました。
- ・牡蠣養殖経営支援事業費補助金にて3倍体牡蠣養殖業者を支援しました。
- ・委託料（愛南町水産物販売促進支援業務） 3,245千円
- ・旅費（販売促進活動） 876千円
- ・消耗品費（販売促進ツール） 297千円
- ・牡蠣養殖経営支援事業費補助金 1,000千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 商談会出展回数 (回)	1	2	2	
	活動				
	成果 漁協の直接販売額 (千円)	940,763	1,040,699	1,131,510	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,826	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,273	4,213	5,418
	カ 事業費 (ア～オ合計)	6,099	4,213	5,418	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 漁協の直接販売額については、昨年より8.7%増加しました。 (原因) 両漁協が行っているオンラインショップや大手百貨店等での販売促進が充実し、水揚げ量が回復したことや、愛南漁協が海外輸出事業を強化したことも原因と考えられます。 (余地) 今後も両漁協と連携し販売促進につながる取り組みを強化し、販売先との関係強化を図ることにより、更なる成果向上の余地は大いにあると考えられます。 なお、海外輸出の取組へのサポートの拡充も考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ぎょしょく普及事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	03 ぎょしょく教育と消費拡大	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

園児、児童生徒、一般を対象に、愛南町で水揚げされる水産物や水産業への理解を深めるため、施設見学、座学、調理実習等を実施しました。
 未就学児：魚に触る等の体験をしました。小学生：授業で市場や養殖場のの見学、調理実習等を行いました。中、高、大学：授業で魚をさばきおいしく調理できることを学びました。一般：愛南町で水揚げされる水産物を知り、地元水産物の消費拡大を図りました。学校給食食材：町外の小中学校出前授業を通じて、給食食材の利用拡大を図りました。
 【実績】伝道師育成事業（事業謝礼40千円 消耗品費33千円 保険料20千円）
 ぎょしょく普及事業（講師謝礼10千円 旅費178千円 消耗品費590千円 委託料3,620千円 船借上料20千円）

特定財源情報

- ・ぎょしょく普及事業雑入（材料費等） 134千円
- ・企業版ふるさと納税寄附金 3,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 普及事業の実施回数 (回)	68	91	103	
	活動				
	成果 町内の普及事業の参加者数 (人)	2,510	3,887	5,873	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	751	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	14	80	3,134
		オ 一般	2,711	1,597	1,377
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,476	1,677	4,511

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）令和6年度の本事業への参加者数は5,873人となり、前年度に比べ1,986人増加して順調に推移しています。 （原因）新型コロナウイルス感染症予防対策で減少していた実施回数が回復したものと考えられます。 （余地）人口が減少している状況ですが、伝道師の育成や遠隔での漁場見学、オンライン調理実習等、事業内容や実施方法の見直しにより、参加者の拡大が図られると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

漁場環境保全事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	06 持続可能な漁業の推進	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>・沿岸域の藻食性生物の駆除作業や海藻類の母藻の設置作業、モニタリング調査などを実施し、藻場の再生を目指しました。</p> <p>・大型食用海藻のヒロメの生産試験や、駆除したガンガゼの食用化試験を実施し、新たな産業の創出やブルーカーボンの活用、ゼロ・エミッションの実現を目指しました。</p> <p>・ぎょしょく教育や水産物人材育成などの教育の場で活用することにより、漁場環境に興味、関心を持つ人材の育成を目指しました。</p> <p>・漁場環境の保全を図るため、漂着廃フロートや黒ブイを回収し、マイクロプラスチックのさらなる飛散を防ぎました。</p> <p>【実績】・需用費 398千円 ・役務費 180千円 ・委託料 2,429千円</p>	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 2,000千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	調査回数 (回)	16	10
成果	成果	藻場造成を実施した沿岸域面積 (㎡)	2,670	23,700	23,000
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	200	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,000
		オ 一般	2,545	3,167	1,007
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,745	3,167	3,007	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)ブルーカーボンの創出に向けた海藻類調査や、大学の委託事業によるウニ駆除、モニタリング調査を積極的に実施し、調査回数及び藻場造成実施面積は昨年度から概ね順調に推移し、当初計画より増加しました。</p> <p>(原因)昨年度から継続して水産多面的機能発揮対策事業に採択されたことにより、調査回数と藻場造成実施面積が当初計画から増加しました。</p> <p>(余地)上記の活動の他、愛南の藻場を守る会での藻場造成活動も積極的に実施することにより、藻場造成実施面積の拡大が可能だと考えられます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

水産業活性化推進事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費	計画 年度	
基本 事業	99 施策の総合推進	目	02 水産業振興費		開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
【実績】 漁業者や水産業関係者に水産業関連の支援策や補助事業について、情報提供の機会を設けるとともに、イベントを開催することで水産業の知名度を向上させました。	
水産フォーラム：1回	水産セミナー：1回
大学祭：2回	大学連携事業：2回
	水産業振興懇話会：2回
	海山交流事業：1回
・講師謝礼 40千円 ・委員謝礼 154千円 ・旅費 104千円 ・消耗品費 1,319千円 ・委託料（水産物販売促進PR業務） 2,320千円	

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 実施回数 (イベント会議) (回)	27	13	9	
	活動				
	成果 水産業フォーラム 懇話会及び現地イベント参加者数 (人)	851	1,020	962	
	成果 SNS情報発信 閲覧数 (回)	1,415,163	365,989	672,194	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,015	0	0
		イ 県	1,160	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,610	4,359	3,937
	カ 事業費 (ア～オ合計)	7,785	4,359	3,937	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)フォーラム、懇話会及びイベント参加者数は前年度から約5.7%減少しました。SNS閲覧数は、前年度から約83.7%上昇しました。 (原因)イベント参加者数は、悪天候等により参加者数が減少したと考えられます。松山大学「愛南マダイ応援隊」が様々なイベントに参加しSNSアカウントの周知を行ったことで、フォロワー数が増加し、閲覧数が増加したと考えられます。 (余地)フォーラム、セミナー及びイベントに関して、事前にSNS及びメディアで発信することで参加者数の増加が見込めると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

海業推進事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：令和06年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>海や漁村の魅力や地域資源を活用した取組・事業の計画の検討策定・調査、実証、実装と推進を実施し、各関係団体・組織の連携を図りながら人材の育成を行いました。</p> <p>【実績】 海業推進会議（3回） 海業先進地視察（1回） 海業実装推進委託業務（1件） 海業振興事業支援補助（1件） 海業取組促進事業（繰越） ・報償費 318千円 ・旅費 1,916千円 ・需用費 38千円 ・委託料 4,950千円 ・使用料及び賃借料 257千円 ・負担金補助及び交付金 300千円</p>

特定財源情報
企業版ふるさと納税寄附金 7,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 海業推進会議実施回数 (回)			3	
	活動				
	成果 新たな海業等の取組の展開数 (件)			2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	7,000
		オ 一般	0	0	779
	カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	7,779	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 新たな海業等の取組の展開数については、一般社団法人Umidasの設立やウニッコリーの事業化検証など順調に推移しています。 (原因) 海業推進会議や設立準備委員会を設置して協議がスムーズに行えたことや、海業支援補助金を活用したことが考えられます。 (余地) 一般社団法人Umidasによる新たなコンテンツの企画・立案や、グランドデザインの見直しと考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

魚病診断事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

- ・町内の養殖漁場で斃死した養殖魚の鰓や内臓等を顕鏡して寄生虫・細菌・ウイルスなどの有無を検査することで、斃死の原因となった病気を特定しました。
- ・細菌性疾患であれば薬剤の感受性を調べました。
- ・病原体の確認が困難なウイルス病については、遺伝子検査をすることでより正確な検査を行いました。
- ・海外由来の種苗が町内に導入された際にはモニタリング検査を行い、町内で未発生の魚病等に感染していないかを調べました。

【実績】

- ・旅費 9千円
- ・消耗品費 604千円
- ・燃料費 61千円
- ・通信運搬費 27千円
- ・機械器具購入費 359千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 魚病診断件数 (件)	1,038	1,023	962	
	活動				
	成果 魚病診断件数 (件)	1,038	1,023	962	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	857	536	1,060
		カ 事業費 (ア～オ合計)	857	536	1,060

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 魚病診断件数はやや減少しています。 (原因) 令和6年度は高水温期に一部海域で魚病が蔓延しました。しかし、それ以外にはある程度は養殖業者が現場で判断をして適切に検体を持ち込んでいることから例年と比べて診断件数がやや減少しています。 (余地) 現状では具体的な対策方法のない病気もありますが、対策方法のある病気については、本事業により引き続き早期診断、対策を行うことで、さらに魚病の感染拡大を抑制し診断件数を減少することができます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

海洋資源開発センター施設管理運営事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
施設の維持管理や機器類の保守点検（5件）、修繕（9件）や施設整備（工事1件、施設メンテナンス8月、12月実施）を適時行いました。 【実績】 ・報償費 99千円（概算設計謝礼金） ・需用費 10,115千円 （消耗品費 386千円、光熱水費 7,363千円、修繕料 2,366千円） ・役務費 258千円（通信運搬費 136千円、手数料 47千円、保険料 75千円） ・委託料 1,409千円 （設備機器保守点検 385千円、精密ろ過装置保守点検 792千円、他3件 232千円） ・使用料及び賃貸料 301千円 （CATV受信料 4千円、NHK放送受信料 12千円、Wi-Fi回線料他 285千円） ・工事請負費 1,276千円（機械室ブレーカー取替工事）

特定財源情報
種苗生産協力金 4,891千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 設備修繕件数 (件)	8	6	9	
	活動 保守点検委託件数 (件)	5	5	5	
	成果 海洋資源開発センター施設機能不全、不具合数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	18,200	0	0
		エ その他	5,432	4,445	4,891
		オ 一般	10,869	9,847	8,567
		カ 事業費 (ア～オ合計)	34,501	14,292	13,458

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）当初の計画には無い故障により不具合箇所が発生しましたが、修繕により改善されました。 （原因）修繕は、保守の結果や過去の履歴から予測し計画的に実施できたからと考えます。 （余地）老朽化の対策として施設改修や修繕を適時行えるよう計画していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

優良アコヤガイ作出事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>愛南町の基幹産業の一つである真珠母貝養殖業の安定経営に向けて、優良アコヤガイの開発により真珠母貝の品質を高めるとともに、「耐性貝」「耐性交雑貝」の安定供給のため、愛南漁協への技術支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良アコヤガイの開発 種貝24種類生産：31班に配布（93件） ・ヒルナウイルス対策 モニタリング調査の継続（母貝養殖海域9地点で実施） ・種苗生産回数：4回 町（種貝）：1回、漁協（大量生産）：3回 ・種苗生産割合：10割 愛南漁協の種苗生産支援：2,489万貝生産（注文数の10割達成） <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 118千円 ・消耗品費 1,300千円 ・燃料費 213千円 	

特定財源情報	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	種苗生産回数（回）	4	4
成果	成果	種苗生産割合（割）	10	10	10
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	244	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	26,956	5,376	1,631
		カ 事業費(ア～オ合計)	27,200	5,376	1,631

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和6年度は、真珠・母貝養殖業者から2,494万貝の稚貝注文があり、種苗生産実績として、注文数通りである10割の生産に成功しました。</p> <p>(原因)過去に生産不調に陥ったことがあり、その時の対策が現在も活かされ、安定生産に繋がっています。</p> <p>(余地)注文数に対し10割の生産を継続してきましたが、今後もその状態を維持するため愛南漁協と連携をしていきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

新養殖魚種導入支援事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町の新養殖品種として期待されるスマやサツキマス等の養殖技術を確立させるための支援を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 128千円 ・研究開発委託料 2,000千円 ・スマ補助金 10,152千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・スマ養殖実用化推進事業費補助金 5,074千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 2,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 新養殖魚種の導入数 (種)	3	3	3	
	活動				
	成果 新養殖魚導入数 (尾)	25,300	81,058	97,300	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,621	0	0
		イ 県	4,557	10,323	5,074
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	12,000	2,000
		オ 一般	1,066	323	5,206
		カ 事業費 (ア～オ合計)	11,244	22,646	12,280

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 成果指標である種苗導入尾数は20% (16,242尾) 上昇しました。 (原因) 令和6年度はスマとマサバの導入尾数、導入業者が増加したためです。 (余地) 海面導入時での生残率や疾病対策などの課題を克服することにより、さらなる普及が図られるものと考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

水産業ICT利活用事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
水産業の現場にICT技術を導入し、作業の効率化及びデータを活用した戦略的な漁業を実施しました。
【実績】 ・消耗品費 109千円 ・通信運搬費 466千円 ・保守委託料 264千円 ・リース料 939千円 ・負担金200千円 ・ICT機器等導入補助金 11,061千円

特定財源情報
・過疎対策事業債 11,000千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 1,800千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 魚病診断情報登録数 (件)	1,038	1,023	962	
	活動 赤潮情報発信数 (件)	56	23	38	
	成果 ICT技術を活用している (登録している 漁業経営体(従事者 数) (人)	329	334	338	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	24,200	13,600	11,000
		エ その他	0	0	1,800
		オ 一般	821	6,724	239
		カ 事業費 (ア～オ合計)	25,021	20,324	13,039

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) ICT活用漁業経営体数が4人増加しました。 (原因) システムがより周知され登録希望者が増加したためです。 (余地) 新規の漁業者には本システムの周知をして登録を促し、さらに従来の漁業者には責任者のみでなく従業員等にも登録を勧めることで、さらにシステム利用者を増加させることができます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

赤潮・漁場環境調査事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	06 持続可能な漁業の推進	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)		
<ul style="list-style-type: none"> ・町内で赤潮が発生した際は現場に赴き採水をし、増殖したプランクトンの同定と養殖業者への結果の通知を行いました。 ・3か月おき(年に4回)に町内漁場の環境調査をして動向を把握し、さらに町内の養殖業場が良好に保たれているかを調べました。また、海水だけでなく底泥についても調査を実施しました。 ・定期的に海中の有害プランクトン及び病原体の濃度をリアルタイムPCR法で測定することで、遺伝子レベルでの動向を把握し、今後の予測に役立てました。 		
【実績】		
・事業謝礼 24千円	・消耗品費 88千円	・修繕料 171千円
・検査手数料 139千円	・移設手数料 233千円	・調査研究委託料 2,350千円
・器具借上料 166千円	・機械器具購入費5,390千円	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 環境調査実施回数(回)	4	4	4	
	活動 赤潮調査の実施回数(回)	56	23	38	
	成果 赤潮等発生件数(件)	2	0	3	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,654	3,095	8,561
	カ 事業費(ア～オ合計)	2,654	3,095	8,561	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度は有害赤潮が3件発生しましたが大きな赤潮被害はありませんでした。</p> <p>(原因) 有害赤潮の発生原因は不明ですが、水温や日照等の条件が競合プランクトンに不向きであったことで赤潮プランクトンが増加し、有害赤潮が発生した可能性があります。有害赤潮の発生を養殖業者に注意喚起して早期に対策をしたことで被害を未然に防ぐことができたと考えられます。</p> <p>(余地) 赤潮が発生した際は調査を行い注意喚起して早期対応を促すことで、赤潮の拡大を一部未然に防げる可能性があります。遺伝子モニタリングを継続して行いデータを集めることで赤潮予測につながり、赤潮被害の低減が期待できます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域産業研究・普及センター施設維持管理事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	193
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

愛媛大学南予水産研究センターや漁協、地域の企業の協力のもと、技術革新の創出、環境重視型産業の構築、ぎょしょく教育・人材育成を推進しました。なお、愛媛大学、滞在者等が使用する光熱水費、浄化槽管理委託料、滞在室使用料等は、使用者が負担しました。

- ・水産振興、ぎょしょく普及、各種研究などのための施設の維持管理を行いました。
 - ・施設の修繕や保守点検等の実施しました。
 - ・臨時用務員雇用による、日常的な清掃、施設備品の維持管理を行いました。
- 【実績】労働災害補償保険料 2千円 事業謝礼 707千円 消耗品費 140千円 燃料費 249千円 電気料 5,417千円 水道料 211千円 ガス代 296千円 修繕料 298千円 通信運搬費 91千円 浄化槽法定検査手数料 10千円 浄化槽清掃手数料 123千円 施設清掃委託料 114千円 電気保安業務委託料 208千円 消防設備保守委託料 73千円 浄化槽保守点検委託料 115千円 放送受信料 18千円

特定財源情報

- ・地域産業研究・普及センター使用料 1,209千円
- ・地域産業研究・普及センター雑入（光熱水費等） 4,503千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 設備修繕件数 (件)	8	6	5	
	活動 保守点検委託件数 (件)	4	4	4	
	成果 地域産業研究・普及センター施設機能不全、不具合数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	13,253	5,643	5,712
		オ 一般	5,133	2,147	2,360
		カ 事業費 (ア～オ合計)	18,386	7,790	8,072

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 修繕数については、昨年度より設備修繕件数が1件減少し、施設の機能不全、不具合数は0件で順調に施設の運営ができています。</p> <p>(原因) 施設の老朽化や長期滞在室がほぼ満室の状況ではありますが、保守点検業務等により修繕箇所を早期に発見して対応しているため、施設修繕件数は目標値と同数となり、施設の機能不全、不具合数は0件となっています。</p> <p>(余地) 保守委託件数、修繕件数とも、施設の老朽化に伴い、増加する可能性はあるものの、適切な管理・使用方法などに努めることが考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

漁港施設維持管理事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	193
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>漁港関連施設の維持補修工事をはじめ、修繕補修や台帳補正等を実施し、漁港・漁港海岸業務の適正な管理を行いました。今年度から事務簡素化の観点から内海及び西海漁港公園維持管理事業を本事業へ統合したことにより、光熱水費等の経常経費を新規計上いたしました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費 55千円 ・消耗品費 11千円 ・電気料 292千円 ・水道料 243千円 ・修繕料 879千円 ・浄化槽法定検査手数料 10千円 ・浄化槽清掃手数料 107千円 ・講習会等受講手数料 5千円 ・浄化槽保守点検委託料 42千円 ・測量設計委託料 1,900千円 (繰越分) ・台帳補正業務 484千円 ・分筆業務委託料 155千円 ・漁港・海岸保全区域内業務委託料 1,099千円 ・維持補修工事費 56,626千円 (内繰越分21,480千円) ・原材料費 268千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急自然災害防止対策事業債 14,400千円 (R5繰越分) ・漁港施設使用料 260千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
	活動		維持補修工事件数 (件)	44	45	52
活動		機能改善箇所数 (箇所)	44	45	52	
成果		漁港施設の不具合・破損件数のうち機能を改善した施設の割合 (%)	100	100	100	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	0	0
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	56,800	65,900	14,400
			エ その他	261	261	260
			オ 一般	49,808	27,139	47,516
			カ 事業費 (ア～オ合計)	106,869	93,300	62,176

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和6年度に実施した各施設における機能改善の割合は100%で、順調です。 (原因) 定期的に点検を実施し状況を把握するとともに、計画や設計等を行い事業を順次執行したことで、適切に改善できたことが要因です。 (余地) 定期的に点検を実施し、可能な限り維持管理費の縮減や予防保全の対策を行うことで、随時計画的に施設の長寿命化を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水産物供給基盤機能保全事業 (国庫)

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	195
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>漁港施設の長寿命化を図るため船越漁港、西浦漁港及び柏崎漁港の機能保全計画書の作成並びに西浦漁港の保全工事を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入 (R5年度からの繰越含む) 41,850千円 ・歳出 (R5年度からの繰越含む) 44,500千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・水産物供給基盤機能保全事業費補助金 22,250千円 ・過疎対策事業債 19,600千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 機能保全計画書作成漁港数 (漁港)	0	2	3	
	活動 保全工事実施漁港施設数 (施設)	0	3	1	
	成果 水産物供給基盤機能保全事業進捗率(ハード)(対策済施設数/対策予定施設数)(%)	95.4	98.9	100	
	成果 水産物供給基盤機能保全事業進捗率(ソフト)(更新済漁港数/更新予定漁港数)(%)	-	0	60	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	8,365	7,750	22,250
		ウ 地方債	8,300	7,700	19,600
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	65	50	2,650
		カ 事業費 (ア～オ合計)	16,730	15,500	44,500

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和6年度の事業進捗率は100%で、第1期の保全工事は計画どおり完了し、事業進捗は順調に向上しています。 (原因)今後の施設補修に係る経費縮減のため、積極的に事業費の確保に努めたことが考えられます。 (余地)国からの補助金の増加次第で、事業進捗の向上が期待できます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

海岸メンテナンス事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	195
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>海岸保全施設の長寿命化を図るため施設の維持補修対策工事を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入 (R5年度からの繰越含む) 56,835千円 ・歳出 (R5年度からの繰越含む) 58,975千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・海岸メンテナンス事業費補助金 (国) 29,488千円 ・海岸メンテナンス事業費補助金 (県) 8,847千円 ・公共事業等債 18,500千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 老朽化対策事業実施海岸施設数 (箇所)	0	4	4	
	活動				
	成果 老朽化対策事業実施海岸施設割合 (%)	15.8	36.8	57.9	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	9,000	29,162	29,488
		イ 県	2,700	8,748	8,847
		ウ 地方債	5,670	18,200	18,500
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	630	2,215	2,140
		カ 事業費 (ア～オ合計)	18,000	58,325	58,975

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 令和6年度の事業進捗率は57.9%で、予定より若干遅れています。</p> <p>(原因) 物価高騰等が事業の進捗に影響しています。</p> <p>(余地) 国からの補助金額が増額することで事業進捗の向上が期待できます。</p>
--------	--	---

魚神山漁港海岸保全施設整備事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	197
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	06 漁港建設費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
高潮等による被害からの防護並びに国土の保全を図るため、離岸堤の高上げ工事を実施しました。	
【実績】	
・歳入（R5年度からの繰越含む）119,075千円	
・歳出（R5年度からの繰越含む）123,500千円	

特定財源情報	
・海岸保全施設整備費補助金（国） 61,750千円	
・海岸保全施設整備費補助金（県） 18,525千円	
・公共事業等債 38,800千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	工事延長 (m)	37	19
成果	成果	新規海岸保全施設整備事業進捗率 (%)	70.4	76.5	83.6
成果	成果	豊後水道東沿岸海岸保全計画進捗率 (%)	33.2	33.2	33.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	97,189	53,500	61,750
		イ 県	29,156	16,050	18,525
		ウ 地方債	61,100	33,600	38,800
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,933	3,850	4,425
		カ 事業費 (ア～オ合計)	194,378	107,000	123,500

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 令和6年度の事業進捗率は83.6%で、予定より若干遅れています。 (原因) 物価高騰等が事業の進捗に影響しています。 (余地) 国からの補助金額が増額することで事業進捗の向上が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大 中 小 なし	

消費生活相談事業

町長部局 商工観光課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 商工費		
基本事業	04 消費生活の安定	目	01 商工総務費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
消費生活相談窓口を設置し、消費生活トラブルに関する相談及び解決へのあっせんと被害防止に向けた活動を行いました。
<消費生活相談員の設置> 毎週木曜日(祝日の場合は振替)に消費生活相談員による相談日を設けました。
<スキルアップ事業への参加> 年々多様化する消費者トラブルに対応するため、国や県が開催する研修に参加し、相談員等の資質の向上を図りました。
【実績】
・えひめ消費者ネット負担金 10千円
・消費生活相談員経費負担金 1,067千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 専門相談員の設置日数(日)	46	52	51	
	活動 相談受付件数(件)	70	63	80	
	成果 消費者相談斡旋件数(件)	12	3	19	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	122	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	368	805	1,077
	カ 事業費(ア～オ合計)	490	805	1,077	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 斡旋解決数が増加しました。 (原因) 相談内容や解決までの道筋は相談者ごとに異なり、令和6年度は相談内容が複雑で相談者が助言等によって相談者自身で解決することが難しい事例が多かったことが考えられます。 (余地) 相談窓口の周知と被害の事前防止に向けた啓発活動を行う必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

商工会補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本事業	01 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>愛南町商工会が行う中小企業に対する指導事業、商工業振興事業に対して助成を行いました。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営指導員による相談及び指導 ・講習会等の開催による経営指導 ・金融指導 等 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工業振興事業補助金 14,000千円 	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 14,000千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (千円)	13,000	14,000	14,000	
	活動				
	成果 本補助による商工会での経営指導実施件数 (件)	1,459	859	748	
	成果 商工会会員数 (件)	681	665	661	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	13,000	14,000	14,000
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)	13,000	14,000	14,000	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 経営指導実施件数は減少、商工会会員数は若干減少しました。</p> <p>(原因) 愛南町商工会の職員が定数9名から7名に減少していることに伴い、指導件数も減少したものです。</p> <p>(余地) 現状の人員数の場合は横ばい状態が見込まれますが、今後新たな職員採用があれば増加の余地があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

2025春らんまんプレミアム商品券事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：令和06年度 終了：令和06年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>愛南町商工会及び郵便局と連携し、地域における消費を喚起・下支えするためにプレミアム商品券（一世帯当たり500円×30枚）を配付する事業を実施しました。</p> <p>・利用期間 令和7年4月15日～令和7年6月15日</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 9千円 ・通信運搬費 2,775千円 ・委託料 76,000千円 	

特定財源情報	
物価高騰重点支援地方交付金 76,000千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 商品券利用セット数 (セット)			6,004	
	活動 商工会への事業委託料 (千円)			95,070	
	成果				
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	76,000
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	2,784
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	78,784

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	国民の安全・安心と持続的な成長に向けた総合経済対策として、国の令和6年度補正予算で重点支援地方交付金が成立し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等を対象とした重点支援地方交付金が創設されたことに伴い、当交付金を活用し、「2025春らんまんプレミアム商品券」を配布し、低迷する地元経済の下支え・地域経済の活性化を図りました。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

特産品販売促進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	01 地域資源の有効活用	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

県内外で開催する特産品等販売イベントに参加しました。

- ・市町や民間主催イベントにおける販売ブースでの特産品等PR。
- ・都市圏での県事務所スペースを借用した特産品等PR。
- ・特産品販売事業者出店の支援。

【実績】

- ・事業謝礼 42千円
- ・消耗品費 798千円
- ・通信運搬費 146千円
- ・事務備品購入費 178千円
- ・出店負担金 2,165千円
- ・普通旅費 2,682千円
- ・印刷製本費 396千円
- ・講演業務委託料 495千円
- ・えひめ愛フード推進機構負担金 20千円
- ・東京・大阪あいなん会補助金 2,273千円

特定財源情報

ふるさとづくり基金繰入金 4,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 イベント開催回数 (回)	9	4	5	
	活動			0	
	成果 イベント売上金額 (千円)	1,862	415	1,026	
	成果			0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	26	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	4,000
		オ 一般	2,426	4,451	5,195
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,452	4,451	9,195	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) イベントの出展回数が増加し、売上金額も大幅に増加しました。 (原因) スケジュールをバランス良く、イベント出店を行えた。 (余地) イベント出展を行い特産品、及びふるさと納税のPRを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

夏祭り補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町夏まつり実行委員会から申請された補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 5,500千円 (愛南町夏まつり事業)

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 5,500千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	補助金額 (千円)	2,021	4,500	5,500
	活動				
	成果	イベント参加者数 (人)	1,500	7,000	8,000
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	4,500	5,500
		オ 一般	2,021	0	0
		カ 事業費 (ア~オ合計)	2,021	4,500	5,500

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 令和5年度より城辺・御荘の合同開催となりました。開催時期を10月としました。 (原因) 暑い8月の時期を避けることにより、幅広い集客と長時間の滞在を見込んでいます。 (余地) 内容を見直し経費を抑制しても、住民が参加したいと思える祭りとなるような企画立案を図る必要があると思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

営業戦略推進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 観光 PRの推進	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町の地域資源である特産品等のブランド力を向上させ、それらを愛南町の魅力として発信するために、以下の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛南町営業戦略推進懇話会開催 ・営業戦略推進事業 ・ロゴマーク等活用支援補助金 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 196千円 ・広告料 9,482千円 ・ライセンス使用料 259千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 9,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 イベントスペースでの物産観光 PRイベント回数 (回)	2	2	3	
	活動				
	成果 物産観光 PRイベントにおける売上額 (円)	812,180	600,000	2,096,393	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	9,080	9,600	9,000
		オ 一般	2,575	301	937
	カ 事業費 (ア～オ合計)	11,655	9,901	9,937	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)作成した統一的なロゴマーク等を活用することにより、本町の特産品のブランド力が向上され、それらを本町の魅力として、町民、行政および各種関係団体が一丸となって積極的にプロモーションを図ることができました。</p> <p>(原因)ロゴマーク等活用支援事業補助金を継続し、活用することでロゴマークの普及を図りました。</p> <p>(余地)今後も、ロゴマーク等活用推進をしていくため、町内事業者向けの補助金を継続することにより、愛南町の統一的なブランドイメージの構築と知名度向上を図ることができます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

企業立地 誘致活動事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 企業誘致・留置の推進	目	03 雇用対策費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>サテライトオフィス等の企業誘致に取り組むとともに、雇用促進奨励措置を講ずることにより町内雇用の推進及び産業の活性化を図る事業です。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 168千円 ・企業誘致支援委託料 198千円 ・県地域活性化協議会負担金 82千円 ・共用型サテライトオフィス整備費等補助金 91千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 雇用促進奨励措置金額 (千円)	500	0	0	
	活動				
	成果 新規雇用者数 (人)	2	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,200	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	500	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	524	959	539
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,224	959	539	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 新規の企業立地はありませんでした。雇用奨励措置についても、新規雇用がなかったため、実績がありませんでした。</p> <p>(原因) 愛南町の立地から企業立地に繋がりにくいためと考えられます。新規雇用がなかった原因として人材不足が挙げられます。</p> <p>(余地) 情報通信関連事業等の輸送コストの影響を受けにくい企業の誘致を中心に、地道な活動を行う必要があると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

県境夏まつり「一本松」事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>県境夏まつり「一本松」実行委員会が実施するイベント、県境夏まつり「一本松」に対し補助金を交付しました。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元有志による販売、出店 ・ステージイベント ・お楽しみ抽選会 ・花火大会 	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 1,500千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 周知広報活動回数 (回)	5	5	5	
	活動				
	成果 一本松夏祭り来場者数 (人)	3,000	3,000	3,000	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,500	1,500
		オ 一般	1,500	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,500	1,500	1,500

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 昨年同様、入場者数は変わらず子どもから高齢者までが集い順調です。</p> <p>(原因) 打ち上げ花火やステージイベント、お楽しみ抽選会など子供から高齢者までが楽しめる内容及びイベント自体が一本松地域や周辺地域に浸透してきたことが要因と思われます。</p> <p>(余地) 今後も、入場者の増加に向け、事業内容等、実行委員会との協議を深めるとともに、広報活動にも力を入れ、地域住民の笑顔あふれる事業として、継続する必要があると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

愛南町観光振興等イベント補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
(事業の概要) 全体計画 本町の魅力ある観光資源や農林水産物などの地域資源を県内外に広くPRする観光振興等イベントを実施する団体に対し補助金を交付しました。 【実績】 ・愛南町観光振興等イベント補助金 14,390千円 等

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 10,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助件数 (件)	5	5	4	
	活動 補助金額 (千円)	8,177	10,180	14,390	
	成果 補助団体が実施するイベント開催日数 (日)	18	196	219	
	成果 イベントにおける参加者数 (人)	9,481	23,721	23,039	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8,000	10,000	10,000
		オ 一般	308	291	4,522
	カ 事業費 (ア～オ合計)	8,308	10,291	14,522	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 申請団体数は、4団体でした。 (原因) 観光関係各団体へ周知し、事業募集をすることができました。 (余地) 観光関係団体のほか事業実施可能な民間団体への周知を行い、より多くの観光振興等イベントを実施してもらい観光振興を図ります。</p>
--------	--	--

愛南町観光協会活動事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	02 観光PRの推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町観光協会が実施する観光振興及び観光客誘致に向けた取組を支援するため、補助金を交付しました。</p> <p>観光協会の活動内容：各イベントへの協賛及び出店、サイクリングイベント、観自在寺でのお接待、観光パンフレットや昼食マップの制作、旅行業者への旅行商品の紹介、ホームページの更新、窓口環境の整備、県・町・近隣観光協会や町観光施設との連携等を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会活動事業補助金 10,163千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 4,280千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	6,650,000	9,410,000	10,163,000	
	活動				
	成果 観光協会主体イベント実施件数 (件)	17	32	40	
	成果 イベントの参加人数 (人)	6,480	8,402	13,983	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	9,000	4,280
		オ 一般	6,650	410	5,883
	カ 事業費 (ア～オ合計)	6,650	9,410	10,163	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 会員と連携し、町内外のイベント等で特産品やなーくんグッズの販売を行いながら町のPRを行いました。</p> <p>(原因) 従来イベントが実施されるようになったこと、屋外イベントの実施や新たに近隣の道の駅へ出店するなどして町のPRの機会を増やしたことによるものです。</p> <p>(余地) ウミダスと連携することで、旅行商品の開発・販売など独自に収益事業を展開できる体制を整え、観光客の増加につながる仕組みづくりを行います。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

四国の道管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

愛媛県から委託された四国のみちの維持管理を商工観光課と3支所で行いました。

- ・商工観光課 上大道～平城大橋付近までを町内業者に依頼し管理しました。
- ・内海支所 坂口～つわな奥展望台までを「柏を育てる会」に委託し管理しました。
- ・御荘支所 平城大橋付近～八幡神社付近までを維持管理しました。
- ・一本松支所 松尾峠～上大道までの維持管理を行いました。松尾峠等の一部を「小友会」に委託しました。

【実績】

- ・事業費総額 611千円

特定財源情報

四国のみち管理委託金 105千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	パトロール回数 (回)	45	45	45
	活動	清掃作業回数 (回)	36	36	36
	成果	四国の道維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	105	105	105
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	505	930	506
		カ 事業費 (ア～オ合計)	610	1,035	611

成果 実績 評価	成果状況	(状況)各地区月に1～2度パトロールし、維持管理に努めました。 (原因)自然歩道であるため定期的に草刈りや倒木の撤去の必要があります。 (余地)これまで通り維持管理し利用者にとって安全、快適な歩道となるよう心掛けていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

旅客船特別会計繰出金

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
愛南町の優れた観光資源である西海地域鹿島周辺の海域を町内外に広く発信するため、一般会計から旅客船事業に繰出金を拠出し、事業の安定運営を図りました。	
【実績】 ・繰出金 26,059千円	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 総繰出金額 (円)	21,794,000	24,565,000	26,059,000	
	活動				
	成果 旅客船特別会計の歳入における一般会計繰入金割合 (%)	68.2	67.9	75.3	
	成果 年間旅客船利用者数 (人)	6,380	5,007	5,159	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	21,794	24,565	26,059
	カ 事業費 (ア～オ合計)	21,794	24,565	26,059	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 昨年度と比較し、旅客船利用者数が152人増加しています。 (原因) 夏季に南海トラフ巨大地震緊急情報の発表があったものの、台風による欠航が少なかったことが主な要因と考えます。 (余地) 指定管理者は安全管理規定を遵守し、日々の安定運航に努めており、今後も現状の管理手段は適切と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

温泉事業等特別会計繰出金

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町の有する観光資源「一本松温泉あけぼの荘」を有効的に利用して集客につなげるため、一般会計から温泉事業特別会計に繰出金を拠出することで同事業の安定的運営に努めました。</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 総繰出金額 (円)	27,800,000	31,500,000	48,700,000	
	活動				
	成果 温泉事業等特別会計の歳入における一般会計繰入金割合 (%)	31.6	30.5	37.8	
	成果 年間あけぼの荘利用者数 (人)	76,898	91,779	87,763	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	27,800	31,500	48,700
		カ 事業費 (ア~オ合計)	27,800	31,500	48,700

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 昨年度と比較して、利用者数が約4,016人減少しました。 (原因) 今年度から定休日を設けたことにより来客者数が減少したものと考えます。 (余地) 施設の適正な維持管理に努めることで、利用者の増加につなげていければと考えます。

愛南町観光振興推進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
町の観光振興を推進するため、戦略的な観光施策の展開を図り、交流人口の拡大や地域の活性化を目指し、各種イベントを実施しました。 【実績】 ・事業費総額 3,823千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 2,200千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 観光推進事業費の中で実施したイベント回数 (事業)	3	4	6	
	活動				
	成果 観光推進事業費の中で実施したイベント参加人数 (%)	39	41	71	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,039	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	5,500	2,200
		オ 一般	3,069	2,304	1,623
		カ 事業費 (ア~オ合計)	9,108	7,804	3,823

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 昨年度実績よりも30人多い集客となりました。 (原因) E-bikeの活用や近隣自治体との連携イベントを実施したことによるものです。 (余地) 効果的な事業については、時代や状況に沿わせて内容で今後も継続して実施し、観光振興を促進します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

スポーツ合宿等補助事業

町長部局 商工観光課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	03 スポーツの充実	項	01 商工費		
基本 事業	04 スポーツツーリズムの推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>【補助金】 町内の宿泊施設を利用し合宿を実施する団体に対して補助金と交通費を交付しました。 ・補助金につきましては、1団体、1回の宿泊数延べ20泊以上で1人1泊あたり2,000円、40万円を上限に補助しました。 ・交通費に関しては、バス・レンタカーの借り上げ料×1/2(上限10万円)、 又は、団体所有(高校・大学等所有)の車両を使用する場合は愛南町役場からの距離に応じて補助金(上限5万円)を補助しました。</p> <p>【実績】 ・事業費総額 5,348千円</p>	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額(円)	1,354,000	4,487,000	5,086,000	
	活動				
	成果 補助金申請団体数(件)	9	17	26	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,173	4,724	5,348
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,173	4,724	5,348	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和6年度の合宿団体の数は26件で、前年度より9件多い結果となりました。 (原因)四国や近畿地方を中心に、例年来てもらっている団体への連絡や新規の団体へ営業活動を行ったことが主な原因です。 (余地)引き続き新規の団体に対して営業を行うことで、合宿団体の増加が図れるのではないかと思います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ご当地キャラクター活用事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	02 観光PRの推進	目	05 観光振興費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」の様々な活動を通じて愛南町のPRを行い、愛南町の知名度向上を図りました。 ・イベント参加回数：年20回 ・参加場所：町内外の各種イベント ・活動日時：通年	
【実績】 ・普通旅費：154千円 ・消耗品費：724千円 ・申請手数料：221千円 ・ご当地キャラクター制作委託料：165千円 ・クリーニング手数料：132千円 ・日本ご当地キャラクター協会負担金：6千円	

特定財源情報	
雑入（「なーしくん」ラインスタンプ売り上げ） 3千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	情報発信件数 (件)	20	60
成果	成果	ご当地キャラクター イベント参加回数 (回)	60	24	20
	成果				0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	15	3
		オ 一般	1,741	955	1,399
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,741	970	1,402

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) SNSでのイベントの告知、季節の写真等の投稿や出演依頼があったイベントへ参加しており、情報発信やイベントの参加でTwitterのフォロワー数は年々増加しています。 (原因) 定期的な情報発信やイベントの参加で、フォロワー数は増加しています。 (余地) 積極的な情報発信やイベント等に参加することで、愛南町の観光PRにつながると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

石垣の里管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>石垣の里周辺の休憩所しおかぜ及び宇和海自然ふれあい館の適切な維持管理を行いました。</p> <p>【実績】 ・清掃謝礼、消耗品費、光熱水費、浄化槽保守点検及び修繕料等合計1,797千円を支出しました。</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	3	3	2	
	活動 公衆便所法定点検件数・公衆便所保守点検委託件数・公衆便所清掃件数 (件)	6	6	6	
	成果 石垣の里における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果 石垣の里利用観光客数 (人)	1,193	1,103	5,466	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	960	816	1,797
	カ 事業費 (ア～オ合計)	960	816	1,797	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し観光客数は4,363人増加しています。 (原因) 算定方法を、だんだん館の利用者数から、休憩所しおかぜに備え付けのパンフレットの消費数に変更したことが主な要因です。 (余地) 地域住民が一体となって支援することで、魅力ある石垣の里を創出し観光客数は徐々に増加するものと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

観光施設維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

愛南町内の観光施設について、適正に維持管理することで利用者の安全・満足を確保するとともに施設の機能維持を図るため、補修や改修工事を実施しました。

【実績】主な修繕・工事等

・山出憩いの里温泉やすらぎ交流館屋根修繕	571千円
・山出憩いの里温泉受水槽受水部配管緊急修繕	449千円
・南レク5号公園テニスコートフェンス等修繕工事	1,122千円
・ゆらり内海機械室給湯配管更新工事	1,166千円
・南レク5号公園噴水跡地撤去工事	1,265千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 施設維持修繕件数 (件)	16	13	15	
	活動 施設稼働日数 (日)	365	366	365	
	成果 観光施設年間利用者数 (人)	946,654	1,006,341	976,089	
	成果 観光施設の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	55	50	38	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,287	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	10,125	10,757	7,541
	カ 事業費 (ア～オ合計)	11,412	10,757	7,541	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 観光施設の利用者数は昨年と比較して約3万人の減となりました。不具合件数は、前年度と比べ12件減少しています。</p> <p>(原因) 利用者数の減は、新型コロナウイルスの影響緩和による急激な増加が落ち着いたことが理由と考えられます。また、不具合件数は減少しましたが、経年劣化等もあり今後の注視が必要と思われます。</p> <p>(余地) 利用者の満足度向上のため、メンテナンスが重要なので、成果向上の余地はあると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

山出憩いの里温泉維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町が有する観光施設「山出憩いの里温泉」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。</p> <p>施設概要：やすらぎ交流館、浴室（大浴場、家族風呂）、体験創造館、ログハウス、キャンプ場、屋外便所</p> <p>指定管理者：特定非営利活動法人 ハートinハートなんぐん市場</p> <p>令和6年度の利用者：29,563人</p> <p>令和6年度指定管理委託料：11,444千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 施設維持修繕件数 (件)	6	4	3	
	活動 開館日数 (日)	275	316	305	
	成果 山出憩いの里温泉年間利用者数 (人)	22,820	29,591	29,563	
	成果 山出憩いの里温泉の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	10	11	9	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	8,382	10,787	11,444
	カ 事業費 (ア～オ合計)	8,382	10,787	11,444	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)施設の利用率は、前年比の99.9%となり微減となっています。また、施設の修繕が3件、管理上の事故・不具合が9件となっており、施設の不具合等が2件減少しました。</p> <p>(原因)新型コロナウイルスによる影響が緩和され、徐々に来客数が増加傾向にあるものの主要観光地へのニーズが高く利用率は横ばいになったと考えられます。</p> <p>(余地)重要な観光施設の一つであるため、メディア等の活用や独自事業の検討により利用者増が見込めますので、成果向上余地は中くらいと考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ゆらり内海維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町が有する観光施設「ゆらり内海」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。</p> <p>施設概要：本体建物（レストラン・浴室・休憩室・多目的室）、倉庫等の附属建物 令和4年度の利用者：73,079人 指定管理者：株式会社グリーンエンタープライズ</p> <p>令和6年度の利用者：83,180人 令和6年度指定管理委託料：6,064千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 施設維持修繕件数 (件)	1	1	4	
	活動 開館日数 (日)	275	311	308	
	成果 ゆらり内海年間利用者数 (人)	73,079	82,958	83,180	
	成果 ゆらり内海の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	28	10	12	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,000	4,969	6,064
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,000	4,969	6,064	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)施設の適正管理や利用者の快適な利用を目的として、指定管理者による営業を行いました。年間利用者数は昨年比較で222人の増、不具合件数は2件の増となっています。</p> <p>(原因)新型コロナウイルスによる影響が緩和され、徐々に来客数が増加傾向にあるものの主要観光地へのニーズが高く利用者数は横ばいになったと考えられます。不具合件数については、老朽化が進んでおり増加傾向にあります。</p> <p>(余地)重要な観光施設の一つであるため、メディア等の活用や独自事業の検討により利用者増が見込めますので、成果向上余地はあると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

鹿島観光施設運営事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
7月中旬から9月1日まで船越から鹿島への一般旅客船定期航路運行期間、鹿島での観光施設の運営を行いました。
【実績】 ・鹿島夏季運営謝礼、遊泳区域表示設置等委託業務及び船舶借上料等合計982千円を支出しました。

特定財源情報
鹿島観光施設運営収入 145千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	1	0	0
	活動	営業日数 (日)	37	29	33
	成果	鹿島観光施設の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
	成果	鹿島観光施設年間利用者数 (人)	1,535	1,089	1,100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	101	103	145
		オ 一般	553	797	837
	カ 事業費 (ア～オ合計)	654	900	982	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し鹿島観光利用者数が11人増加しました。 (原因) 夏季に台風による欠航が少なかったのが主な要因と考えます。 (余地) 観光客が安全かつ快適に自然公園を利用できるよう、引き続き愛媛県へ施設の修繕などを要望していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

鹿島・高茂岬自然公園維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>国立公園内の鹿島と高茂岬の施設を適切な維持管理を実施しました。</p> <p>【実績】 ・水運搬謝礼、除草・樹木伐採委託業務、浄化槽保守点検及び修繕料等合計4,545千円を支出しました。</p>

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 2,600千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	3	7	9	
	活動 浄化槽法定点検件数 浄化槽保守点検委託件数 / 浄化槽清掃件数 (件)	7	7	7	
	成果 鹿島・高茂岬自然公園における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	2,700	2,600
		オ 一般	2,667	62	1,945
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,667	2,762	4,545	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し修繕件数が2件増加し、事業費も1,783千円増加しました。 (原因) 経年劣化が顕著な鹿島給水設備を改修したことが主な要因と考えます。 (余地) 鹿島及び高茂岬の清掃員との情報共有による施設の維持保全が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

自然公園等維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
公園内等施設の小規模な破損及び敷地内で起きている維持管理上の事故や不具合に対し、簡易的な修繕、清掃を行い、利用者の安全及び公園の景観の維持を図りました。
【実績】
・公園遊具維持管理事業1,562千円
・脇本海岸維持管理事業22千円
・不老池公園維持管理事業99千円
・諏訪公園維持管理事業99千円
・豊田地区公衆便所維持管理事業510千円
・荒谷駐車場維持管理事業84千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 2,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 施設維持修繕件数 (件)	0	1	1	
	活動 清掃委託件数 (件)	170	170	159	
	成果 自然公園の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	0	
	成果 公園等清掃委託件数 (件)	169	169	169	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,000
		オ 一般	3,272	0	376
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,272	0	2,376	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 特に不具合等はありませんでした。</p> <p>(原因) 適切な管理が実施できているためと考えられます。</p> <p>(余地) 定期的な点検を行い、適宜修繕を実施することで不具合やトラブル件数を減らすことが期待されます。</p>
--------	--	---

篠山森林公園管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
篠山森林公園の運営及び篠山学習館、各駐車場屋外トイレ等の施設及び設備の維持管理を行いました。 ・観光客の誘導、駐車整理等の篠山パトロールの実施 ・施設の清掃、修繕 ・篠山荘石綿含有調査委託業務 99千円	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 修繕件数 (件)	1	2	0	
	活動				
	成果 篠山森林公園の各施設の維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 篠山森林公園年間入込客数 (人)	422	513	467	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	3	0
		オ 一般	1,604	2,096	2,377
	カ 事業費 (ア~オ合計)	1,604	2,099	2,377	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 篠山森林公園の年間登山者数は、昨年度同様低迷しています。 (原因) アケボノツツジは老木が多く、近年は花芽も少ない状況です。また、風雨の影響等によりアケボノツツジの開花期間が短かったことなども原因とされます。 (余地) 近隣市町、県との連携を密に行うことで、適切な保全ができると考えられます。

須ノ川公園管理事業

内海支所 内海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	09 須ノ川公園・グリーンパークすのかわ 費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛媛県と県有財産の管理委託契約を結んでいます。(須ノ川公園は、県有財産) 須ノ川公園施設の維持管理、キャンプ、マリンレンタル受付、売店業務を行いました。 ○管理施設等・園地・駐車場・休憩棟(3箇所)・管理棟・シャワー室・炊事棟 須ノ川公園の芝生管理及び枯損木等の危険樹木の撤去・剪定等を実施しました。 【実績】 ・消耗品費、光熱水費及び須ノ川公園管理委託料等 7,785千円</p>

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・器具等貸付料 533千円 ・清掃協力費 750千円 ・販売収入 1,843千円 ・水道使用料 14千円 ・自然保護協会清掃奉仕活動助成金 75千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 4,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数(件)	8	4	8	
	活動 保守点検回数(回)	26	26	53	
	成果 須ノ川公園施設 設備の不具合により施設利用者に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果 須ノ川公園利用者数(キャンプ、マリンレンタル等)(人)	70,200	72,023	73,784	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,701	8,220	7,215
		オ 一般	4,863	463	570
		カ 事業費(ア~オ合計)	8,564	8,683	7,785

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)須ノ川公園の散策者やキャンプ客、マリンレンタル客に安全に利用出来るよう維持管理をしました。 (原因)アウトドア・キャンプブームの減速や近年の夏場の高気温などにより、キャンプやマリンレジャーなどの須ノ川公園利用者数は減少傾向にあります。 (余地)須ノ川公園来園者が安全かつ快適に利用できるよう施設や芝生・樹木等の維持管理を適正に行っていきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

グリーンパークすのかわ管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	09 須川公園・グリーンパークすのかわ 費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>グリーンパークすのかわ内の各施設の施設維持管理、キャンプ利用者の受付業務を行いました。</p> <p>○管理施設等 園地・駐車場・休憩棟(2箇所)・便所棟・オートキャンプ場・炊事棟</p> <p>・期 間：4月1日～10月31日 ・料 金：3,500円(1サイト) ・サイト数：10サイト</p> <p>【実績】 ・事業謝礼、光熱水費及び各種委託料等 3,815千円</p>	

特定財源情報	
グリーンパークすのかわ使用料 465千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数(件)	12	10	3	
	活動 保守点検回数(回)	26	26	26	
	成果 グリーンパークすのかわ施設 設備の不具合により施設利用者に支障をきたした件数(件)	0	0	0	
	成果 グリーンパークすのかわ年間利用者数(オートキャンプ等)(人)	2,028	1,596	1,040	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,950	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	868	574	465
		オ 一般	4,119	3,226	3,350
	カ 事業費(ア～オ合計)	9,937	3,800	3,815	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)グリーンパークすのかわ散策者やオートキャンプ客が快適に利用できるよう維持管理を行いました。 (原因)アウトドア・キャンプブームの減速や夏場の高気温・降雨などにより、キャンプ客など利用者数は減少しました。 (余地)アウトドア利用者の増減は天候に左右される側面がありますが、利用客が快適・安心して施設を利用できるよう適正に維持管理を実施していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海ふれあい公園維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
西海ふれあい公園の適切な維持管理を実施しました。	
【実績】 ・公園管理謝礼、植木管理等委託業務、浄化槽保守点検及び修繕等、合計2,024千円を支出しました。	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機使用料 23千円 ・雑入 74千円(自動販売機電気料) ・ふるさとづくり基金繰入金 1,600千円 	

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	4	4	4	
	活動	浄化槽法定点検件数・浄化槽保守点検委託件数 / 浄化槽清掃件数 (件)	28	28	28	
	成果	西海ふれあい公園における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果					
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	0	0
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	91	1,593	1,697
			オ 一般	1,565	128	327
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,656	1,721	2,024		

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し修繕件数は横ばいです。 (原因) 管理人による適切な維持管理が主な要因と考えます。 (余地) 管理人による定期的な維持管理により、利用者が安全かつ快適に利用できていることから当該手段を継続したいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

僧都川河川敷公園維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>河川敷公園の維持管理のため、以下の業務を委託しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年6回の芝生刈込 ・年1回親水池土砂取除き <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料(公園管理委託料) 3,410千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 3,400千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持管理作業回数(回)	8	8	7	
	活動 修繕件数(件)	0	0	0	
	成果 僧都川河川敷公園利用において補修の必要な不具合等の発生した件数(件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	3,500	3,400
		オ 一般	3,410	20	10
	カ 事業費(ア~オ合計)	3,410	3,520	3,410	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)利用者からの苦情もなく、整備された状態で利用できているため事業は順調に行われています。 (原因)委託業者が適切に管理をしていると思われるためです。 (余地)現状の業務以上の業務は必要がないと思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

花と緑のピクニック公園維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>公園の維持管理のため外灯電気代と水道料の支払のほか、以下の業務を委託しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回芝生刈込・除草 ・年1回施肥 ・年1回防除消毒 ・年1回低木剪定 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（光熱水費） 57千円 ・公園遊具修繕 50千円 ・委託料（公園管理委託料） 654千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持管理作業回数 (回)	10	10	7	
	活動 修繕件数 (件)	1	1	1	
	成果 花と緑のピクニック公園利用における公園の遊具・景観などの不具合件数 (件)	0	0	1	
	成果		0		
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	542	699	761
	カ 事業費 (ア～オ合計)	542	699	761	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 利用者からの苦情もなく、整備された状態で利用できているため事業は順調に行われています。</p> <p>(原因) 委託業者が適切に管理をしていると思われるためです。</p> <p>(余地) 現状の業務以上の業務は必要がないと思われます。</p>
--------	--	---

一本松地区広場維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	211
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>一本松地区広場及び周辺の除草等によって適正な維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川コミュニティ広場樹木管理業務 ・ちびっこ広場支障枝伐採業務

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持管理業務委託等件数 (件)	3	1	3	
	活動 修繕件数 (件)	0	0	0	
	成果 一本松地区広場の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	998	620	1,161
	カ 事業費 (ア～オ合計)	998	620	1,161	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 要望に対処し、適切な維持管理を行うことができました。 (原因) 樹木管理業務を実施し、施設内の良好な環境整備に努めました。 (余地) 池や竹林に囲まれていることから、今後も樹木管理の継続が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

あけぼのリフレッシュゾーン維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	211
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
あけぼのリフレッシュゾーン・桜公園の運営及び設備等の維持管理を行いました。 ・施設の清掃、修繕 ・芝生、植木の管理 ・植栽管理委託業務 ・支障木伐採業務 ・あけぼのテニスコートの管理

特定財源情報
・バッテリーカー使用料 42千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 6,700千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持管理業務委託等件数 (件)	4	4	2	
	活動 修繕件数 (件)	9	3	7	
	成果 あけぼのリフレッシュゾーン年間利用者数 (人)	1,530	1,670	1,327	
	成果 あけぼのリフレッシュゾーンの維持管理上の不具合トラブル件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	62	7,460	6,742
		オ 一般	22,120	3,890	732
		カ 事業費 (ア～オ合計)	22,182	11,350	7,474

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) あけぼのリフレッシュゾーンの利用者は343名減少しています。 (原因) 遠足での利用等が減少したことが原因と考えられます。 (余地) 今後、通常の植栽管理とともに、支障木伐採等の委託業務及び遊具の修繕等を実施することで、利用客の安全性、利便性を確保できると考えます。
--------	--	--

高速道路整備促進事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	211
施策	02 道路環境の充実	項	01 土木管理費		
基本事業	01 愛南町への高速道路の早期延伸	目	01 土木総務費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>四国8の字ネットワーク津島道路及び宿毛内海道路の早期開通に向けた整備促進に関する要望活動を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省等への要望活動に係る旅費 508千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 関係機関への要望活動回数(回)	10	10	9	
	活動				
	成果 事業化決定の有無(有1/無0)	0	0	1	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	543	573	508
	カ 事業費(ア～オ合計)	543	573	508	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 国土交通省が実施中の四国8の字ネットワークを形成する「津島道路」及び「宿毛内海道路」の整備が順調に進んでいると考えます。</p> <p>(原因) 愛媛県選出国会議員や愛媛県の協力をいただきながら、国土交通省へ津島道路及び宿毛内海道路の必要性を訴えてきた要望活動の成果がでています。</p> <p>(余地) 今後、事業中区間の整備促進に向けて継続して要望活動を行います。また、国土交通省が実施する事業中区間への事業協力を町として積極的に進める事業の更なる促進を図ります。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

住宅新築・リフォーム補助事業

町長部局 建設課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	213
施策	03 商工業の振興	項	01 土木管理費		
基本事業	01 経営面の支援強化	目	01 土木総務費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>一戸建て住宅（延べ面積の2分の1以上を居住の用に供し、かつ、居住以外の部分が50㎡を超えないもの）又はマンション等の共同住宅（専有部分が人の居住の用に供されるもの）を町内に事業所を有する建築業者等が施工する工事費用50万円以上の10分の1に相当する額（上限20万円）の補助金を交付しました。</p> <p>【実績】 ・住宅新築・リフォーム補助金76件 13,072千円</p>

特定財源情報
過疎対策事業費 13,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金交付申請件数 (件)	78	76	76	
	活動 補助金額 (千円)	14,000	12,815	13,072	
	成果 補助金交付件数 (件)	78	74	75	
	成果 施工業者数 (件)	36	30	36	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	14,000	12,800	13,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	15	72
	カ 事業費 (ア～オ合計)	14,000	12,815	13,072	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年度の交付件数は76件と、前年度と横ばいですが、町民のニーズは依然として高いと考えます。 (原因) 年度始めにホームページに掲載し、住民に制度の周知を行うことは町民のニーズを高めている要因の一つと考えます。 (余地) ホームページや広報誌などを活用することで、より多くの町民や町内業者からの認知度を高め件数増加が期待できます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

老朽危険空家等対策補助事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	213
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 土木管理費		
基本 事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	01 土木総務費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>管理不全となった空き家のうち、不良度が100以上と判定され、倒壊すると避難路等に支障を来す恐れがある空き家の除却に係る経費の10分の8以内の額を予算の範囲内で補助を行いました。補助金の上限額は80万円です。(国：2/4 県：1/4 町：1/4)</p> <p>【実績】 ・老朽危険空家除却補助31件 23,198千円</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金(国庫) 11,599千円 ・住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金(県費) 5,798千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 当初予定件数(件)	30	30	31	
	活動 除去補助金額(千円)	22,928	21,823	23,198	
	成果 実施件数(件)	30	30	31	
	成果 実施件数割合(%)	100	100	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	15,293	10,911	11,599
		イ 県	5,731	5,455	5,798
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	9,584	5,976	5,801
		カ 事業費(ア～オ合計)	30,608	22,342	23,198

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 除却件数は、横ばい状態です。 (原因) 除却希望者は横ばい状態であるものの、不良度不足により補助非該当であった申請者が再度申請されるため、待機者が減らない状況となっています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 国の交付金を確保し、申請待ちの不良住宅を減少するため、引き続き国や県に要望を行うとともに年度当初からの申請勧奨により、除却工事の集中を避けることで、事業の円滑化を図ります。

道路台帳補正事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	213
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	01 道路橋梁総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>道路改良事業や補修等により町道の新規認定や区域変更があった場合、道路台帳補正委託業務の実施により適正な町道管理を図りました。 道路台帳補正業務は多額の費用を要するため、財政的負担を考慮し、複数年まとめて業務を発注しています。</p> <p>【実績】 ・道路台帳補正委託業務料 5,929千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 更新路線件数 (件)	48		14	
	活動 台帳更新延長 (m)	8,190		1,577	
	成果 道路台帳補正進捗率 (%)	100		100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	12,320	0	5,929
		カ 事業費 (ア～オ合計)	12,320	0	5,929

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 道路台帳補正業務を行うことにより、適切な町道管理を行うことができ ています。 (原因) 概ね隔年であるものの、台帳補正業務を実施することができていること によるものです。 (余地) 道路台帳を適正に調製、保管する義務がありますが、今後も、財政的負担 を考慮しながら当該事業を実施していく必要があると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

道路維持整備事業(国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	213
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	02 道路維持費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
愛南町舗装長寿命化修繕計画に基づき、町道舗装補修工事を実施しました。 【実績】 ・令和6年度 9,392千円 舗装補修工事1件(町道日土小屋ノ浦線)

特定財源情報
・道路新設改良費国庫補助金 5,175千円 ・過疎対策事業債 4,200千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 舗装延長 (m)	201	370	230	
	活動 補助金額 (千円)	11,946	16,420	9,392	
	成果 道路維持補修完了割合 (%)	100	100	100	
	成果 道路欠陥による事故件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	7,530	10,175	5,175
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	4,400	6,200	4,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	16	45	17
	カ 事業費(ア~オ合計)	11,946	16,420	9,392	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 維持補修が必要な箇所については計画的に工事を実施することで、機能の回復を図っています。 (原因) 老朽化に伴う機能不全によるものと考えます。 (余地) 今後も交付金を活用し計画的に町道等の維持管理が必要だと考えます。
--------	--	---

道路維持整備事業(単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	213
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	02 道路維持費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>安全・安心かつ円滑な交通確保のため、道路パトロール及び地区要望等により維持修繕箇所を早期に把握し、維持管理及び修繕を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度繰越分 工事2件 7,300千円 ・令和6年度 委託22件 20,805千円、 工事141件 99,470千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・道路占用料 2,019千円 ・公共物使用料 297千円 【R5繰越】7,300千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数(件)	84	86	141
	活動	パトロール回数(回)	110	110	100
	成果	道路維持補修完了割合(%)	100	100	100
	成果	道路欠陥による事故件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,832	1,982	9,616
		オ 一般	78,421	100,410	122,819
	カ 事業費(ア~オ合計)	80,253	102,392	132,435	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)道路等の破損箇所を修繕することにより機能の回復を図っています。 (原因)老朽化に伴う機能不全と考えます。 (余地)今後も町内パトロール、地区要望などにより危険箇所を把握し、計画的な工事を実施する必要があると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

道路新設改良事業(国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	217
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	03 道路新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>中長期計画、過疎計画及び地区要望等で抽出された町道の改良工事を行い、地域住民の生活条件の整備を図り、集落間のアクセスの改善を図りました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度繰越 74,796千円 道路改良4件(町道金比羅線 他3路線) 令和6年度 66,820千円 委託料1件(町道小山線) トンネル修繕工事1件(平瀬友愛トンネル)

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> 道路新設改良費国庫補助金 73,818千円 過疎対策事業債 58,600千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 工事件数(件)	2	6	5	
	活動 工事延長(m)	108.2	476.3	403.1	
	成果 道路新設改良事業進捗率(国庫)(%)	100	100	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	27,325	72,782	73,818
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	57,300	73,800	58,600
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	154	19,500	9,198
		カ 事業費(ア~オ合計)	84,779	166,082	141,616

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況)事業を実施することで日常生活の安全性と利便性の向上が図られ、成果は維持されています。</p> <p>(原因)地区住民への事前の事業説明により、計画的に事業を実施することができていると考えます。</p> <p>(余地)国からの補助金の内示額により事業の進捗状況が変わるため、随時計画の見直しが必要です。</p>
--------	--	---

道路新設改良事業(単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	217
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	03 道路新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>地区等の要望がある町道について改良を行うために、測量設計、用地買収、分筆登記及び工事に至るまでの事業を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度繰越 4,000千円 委託料1件(町道観自在寺線) 令和6年度 101,259千円 地積測量委託料13件、測量設計委託料3件(町道太場5号線 他2路線)、 道路改良等5件(町道平城下畑地線 他4路線)、土地購入費6件、支障物件補償費1件

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> 過疎対策事業債 48,800千円 合併特例債 31,400千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 工事件数(件)	5	6	2	
	活動 工事延長(m)	340.3	354.9	136.4	
	成果 道路新設改良事業進捗率(単独)(%)	100	100	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	87,100	52,800	80,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	29,945	28,630	25,059
		カ 事業費(ア~オ合計)	117,045	81,430	105,259

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況)事業を実施することで日常生活の安全性と利便性の向上を図ることができ、成果は維持されています。 (原因)地区住民への事前の事業説明により、計画的に事業を実施できると考えます。 (余地)用地取得を加速することで、事業の向上ができると考えます。

橋梁新設改良事業 (国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	219
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	05 橋梁新設改良費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>中長期計画、過疎計画及び地区要望で抽出された町道の橋梁修繕等の工事を行い、地域住民の生活条件の整備を図り、集落間のアクセスの改善を図りました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度繰越 14,635千円 委託料1件(鹿鳴2号橋他1橋)、橋梁修繕工事1件(坂本1号橋) 令和6年度 51,625千円 委託料1件(橋梁点検業務71橋)、橋梁修繕工事2件(石槌橋 他1橋) 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> 道路新設改良費国庫補助金 25,100千円 過疎対策事業債 30,200千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	4	1
活動	活動	工事延長(m)	45.7	8.0	28.7
成果	成果	橋梁新設改良事業進捗率(国庫)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	45,543	15,926	25,100
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	30,100	21,900	30,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	106	246	10,960
		カ 事業費(ア~オ合計)	75,749	38,072	66,260

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 橋梁改修工事を実施することで、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることができています。</p> <p>(原因) 事前調査を実施し、どのような改修方法で実施するか検討することにより、計画的に実施できている要因として考えます。</p> <p>(余地) 近接目視の点検が2周期目(5か年に1度)に入り、成果向上は維持していくことが最善だと考えます。</p>
--------	--	--

橋梁新設改良事業(単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	219
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	05 橋梁新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>現道の橋梁修繕等の工事を行い、地域住民の生活環境の向上を図るとともに、集落間のアクセスの改善を図りました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 3,135千円 委託料2件(河川占用資料作成N=3橋、塗膜有害物質調査N=1橋)

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 工事件数(件)	0	1	0	
	活動 工事延長(m)	0	13.0	0	
	成果 橋梁新設改良事業進捗率(単独)(%)	100	100	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,558	7,179	3,135
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,558	7,179	3,135	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 橋梁改修工事を実施することで、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることができています。 (原因) 事前調査を実施し、どのような改修方法で実施するか検討することにより、計画的に実施できている要因として考えます。 (余地) 近接目視の点検が残り1年となっており、成果向上は維持していくことが最善だと考えます。

河川維持整備事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	221
施策	02 道路環境の充実	項	03 河川費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 河川維持費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>安心安全かつ円滑な生活環境を確保するため、河川や水路のパトロール及び地区要望により維持修繕箇所を把握し、適切な工事を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度繰越分 工事2件 8,800千円 ・令和6年度 委託2件 6,789千円、工事38件 22,562千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕ヶ所、修繕件数 (件)	33	23	60	
	活動 危険箇所のパトロールの実施 (回)	100	100	100	
	成果 河川維持整備完了割合 (%)	100	100	100	
	成果 河川、水路の不具合、トラブル件数 (件)	33	23	60	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	8,800
		オ 一般	21,948	15,612	29,808
		カ 事業費 (ア~オ合計)	21,948	15,612	38,608

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 河川及び水路等の破損箇所を修繕することで、機能回復を図っています。</p> <p>(原因) 老朽化に伴う機能不全によるものと考えます。</p> <p>(余地) 今後も町内パトロール及び地区要望により、修繕箇所を把握し計画的に工事を実施していく必要があると考えます。</p>
--------	--	--

砂防事業(県)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	221
施策	02 防災・減災対策の推進	項	03 河川費		
基本 事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	04 砂防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>がけ崩れにより人家等に重大な被害を及ぼす恐れがある急傾斜地を把握し、対策工を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度繰越 16,702千円 対策工2件(茶堂D地区 他1地区) 令和6年度 17,774千円 対策工2件(谷ノ口B地区 他1地区) 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> がけ崩れ防災対策事業費補助金 20,685千円 がけ崩れ防災対策分担金 4,447千円 緊急自然災害防止対策事業債 8,800千円 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	5	4
活動	活動	工事延長(m)	88.2	79.2	75.5
成果	成果	砂防対策完了割合(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	32,546	29,539	20,685
		ウ 地方債	18,800	12,300	8,800
		エ その他	5,521	4,711	4,447
		オ 一般	853	70	544
		カ 事業費(ア~オ合計)	57,720	46,620	34,476

成果 実績 評価	成果状況	(状況)前年度から成果は横ばいですが、事業は順調に実施できています。 (原因)個人分担金が事業費の約1/10となっていますが、対象者からの申請事業 であり、計画的に実施できている要因と考えます。 (余地)県補助金の交付があることから、今後も引き続き継続したいと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大 中 小 なし	

砂防事業(単独)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	223
施策	02 防災・減災対策の推進	項	03 河川費		
基本 事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	04 砂防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>がけ崩れにより宅地内に流入した土砂を取除く事業を実施しました。事業実施においては1/4が個人負担となります。</p> <p>【実績】 ・令和6年度 2,999千円 委託料3件(蓮乗寺地区 他2地区)、崩土等取除き6件(御荘長月地区 他5地区)</p>	

特定財源情報	
がけ崩れ防災対策分担金 424千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	4	3
活動	活動	工事延長(m)	40	30	50
成果	成果	砂防対策が終了した箇所数(件)	4	3	6
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	74	424
		オ 一般	979	2,000	2,575
		カ 事業費(ア~オ合計)	979	2,074	2,999

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)土砂が流入した世帯からの問い合わせに対し、早急な対応ができています。 (原因)個人負担は事業費の1/4となっていますが、対象者からの申請事業であり、円滑な実施を図ることができている要因と考えます。 (余地)がけ崩れの二次災害防止のため、今後も事業の継続が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

南予レクリエーション都市公園維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	223
施策	04 観光 物産の振興	項	05 都市計画費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	02 都市公園費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>愛南町が有する施設「第5号南レク御荘公園」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。</p> <p>施設概要：テニスコート、多目的広場、ちびっこ広場、児童園</p> <p>指定管理者：南レク株式会社</p> <p>【指定管理者による主な業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理（電気工作物、低木剪定、除草等） ・点検委託業務（遊具点検・高木剪定・トイレ浄化槽） <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度指定管理委託料 2,649千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・町有財産貸付料 13千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 2,600千円 	

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動	維持修繕件数 (件)	5	5	8	
	活動	保守点検回数 (回)	12	12	12	
	成果	南レク御荘5号公園の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	1	
	成果					
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	0	0
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	16	2,616	2,613
			オ 一般	2,633	33	36
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,649	2,649	2,649		

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)施設の維持管理や利用者の快適な利用を目的として指定管理者における営業を行いました。事故・不具合は1件となっています。</p> <p>(原因)適切な維持管理が来ていると思われます。</p> <p>(余地)イベントの積極的な活用を促すことにより利用増加が見込めますので、成果向上余地はありと考へます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

住宅改修事業(国庫)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>地域住宅計画に基づき、対象となる住宅に対して国庫補助の改修工事を実施しました。</p> <p>【実績(1件)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡野団地A-2棟設備改修工事 2,783千円 ・八幡野団地A-2棟設備改修工事設計監理委託業務 484千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅使用料 1,876千円 ・地域住宅交付金 1,391千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	設計数(件)	1	1	1
	活動	工事数(件)	1	1	1
	成果	事業進捗率(%)	100	100	100
	成果	整備率(給水設備等)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	990	1,244	1,391
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,287	1,707	1,876
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,277	2,951	3,267	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 昨年度と同様に、1件の国庫補助事業を実施したので、指標値は横ばいです。 (原因) 地域住宅計画に基づき計画的に実施しました。 (余地) 生活環境保全及び安心安全な町づくりを推進するため、財政的負担も考慮し、今後も当該事業を推進していく必要があると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

住宅改修事業(単独)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町公営住宅等長寿命化計画に基づき、対象となる住宅に対して町単独の改修工事を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁塗装等改修、室内改修等18件 35,581千円 ・修繕214件 15,983千円 ・設計監理1件 1,529千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅使用料 52,493千円 ・住宅過年度使用料 600千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	設計数(件)	5	5	1
	活動	工事数(件)	12	13	18
	成果	事業進捗率(%)	100	100	100
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	46,521	32,687	53,093
		オ 一般	0	12,828	0
	カ 事業費(ア~オ合計)	46,521	45,515	53,093	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 計画した改修工事は、全て早期発注ができています。 (原因) 良質な住宅ストック形成を図っています。 (余地) 今後も計画的に改修工事を実施し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与できると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

公営住宅維持管理事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>対象となる公営住宅の維持管理のため、浄化槽と消防用設備の保守点検を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <p>・浄化槽法定検査、消防設備保守点検(11か所)、浄化槽保守点検(20か所)等 5,258千円</p>

特定財源情報
住宅使用料 5,258千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 保守点検、検査実施回数(回)	295	282	298	
	活動 修繕件数(件)	24	23	19	
	成果 修繕が必要な個所が原因で施設利用に支障が発生した件数(件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,247	5,242	5,258
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア~オ合計)	5,247	5,242	5,258	

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 建物を適切に管理するための義務的事業です。</p> <p>(原因) 事業実施においては、建物管理上、法的な規制があります。</p> <p>(余地) 事業継続は必要であり、経費の削減は困難と考えます。</p>
--------	--	---

特定公共賃貸住宅維持管理事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
対象となる特定公共賃貸住宅の維持管理のため、浄化槽と消防用設備の保守点検を実施しました。	
【実績】 ・浄化槽法定検査、消防用設備保守点検(3か所)、浄化槽保守点検(5か所) 1,988千円	

特定財源情報	
住宅使用料 1,988千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 保守点検、検査実施回数(回)	71	71	107	
	活動 修繕件数(件)	8	10	4	
	成果 修繕が必要な個所が原因で施設利用に支障が発生した件数(件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,988	1,988	1,988
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,988	1,988	1,988	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 建物を適切に管理するための義務的事業です。 (原因) 事業実施においては、建物管理上、法的な規制があります。 (余地) 事業継続は必要であり、経費の削減は困難と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

消防職員教育研修事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	227
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本 事業	01 消防力の強化	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>・消防職員に基礎教育、専科教育を継続して受講させて専門的技術及び高度な知識を身に付けさせ、消防力の向上を図ることができました。</p> <p>・令和6年度の教育実績 (愛媛県消防学校)初任教育1名、警防科1名、救助科1名、火災調査科1名、予防査察科1名、初級幹部科1名、救急科1名、通信指令員業務研修1名、実火災体験型訓練施設研修4名(研修、講習)足場の組み立て等特別教育2名、大型免許取得1名、安全運転管理者講習1名、二等無人航空機操縦者技能証明2名</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 教育研修件数(件)	14	12	13	
	活動 研修受講者人数(人)	16	20	18	
	成果 研修による資格習得者数(人)	16	20	18	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,654	3,728	2,457
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,654	3,728	2,457	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 今年度は18名が研修等を受講しました。高い技術や専門の知識を身に付けることにより、消防力の向上につながっており順調です。 (原因) 毎年研修計画を立てることにより、充実した研修を行えます。 (余地) 職員数の充足が図れば、さらに数名各研修等に派遣することができ、さらなる職員の資質の向上が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

通信指令システム運用管理事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	227
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	01 消防力の強化	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令設備等の保守管理を専門業者に委託し、通信機器に異常が発生した場合は、24時間365日保守対応可能な状態を構築することにより、1件の不通電話もなく119番通報の受信を行いました。 ・緊急通信指令設備およびデジタル無線機器の保守点検・消耗部品の交換を実施し、万全な態勢を維持しました。 ・定期保守点検委託業務の内容 <p>緊急通信指令設備定期保守点検 年2回（前期・後期） 消防無線機器設備定期保守点検 年2回（前期・後期）</p>

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送情報システム補助金 33千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 10,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 119番着信件数 (件)	1,048	1,133	1,178	
	活動 通信指令システム定期点検回数 (回)	4	4	4	
	成果 緊急通信指令システムの不具合により 運用に支障をきたした件数 (件)	0	0	0	
	成果		0		
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	33	33	33
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	11,315	17,000	10,000
		オ 一般	5,541	2,155	14,200
		カ 事業費 (ア～オ合計)	16,889	19,188	24,233

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 通信指令システムの不具合もなく、運用に支障きたした件数もなく、町民の安心安全を確保出来ており順調ですが、導入から9年経過したデジタル機器の交換が必要になっています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因) 通信指令設備等の保守管理を専門業者に委託することにより、万全な態勢を維持しています。 (余地) 計画的に機器の更新を行い、現在の通信指令システム及び消防デジタル無線を保守管理していくことが最適であると考えます。

救急救命士等教育訓練事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	229
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	02 救急救命体制の充実	目	01 常備消防費		

手段 (R06年度の取り組み)
<p>・救急救命処置に必要とされる知識及び技術を習得させるために、継続して各種講習会等へ救急救命士を派遣し、各個人のスキルアップを行い救命率の向上を図りました。また、計画的に救急救命士の育成を行いました。</p> <p>・令和6年度の実績 救急救命東京研修所新規救急救命士養成課程1名、就業前病院実習1名、気管挿管実習1名、多数傷病者への対応標準化講習4名、新生児蘇生法病院前講習3名、救急オンラインセミナー11名</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 教育訓練件数 (件)	7	7	6	
	活動 訓練受講者人数 (人)	19	13	21	
	成果 救急救命士割合 (%)	40	43.3	46.6	
	成果 救急救命士の活動による救命率 (%)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,288	3,292	3,624
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,288	3,292	3,624	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 救急救命士資格保有者は、14名在籍していますが、異動等により現場対応の救急救命士は11名しかいないのが現状です。 (原因) 救命研修所に派遣し、新規救急救命士の養成を行っていますが、確保人員の都合上、毎年1名の養成しかできていないからです。 (余地) 災害出場等により救急救命士が不在になった場合には、非番の救急救命士を招集し救急対応していますが、救急体制の強化を図るためには新規救急救命士の養成が必須であると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

救急業務運用事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	229
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	02 救急救命体制の充実	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>・救急車に積載する感染防止用品、災害・外傷処置資材、呼吸管理資材、循環管理資材等の消耗品を購入と老朽化した患者監視装置を更新して、1,347件の救急事案に対応しました。町民を対象とした普通救命講習を14回と救命基礎講習を42回開催し、1人でも多くの町民に応急手当の重要性を理解していただき、救命率の向上に努めました。</p> <p>・令和6年度の主な実績 患者監視装置 3,355千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 救命講習会開催数(回)	15	15	14	
	活動				
	成果 救命技能認定証が有効期間である町民割合または数(新規3年間+再受講者)(人)	177	256	241	
	成果 町民による救命率(心拍再開率)(%)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	811	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,829	2,727	6,776
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,640	2,727	6,776	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)救急救命士等が年間14回の普通救命講習を実施して125名の町民の方が講習を受講し、救命の連鎖の重要性を認識してもらいました。</p> <p>(原因)救急車を要請するだけでなく、その場にいた人の手当てが重要であることを認識してもらふ必要があると考えます。</p> <p>(余地)1分1秒でも早く応急処置を実施することが、救命に対し最重要であることを、町ホームページまたは広報・ケーブルテレビ等を活用し積極的に周知することにより、講習受講者の増員を図ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

消防団運営事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	231
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	02 非常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1.	火災や自然災害等に対応する消防団員を確保しました。 新入団員：42名（基本団員41名（うち女性5名）、機能別団員1名）
2.	消防団員の安全装備品や災害対応力向上資機材等を配備しました。 活動服：30着、編上靴：37足、キャップ：20個、Tシャツ：950着ほか
3.	各種会議や訓練等を実施し、消防団組織を強化しました。 会議：団本部（4回）、方面隊（20回）ほか 訓練：新入団員訓練（1回）、分団等訓練（48回）ほか
4.	地域防災力の向上のため、防火・防災活動を実施しました。 防火啓発（4回）、女性部・災害時のトイレ啓発（8回）、 地区消火設備点検等（19地区）、地区訓練等（8地区）ほか
5.	消防団が火災・自然災害等へ出動しました。 火災（5件）、風水害（1件）、捜索（3件）、地震（2件）

特定財源情報	
消防団福祉共済配当金_101千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 団員数（人）	924	909	895	
	活動 災害 訓練出動手当額（円）	11,898,000	9,749,000	9,667,000	
	成果 消防団充足率（団員数/条例定数）（%）	97.2	95.7	94.2	
	成果 火災時消防団員出動率（出動人数/要請出動分団内団員数）（%）	28.1	26.1	41.8	
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	47	46	101
		オ 一般	73,285	69,798	69,412
	カ 事業費（ア～オ合計）	73,332	69,844	69,513	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）令和6年度の充足率が94.2%と昨年度より1.5ポイント減少しています。また、火災時の消防団出動率は41.8%と昨年度より15.7ポイント上昇しており、前期目標値を達成しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	（原因）前年度より充足率は減少しており、引き続き消防団員の確保は困難な状況です。また、団員の多くは地区外で勤務していますが、火災への出動には対応できており、出動率の増加につながっています。 （余地）消防団活動の重要性を広く周知するとともに、現団員の勧誘等により新入団員を確保します。また、現団員が継続して活動を行えるようにするほか、新規入団を促進するため処遇等の改善を推進します。

消防団設備維持管理事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	231
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	02 非常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>1. 施設の維持管理・修繕を行いました。 浄化槽保守点検(4施設)、詰所修繕(5施設)</p> <p>2. 車両の維持管理・修繕を行いました。 車両整備業者による定期点検(24ヶ月点検:27台、12ヶ月点検:26台) バッテリー交換(12台)、タイヤ交換(2台)</p> <p>3. ポンプや資機材の維持管理・修繕を行いました。 バッテリー交換(8台)、ポンプ等修繕(13台)</p> <p>4. 車両事故に対応するため、自動車損害保険に加入しました。 消防団車両:56台、バイク隊員バイク6台</p> <p>5. 消防団員による車両やポンプ等の動作点検を各月に行いました。 38支部(455回)</p>	

特定財源情報	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	消防団詰所修繕件数(件)	8	6
活動	活動	車両・可搬ポンプ点検回数 (各支部月1回)(%)	88.2	91.2	89.4
成果	成果	消防団車両 機器の不具合により活動に支障をきたした件数(件)	0	0	0
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	9,024	9,532	9,284
		カ 事業費(ア~オ合計)	9,024	9,532	9,284

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 消防団設備が適切に維持管理できており、火災や災害等に迅速な対応ができています。消防団に配備している車両やポンプ機器等の点検は89.4%で前年より1.8ポイント減少しました。</p> <p>(原因) 消防詰所の修繕が5件ありましたが、早急に対応することで消防団活動に支障をきたすことはありませんでした。車両やポンプ等の点検も団員により適切に点検管理が行われています。</p> <p>(余地) 今後も適切に維持管理し、各種災害時等に備えます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

消防施設整備事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	233
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	01 消防力の強化	目	03 消防施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した防災危機管理車を更新しました。 ・地区要望により、老朽化した消火栓付帯設備の更新を10地区で行いました。 ・令和6年度の実績 防災危機管理車1台 1,215千円 消火栓用ホース格納箱14基、消火栓用65mmホース27本、消火栓用50mmホース16本、消火栓用40mmホース3本、管鎗9本、消火栓開閉金具10本、接続金具3個、スタンドパイプ3本

特定財源情報
消防備品設置分担金 61千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 消火栓付帯設備更新要望件数 (件)	16	12	10	
	活動 老朽化車両更新台数 (台)	0	1	1	
	成果 消防施設更新率 (消火栓付帯機器更新数/更新要望数) (%)	100	100	100	
	成果 老朽化車両更新実施率 (%)	0	100	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	77,800	0
		エ その他	83	35	61
		オ 一般	2,887	35,210	3,520
	カ 事業費 (ア~オ合計)	2,970	113,045	3,581	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 毎年度地区から要望のある事案に対して、順調に行っています。 (原因) 工期を分けて行っているため柔軟に対応することができました。 (余地) 年度により要望件数の多寡があり、老朽化の激しい物件を優先して更新を行っていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

消防団設備整備事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	233
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	03 消防施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>1. 消防団の消防力を維持・強化するため、活動拠点である消防詰所を新築しました。 御荘方面隊和口消防詰所新築 23,089千円</p> <p>2. 多種多様な災害に対応できるよう、新規資機材を配備しました。 排水ポンプ2台 5,643千円</p> <p>3. 車両の更新及び支部間での配置換に伴い、新規車両を配備しました。 令和5年度からの繰越分 小型動力ポンプ普通積載車（小山支部配備）1台 6,280千円</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> 緊急防災・減災事業債 5,900千円（R5繰越分） 緊急防災・減災事業債 19,700千円（現年分） 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	詰所新築件数(件)	1	1
成果	活動	車両及び可搬ポンプ購入台数(台)	0	0	0
	成果	築35年経過した詰所数(棟)	24	24	23
事業費 (千円)	成果	購入後20年経過した車両台数及び購入後20年経過した可搬ポンプ台数(台)	12	19	28
	財源内訳	ア 国	1,716	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	21,100	20,600	25,600
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,290	4,492	10,443
	カ 事業費(ア～オ合計)	28,106	25,092	36,043	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 築35年を超えた施設は23棟で、昨年より1棟減っています。また、20年を経過した車両は28台で、昨年より9台増加しています。</p> <p>(原因) 令和6年度は詰所を1棟新築し、既存施設を解体したことによります。また、車両は適切に管理しており、不具合等が発生していないため、継続使用していることによります。</p> <p>(余地) 数値は悪化しているものの、適切な管理により不具合なく使用できています。このため、町の財政状況を見据え、効率的及び計画的に更新を行うことで成果の向上を図ります。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

教育委員会運営事務

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	233
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 教育委員会費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>教育委員会開催を告示により周知しました。 教育委員会の会議及び議事録の公開を適切に行いました。</p> <p>【実績】 ・教育委員会委員報酬 1,120千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果状 況	活動 委員会の開催回数(年間)(回)	14	14	13	
	活動				
	成果 議案件数(年間)(件)	30	27	18	
	成果 改善を指示された割合(年間)(%)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,323	2,095	1,357
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,323	2,095	1,357	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 予定どおり定例教育委員会を開催し、必要な協議が行われました。 (原因) 教育委員の意識が高く、積極的に出席をしています。 (余地) 教育委員に適切な情報提供を行い、教育委員会の審議の活性化を図りました。</p>
--------	--	---

外国人英語指導助手設置事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	235
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>・ALTを各中学校に配置し、授業だけでなく学校生活の中で生徒が英語に触れられる機会を作りました。</p> <p>・ALTが週に2回程度各小学校を訪問し、外国語活動や外国語の授業に参加しました。休み時間や給食の時間を活用し、児童が英語に慣れ親しむ機会を作りました。</p> <p>【R6】JETプログラムALT：3人、8月以降2人、業者委託ALT：2人</p> <p>【実績】</p> <p>・費用弁償 260千円 ・消耗品費 77千円</p> <p>・保険料 57千円 ・委託料 10,692千円</p> <p>・家電製品購入費 206千円 ・負担金 184千円</p>	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 10,000千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 小学校の外国語指導助手年間勤務時間 (時間)	1,820	1,875	1,335	
	活動 中学校の外国語指導助手年間勤務時間 (時間)	2,860	3,110	1,955	
	成果 各校長によるALTの優良評価の割合 (%)	100	100	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	7,000	10,400	10,000
		オ 一般	4,584	896	1,476
		カ 事業費 (ア～オ合計)	11,584	11,296	11,476

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 小学校の英語の授業にはALTが参加しており、児童が英語に触れる機会が確保されています。中学校においても、ALTの授業参加により学習指導が効果的に実施されています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因) ALTが積極的に児童生徒と関わりを持ち、交流することができています。 (余地) JETプログラムではALTの派遣年数は最長5年となっています。ALTの入れ替えが途切れなく行われることで、同様の成果が期待できます。

学校IT管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	235
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	02 ICTを活かした教育の推進	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・ PC機器及びネットワーク整備を行い、ICT環境の向上を図りました。 ・ 適正なネットワーク環境等を維持するために、修繕対応及び保守管理を委託しました。 ・ OA機器に係る消耗品の購入を行いました。 ・ ICT支援員による、研修会の開催、機器等の不具合対応を行いました。

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・ 篠山小中学校組合システム等使用負担金 2,873千円 ・ ふるさとづくり基金繰入金 4,720千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 ICT機器の設置台数 (台)	1,551	1,585	1,581	
	活動 ICT機器の効果的な活用 操作研修会の開催回数 (回)	14	5	3	
	成果 ICT機器整備率 (%)	100	100	100	
	成果 ICT機器の活用状況 (%)	99	99	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	17,272	54,308	7,593
		オ 一般	19,596	39,338	55,813
		カ 事業費 (ア～オ合計)	36,868	93,646	63,406

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 教員のICT機器の活用については、引き続き高い割合で活用できているとの回答結果がでています。</p> <p>(原因) GIGAスクールサポーターの配置及びICT支援員の活用により、教員のICTに関する知識及び技術を高められたと考えられます。</p> <p>(余地) 校務用機器の老朽化による不具合が生じており、機器の更新をすることで、校務を快適に行うことができると考えられます。</p>
--------	--	---

学校施設防災機能強化事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	235
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本 事業	05 安心安全な教育環境の整備	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>・災害時の避難所となっている学校施設（体育館）の防災機能強化を図るため、計画的に事業を進めました。</p> <p>・令和2年度から始めた体育館のトイレ洋式化を令和6年度までの5年計画で実施しました。</p> <p>【実績】</p> <p>・一本松小学校体育館トイレ洋式化改修工事 935千円</p>	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 900千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動		防災施設整備の件数 (件)	6	8
活動		運用計画書の活用回数 (回)	0	0	0
成果		防災施設整備率 (%)	60.0	80.0	90.0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,144	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	900
		オ 一般	0	1,067	35
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,144	1,067	935

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 1校の体育館トイレ洋式化を実施しました。</p> <p>(原因) 和式便器設置台数が多いためと考えられます。</p> <p>(余地) 体育館トイレの洋式化を進めることにより、更なる防災機能の向上を図ります。引き続き整備を行っていきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

南宇和高等学校魅力化推進事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 事務局費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>南宇和高等学校の魅力化推進事業として、「進学意識の向上」及び「新時代を担う人材の育成」を目的とし、「勉強」と「地域連携」により豊かな未来を創造する個性あふれる生徒の育成のため事業を実施しました。具体的には、地域おこし協力隊員をスタッフとして「南光叶夢センター」を運営しました。</p> <p>【実績】 ・南宇和高等学校魅力化推進事業アドバイザー業務委託料 10,973千円</p>	

特定財源情報	
ふるさとづくり基金繰入金 10,000千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 事業参加者数 (人)	46	89	101	
	活動 (人)				
	成果 南宇和高等学校の志願率 (町内中学校) (%)	65.3	68.6	70.6	
	成果 (人)				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	10,000
		オ 一般	10,554	12,466	2,017
	カ 事業費 (ア～オ合計)	10,554	12,466	12,017	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 南宇和高等学校の魅力化推進事業を実施しています。 (原因) 少子化の中、南宇和高等学校の入学者が減少しています。愛媛県県立学校振興計画で再編整備基準が明示される中、南宇和高等学校への入学者の上昇につながるように南宇和高等学校の魅力ある事業の発信や魅力ある事業の実施が必要となります。 (余地) 特に町内の中学生及び保護者、小学生及び保護者に対し南宇和高等学校の魅力を発信することが重要となっています。また、保護者が必要と感じるニーズへの対応も同時に重要となります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

奨学金返済支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 教育総務費		
基本事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>対象者に奨学金返済金の一部を補助しました。 補助率2/3 (上限20万円) 【補助対象者の主な要件】 奨学金の返済を遅滞なく行い、町税等の滞納がなく、町の他の移住定住促進、就業促進に係る補助事業等の給付を受けていない者であって、次のいずれかに該当するもの。 企業等に就職し、1年以上継続して雇用されている者 (公務員を除く。) 町内で起業し、1年以上継続して事業を行っている者 町内で第1次産業に従事し、1年以上継続して従事している者</p> <p>【実績】 ・奨学金返済支援補助金 827千円</p>

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 800千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	848,000	888,000	827,000	
	活動				
	成果 延交付人数 (人)	13	16	18	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	800
		オ 一般	848	888	27
	カ 事業費 (ア～オ合計)	848	888	827	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 要件に合う申請は5名となっています。 (原因) 補助対象者が限定されているため、申請者数は横ばい状態です。 (余地) 移住・定住促進のため、令和7年度から支給要件の緩和を行います。</p>
--------	--	--

閉校施設等管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 教育総務費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> 閉校施設における不具合箇所の改修・修繕について、利用者及び点検業者からの報告に基づき、状況の把握・対策の検討を行い迅速に対応しました。 閉校施設における保守点検の実施について、各種業務を委託しました。 愛南町社会福祉協議会電気料金の負担金を徴収しました。

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> 閉校施設光熱水費等実費徴収金 934千円 行政財産使用料 1千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 管理している閉校数 (校)	9	8	11	
	活動 修繕件数 (件)	9	10	14	
	成果 閉校施設の維持管理不具合・トラブル件数 (件)	1	2	14	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	967	44,266	935
		オ 一般	11,352	9,234	16,614
		カ 事業費 (ア～オ合計)	12,319	53,500	17,549

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度に対し修繕件数は4件増加しました。 (原因) 老朽化に伴う経年劣化が原因と考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 修繕件数及び維持管理費を減らす方策として、適切な維持管理と施設設備の計画的な更新及び解体が考えられます。

学校活動支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
教職員の働き方改革や部活動の地域移行改革等への対応として県補助事業及び町単独事業でスクール・サポート・スタッフ及び部活動指導員を配置しました。 学校地域コーディネーターを学校に配置し地域と学校の情報共有や教職員の負担軽減につなげました。 中学生の英語検定受験料を助成しました。 町内での発表会や体育大会に出場する児童生徒の移送経費を負担しました。	
【実績】	
・会計年度任用職員報酬 6,014千円 ・事業協力員謝礼 2,309千円 ・英語検定受験料補助金 155千円 ・臨時運転手謝礼 105千円 他	

特定財源情報	
・スクール・サポート・スタッフ配置事業補助金 2,434千円 ・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金 108千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 配置校数 (件)	16	16	12	
	活動 児童生徒の移送件数 (件)	1	2	6	
	成果 配置効果割合 (%)	100	100	91.4	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,972	2,572	2,542
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,273	8,211	8,747
	カ 事業費 (ア~オ合計)	4,245	10,783	11,289	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 教員の負担軽減により教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備しています。また、授業等における児童生徒の移送が円滑に行われています。 (原因) スクール・サポート・スタッフの配置及び学校共同事務室での調整によるものと考えます。 (余地) 愛媛県の補助事業対象となる人材だけでなく、町単独でのスクール・サポート・スタッフの配置を行うなど教職員の負担軽減を実施しています。また、移送事業においては町のマイクロバスを利用するなど経費の削減を行っています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

南宇和高等学校教育振興協議会補助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町、愛南町教育委員会及び県立南宇和高等学校等で構成する南宇和高等学校教育振興協議会が実施する事業に対して補助金を交付しました。</p> <p>【南宇和高等学校教育振興協議会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を支える人材や産業技術者の育成 ・グローバルな視野を持って行動できる人材を育成するための海外研修の実施 ・地域に根ざした新しい産業教育に関する研究や情報交換・提言 ・学校教育活動の充実に対する支援 ・英語4技能外部検定(GTEC)の受験料の助成 ・遠距離通学者への通学費の助成 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南宇和高等学校教育振興協議会補助金 8,700千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 8,700千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 補助金額(千円)	4,770	5,300	8,700	
	活動				
	成果 補助を受けた各種活動に参加した生徒の人数(人)	464	562	547	
	成果				
事業費(千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,500	4,500	8,700
		オ 一般	270	800	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,770	5,300	8,700

成果実績評価	成果状況	(状況)活動に参加した生徒の人数は、前年度より2.7%減少しました。 (原因)新型コロナウイルスの影響が少なくなり、各種事業が元に戻ったものの、生徒数の減少により各種事業に参加した人数も減少したためと思われます。 (余地)生徒数の大きな回復は見込めませんが、協議会が各種活動へ補助を行うことで地域に根差した人材育成を図っていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

心の教育推進事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費	計画 年度	
基本 事業	03 心の教育の充実	目	03 諸費		開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校等相談員による電話相談や通所相談を行いました。 ・スクール・ソーシャルワーカー等による相談・活動を行いました。 ・町子ども支援センターでの相談及び利用を個別のニーズに応じて行いました。 ・学校を通じ家庭へチラシを配布し、一人で悩まず、先ず相談をするよう啓発しました。 ・通級指導教室の利用を可能とし、学習面のサポートの選択肢を増やしました。 ・不登校児童生徒支援事業は、平成30年度から宇和島圏域共生ビジョンに位置付け運営に係る必要経費を負担し、取り組んでいる事業です。 ・町スクールカウンセラーを配置し、多角的な支援を行える体制とします。 	
【実績】	
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラー報酬 1,652千円 ・いじめ不登校等相談員謝礼 1,952千円 	

特定財源情報	
愛媛県スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金 440千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	利用者数 (人)		316	250
活動	相談員・ソーシャルワーカー等の設置人数 (人)		4	8	8
成果	改善された割合 (対相談件数) (%)		50	50	50
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	825	440	440
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,266	4,041	4,497
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,091	4,481	4,937

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 不登校傾向にある児童生徒数名が利用しており、心の居場所としての機能を発揮しました。</p> <p>(原因) 家庭環境など子供の置かれている状況が、年々複雑化及び多様化する傾向にあります。</p> <p>(余地) 保護者と意思疎通を図りつつ、理解を得ながら、学校や専門機関との連携による対応がこれまで以上に重要となっています。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

教員住宅管理運営事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	241
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	04 教員住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・入居申請書を受理し許可後、賃貸借契約及び入居説明等を行いました。 ・退去届を受理後、部屋（畳表替え、襖張替え等）、駐車場の検査を行いました。 ・家賃徴収について、金融機関へ口座振替依頼を行い、月末に引落としました。納入状況を確認し、滞納者には連絡をとり早期完納を促しました。 ・住宅施設における不具合箇所の改修・修繕について、入居者からの連絡に基づき、状況の把握・対策の検討を行い迅速に対応しました。 ・「学校施設等個別施設計画」に基づき、計画的な施設の改修等を行いました。

特定財源情報
教員住宅使用料 1,671千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 修繕件数 (件)	9	3	11	
	活動	0	0		
	成果 教員住宅の維持管理不具合・トラブル件数 (件)	1	1	11	
	成果 教員住宅入居率 (%)	34.2	34.2	17.1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,484	1,722	1,671
		オ 一般	0	0	319
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,484	1,722	1,990	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 維持管理上の修繕件数は昨年度に対して8件増加しました。 (原因) 老朽化により増加したと考えられます。 (余地) 施設の老朽化が進んでおり、突発的な修繕等の発生が予測されます。入居者からの要望や連絡に耳を傾け、現状把握及び迅速な対応を心がけ、安全で良好な住宅環境を維持します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

小学校維持管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	241
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本 事業	05 安心安全な教育環境の整備	目	01 学校管理費	計画 年度	開始：令和2年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設における不具合箇所改修・修繕について、教職員及び共同事務室との情報共有により、状況の把握・対策の検討を行い、迅速な対応を行いました。 ・学校施設における保守点検の実施について、各種保守業務を委託しました。 ・学校運営に必要な各種備品について、学校の要望をもとに整備及び更新を行いました。

特定財源情報
太陽光発電売電収入 1,422千円

	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕・工事件数 (件)	133	87	79
	活動	保守管理委託件数 (件)	16	16	32
	成果	授業に支障をきたした施設維持管理上の不具合件数 (件)	0	0	0
	成果	小学校施設維持管理上の不具合による児童事故件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,509	1,789	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	25,200	0
		エ その他	2,130	1,916	1,422
		オ 一般	73,806	80,986	57,620
	カ 事業費 (ア～オ合計)	80,445	109,891	59,042	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は前年度に対し8件減少しました。 (原因) 老朽化した箇所を修繕したことにより減少したと考えられます。 (余地) 施設の老朽化が進行しており、突発的な修繕及び工事が予測されます。 引き続き学校と密の連携し、現状把握と迅速な対応に努め、安全で良好な教育環境を維持します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

小学校振興事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	243
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>児童の教育活動について確かな学力の向上や社会性を育て、感受性豊かな児童の育成に繋がる事業を実施しました。 修学旅行、各種大会出場に係る経費及び総合学習活動等に対して補助及び全ての児童に義務教育を実施するために必要な援助を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書購入費 26,455千円 ・大会等参加助成金 870千円 ・遠距離通学費助成金 632千円 ・要保護及び準要保護児童就学援助費 1,831千円 ・車借上料 2,884千円 他 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育就学奨励費補助金 136千円 ・遠距離通学費援助事業費県補助金 157千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 図書購入数 (冊)	1,626	1,482	1,303	
	活動 講座、校外活動等の実施回数 (回)	136	151	129	
	成果 学習意欲が向上している児童の割合 (%)	93.6	70.3	84.7	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	129	134	136
		イ 県	267	157	157
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	18,158	17,744	45,481
	カ 事業費 (ア～オ合計)	18,554	18,035	45,774	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 全国学力・学習状況調査の結果では、学習習慣等の肯定割合をみると、ほぼ横ばいとなっています。 (原因) 学校での丁寧な学習指導により、授業が分かるという児童の割合は高いものの、家庭での学習習慣が不十分な傾向にあります。 (余地) 家庭学習の習慣化と内容の改善を検討する余地があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校維持管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	245
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本 事業	05 安心安全な教育環境の整備	目	01 学校管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設における不具合箇所の改修・修繕について、教職員及び共同事務室との情報共有により、状況の把握・対策の検討を行い、迅速な対応を行いました。 ・「学校施設個別施設計画」に基づき、計画的な施設の改修を行いました。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城辺中学校屋内運動場空調整備工事 29,213千円 ・城辺中学校トイレ洋式化改修工事 9,240千円

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急防災・減災事業債 26,000千円 ・学校施設環境改善交付金 3,127千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕・工事件数 (件)	51	54	45	
	活動 保守管理委託件数 (件)	16	16	13	
	成果 授業に支障をきたした施設維持管理上の不具合件数 (件)	0	0	0	
	成果 中学校施設維持管理上の不具合による生徒事故件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	3,178	3,127
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	26,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	35,552	52,905	54,508
	カ 事業費 (ア～オ合計)	35,552	56,083	83,635	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は前年度に対して9件減少しました。 (原因) 老朽化した箇所を修繕したことにより減少したと考えられます。 (余地) 施設の老朽化が進行しており、突発的な修繕及び工事のが予測されます。 引き続き学校と密の連携し、現状把握と迅速な対応に努め、安全で良好な教育環境を維持します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校振興事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	247
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
生徒の教育活動について確かな学力の向上や社会性を育て、感受性豊かな生徒の育成に繋がる事業を実施しました。 修学旅行、各種大会出場に係る経費、総合学習活動、海外研修等に対して補助及び全ての生徒に義務教育を実施するために必要な援助を行いました。	
【実績】	
・海外研修事業委託料 8,664千円	
・大会等参加助成金 7,982千円	
・要保護及び準要保護生徒就学援助費 3,209千円	
・遠距離通学費助成金 1,898千円	
・総合学習活動交付金 670千円 他	

特定財源情報	
・中学生海外研修事業個人負担金 480千円	
・要保護生徒就学援助費補助金 35千円	
・特別支援教育就学奨励費補助金 20千円	
・過疎対策事業債 7,400千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	図書購入数 (冊)	765	707
活動	活動	講座、校外活動等の実施回数 (回)	12	12	15
成果	成果	学習意欲が向上している生徒の割合 (%)	89.5	58.6	81.9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	60	5	55
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	7,500	7,400
		エ その他	0	440	480
		オ 一般	25,254	20,821	22,199
		カ 事業費 (ア～オ合計)	25,314	28,766	30,134

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 全国学力・学習状況調査の結果では、学習習慣等の肯定割合をみると、ほぼ横ばいとなっています。 (原因) 学校での丁寧な学習指導により、授業が分かるという生徒の割合は高いものの、家庭での学習習慣が不十分な傾向にあります。 (余地) 家庭学習の習慣化と内容の改善を検討する余地があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

あいなん幼稚園管理運営事業

教育委員会部局 あいなん幼稚園

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	249
施策	01 学校教育の充実	項	04 幼稚園費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	01 幼稚園管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援新制度に基づき、質の高い幼児教育、保育の提供、地域の子ども子育て支援の充実を目的に保育サービスを行いました。 ・保育では、遊びを中心とした生活を通して幼児が様々な体験を重ね、健やかな成長を促す教育の基礎を培いました。また、一人一人に応じた教育を進め、総合的指導を行いました。 <p><保育サービス事業>・通常保育 平日8時30分～14時30分(月曜日～金曜日)給食 【実績】・報酬 80千円 ・報償費 22千円 ・旅費 114千円 ・需用費 1556千円 ・役務費 214千円 ・委託料 561千円 ・使用料及び貸借料 15千円 ・原材料費 33千円 ・負担金補助及び交付金 64千円</p>	

特定財源情報	
子ども・子育て支援事業費 国庫補助金 168千円 / 県補助金 279千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 開園日数(日)	195	197	198	
	活動 利用述べ幼児数(人)	3,229	2,432	2,178	
	成果 あいなん幼稚園の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	90	90	90	
	成果 あいなん幼稚園 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	168	168	168
		イ 県	168	168	279
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,969	3,435	2,212
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,305	3,771	2,659

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)事業の成果としては順調です。 (原因)保護者と連携し、保護者のニーズに合わせて柔軟に対応することで、信頼関係が深まり園児の成長に安心・安全な場を提供できたと思われれます。 (余地)更にきめ細かい保育サービスを提供することが考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

花づくり推進事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	01 循環型社会の形成	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
オレンジロード加盟団体が実施する国道傍花壇整備事業に対して活動支援を行いました。
【実績】 ・年2回(6月・11月)、11カ所で花苗植替え作業を行うオレンジロード活動団体9団体に花苗を支給しました。 ・原材料費 1,347千円

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 1,300千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 作業実施回数(回)	2	2	2	
	活動				
	成果 町民により管理されている花壇数(ヶ所)	19	19	11	
	成果 花が植わっている期間(ヶ月)	8	8	8	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,600	1,300
		オ 一般	1,676	104	80
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,676	1,704	1,380	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 町民により管理されている花壇数が8カ所減少しました。 (原因) ボランティア団体の高齢化に伴い、花壇数が減少したと考えられます。 (余地) 引き続き、事業の周知・団体を支援していくことで、成果の向上を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

女性教育推進事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
愛南町連合婦人会が実施する女性教育推進事業に対して補助金を交付し、社会参加を促すための支援を行いました。 【実績】 ・事業謝礼 12千円 ・婦人会補助金 1,300千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 研修会の実施回数 (回)	1	1	1	
	活動 ボランティアの実施回数 (回)	16	15	13	
	成果 研修会参加者数 (人)	15	25	23	
	成果 ボランティアへの参加会員数 (人)	175	178	137	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,320	1,310	1,312
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,320	1,310	1,312	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) ボランティアへの参加者数は137名と、前年度より41名減少しました。 (原因) 会員の高齢化等により各事業への参加者が減少したものとされます。 (余地) 会員の高齢化等も考慮し、事業実施の可否等を検討します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

わが里づくり事業補助金事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>町民の地域づくりの気運を醸成するとともに、地域の特性を活かした個性豊かな魅力ある地域づくりを支援するため、地域の活性化に貢献すると認められる事業に補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <p>・補助金額 954千円</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金支給額 (円)	1,153,200	1,283,600	954,100	
	活動				
	成果 補助金支給団体数 (団体)	7	9	10	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,153	1,284	954
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,153	1,284	954	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 補助金支給団体数が前年度と比べ1件増加しました。 (原因) コロナ禍以降、各種団体等の活動が活発化しているものと思われます。 (余地) 各団体が活用しやすいような申請方法等を検討し事業周知をすることで、補助件数の増加を図ります。

文化協会活動支援事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
愛南町文化協会へ補助金を交付し、愛南町文化祭の開催にかかる支援等地域文化の普及や文化活動の支援を図りました。
【実績】 ・愛南町文化協会補助金 2,200千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 三役会 評議委員会等の開催数 (回)	5	8	14	
	活動 補助金額 (千円)	550	1,400	2,200	
	成果 文化協会加盟団体 会員数 (人)	714	687	703	
	成果 文化協会が実施する事業の参加者数及び入場者数 (人)	1,098	1,266	2,037	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	550	1,400	2,200
	カ 事業費 (ア～オ合計)	550	1,400	2,200	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)文化協会実施事業の参加及び入場者数は、前年度比771名増となり、60.9%上昇しています。文化協会加盟団体の会員数(純人数)は、16名増で、2.3%上昇となっています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因)令和6年度は愛南町合併及び愛南町文化協会創設から20周年に当たることから、文化祭において20周年記念行事等を実施したため、例年以上に参加者が増加した上に、文化協会の知名度向上にもつながったものと考えられます。 (余地)会員の高齢化等の課題はありますが、今後も事業運営を円滑化し、魅力的なイベント運営等を行っていくことが、文化協会の継続的な活動につながっていくものと考えられます。

放課後子ども教室事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
放課後や長期休暇中の児童の安全安心な居場所作りのため、子ども教室事業を実施しました。
【実績】 ・夏休み子ども教室(7/22～8/28) 利用児童24人 指導員謝礼 922千円 ・放課後子ども塾 (4カ所) 利用児童74人 指導員謝礼 1,820千円 ・需用費 46千円 他

特定財源情報
・地域家庭教育・子育て支援事業費補助金 1,644千円 ・保護者負担金 240千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開所日数(日)	707	740	686	
	活動				
	成果 放課後子ども教室待機児童数(人)	0	0	0	
	成果 放課後子ども教室利用児童数(人)	109	112	98	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,461	1,356	1,644
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	226	292	240
		オ 一般	1,173	1,168	974
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,860	2,816	2,858

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和6年度の放課後子ども教室利用児童数は98名と、前年度より14名減少しています。 (原因) 利用児童数の減少は、久良小学校の閉校に伴う、久良子ども塾の廃止によるものです。 (余地) 柏子ども塾・緑子ども塾・長月子ども塾・家串子ども塾については、随時入会を受け付けるとともに新規の子ども塾を開設することで成果の向上が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

子どもセンター運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>子どもに安全な遊び場を提供することを目的とし、愛南子どもセンターの運営を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間95日開館し、268名の子どもに居場所を提供しました。 ・報償費 648千円 ・需用費 68千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開所日 (日)	93	100	95	
	活動				
	成果 子どもセンター年間利用者数 (人)	137	288	268	
	成果 子どもセンター運営 維持管理上の事故・トラブル件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	633	692	716
	カ 事業費 (ア～オ合計)	633	692	716	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 年間利用者数は268名と前年度に比べ20名(6.9%)減少しました。 (原因) 周知不足による利用者の偏り・減少が原因だと考えられます。 (余地) 子どもの数は今後も減少することが予想されますが、令和6年度の訪問者数を下回らないように、各小中学校・保護者に周知していくよう努めていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

成人式開催事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>当該年度に20歳の誕生日を迎える対象者の新たな門出を祝うため、成人式の企画運営を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 令和7年1月3日 13:30~ ・開催場所 御荘文化センター ・参加者数 147人 ・事業謝礼 180千円 ・記念品 1,612千円 他

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 式典への参加者数(人)	141	158	147	
	活動				
	成果 式典の参加率(該当者に対する参加者の割合)(%)	73	78	85	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,588	2,003	2,031
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,588	2,003	2,031

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)式典の参加者は147名、参加率は85%で前年と比べ7ポイント上昇しました。 (原因)開催日が土日も絡んだ連休であったため、多くの新成人が参加しやすかったものと思われます。 (余地)式典内容を工夫し、さらに対象者に関心を持ってもらうことによって、参加者数を増やす余地があるものと思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

PTA連合会活動支援事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
愛南町PTA連合会が実施する児童生徒の健全育成のための活動に対して補助金を交付しました。 【実績】 ・PTA連合会補助金 1,100千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (円)	430,000	800,000	1,100,000	
	活動 研修会の実施回数 (回)	3	3	4	
	成果 PTA連合会理事会の参加率 (%)	81	73	82	
	成果 PTA連合会主催研修の研修参加率 (%)	87	68	76	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	430	800	1,100
	カ 事業費 (ア～オ合計)	430	800	1,100	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 理事会の参加率は82%で前年に比べ増加しました。研修は4回行い、参加率は76%と前年に比べ増加しました。 (原因) 理事の就労状況等が変化したことによるものです。 (余地) 年度当初に理事会の開催日をお知らせし、早めの日程調整を行っていただくことで参加率が上がると思われませんが、夜間勤務の理事への参加強制は難しいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

人権啓発作品集作成事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	06 社会教育費		
基本事業	01 人権・同和教育の推進	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
児童・生徒が作成する人権作品（作文、みじかい手紙、書道、ポスター、人権標語）を募集し、作品集「えがお」への掲載作品としました。 【実績】 配布部数 2,000部 寄せられた感想 1,244件

特定財源情報
人権啓発活動再委託事業委託金 337千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 作品配布数 (枚)	2,200	2,200	2,000	
	活動				
	成果 作品集を読んで感想が寄せられた割合 (%)	64.7	65.2	62.2	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	356	356	337
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	361	440	457
	カ 事業費 (ア～オ合計)	717	796	794	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 成果指標Cの感想が寄せられた割合は、前年度比3.0ポイント低下しており、目標成果指標に到達できませんでした。</p> <p>(原因) 作品集を配布した後の感想提出を促すための働きかけや、提出方法の工夫が十分でなかったためと考えられます。</p> <p>(余地) 感想を寄せていただきやすくするために、児童生徒だけでなく保護者や地域住民の方々にも、関心を持っていただけるように作品集の内容をさらに魅力的なものにしていくことで、感想提出につながりやすくなることを見込めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

人権教育協議会補助事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	06 社会教育費		
基本事業	01 人権・同和教育の推進	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
あらゆる差別や偏見を解消する人権・同和教育の推進と「共生」社会の確立を目的とする愛南町人権教育協議会に補助金を交付しました。 【実績】 ○愛南町人権教育協議会の主な事業 ・総会【6/24(月)参加者186名】 ・主催「人権を考える町民の集い」【9/22(日)参加者66名】 ・後援「みつめてみよう人権コンサート」【1/12(日)参加者100名】

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 補助金額(千円)	650	1,400	2,000	
	活動				
	成果 愛南町人権教育協議会が主催及び後援した行事への参加者数(人)	241	373	352	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	650	1,400	2,000
		カ 事業費(ア～オ合計)	650	1,400	2,000

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 成果指標Cの参加者数は、前年度比で21人減少しており、目標成果指標に到達できませんでした。 (原因) 人権教育に普段あまり関心がない層を含め、より多くの町民に対し、周知できなかったためと考えられます。 (余地) 事業の内容充実や参加しやすいように周知していけば、参加者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

須ノ川公園まつり事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>須ノ川公園まつりを主催する団体「うちうみまちづくり連合Y o m o s h i 連内海」に補助金を交付し、夏祭りといルミネーションを融合した須ノ川公園まつりパークイルミネーションを開催しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催団体に補助金（1,700千円）を交付し、11月9日（土）に「須ノ川公園まつりパークイルミネーション」を開催しました。 ・事業内容としては、物産展、お楽しみ抽選会、イルミネーション点灯式、花火打上げを実施しました。

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 1,700千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 実行委員会等の協議会数 (回)	3	2	2	
	活動				
	成果 来場者数 (人)	800	1,200	1,200	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,500	1,700
		オ 一般	1,515	200	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,515	1,700	1,700	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 11月9日(土)に開催時期を変更して実施しました。来場者数の多くは若年層の割合が増加傾向にあります。 (原因) イルミネーションを融合したイベントにシフトチェンジし、若年層の好むイベント内容となったため。 (余地) 会場規模から今の来場者数が適正ですが、SNSを上手く活用すればまだ成果の向上の余地はあります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

内海公民館生涯学習事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>【実績】</p> <p>・公民館事業・・・内海地域高齢者の集い(1回)、グランドゴルフ交流会(1回)、健康体操(11回)、料理教室(1回)、お菓子づくり教室(1回)、フラワーアレンジメント教室(11回)、お灸体験教室(2回)、俳句教室(8回)、英会話教室(8回)、ハンドメイド教室(2回)、趣味の作品展(2回)、防災学習講座(1回)、2校合同句会ライブ(1回)、夏休みこども教室(5回)、小学生ドローン操縦教室(2回)、親子お話広場(6回)、柏小学校地域合同運動会(1回)、劇団風の子公演(1回)、子ども自然体験教室(1回)を実施しました。</p> <p>・公民館支援事業・・・柏老人クラブの趣味の作品展や、総会資料、会報の資料づくり等を支援しました</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 内海公民館が実施・支援した事業数(件)	18	20	19	
	活動				
	成果 内海公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,032	1,249	861	
	成果 内海公民館関連事業に対する満足度(%)	91.8	92	96.2	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,130	1,226	692
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,130	1,226	692

成果実績評価	成果状況	(状況) 前年度比で、事業数はほぼ同数ですが参加者は388人減少しました。 (原因) 運動会が柏小単独になったことや、荒天によるスキー教室の中止など参加者数の多い事業が中止になったことなどによります。 (余地) 事業が通常実施できれば、例年並みの参加者数が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
成果実績評価	成果向上余地	
	大	
	中	
	小 なし	

平城公民館生涯学習事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>1 公民館事業 こども茶道教室(19回)、こども生花教室(11回)、ハンドメイド教室(3回)、平城貝塚再発見講座(2回)、お菓子作り教室、健康ウォーク、英会話教室(14回)、ハーモニカ教室(11回)、健康づくり教室(35回)、スマホ講座(6回)、人権・同和教育学習会(3回)ほか10事業 <合計21事業、2,111人></p> <p>2 公民館支援事業 小学生の人権ポスター等掲示 <合計1事業、1,278人></p> <p>3 地域活動支援事業 平城五常会盆踊り練習、地区総会、地区総会資料</p> <p>【実績】 ・R6事業費 1,796千円</p>	

特定財源情報	
雑入(経常)各種事業個人負担金 287千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動		平城公民館が実施・支援した事業数(件)	24	27
成果		平城公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,607	2,327	3,389
成果		平城公民館関連事業に対する満足度(%)	100	96.9	96.8
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	94	158	287
		オ 一般	1,386	1,511	1,509
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,480	1,669	1,796

成果 実績 評価	成果状況	(状況)事業のべ参加者数は前年度と比べて1,062人増加し、満足度は前年度より0.1ポイント低下しましたが、目標値を上回り順調です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)講師と打合せして事業内容を工夫し、参加者や運営審議会委員等の意見を参考に内容等の見直しを行い、平城公民館公式LINEを活用した各種講座の周知や申込みやすい環境整備、関係機関との共催事業の実施、中高生ボランティア参加と南宇和高校の総合探究を活かした生涯学習事業の充実を図り、愛媛CATV愛南局と連携して活動事業情報を発信しました。また、令和2年度から公民館主事1人が専任となったことも大きな要因と思われます。
	成果向上余地	(余地)公民館主事1人では、成果向上の余地は非常に少ないと思われます。
	大 中 小 なし	

城辺公民館生涯学習事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>1 公民館事業 陶芸教室、国際交流講座、パソコン教室、健康づくり教室、花いっぱい運動、城の辺こども映画館、城の辺フォトライブハウス、世代間交流しめ縄づくり教室、やきもの体験教室、防災・減災教室、人権・同和教育研修、学習成果発表、館報(公民館だより)発刊しました。</p> <p>2 公民館支援事業 城辺婦人連絡会を支援しました。</p> <p>3 地域活動支援事業 城辺公民館区の地域活動を支援しました。</p>

特定財源情報
雑入(生涯学習事業(陶芸教室)個人負担) 216千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 城辺公民館が実施・支援した事業数(件)	15	12	14	
	活動				
	成果 城辺公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,525	1,186	1,052	
	成果 城辺公民館関連事業に対する満足度(%)	87.0	92.1	98.6	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	216
		オ 一般	1,152	1,149	1,177
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,152	1,149	1,393

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)事業のべ参加者数が前年度比で134人減少しましたが、事業に対する満足度は前年度比で6.5ポイント上昇しています。</p> <p>(原因)事業主体となる団体の解散、参加者の減少によって令和6年度から縮小・中止した事業が複数あることが、延べ参加人数の減少となっています。しかし、新規事業と好評な事業の拡充により、満足度の向上へとつながりました。</p> <p>(余地)全城辺地域が対象の中止した事業に替わる地域住民の交流の場となる事業を地域及び各種団体との協議により計画し、運営審議会に諮ったうえで事業化していく必要があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

東海公民館生涯学習事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>1 公民館事業：東海婦人学級、東海地区清掃活動、東海地区ふれあいスポーツ大会、高齢者健康教室(東海公民館・中玉分館)、フラワーアレンジメント教室、人権・同和教育研修会(東海公民館・中玉分館)、スマホ教室、東海映画会、科学技術教室(ドローンゲーム)、美術教室(デジタルアート)、館報発刊事業を実施しました。</p> <p>2 公民館支援事業：東海老人クラブ活動</p> <p>3 地域活動支援事業：東海公民館区・中玉分館区(脇本、中玉、大浜、柿ノ浦、敦盛、岩水、垣内(7地区))の地域活動</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 東海公民館が実施・支援した事業数(件)	5	12	12	
	活動				
	成果 東海公民館関連事業のべ参加者数(人)	301	503	514	
	成果 東海公民館関連事業に対する満足度(%)	96.6	98.3	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	208	367	845
	カ 事業費(ア～オ合計)	208	367	845	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)事業のべ参加者数は、前年度比で9人増加しました。また、事業に対する満足度は、前年度比で1.7ポイント上昇しました。</p> <p>(原因)地域の実情に合わせた事業の実施や事業内容を見直したことが原因と考えられています。</p> <p>(余地)事業に対する満足度は100%のため向上の余地はありませんが、貸館及び事業が制限されない限りは、現在の状況が維持できると考えています。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

深浦公民館生涯学習事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 公民館事業	深浦婦人学級、ロコモ健康体操、転倒予防体操、海の日清掃活動、老人クラブ・幼稚園児交流会、グラウンドゴルフ普及推進事業、深浦グラウンドゴルフ大会、高齢者学習講座、人権・同和教育研修会、子どもが集える公民館事業(ボルダリング体験教室)、館報発刊、スマホ教室の11事業を実施しました。当初予定していた深浦地域芸能・カラオケ大会と深浦地域運動会については、地区役員会での決定により中止しました。
2 公民館支援事業	深浦地区老人クラブ活動、深浦地区体育協会活動
3 地域活動支援事業	深浦公民館区(深浦・鯛越・古月(3地区))の地域活動

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 深浦公民館が実施・支援した事業数(件)	12	12	13	
	活動				
	成果 深浦公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,305	1,721	1,643	
	成果 深浦公民館関連事業に対する満足度(%)	98.3	85.1	95.5	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	228	289	537
	カ 事業費(ア～オ合計)	228	289	537	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)事業のべ参加人数は、前年度比で78人減少しました。また、事業に対する満足度は、前年度比で10.4ポイント上昇しました。 (原因)事業のべ参加者数は、住民の高齢化に伴う参加者の低下が考えられます。また、事業に対する満足度の向上は、健康体操等の事業開催によるものです。 (余地)貸館及び事業が制限されず、また、実施事業内容の改善が進めば成果向上が見込まれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松公民館生涯学習事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 公民館実施事業	一本松コミュニティ教室(1)、手作り等体験教室(6)、生き生き体操教室(1)、民謡民舞講習会(1)、救命基礎講習会(1)、フラワーアレンジメント教室(1)、一本松地域ふれあい事業(1)、生花教室(1)、人権・同和教育学習会(1)絵手紙展示(1)、一本松地域花壇管理(1)スポーツ大会(4競技)、壮年グループボランティア活動(1)書道展示(1)、消火・避難訓練(1)を実施。合計23事業、1,185名の参加者で実施しました。
2 公民館支援事業	婦人会一本松支部、各地区の壮年グループを支援しました。
3 地域活動支援事業	一本松公民館区の地域活動を支援しました。

特定財源情報	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動		一本松公民館が実施・支援した事業数(件)	22	25
成果		一本松公民館関連事業のべ参加者数(人)	856	998	1,185
成果		一本松公民館関連事業に対する満足度(%)	100	98.6	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,347	2,313	2,356
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,347	2,313	2,356

成果 実績 評価	成果状況	(状況)参加者数187人増加です。令和6年度に実施したアンケート調査では満足度は100.0%でした。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)新規事業「生き生き体操教室」への参加者の定着に繋がりました。防災への興味が事業への参加に繋がったためと考えられます。
	成果向上余地	(余地)子ども達の公民館事業への参加に繋げるためには、学校や家族の協力・理解も必要と思われます。学校と連携を密にし、支援団体と一緒に取り組めるような事業、開催時期を検討する必要があると思います。
	大 中 小 なし	

福浦公民館生涯学習事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>【実績】</p> <p>・福浦公民館 健康体操教室11回、音楽体操教室10回、花いっぱい運動6回、なつかしの成人式写真展1回、グラウンド・ゴルフ交流会1回、西海音頭講習会1回、福浦小・地域合同運動会1回、親子料理教室1回、椅子ヨガ教室2回、避難消火訓練1回、ドローン教室1回、餅つき1回、お正月飾り作り教室1回、フラワーアレンジメント教室1回、人権・同和教育学習会1回、自主防災会ランタン作り教室1回、だんだん石離づくり教室1回、自主防災会ランタン点灯協力1回、計18事業929名が参加のうえ実施しました。</p> <p>・武者泊分館 カラオケ教室地域交流会9回、生け花教室5回、健康体操教室2回、椅子ヨガ教室2回、避難消火訓練1回、計5事業186名が参加のうえ実施しました。</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 福浦公民館が実施した事業数 (件)	20	25	18	
	活動				
	成果 福浦公民館関連事業のべ参加者数 (人)	980	1,188	1,115	
	成果 福浦公民館関連事業に対する満足度 (%)	98.4	100	98	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	596	639	655
	カ 事業費 (ア～オ合計)	596	639	655	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し、公民館アンケートによる生涯学習事業の満足度は2.0ポイント減少し、参加者も73人減少となっています。 (原因) 荒天によるカーヌー体験教室の中止など、事業未実施が主な要因と考えます。 (余地) 住民アンケートや公民館運営審議会の意見を踏まえ、公民館事業に地域ニーズを適切に反映させる必要があると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中央公民館生涯学習事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
各公民館の事業計画及び予算の取りまとめ、生涯学習事業の実施、公民館職員の研修調整等を行いました。 【実績】 ・総合賠償補償保険料 1,903千円 ・研修会等負担金 24千円 ・県公民館連合会負担金 188千円 他

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 公民館主事を対象とした研修の回数(回)	7	8	6	
	活動				
	成果 研修に参加した公民館主事の延べ人数(人)	89	97	88	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,312	2,414	2,379
	カ 事業費(ア～オ合計)	2,312	2,414	2,379	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 県公連、町主催の研修への参加者数は88名で前年から9名減少しました。 (原因) 公民館主事を対象とした研修会等の開催件数の減によるものです。 (余地) 研修内容や開催方法等の見直しを行い、更なる成果の向上を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

内海公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。
2 運営	(1) 運営審議会(7人)を設置しました。 (2) 運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1) 年末年始を除く日を閉館しました。
【実績】	
・須ノ川分館2階玄関灯を修繕しました(33千円)	
・須ノ川分館2階和室をシロアリ駆除しました(99千円)	

特定財源情報
・公民館使用料 120千円
・建物貸付収入 120千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 内海公民館管理運営関係者数(人)	7	7	7	
	活動 内海公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 内海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 内海公民館運営上の満足度(%)	100	95	94.5	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	222	257	240
		オ 一般	1,764	1,614	1,506
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,986	1,871	1,746	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設管理上の不具合・トラブルはありませんでした。 (原因) 保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕などの対応を実施しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 良好な状態を維持するため、同じ建物内の内海支所と連携して修繕を行いました。

家串公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。 (2)非常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1)運営審議会を7名委嘱しました。 (2)運営審議会を3回/年開催しました。
3 共通	(1)年末年始を除く日を閉館しました。 (2)非常勤館主を1名置きました。
【実績】 ・家串公民館調理室のガス給湯器故障のため新規購入しました。 84千円	

特定財源情報	
公民館使用料 3千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 家串公民館管理運営関係者数 (人)	7	7	7	
	活動 家串公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 家串公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 家串公民館運営上の満足度 (%)	98.1	95	93.2	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,298	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1	0	3
		オ 一般	1,686	2,571	2,230
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,985	2,571	2,233	

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 4件の修繕、工事を実施しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 施設は19年を経過しており、保守点検や利用時に発見された破損や不具合や、地区要望のあった箇所の修繕等の対応を実施しました。
	成果向上余地	(余地) 良好な状態を維持するため、修繕を行いました。
	大 中 小 なし	

魚神山公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。 (2) 非常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1) 運営審議会を7名委嘱しました。 (2) 運営審議会を3回/年開催しました。
3 共通	(1) 年末年始を除く日を閉館しました。 (2) 非常勤館主を1名置きました。

特定財源情報
公民館使用料 2千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 魚神山公民館管理運営関係者数 (人)	7	7	7	
	活動 魚神山公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 魚神山公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 魚神山公民館運営上の満足度 (%)	92.5	90	93.5	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2
		オ 一般	1,068	1,805	846
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,068	1,805	848	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設管理上の不具合、トラブルもなく運営できています。 (原因) 施設は老朽化しており、保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕等の対応を実施しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 良好な状態を維持するため、建物の不具合や破損箇所がないか分館長、分館主事と連携を図ります。

菊川公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	263
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検等により適正な管理に努めました。 (2) 非常勤管理人を置きました。 (3) 2階和室のテレビが耐用年数を超えて不具合が発生したため、新しいテレビを購入しました。
2 運営	(1) 運営審議会(委員6人)を設置しました。 (2) 運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1) 年未年始、祝祭日及び毎週木曜日を除く日を開館しました。
【実績】 ・ R6事業費 870千円	

特定財源情報	
公民館使用料	1千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 菊川公民館管理運営関係者数(人)	10	10	10	
	活動 菊川公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 菊川公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 菊川公民館運営上の満足度(%)	98	100	96	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1	1
		オ 一般	804	918	869
	カ 事業費(ア～オ合計)	804	919	870	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設管理上の不具合・トラブルもなく順調でした。満足度は96%で4.0ポイント低下しましたが、目標は達成しています。 (原因) 施設的环境や景観の美化に努めたことが要因と思われます。 (余地) 高齢者が安全で快適に利用できる施設整備を行うことで、高い満足度を維持します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

平城公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	263
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検等により適正な施設管理に努めました。
(2)非常勤管理人を置きました。
(3)個別施設計画による照明器具LED化改修工事、故障のため交流室エアコン2台取替工事、住民要望による洋式トイレ温水便座3か所取替、キャスター付き会議用机を購入しました。
- 2 運営 (1)運営審議会(8人)を設置しました。
(2)運営審議会を3回開催しました。
- 3 共通 (1)年末年始、祝祭日及び毎週金曜日を除く日を閉館しました。

【実績】

・R6事業費 14,519千円

特定財源情報

・脱炭素化推進事業債 8,200千円
・公民館使用料 59千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 平城公民館管理運営関係者数 (人)	11	11	11	
	活動 平城公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 平城公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 平城公民館運営上の満足度 (%)	93.9	95.6	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	8,200
		エ その他	78	89	59
		オ 一般	1,969	1,962	6,260
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,047	2,051	14,519

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 管理上の修繕等の対応により、トラブルなく順調です。 アンケート調査による満足度は、100%の最高状態で順調です。 (原因) 施設維持管理は定期的に修繕等をその都度実施しています。令和2年度から公民館主事の専任1人配置も大きな要因と思われます。洋式トイレ温水便座の取替え、キャスター付き机の購入などアンケートの意見を反映させたことや、エアコン取替え照明機器LED化改修工事による環境整備、親切的な対応を心がけたことが要因と思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 計画的な施設整備を実施し、利用者の要望に可能な限り応えることにより成果向上に努めます。

長月公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検等により適正な施設管理に努めました。 (2) 非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1) 運営審議会(8人)を設置しました。 (2) 運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1) 年末年始、祝祭日及び毎週月曜日を除く日を閉館しました。
【実績】 ・R6事業費 1,313千円	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 長月公民館管理運営関係者数 (人)	13	13	12	
	活動 長月公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 長月公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 長月公民館運営上の満足度 (%)	96.6	95	96.6	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1	0
		オ 一般	1,076	1,060	1,313
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,076	1,061	1,313	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設管理上のトラブルはなく運営できました。 (原因) 利用者の要望等について、対処することができました。 (余地) 公民館に対する利用者からの意見を十分精査して運営に反映させることで、満足度が向上すると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

赤水公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検委託業務等により適正な施設管理に努めました。 (2) 非常勤管理人を置きました。
2 運営	(3) 空調等改修工事を行い、空調設備及び照明設備の改修を行いました。 (1) 運営審議会(7人)を設置しました。 (2) 運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1) 館主を置きました。 (2) 年末年始、祝祭日及び火曜日を除く日を開館しました。
【実績】 ・ R6事業費 11,004千円	

特定財源情報
・ 緊急防災・減災事業債 4,200千円 ・ 公民館使用料 2千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 赤水公民館管理運営関係者数 (人)	11	11	11	
	活動 赤水公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 赤水公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 赤水公民館運営上の満足度 (%)	90.2	90.6	90.6	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	4,200
		エ その他	0	0	2
		オ 一般	1,382	1,658	6,802
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,382	1,658	11,004	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設管理上のトラブルもなく運営できています。 (原因) 保守点検時や利用時に発見された不具合は、速やかに修繕などの対応をしています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 住民が安全で快適に利用できるよう、長期的な視野に立った維持管理を行うことで、成果向上に努めます。

中浦公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(8人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)年未年始、祝祭日及び毎週水曜日を除く日を開館しました。
【実績】 ・R6事業費 4,124千円	

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> 行政財産使用料 20千円 公民館使用料 3千円 雑入(経常)電気使用料 181千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 中浦公民館管理運営関係者数(人)	12	12	12	
	活動 中浦公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 中浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 中浦公民館運営上の満足度(%)	90.6	90.5	90.5	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	42,000	0
		エ その他	0	369	204
		オ 一般	5,399	4,235	3,920
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,399	46,604	4,124

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合もトラブルもなく運営できています。 (原因)保守点検時や利用時に発見された破損や不具合は、速やかに修繕などの対応をしています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)住民が安全で快適に利用できるよう、長期的な視野に立った維持管理を行うことで、成果向上に努めます。

城辺公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	267
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2) 常勤管理人を置きました。
2 運営	(1) 運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2) 運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1) 毎週火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 館内壁紙張替 286千円、ブラインド等取替 559千円、外構改修 199千円 ・ 1階ロビー空調更新工事 4,675千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政財産使用料(災害時救援対応自動販売機売上手数料) 23千円 ・ 公民館使用料 52千円 ・ 公民館過年度使用料 1千円 ・ 雑入(災害時救援対応自動販売機電気料実費) 72千円 ・ 緊急防災・減災事業債 4,600千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動		城辺公民館管理運営関係者数(人)	11	10
活動		城辺公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3
成果		城辺公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		城辺公民館運営上の満足度(%)	91.4	97.9	97.7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	4,600
		エ その他	133	117	148
		オ 一般	4,971	7,914	8,093
	カ 事業費(ア~オ合計)		5,104	8,031	12,841

成果実績評価	成果状況	(状況)管理上の不都合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で0.2ポイント低下しています。 (原因)職員の対応、施設の適切な維持管理及び管理人の日常清掃による施設、衛生設備の清潔感の保持は依然評価されています。館内や駐車場の案内等をわかりやすくしてほしい、などの要望が出ています。 (余地)管理人と協力し、館内清掃による清潔感の保持を継続し、施設設備の機能不全となったものから計画的に修繕等を実施することにより来館者の快適な施設利用に努めます。また、引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

僧都公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	269
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託料等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を開館しました。

特定財源情報	
公民館使用料 2千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 僧都公民館管理運営関係者数(人)	12	12	12	
	活動 僧都公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 僧都公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 僧都公民館運営上の満足度(%)	87.2	90.7	91.1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	2	2
		オ 一般	2,636	2,853	3,011
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,636	2,855	3,013	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で0.4ポイント上昇しました。 (原因)職員への話しやすい環境や室内、トイレが清潔に保たれていることが評価されているものと思われます。 (余地)引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

東海公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	269
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を2人(東海公民館・中玉分館)置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員9人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主(東海公民館)兼分館長(中玉分館)を置きました。 (2)東海公民館/第1、第3、第5日曜日及び第2、第4月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。 中玉分館/日、月、土曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。

特定財源情報	
公民館使用料	5千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 東海公民館管理運営関係者数(人)	13	13	14	
	活動 東海公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 東海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 東海公民館運営上の満足度(%)	98.4	98.3	96.3	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	23,800	0	0
		エ その他	0	0	5
		オ 一般	14,559	4,187	4,505
	カ 事業費(ア～オ合計)	38,359	4,187	4,510	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で2ポイント低下しました。 (原因)施設内設備の規模や2階への移動手段に対する不満によるものです。 (余地)引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

久良公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	271
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)第1、第3、第5日曜日及び第2、第4月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備改修工事3,102千円を実施しました。 ・1階トイレ改修工事1,232千円を実施しました。 ・1階研修室エアコン96千円を購入しました。 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急防災・減災事業債 3,100千円 ・公民館使用料 2千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動		久良公民館管理運営関係者数(人)	12	12
活動		久良公民館運営審議会開催回数(回)	3	2	3
成果		久良公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		久良公民館運営上の満足度(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,507	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	3,100
		エ その他	0	0	2
		オ 一般	3,577	3,511	5,006
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,084	3,511	8,108

成果実績評価	成果状況	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、最高状態維持となりました。 (原因)館主が地域要望・問題を的確に捉えるとともに、管理人が施設の環境美化及び不具合箇所の早期発見に努めています。 (余地)両成果指標とも最高状態にあるため成果向上余地は小ですが、引き続き、公民館アンケート等から意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

緑公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	271
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託料等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。

特定財源情報	
公民館使用料 11千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 緑公民館管理運営関係者数(人)	12	12	12	
	活動 緑公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 緑公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 緑公民館運営上の満足度(%)	96.2	98.3	98.1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	16,000	0
		エ その他	0	3	11
		オ 一般	6,013	23,703	4,311
		カ 事業費(ア~オ合計)	6,013	39,706	4,322

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で0.2ポイント低下しました。 (原因)利用申請が分かりにくいとの声がありました。 (余地)申請の際のサポートなどを行い、可能な限り住民に寄り添います。引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

深浦公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	273
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員10人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)第1、第3、第5日曜日及び第2、第4火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。

特定財源情報
公民館使用料 3千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 深浦公民館管理運営関係者数 (人)	14	14	13	
	活動 深浦公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 深浦公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 深浦公民館運営上の満足度 (%)	98.4	92.8	95.4	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	80	61	3
		オ 一般	3,051	3,158	3,250
	カ 事業費(ア~オ合計)	3,131	3,219	3,253	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で2.6ポイント上昇しました。 (原因)施設の有効利用者の満足度が原因です。今後も施設内の事故防止のため、不具合箇所の早期発見に努めます。 (余地)引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松公民館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	273
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。
2 運営	(1) 運営審議会(正木・上大道公民館合同11人)を委嘱しました。 (2) 運営審議会(正木・上大道公民館合同)を3回開催しました。 (3) 分館長・分館主事に公民館支援業務を委託しました。
3 共通	(1) 兼任職員館長を1名置きました。 (2) 年末年始及び祝日並びに毎週月曜日を除く日を閉館しました。

特定財源情報	
施設使用料	17千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 一本松公民館管理運営関係者数(人)	14	14	14	
	活動 一本松公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 一本松公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 一本松公民館運営上の満足度(%)	100	90.4	98.4	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	7,200	0
		エ その他	3	7	17
		オ 一般	6,175	5,418	5,977
	カ 事業費(ア~オ合計)	6,178	12,625	5,994	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用者とのトラブルはなく、事業の成果としては順調です。 (原因) すべての分館施設において築年数が経過していますが、早期に不良個所のチェックができ対応できていることが要因です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 利用者や地区住民の生涯学習の場としてふさわしい機能を備えた施設が老朽化しています。改修範囲が拡大、突発的な損傷が想定されます。そのため施設点検が必要になっていると思われます。

正木公民館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	275
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 運営	(1)運営審議会委員(一本松・上大道公民館合同11名)を委嘱しました。 (2)運営審議会(一本松・上大道公民館合同)を3回開催しました。
2 共通	(1)兼任職員館長を1名置きました。 (2)非常勤館主を1名置きました。 (3)兼任職員主事を1名置きました。 (4)年未年始、祝日及び毎週月曜日を除く日を閉館しました。

特定財源情報	
施設使用料	1千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 正木公民館管理運営関係者数(人)	14	14	14	
	活動 正木公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 正木公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 正木公民館運営上の満足度(%)	95.8	95.7	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1
		オ 一般	472	8,181	740
	カ 事業費(ア~オ合計)	472	8,181	741	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)利用者とのトラブルはなく、事業の成果としては順調です。 令和6年度に実施したアンケート調査による満足度は100%でした。 (原因)移転に伴い、利用頻度が多くなり利便性が向上したためと考えられます。 (余地)利用者の利便性を向上できるような、計画的な施設整備の検討が必要と思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

上大道公民館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	275
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 運営	(1)運営審議会委員(一本松・正木公民館合同11名)を委嘱しました。 (2)運営審議会(一本松・正木公民館合同)を3回開催しました。
2 共通	(1)兼任職員館長を1名置きました。 (2)非常勤館主を1名置きました。 (3)兼任職員主事を1名置きました。 (4)年未年始、祝日及び毎週月曜日を除く日を開館します。

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 上大道公民館管理運営関係者数(人)	14	14	14	
	活動 上大道公民館運営審議会開催回数(回)	3	3	3	
	成果 上大道公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 上大道公民館運営上の満足度(%)	82.6	84.6	83.3	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	710	724	738
	カ 事業費(ア～オ合計)	710	724	738	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)利用者とのトラブルはなく、事業の成果としては順調です。 令和6年度に実施したアンケート調査による満足度は83.3%でした。 (原因)施設維持管理等を実施しており、修繕件数等が少なかったことが要因となっています。しかし、施設の老朽化のため利用者からの満足度は横ばいと思われれます。 (余地)利用者の利便性を向上できるような、計画的な施設整備の検討が必要と思われれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	277
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。 (2)常勤管理人を1名に委託しました。
2 運営	(1)運営審議会委員を4名に委嘱しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除き開館しました。
【実績】 ・施設の管理運営のため、光熱水費、修繕料及び各種点検等、合計6,657千円を支出しました。	

特定財源情報	
公民館使用料	3千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 西海公民館管理運営関係者数 (人)	7	7	7	
	活動 西海公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 西海公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 西海公民館運営上の満足度 (%)	98.1	95.7	85.2	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	9	7	3
		オ 一般	4,689	5,161	6,654
	カ 事業費 (ア～オ合計)	4,698	5,168	6,657	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度と比較して、公民館アンケートによる施設の満足度は10.5ポイント低下となっています。 (原因)各種点検と早期修繕を実施しましたが、施設の老朽化が満足度減少の主な要因と考えます。 (余地)住民アンケートなどを活用し、住民の意見を反映した公民館管理が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

福浦公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	277
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。 (2)常勤管理人を福浦公民館に1名に委託しました。
2 運営	(1)運営審議会委員を5名に委嘱しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)福浦公民館主、武者泊分館長、武者泊分館主事をそれぞれ1名に委嘱しました。 (2)福浦公民館は土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除き開館し、武者泊分館は事業実施時に開館しました。
【実績】 ・施設の管理運営のため、光熱水費、修繕費、各種点検及び2階ホール空調機取替工事等、合計5,224千円を支出しました。	

特定財源情報	
公民館使用料 6千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 福浦公民館管理運営関係者人数 (人)	10	10	10	
	活動 福浦公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 福浦公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 福浦公民館運営上の満足度 (%)	98.5	100	98.1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	26,000	0
		エ その他	6	9	6
		オ 一般	5,483	5,895	5,218
	カ 事業費 (ア～オ合計)	5,489	31,904	5,224	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較して、公民館アンケートによる施設の満足度は1.9ポイント低下となっています。 (原因) 各種点検、早期修繕及び改修工事を実施しましたが、施設の老朽化が満足度減少の主な要因と考えます。 (余地) 住民アンケートなどを活用し、住民の意見を反映した公民館管理が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西浦公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	279
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。
2 運営	(1)運営審議会委員を4名に委嘱しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主を1名に委嘱しました。 (2)土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く、月曜日及び金曜日の午前中開館しました。
【実績】 ・施設の管理運営のため、光熱水費、修繕料及び各種点検等、合計897千円を支出しました。	

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 西浦公民館管理運営関係者数 (人)	7	7	7	
	活動 西浦公民館運営審議会開催回数 (回)	3	3	3	
	成果 西浦公民館管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 西浦公民館運営上の満足度 (%)	95.2	83.9	83.7	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	707	795	897
	カ 事業費 (ア～オ合計)	707	795	897	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度と比較して、公民館アンケートによる施設の満足度は0.2ポイント低下となっています。 (原因)各種点検と早期修繕を実施しましたが、施設の老朽化が満足度減少の主な要因と考えます。 (余地)住民アンケートなどを活用し、住民の意見を反映した公民館管理が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

トレッキング・ザ 空海開催事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	279
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	04 文化財の保護・活用	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会（20名事務局含）を4回／年開催しました。
トレッキング・ザ・空海あいなん内海支部会（14名事務局含）を1回／年開催しました。
団体の協力を得て実施しました。
句会ライブを同時開催しました。
クリーン作戦を同時開催しました。
2日間開催でスタッフやボランティアの協力依頼しました。
また、接待箇所継続依頼や、PRでは地域とのイベントを実施しました。

【実績】

- 開催日：11月16日（土）17日（日）
- 参加者：16日（松尾坂）参加者108人、スタッフ48人、ボランティア122人
17日（柏坂）参加者183人、スタッフ41人、ボランティア77人、句会50人
- 参加料：500円（高校生以下は無料）

特定財源情報

- 四国クリエイティブ協会助成金 150千円
- イベント参加料 98千円（トレッキング参加料95千円・お菓子作り教室参加料3千円）

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 実行委員会などの協議回数 (回)	4	4	4	
	活動				
	成果 ボランティア、トレッキング参加者数 (人)	747	667	540	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	280	288	248
		オ 一般	1,532	1,453	1,617
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,812	1,741	1,865	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 11月16日(土)、17日(日)の両日、開催しました。参加者数、特に句会ライブが年々少なくなっています。 (原因) マンネリ化や他のイベントとのブッキング、句会ライブの講師が変更になったことが考えられます。 (余地) 広く周知されているイベントであり、地域活性化につながっていますが回数も重ねてき、参加者数の減少が見受けられます。他市町のイベント等とブッキングによる影響が出やすい事業につき注視しながら開催していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

文化財保護啓発事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	279
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	04 文化財の保護・活用	目	04 文化財保護費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>町内に所在する文化財への理解を深めることを目的に、講座や体験事業を開催しました。また、平城公民館平城貝塚展示室の見学者に対し、要望に応じて解説等を行ったほか、町内の教職員及び児童生徒に対しても郷土学習の機会を提供しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子伝統芸能鑑賞事業 報償費 110千円 ・平城貝塚啓発事業(2回) 報償費他 379千円(平城貝塚パンフレット増刷含む) ・生涯学習講座事業(4回) 報償費他 18千円 ・高校生まちづくりワークショップ事業 97千円

特定財源情報
<p>雑入(『愛南町史』売上金) 10千円</p>

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 講座・学習会の開催数(回)	6	8	8	
	活動 CATVにおける文化財等の放映数(回)	5	3	6	
	成果 講座・学習会の参加者数(人)	274	185	210	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,055	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	10	10
		オ 一般	1,079	1,107	594
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,134	1,117	604

成果 実績 評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況)文化財保護及び啓発にかかる講座や学習会の参加者数は25名増加し、前年度から13.5ポイント上昇しています。</p> <p>(原因)講座形式の事業実施数を増やしたことに加え、その場に訪れなければ参加できない体験型イベントの実施を継続して行ったことで、参加者数が増加したものと考えられます。</p> <p>(余地)今後も、講座形式の事業だけでなく体験型事業の実施を継続し、参加者にとってより魅力的な事業を企画することで、参加者数の増加を見込むことができると考えられます。</p>
----------------	--	--

御荘文化センター図書室運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>多くの町民に図書室を利用してもらうため、図書の貸出・購入を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 60千円 ・消耗品費 954千円 他

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 図書購入数(冊)	467	531	526	
	活動				
	成果 御荘文化センター図書室貸出冊数(冊)	5,177	5,878	7,098	
	成果 御荘文化センター図書室貸出人数(人)	2,349	2,733	3,324	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	845	973	1,061
	カ 事業費(ア～オ合計)	845	973	1,061	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 延べ貸出冊数は20.8ポイント増、延べ貸出人数は21.6ポイント増でした。</p> <p>(原因) テーマに沿った図書の展示を行い、読書に関心を持ってもらう環境づくりに努めたことが、貸出人数の増加につながったものと考えられます。</p> <p>(余地) 新刊図書の紹介や図書に関する展示を工夫するなど、さらに読書に関心を持ってもらうことによって、読書人口を増やす余地があるものと思われます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘文化センター自主開催事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
町民が身近に舞台芸術や文化講演・イベント等を楽しむことができるよう、ホールを使用し自主事業を開催しました。
【実績】 ・事業を4回実施し、2,309名の来場者に公演を行いました。 ・委託費 15,252千円

特定財源情報
雑入（チケット販売料） 3,165千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 開催件数 (回)	4	3	4	
	活動				
	成果 御荘文化センター自主開催事業の年間入場者数 (人)	1,011	1,234	2,309	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,693	5,096	3,165
		オ 一般	4,413	4,330	12,087
		カ 事業費 (ア～オ合計)	10,106	9,426	15,252

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 4事業で5回開催し、2,309人の入場者がありました。 (原因) 1事業を昼夜2部公演で実施したことが要因です。 (余地) 引き続き、積極的な事業周知を行い、入場者数の増加を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘文化センター管理運営事業

御荘支所 御荘支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

施設維持管理のため、各種保守点検、老朽化・経年劣化等の修繕を実施しました。

【実績】

- ・需用費（消耗品費、光熱水費） 10,031千円
- ・修繕費（重量シャッター修繕ほか） 4,269千円
- ・役務費（浄化槽法定検査手数料ほか） 591千円
- ・委託料（施設清掃委託料外16件） 10,441千円
- ・使用料及び賃借料（CATV受信料ほか） 670千円
- ・工事費（舞台吊物制御盤・操作盤等改修工事） 23,595千円
- ・備品購入費（ワイヤレスマイクほか） 133千円
- ・負担金補助及び交付金 28千円

特定財源情報

- ・過疎対策事業債 23,800千円
- ・行政財産使用料 41千円
- ・御荘文化センター使用料 1,923千円
- ・建物貸付収入 851千円、
- ・雑入 142千円
- ・ふるさとづくり基金繰入金 10,520千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持修繕件数 (件)	11	13	9	
	活動 貸館件数 (件)	583	742	761	
	成果 御荘文化センター施設維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0	
	成果 御荘文化センターの利用者数 (人)	14,287	21,645	28,327	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	68,400	10,400	23,800
		エ その他	6,507	17,415	13,477
		オ 一般	17,079	6,118	12,481
		カ 事業費 (ア～オ合計)	91,986	33,933	49,758

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用者とのトラブルはなく、事業の成果としてはほぼ順調でした。 (原因) 施設維持管理や修繕等を実施していることもあり、トラブルの発生は抑えられています。 (余地) 社会・経済活動の回復に伴い、利用者数の増加は十分見込まれると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

学校保健 体育支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	01 保健体育総務費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施し、安心安全で健康的な環境づくりを行いました。 ・学校体育会の開催に要する経費を負担しました。 ・学校体育会の要望する備品等について、予算の範囲内において購入し運営の促進を図りました。 ・中学校部活動外部指導員を配置し、協力日数に応じて謝礼を支払いました。 ・学校を中心とした食育推進事業を愛南町食育協働部会と連携して、食育推進事業を実践しました。 	
【実績】	
<ul style="list-style-type: none"> ・委員等報酬 990千円・報償費 1,832千円・旅費 12千円・食糧費 37千円 ・消耗品費 384千円・印刷製本費 288千円・医薬材料費 89千円 ・検査手数料 5,674千円・施設使用料 25千円・負担金 1,041千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツ振興センター保護者負担金 416千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 5,000千円 	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 学校体育会等開催回数 (回)	6	17	5	
	活動 大会等の回数 (回)	7	5	7	
	成果 参加人数 (人)	869	970	898	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	762	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,047	3,425	5,416
		オ 一般	8,038	8,407	4,956
		カ 事業費 (ア～オ合計)	10,847	11,832	10,372

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 団体競技では上位大会の活躍が難しくなっています。 (原因) 児童生徒の減少で、団体競技の定数確保ができない場合等の事例が出てきています。 (余地) 中学校における合同チームへの指導や外部指導者等を活用する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

スポーツ少年団事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>団員の競技力、体力向上を推進するため町スポーツ少年大会を開催しました。 また、団員の競技力、体力向上並びに健全育成を推進するため各スポーツ少年団単位団に対して補助金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団補助金 1,314千円 (15団体)

特定財源情報
ふるさとづくり基金繰入金 1,300千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 スポーツ少年大会の開催回数 (回)	5	6	7	
	活動 スポーツ少年団への加入数 (人)	263	263	279	
	成果 スポーツ少年団への加入率 (%)	38.4	41.4	45.7	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,500	1,400	1,300
		オ 一般	44	385	709
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,544	1,785	2,009	

成果実績評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) スポーツ少年団の加入率は前年度に比べ4.3ポイント上昇しました。 (原因) 補助金を交付する等の活動支援を行ったためです。 (余地) 未加入の児童向けに、活動中のスポーツ少年団を紹介することにより、加入率の向上を図ります。</p>
--------	--	---

スポーツ推進委員事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>本町におけるスポーツの推進のため、スポーツの実技指導及び組織の育成を図りました。また、その職務を遂行するため、委員相互の連携を保ち、事業の実施に係る連絡調整のため、スポーツ推進委員連絡会議を年2回開催しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会議：2回開催 ・研修事業：3事業 県協議会研修会（松山市）、 宇和島地区研修会（松野町）、四国地区研修会（徳島県） ・協力事業：4事業 トライアスロン大会（6月）、 体力・運動能力調査（10月）、スポーツフェスタ（10月）、 マラソン大会（2月）

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 会議回数（回）	2	2	2	
	活動 協力事業計画数（回）	8	9	8	
	成果 会議 協力事業数の合計（回）	7	11	9	
	成果				
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	812	819	617
	カ 事業費（ア～オ合計）	812	819	617	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>（状況）令和5年度実績より2ポイント低下しました。</p> <p>（原因）協力事業の日程変更及び協力事業数減によるためですが、当初予定していた協力事業数は達成しました。</p> <p>（余地）計画通りの事業実施を進めていきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

スポーツ協会補助事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>スポーツ協会の活動支援のために補助金を交付しました。 スポーツ協会やその加盟団体の活動に対し事務局として各種大会運営補助などの支援を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会補助金 2,400千円

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助団体数 (件)	15	15	15	
	活動 補助金額 (円)	2,400,000	2,400,000	2,400,000	
	成果 スポーツ協会主催大会数 (回)	2	2	2	
	成果 スポーツ協会主催大会参加者数 (人)	546	418	680	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,400	2,400	2,400
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,400	2,400	2,400	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 大会開催数は前年度と同じ2回でしたが、参加者数は延べ680人と62.7ポイント上昇しました。 (原因) 天気に恵まれ、屋内・屋外競技とも予定通り大会が開催できたためと考えます。 (余地) 引き続き加盟種目団体と連携し事業の充実を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

スポーツ競技大会出場助成事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>スポーツ競技力向上推進を図るため、全国大会以上の競技会に出場する選手、監督又はコーチに対し、スポーツ競技大会出場助成金を交付しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会出場懸垂幕 440千円(10本) ・スポーツ競技大会出場助成金 750千円(13大会 25名)

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・成果状況	活動 全国大会等選手派遣助成金 交付申請数(個人・団体)(件)	26	26	25	
	活動 助成金額(円)	735,000	590,000	750,000	
	成果 全国大会等選手派遣助成金 交付決定数(個人・団体)(件)	26	25	25	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,052	1,031	1,190
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,052	1,031	1,190	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 助成金交付決定数は、前年度25件に対し令和6年度は25件と同じで、当初目標の10件を達成しています。 (原因) ソフトテニスや相撲競技など一部競技で全国レベルの選手育成が進んでいることが原因として考えられます。 (余地) 各種競技団体と連携し助成対象者の把握に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

スポーツ大会助成金事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
各種スポーツ団体が主催する対象事業に対して補助金を交付しました。	
【実績】	
・愛南サッカーフェスティバル	1,200千円
・あけぼのバレーボール大会	150千円
・愛南杯テニス大会	150千円
・南宇和剣道大会	200千円
・一本松剣道大会	200千円

特定財源情報	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (千円)		1,900	1,900	
	活動				
	成果 各種大会参加者数 (人)		2,240	2,580	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	2,100	1,900
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	2,100	1,900

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 町内5つの大会に助成金を交付し、参加者は合計2,580人となりました。 (原因) 交付先は減少したものの、他の大会で参加者が増加したため、実績増となっています。 (余地) 参加チーム数等から考えて、現状が適正であると考えため成果向上の余地は小さいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校社会体育等活動事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	02 各種スポーツ活動への参加機会の充実	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
各中学校生徒の積極的な社会体育活動等への取組を促進するため、活動に要する経費を補助しました。
【実績】 ・社会体育及び文化活動事業費補助金 2,038千円 4団体

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助件数 (件)	5	5	4	
	活動 補助金額 (円)	2,306,000	2,151,000	2,038,000	
	成果 中学生の社会体育活動等参加者数 (人)	1,444	1,689	1,506	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,306	2,151	2,038
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,306	2,151	2,038	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 中学生の社会体育活動(文化部含む)参加者数が前年に比べ10.8%低下しました。 (原因) 前年度と比較して、生徒数の減少及び一大会当たりの参加者数が減少したことによります。 (余地) すでに生徒のほとんどが部活動に所属しており、大会の数も限られるため参加者数増加の余地はほとんど無いと思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

愛南町いやしの郷トライアスロン大会実行委員会補助事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	04 スポーツツーリズムの推進	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
第11回愛南町いやしの郷トライアスロン2024を開催しました。
【実績】
・開催日 令和6年6月1日(土)13時競技開始
・会場 愛南町西海地域
・参加者 285名(エントリー数305名)
・完走者 259名
・実行委員会を2回(5月・11月)開催しました。
・実行委員会へ補助金11,000千円を交付しました。

特定財源情報
市町振興協会助成金 4,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 大会参加者数(人)	0	987	1,105	
	活動 補助金額(円)	1,200,000	10,300,000	11,000,000	
	成果 愛南町いやしの郷トライアスロン大会エントリー人数(人)	0	280	305	
	成果 協賛社数(件)	0	34	33	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	4,000	4,000
		オ 一般	1,200	6,300	7,000
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,200	10,300	11,000	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) エントリー数は定員の80.2%と目標には達しませんでした。昨年より増加しました。 (原因) 参加者についてはコロナ禍での選手のトライアスロン離れが要因であると考えます。 (余地) 命に関わる大きな事故もなく終了することが出来ました。アンケートでも愛南大会の高評価は健在であり、今後も参加者の増加が期待できると思われれます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

内海運動公園管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>利用者の利便性向上や安全性確保のため施設の適正管理を行いました。 開館時間：7時から22時まで 予 約：内海公民館 休業日：なし 【実績】 ・年間利用人数937人 ・倉庫等の附帯設備（倉庫・バックネット裏屋根等）を改修しました。 改修工事費8,905千円 設計・監理528千円 ・修繕1件（給水管漏水）</p>

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎対策事業債 3,500千円 ・夜間照明使用料 15千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	2	2	1	
	活動	0	0	0	
	成果 内海運動公園の施設維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0	
	成果 内海運動公園年間利用者数 (人)	565	1,542	937	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	3,500
		エ その他	519	5	15
		オ 一般	183	819	6,789
	カ 事業費 (ア～オ合計)	702	824	10,304	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度から年間利用者数が39.2ポイント低下していますが、目標値は達成しています。 (原因) 昨年度からの減少は大会数等の減少が要因であると考えます。 (余地) 今後も適正な管理を行うことで、利用数の維持、増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松体育館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和13年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>施設利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。</p> <p>開館時間 8時30分から22時 休館日 年末年始 予 約 一本松公民館</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人数 2,439人 ・修繕4件 (ステージ幕、照明器具、外部亀裂、屋上防水)

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・行政財産使用料 8千円 ・夜間照明使用料 85千円 ・土地貸付収入 8千円 ・雑入 63千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	2	0	4	
	活動	0		0	
	成果 一本松体育館年間利用者数 (人)	2,225	2,800	2,439	
	成果 一本松体育館の運営 維持管理上の事故・トラブル件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8	157	164
		オ 一般	1,536	1,346	1,237
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,544	1,503	1,401	

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 前年度から施設年間利用者数が12.9ポイント低下しています。</p> <p>(原因) 利用団体の減少や施設の老朽化が要因であると考えます。</p> <p>(余地) 今後の利用については、除却までに必要な管理を行いますが、成果向上の余地は低いと考えます。</p>
--------	--	--

西海体育館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間 8時30分から22時まで ・休館日 年末年始 ・予約 西海公民館 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人数 1,492人 ・修繕1件(漏電修繕)

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・行政財産使用料 6千円 ・夜間照明使用料 42千円 ・雑入 35千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数(件)	2	2	1	
	活動		0	0	
	成果 西海体育館年間利用者数(人)	1,557	1,296	1,492	
	成果 西海体育館の運営・維持管理上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	35,100	0
		エ その他	99	80	83
		オ 一般	2,564	2,128	976
	カ 事業費(ア～オ合計)	2,663	37,308	1,059	

成果 実績 評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 前年度から施設年間利用者数が15.1ポイント上昇していますが、目標値には達しませんでした。</p> <p>(原因) 大きな事故もなく施設の利用が出来た事が要因であると考えます。</p> <p>(余地) 今後の利用については、改修した施設をPRし利用促進に繋げることで利用者の増加が見込めます。</p>
----------------	--	--

学校開放施設管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象 体育館及びグラウンド ・開 放 日 日曜日・祝日・長期休業・時間外・平日 ・開館時間 4月～10月 / 午前9時から午後5時まで、午後7時から午後10時まで 11月～3月 / 午前9時から午後5時まで、午後6時から午後10時まで ・予 約：各校区公民館 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人数 32,923人 ・修繕6件 (旧西海中学校引戸錠、旧西浦小学校ダウンライト、旧東海小学校屋根シーリング劣化部・体育館セクタースイッチ、旧西海中学校入口ガラス、町民グラウンド照明) 	

特定財源情報	
夜間照明使用料 675千円	

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	3	4	6	
	活動	0	0	0	
	成果 学校開放施設年間利用者数 (人)	21,801	29,072	32,923	
	成果 学校開放施設の運営 維持管理上の事故・トラブル件数 (件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	426	675
		オ 一般	2,343	2,379	2,733
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,343	2,805	3,408	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 前年度から年間利用者数が13.2ポイント上昇しました。 (原因) 大きな事故もなく施設利用出来たため利用人数が増加したと考えます。 (余地) 今後の利用については、引き続き必要な維持管理を行うことで利用者の維持、増加が見込めます。
----------------	--	--

水泳・エアロビクス教室運営事業

教育委員会部局 御荘B&G海洋センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	289
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	02 各種スポーツ活動への参加機会の充実	目	04 御荘海洋センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
健康維持増進、体力の向上を図るため、年間198回の教室を開催しました。	
・水泳教室：968回、7,440名 (R6.4 187名 R7.3 196名)	
・エアロビクス教室：80回、762名 (R6.4 29名 R7.3 28名)	
・キッズダンス教室：85回、649名 (R6.4 17名 R7.3 16名) (特別教室5回、75名)	

特定財源情報	
・海洋センター使用料 790千円	
・雑入 35千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
	活動	活動	水泳・エアロビクス教室の開催回数 (回)	948	1,184	1,133
成果	成果	水泳・エアロビクス教室の受講者数 (人)	6,653	9,026	8,851	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	0	0
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	462	883	825
			オ 一般	393	576	265
	カ 事業費 (ア～オ合計)		855	1,459	1,090	

成果実績評価	成果状況	(状況) 教室受講者数は、昨年度より、1.9% (175名) 減少しており、当初の目標は達成できていません。 (原因) エアロビクス・キッズダンス教室の会員数は、昨年度と比べ維持しているが、講師の先生の都合により、2ヶ月間休講したため減少したと考えられます。また、水泳教室会員数も減少しております。 (水泳教室受講者数 令和5年度末：205名、令和6年度末：196名) (余地) 各教室の事業周知を行い、会員数の増加を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

B & G財団関連事業

教育委員会部局 御荘B&G海洋センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	289
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	02 各種スポーツ活動への参加機会の充実	目	04 御荘海洋センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

B&G財団が推進する各種事業を実践するとともに、地域海洋センターの連携を強化するため、各種会議・研修会に参加しました。

- ・愛媛県B&G連絡協議会主催事業
- ・B&G四国ブロック連絡協議会主催事業
- ・B&G財団事業
- ・B&G全国サミット
- ・B&G全国教育長会議
- ・水辺の安全教室
- ・転倒・寝たきり予防事業（オタツシャ教室）

【実施事業】愛媛県B&G連絡協議会主催事業 外14件 192名

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 参加事業数 (事業)	14	21	15	
	活動				
	成果 参加延べ人数 (人)	183	408	192	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	298	1,059	510
	カ 事業費 (ア～オ合計)	298	1,059	510	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 昨年度実績と比較して参加事業数並びに参加延べ人数(216人)が減少しました。参加延べ人数については、当初の目標を達成し、72人増となりました。 (原因) 昨年度は、愛媛県B&G連絡協議会の事務局が終了したため、会議への出席回数が減りました。また、転倒・寝たきり予防事業の参加者数が減少したためだと考えられます。 (余地) 各種事業の参加者数が増えれば、成果の向上は見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘海洋センター管理運営事業

教育委員会部局 御荘B&G海洋センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	289
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 御荘海洋センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
安全かつ快適に利用できるよう、設備の点検・整備等、施設の維持管理を行いました。 【実績】 ・修繕費：太陽光パワーコンディショナー取替修繕 660千円 ・工事請負費：屋外照明（玄関前駐車場）取替工事 880千円 玄関横手摺り取付工事 394千円 ・備品購入費：スポットエアコン4台 792千円 プール用保温シート 253千円 ・委託料：プール棟塗装替等改修工事設計委託業務 3,069千円

特定財源情報
・行政財産使用料 122千円 ・御荘B & G海洋センター使用料 5,017千円 ・雑入 106千円 ・ふるさとづくり基金繰入金 4,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 施設維持管理上の修繕件数 (件)	16	13	17	
	活動				
	成果 御荘海洋センター施設維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	1	0	0	
	成果 御荘海洋センター施設利用者数 (人)	43,885	57,826	54,068	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,093	5,332	9,245
		オ 一般	22,501	20,425	21,324
	カ 事業費 (ア～オ合計)	26,594	25,757	30,569	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設の利用状況は昨年度より、6% (3,758名減) 減少しており、当初の目標は達成できていません。 (原因) 講師の先生の都合により、エアロピクス・キッズダンス教室、2ヶ月間の休講、並びに、体育館利用団体が減少したことが考えられます。 (余地) 施設の利用促進ができるような周知活動が必要だと考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

学校給食センター管理運営事業

教育委員会部局 学校給食センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	291
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本事業	04 健やかな体の育成	目	05 学校給食費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

・学校給食センターでは、「学校給食衛生管理基準」に基づくドライ方式を導入し、徹底した衛生管理により給食を提供しています。

・安心・安全な給食提供を最優先課題として、栄養教諭を中心に、地域に密着した食育に取り組んでいます。

・令和6年度は、園児11名、児童生徒1,101名、教職員257名（内、県立南宇和高等学校希望生徒158名、教員1名）及び試食等1名の1,370名に提供しました。

・給食費は幼稚園・小学校が250円、中学校が300円（いずれも教職員同額）、令和5年10月から園児、児童生徒は無償としています。（令和8年度末まで）また、県立南宇和高等学校の給食費は生徒が3千円(月額)、教員が250円としています。

特定財源情報

・南宇和高校学校給食保護者負担金 4,379千円
 ・給食センター運営費篠山小中学校組合負担金 3,667千円
 ・学校給食費職員等負担金 10,808千円 ・行政財産使用料 6千円
 ・ふるさとづくり基金繰入金 75,734千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 給食提供日数(日)	191	199	201	
	活動 給食提供人数(人)	224,249	234,329	234,616	
	成果 残食割合(食べ残しの割合)(%)	1.09	1.04	1.01	
	成果 給食調理上の衛生事故件数(件)	6	8	7	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	16,694	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	62,647	67,980	94,594
		オ 一般	33,594	25,624	18,133
		カ 事業費(ア～オ合計)	96,241	110,298	112,727

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)異物混入は、前年度と比較して、1件減少しており、成果としては横ばい です。 (原因)主な混入物である髪の毛やビニール片など、調理場での目視による発見に 努めています。 (余地)下処理や調理中のチェックにより混入物の取り除きを行っていますが、各 工程での確認作業の徹底等、なお一層の注意喚起を行い、調理中の混入防止に努め ていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

特 別 会 計

2 特別会計に関する報告

【国民健康保険特別会計】

(1) 総括

愛媛県が市町とともに財政運営の責任主体として、安定的な財政運営や効率的な事業確保など、中心的な役割を担うことにより国民健康保険の安定化に努めています。市町は、資格管理、保険給付、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担います。

決算収支は、歳入総額 2,926,849,537 円、歳出総額 2,901,059,729 円で、歳入歳出差引額は 25,789,808 円となりました。

また、保険税現年度分の収納率は、98.58%、現年度分と滞納繰越分の合計では 96.34% となりました。

歳入については、保険税が予算額に対して 8,345,134 円の増収、県支出金においては予算額に対し 18,484,746 円の減収となり、歳出については、保険給付費と予備費において不用額 31,316,146 円を生じました。

(2) 歳入

(ア) 国民健康保険税

平成 26 年度の税率を変更せずに据え置くこととしました。当初予算においては 369,352 千円を計上していましたが、最終調定額は 436,632,988 円、収入済額は 420,920,134 円となりました。

区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
	円	円	円	円	%	円
現年度分	417,212,000	411,501,092	0	5,933,908	98.58	223,000
医療分	295,507,968	291,633,950	0	4,036,485	98.63	162,467
後期分	89,784,668	88,595,393	0	1,224,108	98.64	34,833
介護分	31,919,364	31,271,749	0	673,315	97.89	25,700
滞納繰越分	19,420,988	9,419,042	1,307,059	8,737,287	48.28	42,400
医療分	12,996,793	6,295,015	873,165	5,855,613	48.23	27,000
後期分	3,933,121	1,909,930	260,679	1,770,512	48.36	8,000
介護分	2,491,074	1,214,097	173,215	1,111,162	48.44	7,400
合 計	436,632,988	420,920,134	1,307,059	14,671,195	96.34	265,400

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(現年度分保険税の説明)

区 分	金 額	備 考
1 世帯当たり調定額	121,659 円	世帯数 3,589 世帯 (年度平均)
1 人当たり調定額	82,430 円	被保険者数 5,297 人(年度平均)

(イ) 県支出金

予算額2,178,495千円に対して決算額2,160,010,254円で18,484,746円の減収となりました。主な要因として、保険給付費等交付金(普通交付金)が18,918,342円の減収、保険者努力支援分が1,630,000円の増収が上げられます。

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
保 険 給 付 費 等 交 付 金	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (普 通 交 付 金)	円 2,140,455,000	円 2,121,536,658	円 △ 18,918,342
	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (特 別 交 付 金)	36,730,000	37,527,596	797,596
	保 険 者 努 力 支 援 分	11,489,000	13,119,000	1,630,000
	特 別 調 整 交 付 金 分 (市 町 村 向 け)	11,461,000	10,719,000	△ 742,000
	都道府県繰入金(2号分)	5,570,000	5,479,596	△ 90,404
	特定健康診査等負担金	8,210,000	8,210,000	0
健康増進事業費県補助金		1,309,000	946,000	△ 363,000
財政安定化基金交付金		1,000	0	△ 1,000
合 計		2,178,495,000	2,160,010,254	△ 18,484,746

(3) 歳 出

予算額2,938,545千円に対して決算額は2,901,059,729円となりました。歳出の内73.30%を占める保険給付費の決算額は2,126,391,854円となり、21,316,146円の不用額を生じました。

令和6年度の療養諸費の保険者負担分は年間ベースで対前年比0.3%の増となりました。

(ア) 療養諸費の保険者負担分(一般、退職者分療養給付費及び療養費)の状況

区 分	本 年 度	前 年 度	増減率	備 考
(保険者負担) 町 負 担 金	円 1,818,952,716	円 1,814,385,047	% 0.3	

(イ) 納付金

医療給付費分	439,035,610	円
後期高齢者支援金等分	159,279,122	円
介護納付金	50,446,351	円

(ウ) その他の給付費

高額療養費	11,936	件	303,359,525	円
出産育児一時金	6	件	3,000,000	円 (1件 500,000 円)
葬祭費	39	件	780,000	円 (1件 20,000 円)

(エ) 特定健康診査・特定保健指導（補助対象分）

区分	対象者数	受診人数	受診率	補助対象事業費
特定健康診査	人 4,567	人 1,785	% 39.08	円 21,065,564
特定保健指導	212	134	63.20	179,339

(オ) 国保加入率の状況（3月末日現在）

区分	本年度		前年度		比較増減	
	人員等	加入率	人員等	加入率	人員等	加入率
加入世帯	世帯 3,502	% 35.99	世帯 3,659	% 36.97	世帯 △157	ポイント △0.98
被保険者数	人 5,144	28.05	人 5,408	28.65	人 △264	△0.60

(カ) 決算収支1人当たり額（3月末日現在加入者）

収入	568,983	円	（対前年度比	5.78	%）
支出	563,970	円	（対前年度比	5.75	%）
収支差引	5,013	円	（対前年度比	9.22	%）

主要な施策の成果については、次のとおりです。

国民健康保険税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	01 総務費	決算書 ページ	321
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 総務管理費		
基本事業	05 医療保険制度の健全運営	目	01 一般管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

- ・ 5月末までに課税に必要な国保資格異動、所得状況のチェックを行い、適正な課税を行いました。
- ・ 6月：課税決定をし、対象世帯に納税通知書を送付しました。
- ・ 毎月：1期～10期まで納付書（口座登録者以外）を送付しました。
- ・ 毎月：国保資格異動、所得の変更による更正通知を送付しました。
- ・ 毎月：納期限から20日経過した未納の方へ督促状を送付しました。

【実績】

- ・ 国民健康保険税専用帳票作成事務 143千円
- ・ 口座振替払込手数料 171千円
- ・ 口座振替業務委託料 266千円

特定財源情報

事務費繰入金 580千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 納税通知書及び納付書発送数 (件)	4,145	4,226	4,050	
	活動 未納者への督促状発送数 (件)	2,569	1,889	1,767	
	成果 行政の責のある国保税課税誤り件数 (件)	0	0	0	
	成果 国保税収納率 (現年度)(%)	98.21	98.27	98.58	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,546	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	340	491	580
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,886	491	580	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)算定誤り件数は0件で、収納率(現年度)は、昨年度と比較して0.31ポイント上昇した98.58%となっており、僅かながら昨年を上回り成果としては順調です。</p> <p>(原因)その原因としては、対象者への丁寧な制度説明や未納者に対する滞納処分の強化等と思われます。</p> <p>(余地)引き続き、滞納処分を含めた収納対策等の強化を図ることで、向上の余地はあると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[746]

特定健康診査事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	06 保健事業費	決算書 ページ	325
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 特定健康診査等事業費		
基本 事業	05 医療保険制度の健全運営	目	01 特定健康診査等事業費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>生活習慣病の予防のために40歳から74歳までの方を対象に健診を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団健診：各地区の公民館集会所等で実施（4月～11月。年41回実施） ・個別健診：町内9医療機関で実施（5月～3月） ・健診実施機関に対し愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて健診費用を支払いました。 ・愛媛県国民健康保険団体連合会に健診結果のデータ管理費用を支払いました。 ・受診率を向上させるために業者に委託し、データを活用した特定健診の未受診者及び継続受診者に向けて効率的・効果的な受診勧奨を行いました。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査事業 26,222千円 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・保険者努力支援分 3,639千円 ・都道府県繰入金（2号分） 98千円 ・健康増進事業県補助金 946千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別調整交付金（市町村向け） 1,198千円 ・特定健康診査等負担金 7,434千円 ・その他繰入金 12,907千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	健診実施回数（回）	47	43
成果	成果	特定健診受診率（%）	36.0	38.1	39.1
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	13,026	13,815	13,315
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	11,352	12,660	12,907
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費（ア～オ合計）	24,378	26,475	26,222

成果 実績 評価	成果状況	<p>（状況）前年度と比べ、受診率は1.0ポイント上昇しています。</p> <p>（原因）県や健診機関と連携したプロモーション活動（キャッチフレーズ「いってこーわい 愛媛の健診」）や個別の受診勧奨による効果と考えられます。</p> <p>（余地）今後も継続して、受診率の向上を目指していきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

〔74〕

【後期高齢者医療特別会計】

(1) 総括

後期高齢者医療制度は、75歳以上及び65歳から74歳で一定の障がいがある方が被保険者となっており、制度の運営は愛媛県内全ての市町が加入する「愛媛県後期高齢者医療広域連合」と、市町とで役割分担をしています

決算収支は歳入総額 406,894,908 円、歳出総額 390,929,028 円で、歳入歳出差引額は 15,965,880 円となりました。

また、保険料現年度分の収納率は、特別徴収分が 100.00%、普通徴収分が 99.47%、現年度分と滞納繰越分の合計では 99.72%となりました。

歳入については、保険料が予算額に対して 4,126,007 円の増となりました。

歳出については、広域連合納付金において不用額 10,529,322 円を生じました。

(2) 歳入

(ア) 後期高齢者医療保険料

令和6年度の後期高齢者医療保険料は、当初予算においては 251,423 千円を計上していましたが、最終調定額は 256,274,170 円、収入済額は 255,672,307 円となりました。

区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
	円	円	円	円	%	円
現年度分	255,909,790	255,455,170	0	577,920	99.77	123,300
特別徴収分	147,737,200	147,825,340	0	0	100.00	88,140
普通徴収分	108,172,590	107,629,830	0	577,920	99.47	35,160
滞納繰越分	364,380	217,137	93,930	53,313	59.59	0
普通徴収分	364,380	217,137	93,930	53,313	59.59	0
合 計	256,274,170	255,672,307	93,930	631,233	99.72	123,300

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(現年度保険料の説明)

区 分	金 額	備 考
1 人 当 たり 調 定 額	52,472 円	被保険者数 4,877 人 (年度平均)

(イ) 繰入金

予算額 138,678 千円に対して決算額 138,677,111 円となりました。

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
	円	円	円
保険基盤安定繰入金	125,901,000	125,900,271	△729
広域連合事務費繰入金	10,480,000	10,479,840	△160
その他繰入金	2,297,000	2,297,000	0
合 計	138,678,000	138,677,111	△889

(3) 歳 出

予算額 402,853 千円に対して決算額は 390,929,028 円となりました。歳出の内 99.24% を占める広域連合納付金の決算額は 387,974,678 円となり、10,529,322 円の不用額を生じました。

〈広域連合納付金内訳〉

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
	円	円	円
保 険 料	262,113,000	251,594,567	△10,518,433
保険基盤安定	125,901,000	125,900,271	△729
事 務 費	10,480,000	10,479,840	△160
延 滞 金	10,000	0	△10,000
合 計	398,504,000	387,974,678	△10,529,322

【介護保険特別会計】

(1) 総括

決算収支は、歳入総額 3,300,132,241 円、歳出総額 3,263,011,990 円で、歳入歳出差引額は 37,120,251 円の剰余金を生じました。剰余金のうち、介護給付費の精算により国庫負担金 12,971,170 円、地域支援事業費の精算により国庫交付金 2,069,828 円、支払基金交付金 852,528 円、県費交付金 475,217 円、総額で 16,368,743 円が次年度返還となっています。また、介護給付費の精算により支払基金交付金 2,136,021 円が次年度繰り入れとなっています。

介護給付費に係る財源の負担割合は、国庫負担金 20.0%（施設分は 15.0%）、調整交付金 8.71%、支払基金交付金 27.0%、県負担金 12.5%（施設分は 17.5%）、町負担金 12.5%となっています。

地域支援事業費に係る財源の負担割合は、介護予防・日常生活支援総合事業と包括的支援事業及び任意事業で負担割合が異なっています。介護予防・日常生活支援総合事業の負担割合は国庫補助金 25.0%、支払基金交付金 27.0%、県補助金 12.5%、町負担金 12.5%、包括的支援事業及び任意事業の負担割合は国庫補助金 38.5%、県補助金 19.25%、町負担金 19.25%となっています。

介護給付費及び地域支援事業費に係る第 1 号被保険者保険料の割合は 16.57%となっています。収納率は、現年度分 99.78%で、滞納繰越分を含めると 99.44%となっています。

介護認定審査会は、3 合議体 21 人の委員で設置・運営をしており、認定に係る訪問調査は、在宅 1,267 件、施設 250 件の調査を行いました。

(2) 第 1 号被保険者数

令和 7 年 3 月末現在

区 分	人 数	備 考
65 歳以上 75 歳未満	3,738 人	
75 歳以上	5,037 人	
合 計	8,775 人	

(3) 第1号被保険者所得段階別数

令和7年3月末現在

所得段階	保険料算出	被保険者数	構成率	保険料(年額)
第1段階	基準額×0.285	1,969人	22.44%	20,900円
第2段階	基準額×0.485	1,410人	16.07%	35,500円
第3段階	基準額×0.685	867人	9.88%	50,100円
第4段階	基準額×0.90	725人	8.26%	65,900円
第5段階	基準額×1.00	1,060人	12.08%	73,200円
第6段階	基準額×1.20	1,114人	12.70%	87,800円
第7段階	基準額×1.30	919人	10.47%	95,200円
第8段階	基準額×1.50	354人	4.04%	109,800円
第9段階	基準額×1.70	145人	1.65%	124,400円
第10段階	基準額×1.90	64人	0.73%	139,100円
第11段階	基準額×2.10	58人	0.66%	153,700円
第12段階	基準額×2.30	23人	0.26%	168,400円
第13段階	基準額×2.40	67人	0.76%	175,700円
合計	—	8,775人	100.00%	—

(4) 第1号被保険者介護保険料収納状況

(単位：円)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
特別徴収	496,945,600	497,238,300	0	0	100%	292,700
普通徴収	37,219,700	36,058,605	0	1,177,695	96.84%	16,600
現年合計	534,165,300	533,296,905	0	1,177,695	99.78%	309,300
滞納繰越分	3,072,761	1,267,906	1,005,500	799,355	41.26%	0
合計	537,238,061	534,564,811	1,005,500	1,977,050	99.44%	309,300

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(5) 要介護(要支援)認定者数(第2号被保険者含む)

令和7年3月末現在

認定区分	要介護(要支援)認定者数	構成率	備考
要支援1	266人	14.29%	
要支援2	236人	12.67%	
要介護1	359人	19.28%	
要介護2	273人	14.66%	
要介護3	248人	13.32%	
要介護4	296人	15.90%	
要介護5	184人	9.88%	
合計	1,862人	100.00%	(うち2号被保険者認定者数17人)

認定率：21.18% (認定者数合計/ (第1号被保険者数+第2号被保険者認定者数))

(6) 居宅介護（介護予防）サービス受給者数（第2号被保険者含む） 令和7年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
99人	137人	239人	203人	114人	99人	58人	949人

(7) 地域密着型（介護予防）サービス受給者数（第2号被保険者含む） 令和7年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	1人	118人	110人	78人	51人	25人	383人

(8) 施設介護サービス受給者数（第2号被保険者含む） 令和7年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	16人	13人	87人	165人	95人	376人

(9) 介護給付費の状況 (介護給付・予防給付)

科 目	累計件数	給付費 (円)	備 考
居宅 (介護予防) サービス	30,627	953,670,636	
訪問介護	3,734	255,789,252	
訪問入浴介護	304	14,708,703	
訪問看護	2,569	81,473,497	
訪問リハビリテーション	21	557,307	
通所介護	1,100	83,437,400	
通所リハビリテーション	1,085	76,335,970	
福祉用具貸与	7,954	78,288,923	
短期入所	1,755	177,451,871	
居宅療養管理指導	603	3,827,006	
特定施設入居者生活介護	136	23,235,806	
介護予防支援・居宅介護支援計画	11,065	143,932,430	
福祉用具購入	170	4,396,824	
住宅改修	131	10,235,647	
地域密着型 (介護予防) サービス	4,751	600,840,282	
認知症対応型共同生活 (短期利用含)	1,157	308,000,610	
認知症対応型通所介護	339	28,711,167	
小規模多機能型居宅介護	118	24,671,376	
定期巡回・随時対応型訪問看護介護	97	16,579,836	
複合型サービス	269	60,738,639	
地域密着型通所介護	2,771	162,138,654	
施設サービス	4,482	1,269,765,123	
介護老人福祉施設	3,201	863,231,655	
介護老人保健施設	1,266	400,879,767	
介護医療院	15	5,653,701	
介護療養型医療施設	0	0	
高額介護サービス	6,400	80,940,089	
高額医療合算介護サービス	363	8,251,688	
特定入所者介護(介護予防)サービス	7,818	120,751,828	
審査支払手数料	39,547	3,061,321	
合計	93,988	3,037,280,967	

(10) 地域支援事業費の状況

科 目	事業費(円)	備考
1 介護予防・日常生活支援総合事業費	65,938,422	
(1)訪問型サービス事業（第1号訪問事業）	23,128,523	
ア訪問介護相当サービス	6,700,195	
イ訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）	16,428,328	
(2)通所型サービス事業（第1号通所事業）	34,521,151	
ア通所介護相当サービス	34,521,151	
(3)その他生活支援サービス（第1号生活支援事業）	138,132	
ア栄養改善を目的とした配食	138,132	
(4)介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）	7,150,574	
(5)審査支払手数料	345,397	
(6)高額介護予防サービス費相当事業等	124,536	
(7)一般介護予防事業	530,109	
ア介護予防普及啓発事業	344,109	
イ地域介護予防活動支援事業	186,000	
2 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業	25,999,024	
(1)包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	18,362,621	
(2)任意事業	7,636,403	
ア介護給付等費用適正化事業	404,180	
イ家族介護支援事業	2,789,611	
ウその他事業	4,442,612	
(ア)成年後見制度利用支援事業	845,090	
(イ)福祉用具・住宅改修支援事業	25,080	
(ウ)認知症サポーター等養成事業	27,915	
(エ)地域自立生活支援事業	3,544,527	
3 小計（1+2）	91,937,446	
4 包括的支援事業（社会保障充実分事業計）	6,061,747	
(1)在宅医療・介護連携推進事業	456,926	
(2)生活支援体制整備事業	4,241,660	
(3)認知症初期集中支援推進事業	211,686	
(4)認知症地域支援・ケア向上事業	1,089,660	
(5)地域ケア会議推進事業	61,815	
5 合計（3+4）	97,999,193	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

介護認定審査会事務

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	01 総務費	決算書 ページ	377
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護認定審査会費		
基本事業	05 介護保険サービスの充実	目	01 介護認定審査会費	計画 年度	開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>要介護（要支援）認定申請のあった被保険者の要介護認定状態区分を認定調査員が作成した「認定調査票」及び主治医が作成した「主治医意見書」を基に介護認定審査会で審査し、二次判定を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護認定審査会 3合議体（各合議体に介護認定審査会委員7名） ・介護認定審査会委員 21名（保険・医療・福祉に関する学識経験者を有する者） ・介護認定審査会開催数 57回 ・介護認定審査件数 1,476件 	

特定財源情報	
一般事務費繰入金 4,928千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	審査会実施件数 (件)	57	55
活動	活動	審査し判定を行った件数 (件)	1,565	1,343	1,476
成果	成果	不服申立件数 (件)	0	0	0
成果	成果		0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,542	3,437	4,928
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,542	3,437	4,928

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和6年度の介護認定審査会による認定者件数は1,476件で、令和5年度と比べ133件の増となりました。県への不服申し立て件数は、0件でした。</p> <p>(原因) 令和3年度より更新申請における有効期間の上限を延長したこと等により、申請の件数は昨年度より133件多くなっています。また不服申し立ては0件を維持しており、介護認定審査会の委員により、適正に審査されていると思われます。</p> <p>(余地) 介護認定審査会委員の研修会等への参加や全体会の開催により、適正に運営されていると思われます。今後もさらに公平・公正かつ迅速な対応を行います。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

介護サービス給付費

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 保険給付費	決算書 ページ	377
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 介護サービス等諸費		
基本事業	05 介護保険サービスの充実	目	01 介護サービス給付費	計画 年度	開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>要介護の認定を受けた利用者が自立に向けて作成された介護計画に沿った介護保険サービスを利用します。利用した介護保険サービスに対する費用は、事業者からの請求に基づき利用者負担分（費用の1～3割）を差し引いて給付費として支払いました。</p> <p>【実績】 ・令和6年度利用件数：33,526件</p>	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> 介護給付費国庫負担金 501,492千円 支払基金交付金 745,476千円 介護給付費繰入金 389,027千円 	<ul style="list-style-type: none"> 調整交付金 232,506千円 介護給付費県費負担金 410,006千円 準備基金繰入金 2,596千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	サービス利用件数 (件)		34,580	32,978
成果	介護保険計画に基づく利用実績率 (%)		98	97	103
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	734,913	723,593	733,998
		イ 県	391,385	399,222	410,006
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,052,612	1,067,180	1,137,099
		オ 一般	475,705	439,630	487,230
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,654,615	2,629,625	2,768,333

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 介護保険計画に基づく利用実績率は向上です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症に伴う利用控えが解消され、各サービスでの利用実績が回復傾向です。 (余地) 適正化事業との連携により、適切な給付に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

介護予防サービス給付費

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 保険給付費	決算書 ページ	379
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 介護予防サービス等諸費		
基本事業	05 介護保険サービスの充実	目	01 介護予防サービス給付費	計画 年度	開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

要支援の認定を受けた利用者が自立に向けて作成された介護予防計画に沿った介護保険サービスを利用します。利用した介護保険サービスに対する費用は、事業者からの請求に基づき利用者負担分（費用の1～3割）を差し引いて給付費として支払いました。

【実績】

・令和6年度利用件数：6,334件

特定財源情報

・介護給付費国庫負担金 10,134千円
 ・調整交付金 4,699千円
 ・支払基金交付金 15,065千円
 ・介護給付費県費負担金 8,286千円
 ・介護給付費繰入金 7,861千円
 ・準備基金繰入金 52千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 サービス利用件数 (件)	5,829	6,028	6,334	
	活動				
	成果 介護保険計画に基づく利用実績率 (%)	99	104	111	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	14,083	16,113	14,833
		イ 県	7,500	8,881	8,286
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	20,171	23,743	22,978
		オ 一般	9,117	4,606	9,846
		カ 事業費 (ア～オ合計)	50,871	53,343	55,943

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 介護保険計画に基づく利用実績率は向上です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症に伴う利用控えが解消され、各サービスでの利用実績が回復傾向です。 (余地) 適正化事業との連携により、適切な給付に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

介護用品支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	381
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体 制整備	目	05 任意事業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>申請書を提出してもらい、審査して決定（却下）通知を送付しました。 対象者が委任した業者が、直接対象者宅へ訪問し、1か月7,000円相当の 介護用品（紙おむつ、尿とりパッド等）を配布しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者数 80人 ・支給件数 1月平均約35件

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・包括的支援事業・任意事業国庫交付金 1,070千円 ・機能強化推進交付金 85千円 ・包括的支援事業・任意事業県交付金 535千円 ・町繰入金 535千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 介護用品申請者数（人）	73	72	80	
	活動				
	成果 介護用品支給者数（人）	36	39	35	
	成果				
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	1,085	1,326	1,155
		イ 県	543	600	535
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	648	600	535
		オ 一般	543	588	555
	カ 事業費（ア～オ合計）	2,819	3,114	2,780	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>（状況）更新、新規申請を合わせた申請者数は80人で、ほぼ横ばいです。 （原因）新規申請者もいますが、施設入所者や死亡者もあり、月の平均支給数は、 ほぼ一定です。 （余地）在宅で要介護4及び要介護5と認定された高齢者への支給で、ケアマネ ジャーからの申請が多く、制度は周知されています。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

高齢者共同住宅生活支援事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	381
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	05 任意事業費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

町で支援員を直接雇用し、食材等の買い物、調理、共有部分の清掃、入居者の健康及び、入居者の健康及び悩み事等の対応、その他共同住宅に関する業務を行いました。契約期間のうち1月1日を除く、午前7時30分から午後6時30分のうち8時間を業務とし、報告書に基づいて予算の範囲内で支払いました。

【実績】

・支援員4名が生活支援業務を行いました。

特定財源情報

・包括的支援事業・任意事業国庫交付金 1,163千円
 ・機能強化推進交付金 92千円
 ・包括的支援事業・任意事業県交付金 581千円
 ・町繰入金 581千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 支援日数 (日)	364	365	364	
	活動				
	成果 入居者からの苦情件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,053	1,210	1,255
		イ 県	526	547	581
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	629	547	581
		オ 一般	527	538	605
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,735	2,842	3,022	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)現在のところ、苦情等もなくスムーズに支援できています。入居者の高齢化や日常生活に支援が必要な人が増えています。 (原因)支援に対する要望の相談打ち合わせ時間をとり、支援内容の充実を図りました。入居期間が長い入居者は、ADL低下してくることが考えられます。 (余地)支援員の相談に対応しながら事業を継続する必要があります。入居者の体調によっては、他の施設への転居も考えていく必要が出てきています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

認知症地域支援 ケア向上事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	381
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	06 認知症総合支援事業費	計画 年度	開始：令和05年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>認知症地域支援推進員を配置し、地域の支援機関の間の連携づくりや認知症ケアパス、認知症カフェ、社会参加活動などの地域支援体制づくり、認知症の人やその家族を支援する相談・支援業務を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8名の認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する相談・支援、認知症カフェの企画・運営、認知症学習会等を行いました。 ・認知症カフェは、毎週火曜日、計46回実施しました。 ・医療・介護関係者を対象に、認知症地域支援・ケア向上研修会を開催しました。(2回開催、参加者205名) 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・包括的支援事業・任意事業国庫交付金 401千円 ・機能強化推進交付金 32千円 ・努力支援交付金 76千円 ・包括的支援事業・任意事業県交付金 201千円 ・町繰入金 201千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
	活動	活動	認知症カフェの開催回数 (回)	37	47	46
活動	活動	認知症ケア向上研修会の開催回数 (回)	1	2	2	
成果	成果	認知症カフェを利用する認知症の人やその家族の割合 (%)	8	6.1	10.7	
成果	成果	認知症ケアへの理解が深まった人の割合 (%)	97	91.2	95.9	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	405	489	509
			イ 県	203	196	201
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	243	226	201
			オ 一般	235	138	179
			カ 事業費 (ア～オ合計)	1,086	1,049	1,090

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 認知症カフェは年間計画どおり開催しました。認知症の人やその家族が利用する割合は10.7%で、昨年度より4.6ポイント上昇しています。今年度の認知症ケア向上研修会は、住民への普及啓発もかねて2日間開催しました。認知症ケアへの理解が深まった人の割合は95.9%でした。</p> <p>(原因) 認知症カフェでは認知症の人が継続して利用できる企画・運営ができていられると思われま。認知症への理解を深める機会や場を設けることによって、認知症への理解が向上しています。</p> <p>(余地) 広く継続的に住民や専門職に対して認知症カフェや研修の機会を周知し参加してもらうことで、認知症に対する理解が促進されます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

訪問介護相当サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費		
基本事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	01 訪問型サービス事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施しました。旧介護予防訪問介護に相当するサービス「訪問介護員等によるサービス」の実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支出しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス実施件数 299件（25件/月、負担額22,409円/件） 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・調整交付金 631千円 ・機能強化推進交付金 205千円 ・支払基金交付金 1,809千円 ・町繰入金 837千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業国庫交付金 1,340千円 ・努力支援交付金 489千円 ・介護予防事業県交付金 837千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	訪問介護相当サービス実施件数 (件)	189	233
成果	成果	訪問介護相当 サービス利用割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,261	2,055	2,665
		イ 県	557	678	837
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,081	2,142	2,646
		オ 一般	557	546	552
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,456	5,421	6,700

成果実績評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 利用割合は100%で、訪問介護相当サービスを希望する利用者に適切に提供できています。</p> <p>(原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できているためと思われます。</p> <p>(余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要です。</p>
--------	--	--

訪問介護基準緩和サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費		
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいの推進	目	01 訪問型サービス事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施しました。旧介護予防訪問介護に相当するサービス「訪問介護員等によるサービス」の実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支出しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス実施件数 1,353件 (113件/月、負担額12,142円/件)

特定財源情報
<ul style="list-style-type: none"> ・調整交付金 1,547千円 ・機能強化推進交付金 501千円 ・支払基金交付金 4,436千円 ・町繰入金 2,054千円 ・介護予防事業国庫交付金 3,286千円 ・努力支援交付金 1,199千円 ・介護予防事業県交付金 2,054千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	訪問介護基準緩和型サービス実施件数 (件)	1,407	1,426
成果	成果	訪問介護基準緩和型サービス利用割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,944	6,908	6,533
		イ 県	2,183	2,277	2,054
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8,159	7,195	6,490
		オ 一般	2,183	1,835	1,351
		カ 事業費 (ア～オ合計)	17,469	18,215	16,428

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 利用割合は100%で、訪問介護基準緩和サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できているためと思われます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

通所介護相当サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費		
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	02 通所型サービス事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)

要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施しました。旧介護予防通所介護に相当するサービスの実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支出しました。

【実績】

・サービス実施件数：1,591件（133件/月、負担額21,698円/件）

特定財源情報

・調整交付金 3,250千円
 ・機能強化推進交付金 1,054千円
 ・支払基金交付金 9,321千円
 ・町繰入金 4,315千円
 ・介護予防事業国庫交付金 6,904千円
 ・努力支援交付金 2,519千円
 ・介護予防事業県交付金 4,315千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 通所介護相当サービス利用件数 (件)	1,542	1,586	1,591	
	活動				
	成果 通所介護相当サービス利用割合 (%)	100	100	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	8,645	12,431	13,727
		イ 県	3,818	4,097	4,315
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	14,267	12,947	13,636
		オ 一般	3,818	3,303	2,843
		カ 事業費 (ア～オ合計)	30,548	32,778	34,521

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用割合は100%で、通所介護相当サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できていると思われ ます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要で す。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

総合事業介護予防ケアマネジメント事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費		
基本事業	02 介護予防・健康づくり生きがいの推進	目	04 介護予防ケアマネジメント事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)	
<p>要支援1・2認定者及び介護予防、生活支援サービス事業対象者のうち、総合事業のみの利用者に対し、専門的な視点でのケアマネジメントを行いました。利用者の居宅を訪問し、アセスメント ケアプランの作成 サービス等の利用調整 モニタリング 評価等一連のケアマネジメントを行うことにより、自立支援を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス実施に係る負担金を愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支出しました。 ・町内4事業所に介護予防ケアマネジメント業務を委託し、委託料を支出しました。 ・サービス実施件数1,284件 初回加算44件 委託連携加算9件 (うち委託分 実施件数206件、初回加算9件、委託連携加算9件) 	

特定財源情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・調整交付金 124千円 ・機能強化推進交付金 40千円 ・支払基金交付金 355千円 ・町繰入金 164千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業国庫交付金 263千円 ・努力支援交付金 96千円 ・介護予防事業県交付金 164千円 ・介護予防ケアマネジメント手数料 964千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績
	活動	活動	利用者の状態等に応じて行ったケアマネジメントA、B、Cの件数 (件)	1,428	1,403
成果	成果	目標達成割合 (%)	88	87.9	92
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	457	587	523
		イ 県	202	194	164
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	7,161	6,916	1,483
		オ 一般	202	157	4,981
		カ 事業費 (ア～オ合計)	8,022	7,854	7,151

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 目標達成割合は92%で昨年度と比べ若干上昇し、目標値を達成できました。委託率は昨年度から1ポイント減少し16%となっており、包括支援センター担当割合は年々増加傾向にあります。今年度は介護予防プラン作成を担当する職員一人当たりの件数が居宅介護支援事業所で規定している上限45件を超え(最大54件)飽和状況でしたが、プラン作成人員を増員したため、今後改善が見込まれます。</p> <p>(原因) 丁寧なアセスメントや適切な目標設定、サービス事業所等関係機関との連携調整により自立支援につながったと思われます。</p> <p>(余地) プラン作成業務に専念できる体制や環境づくり、プラン作成業務以外の業務分担等を行うことができれば若干の向上余地は見込まれます。</p>
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

【温泉事業等特別会計】

(1) 総括

決算収支は、歳入総額 128,973,648 円、歳出総額 119,894,165 円で、歳入歳出差引額は 9,079,483 円となりました。

収支の内訳は、歳入が営業収入 69,512,229 円、一般会計繰入金 48,700,000 円、前年度繰越金が 10,725,049 円、雑入 36,370 円で、歳出は一般管理費 9,415,660 円、事業費 110,478,505 円となっており、9,079,483 円の剰余金が生じました。

(2) 入浴者・施設利用者の状況

(営業日数/349日)

入浴者(人)		施設利用者(人)	
大人	17,876	大ホール	2,418
高齢者・中学生	16,270	老人室	0
身体障害者	1,464	その他室	53
小学生	1,517	宿泊	3,966
大人回数券	9,209	テニス	4,219
高齢者回数券	22,507	食堂	11,029
家族風呂	31	整体	230
		その他	153
合計	68,874	合計	22,068
1日平均入浴者数	197.3	1日平均利用者数	63.2

(3) 収入の状況

(ア) 営業収入

区分	金額(円)	備考
1) 使用料		
入浴料	27,670,550	
各施設料	18,667,096	
2) 事業収入		
レストラン収入	22,812,753	
物販収入	361,830	
営業収入合計	69,512,229	

(イ) 一般会計繰入金

区 分	金 額 (円)	備 考
一般会計繰入金	48,700,000	

(ウ) 繰越金

区 分	金 額 (円)	備 考
前年度繰越金	10,725,049	

(エ) 諸 収 入

区 分	金 額 (円)	備 考
雑 入	36,370	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

あけぼの荘管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 事業費	決算書 ページ	405
施策	04 観光 物産の振興	項	03 一本松温泉あけぼの荘事業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 観光資源の充実	目	01 一本松温泉あけぼの荘事業費		

手段 (R06年度の取り組み)
あけぼの荘運営維持管理に伴う人件費、維持管理修繕、点検整備委託など 利用料金 入浴大人550円、中学生・高齢者・障害者400円、小学生300円 家族風呂 2,050円(1時間) テニス 2時間720円(昼)、930円(夜) 宿泊 大人3,080円～、小人2,570円～ 利用時間 11:00～21:00 定休日 毎月第3火曜日

特定財源情報
・営業収入 69,512千円 ・ふるさとづくり基金繰入金(企業版ふるさと納税分) 10,000千円

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数(件)	31	56	27	
	活動				
	成果 施設の不具合、災害等による臨時休業日数(件)	5	5	1	
	成果 あけぼの荘年間利用者数(人)	77,410	92,740	90,942	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	39,371	49,710	79,512
		オ 一般	34,495	37,279	30,967
		カ 事業費(ア～オ合計)	73,866	86,989	110,479

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 四国遍路やスポーツ合宿等の利用により営業収益は増加しましたが、年間施設利用者は、前年度に比べ1,798人減の90,942人となりました。 (原因) 定休日の導入により営業日が減少したことが要因と考えます。 (余地) インバウンド効果等により、旅行関連の好調な状況が続いており、観光客誘致施策と連携し更なる施設利用者の増加に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

【旅客船特別会計】

(1) 総括

決算収支は、歳入総額 26,797,344 円、歳出総額 26,070,984 円で、歳入歳出差引額は 726,360 円となりました。

収支の内訳は、歳入が一般会計繰入金 26,059,000 円、前年度繰越金 311,612 円、諸収入 426,732 円で、歳出は総務費 281,952 円、施設経営費 25,789,032 円となっており、事業収入の不足分を一般会計からの繰入により補填をしています。

(2) 観光船利用客数の状況

船種		利用客数(人)	
水中展望船	ユメカイナ	3,054	4,059
	ガイアナ2	1,005	
定期船	ガイアナ2	1,100	1,100
合計			5,159

営業日数 164 日

欠航日数 201 日

1日平均利用客数 31.5 人

(3) 収支の状況

(ア) 歳入

科目	金額(円)	備考
繰入金 一般会計繰入金	26,059,000	
繰越金 前年度繰越金	311,612	
諸収入 雑入	426,732	保険料・安全対策補助金
合計	26,797,344	

(イ) 歳出

科目	金額(円)	備考	
総務費	役務費	188,162	振込手数料・保険料
	負担金補助及び交付金	93,790	負担金
	計	281,952	
施設経営費	需用費	3,624,820	船底弁修繕他
	役務費	563,200	検査・上架手数料
	委託料	18,171,600	指定管理料他
	使用料及び賃借料	325,212	土地借上料・AED
	工事請負費	2,252,800	シャワー室改修他
	備品購入費	851,400	衛星位置表示標識他
	計	25,789,032	
合計	26,070,984		

主要な施策の成果については、次のとおりです。

旅客船維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	427
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>旅客船事業の指定管理費用を管理受託者へ支払いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅客船指定管理委託料18,000千円を支出しました。

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	18	5	6	
	活動				
	成果 旅客船の維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0	
	成果 旅客船年間利用者数 (人)	6,416	5,007	5,159	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	18,000	18,000	18,000
	カ 事業費 (ア～オ合計)	18,000	18,000	18,000	

成果 実績 評価	<p>成果状況</p> <p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 前年度と比較し旅客船利用者数は152人増加しています。</p> <p>(原因) 夏季に南海トラフ巨大地震緊急情報の発表があったものの、台風による欠航が少なかったことが主な要因と考えます。</p> <p>(余地) 指定管理者は安全管理規定等を遵守し日々の安定した運航に努めており、今後も指定管理による運営は適切と考えます。</p>
----------------	--	--

瀬ノ浜施設維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	427
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町旅客船等指定管理者基本協定書に基づき、当該年度の修繕費が100万円を超えかつ1件あたり10万円を超える場合には、愛南町が修繕を実施しました。</p> <p>【実績】 ・修繕料、土地借上料及び工事費等、合計4,376千円を支出しました。</p>

特定財源情報

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕件数 (件)	6	6	7	
	活動				
	成果 瀬ノ浜施設の維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,707	2,325	4,376
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,707	2,325	4,376	

成果 実績 評価	<p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 前年度と比較し修繕件数は1件増加し、事業費も2,051千円増加しました。</p> <p>(原因) 瀬ノ浜観光案内待合所のシャワー室とトイレを改修したことが主な要因と考えます。</p> <p>(余地) 指定管理者は施設の適切な維持管理に努めており、今後も指定管理による管理運営は適切と考えます。</p>

旅客船修繕事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	427
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R06年度の取り組み)
<p>愛南町旅客船等指定管理者基本協定書に基づき、当該年度の修繕費が100万円を超えかつ1件あたり10万円を超える場合には、愛南町が修繕を実施しました。</p> <p>【実績】 ・修繕料、上架手数料及び備品購入費等、合計3,413千円を支出しました。</p>

特定財源情報
雑入 240千円 (小型旅客船等安全対策事業費補助金)

区分	指標名称	R04年度実績	R05年度実績	R06年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 旅客船修繕件数 (件)	4	9	6	
	活動				
	成果 旅客船の故障による欠航回数 (回)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	240
		オ 一般	1,869	3,981	3,173
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,869	3,981	3,413	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し修繕が3件減少し、事業費も568千円減少しました。 (原因) 旅客船中間検査での指摘箇所が少なかったことが主な要因と考えます。 (余地) 指定管理者は安全運航に直結する船体の維持管理に努めており、今後も指定管理による管理運営は適切と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

